

第4次所沢市地域福祉計画等 策定に関する市民意識調査報告書

令和8年3月

所沢市

■目 次

調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査の概要	2
3. グラフの見方	2
考察	3
1. 今後の地域福祉への考察	4
(1) 近所付き合いについて	4
(2) ボランティア活動について	4
(3) 相談先の認知度について	5
(4) 相互理解・共生について	5
(5) 再犯防止について	6
(6) 成年後見制度について	6
(7) 生活困窮者などへの支援について	7
(8) 災害時について	7
(9) 優しいまちづくりについて	8
(10) 地域福祉の推進について	8
(11) 孤独・孤立について / ひきこもりの状況について	9
結果分析	11
1. 回答者の属性	12
2. お住まいの地域について	21
3. 地域での福祉活動について	30
4. 悩みや不安、相談について	40
5. 相互理解・共生について	57
6. 福祉情報の入手（情報収集）について	61
7. 地域福祉を担っている人について	64
8. 再犯防止について	68
9. 判断能力が低下した方への支援について	70
10. 生活困窮者などへの支援について	75
11. 災害時の助け合いなどについて	81
12. 優しいまちづくりについて	87
13. 地域福祉の推進について	93
調査問の比較	97
1. 近所の方との交流について	98
2. ボランティア活動について	100
3. 相談先の認知度について	101

自由記述	103
1 . 中高生向け調査	104
2 . 一般向け調査	110
調査票	125
1 . 中高生向け調査	126
2 . 一般向け調査	134

調査の概要

1 . 調査の目的

本調査は、所沢市における地域福祉のさらなる発展に向け、地域の実情、市民の地域福祉に対する考え方や意見を把握し、計画策定などの基礎資料とするとともに、本市における福祉施策の検討に活用することを目的として実施しました。

2 . 調査の概要

調査対象： 14～18歳の市民1,000人を無作為抽出、19歳以上の市民2,500人を無作為抽出

調査方法： 自宅への調査票郵送配付、回答は郵送又はWEB（いずれか1つを選択）

調査期間：令和7年8月27日～9月26日 最終受取10月7日

回収結果：

	配布数	回収数	回収率
14～18歳	1,000	336	33.6%
19歳以上	2,500	946	37.8%

* 各調査の最大標本誤差（対象者毎の集団母数と回答件数から算出）は、±5%程度となっていることから、調査結果としておおむね信頼できる水準にあります。

3 . グラフの見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 表中の「N (number of cases)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 「前回」とは、平成元年度に第3次所沢市地域福祉計画策定のために実施した市民意識調査結果を表しています。

前回結果	配布数	回収数	回収率
14～18歳	1,000	351	35.1%
19歳以上	4,000	1,645	41.1%

- 設問文や選択肢を省略して表記している場合があります。
- 14～18歳の市民を対象とした調査を「中高生向け調査」とし、文中の「中高生」は14～18歳の市民を対象とした調査の結果を指します。同様に、19歳以上の市民を対象とした調査を「一般向け調査」とし、文中の「一般」は19歳以上の市民を対象とした調査の結果を指します。

考察

1 . 今後の地域福祉への考察

(1) 近所付き合いについて

■ 調査結果の要約

市民の多くは現在、近所との関係が「あいさつ程度」にとどまり、より親しい交流を望まない傾向が見られます。若年層では今後の交流への関心がやや高い一方、全体的には防災時の助け合いや日常的な会話を求める割合が減少しています。

■ 考察（考えられる取組等）

この結果は、隣近所という最も身近な“地域のつながり”が若い世代で薄れつつある現状を示しています。“地域のつながり”を強制することはできないものの、世代や立場を超えて自然に関わり合える機会の創出が求められます。

地域行事、学校教育等と連動させた世代間交流の場に加えて、SNS や地域アプリ等のデジタルを活用した「新しいつながり方」を積極的に展開するなど、住民同士が“気軽”と感じる機会を“意図的”に増やす必要があります。

(2) ボランティア活動について

■ 調査結果の要約

ボランティア活動への参加条件として「興味のある内容」「気軽に参加できる」の回答が多く、特に若年層では「家族や友人と一緒に参加したい」という傾向が強くみられます。一方で、活動を支援する指導者や環境整備の条件は低下しており、ボランティア活動が個人の関心や時間的余裕に影響されやすいことがうかがえます。

■ 考察（考えられる取組等）

この結果は、「支え合い」や「担い手確保・育成」といった地域福祉活動の継続性の課題といえます。住民のボランティア意識は一定程度高まっているものの、活動の関心が特定の分野に偏り、継続的な地域支援につながりにくい状況がうかがえます。

国の目指す「地域共生社会」及び「包括的な支援体制」では多様な主体の地域づくりへの参画が重視されることを踏まえ、若年層の「家族や仲間と参加したい」という意欲を生かし、学校教育・文化・スポーツ・企業活動等、福祉以外の分野とも連携して、関心のある活動が自然に社会参加につながる仕組みを工夫することが望まれます。

(3) 相談先の認知度について

■ 調査結果の要約

相談先として、14～18 歳では「学校の先生、保健室の先生」が7割を超え、公的な相談窓口の認知度は低い傾向にあります。19 歳以上では「保健センター」や「市民相談窓口」等の行政機関の認知度が高まっています。ただし、いずれの世代でも相談先を「知らない」割合も一定程度みられます。

■ 考察（考えられる取組等）

この結果は、地域福祉の「誰もが支援につながる相談体制の強化」に深く関係しています。若年層では、学校が最も身近な相談先となっている一方で、学校外の支援機関の認知度が十分でなく、早期支援につながりにくいリスクがあります。成人層でも、相談窓口の多様化に伴い、「どこに相談すればよいか分からない」というケースが生じる可能性もあります。

国の「地域共生社会の実現」及び「包括的な支援体制」では、年齢や分野を問わず、ワンストップで一体的に相談を受け止める仕組みが重視されています。そのため、SNS・学校・地域を通じた相談先の周知、多様な窓口が連携して確実に必要な支援につなぐ仕組みが求められます。支援が長期化する場合に備えた“切れ目のない支援”の体制強化も必要になります。

(4) 相互理解・共生について

■ 調査結果の要約

地域で主体的に進めるべき取組として、「防災活動」を挙げる人が最も多く、次いで「子育て家庭への支援」「防犯活動」が続いています。地域の安全や子育てを支える意識がみられる一方で、「住民同士のつながり」、「自治会・町内会の加入促進」、「外国人市民への地域生活支援」等の共助の仕組みについては地域主体で進める意識は低くなっています。

■ 考察（考えられる取組等）

この結果は、地域のつながりづくりにおいて、災害時や子育て支援への関心は高いものの、平常時の交流や共生への意識・関心が十分でないことを表しています。

防災・防犯・子育て支援は、世代や立場を超えて「地域共生社会」を実感できる分野であり、地域福祉の基盤強化にも直結します。国の「災害対策基本法」改正や「ユニバーサル社会実現推進法」では、共助の仕組みや“心のバリアフリー”を重視し、地域主体による支え合い体制の整備を推進しています。

今後は、自治会・町内会、NPO、福祉関係団体等との連携や、デジタル技術を活用した安否確認や地域防災アプリ等の活用を図りながら、平常時から災害時につながる“顔の見える共助（互助）ネットワーク”を形成することが必要です。

(5) 再犯防止について

■ 調査結果の要約

再犯防止に必要な取組として「警察署など関係機関との連携」、「犯罪内容に応じた指導・支援」、「保護司や協力雇用主など民間協力者への支援」が上位に挙げられました。一方、「福祉サービス・医療機関との連携に関する支援」の割合は低く、「わからない」も一定割合で見られます。

■ 考察（考えられる取組等）

再犯防止は、地域福祉の「誰もが支援につながる相談体制」や「地域共生社会の実現」と密接に関わります。国では、再犯防止を国・自治体の責務として位置づけ、福祉・医療・就労・住居支援等の包括的支援体制の整備を求めています。市民の意識からは警察等の関係機関との連携が重視されている一方で、福祉や医療との関係性への理解が十分ではないことがうかがえます。

今後は、保護司や協力雇用主等の民間協力者との連携を強化するとともに、孤立や貧困といった再犯の背景要因に早期からアプローチする視点や、再犯防止に対する地域の理解を深めることが求められます。これにより、罪を犯した人も地域の一員として再び生活を築ける「共生社会」の実現が期待されます。

(6) 成年後見制度について

■ 調査結果の要約

成年後見制度について「知っている」割合が4割近くに上り、前回調査から大きく増加しました。一方で「制度名は知っているが内容は知らない」も3割半ばを占めています。

■ 考察（考えられる取組等）

この結果から、成年後見制度の認知度は着実に上がっている一方で、幅広い世代に制度の目的や利用方法が十分に浸透していない現状がうかがえます。

成年後見制度は、高齢者や障害のある人等の権利を守り、安心して生活するための重要な仕組みです。今後は市民向け講座や事例紹介等を通じて、制度の理解促進を図ることが必要です。また、地域包括支援センターや社会福祉協議会、司法関係機関、専門職団体が連携し、権利擁護支援・意思決定支援ネットワークの強化も求められます。

国では、令和6年2月から法制審議会で見直しが進められており、「終われる後見」等が検討されています。こうした動向も踏まえつつ、増加が予想されるニーズに対応するため、成年後見人、法人後見、市民後見人の確保に取り組むことが必要です。

(7) 生活困窮者などへの支援について

■ 調査結果の要約

生活に困っている人への支援は、「仕事の紹介やあっせん」、「就労訓練の支援」、「こどもの学習支援や居場所づくり」を上位に挙げています。この上位項目は前回調査と同じです。これに次いで、前回調査項目になかった「支援先のわかりやすい案内」が4位に入っています。

■ 考察（考えられる取組等）

この結果からは、働く場や経済的自立への支援が重視されています。一方、生活困窮の背景には孤立や健康不安、家庭問題等の複合的な課題を抱えるケースも多く、就労支援だけでは十分な解決に至らない現状があります。

国では、就労・住宅・家計・学習支援を一体的に進める仕組みが整備されています。今後は制度をより実態に即して運用し、行政・社会福祉協議会・地域団体・企業が連携して、生活困窮の要因に対する包括的な支援体制を強化することが必要です。特に、こどもの学習支援や若者の居場所づくりを通じて、将来的な貧困の連鎖を防ぐ「こどもまんなか社会」の視点を持つことが求められます。

(8) 災害時について

■ 調査結果の要約

身近な避難場所を「知っている」と答えた人は8割近くにのぼる一方、防災訓練への参加は15.2%、自主防災組織への参加は6.8%と低く、地域での実践的な防災活動が十分に広がっていません。災害時に「手助けできる」と答えた人は約4割にとどまり、地域の共助力向上が課題です。

■ 考察（考えられる取組等）

「災害対策基本法」の改正により、避難行動要支援者名簿の作成や個別避難計画の策定が市町村の責務とされました。しかしながら、この結果からは、多くの市民が避難場所を把握している一方で、日常的な防災訓練や自主防災組織への参加が進んでおらず、実際の災害時に高齢者や障害のある人等の避難行動要支援者を支える地域の共助機能も十分に発揮されない可能性が考えられます。

今後は、防災訓練や防災活動をきっかけに日頃からの地域住民同士のつながりを強め、緊急時も平常時も互いに支え合う地域福祉を展開する工夫が望まれます。

(9) 優しいまちづくりについて

■ 調査結果の要約

住環境や生活で重要な取組は「防犯対策の強化」、「災害に対する安全な市街地整備」が特に多くなっています。前回調査項目になかった「公共交通機関の充実」も3位に入っています。一方で、買い物支援やバリアフリー整備といった日常生活を支える取組や環境への関心が前回調査より弱まっています。

■ 考察（考えられる取組等）

この結果からは、防犯や防災といった安全確保への関心が依然として高い一方で、日常生活の利便性や快適性、さらには高齢者や障害のある人への配慮といった“生活の質”に関わる取組への意識が弱まりつつあることがうかがえます。

近年、国では誰もが安心して暮らせる社会を目指し、施設等のハード整備にとどまらず、「心のバリアフリー」や「情報アクセシビリティ」といったソフト面の充実も重視しています。

今後は、市民・地域団体・事業者・行政が協働し、防犯・防災・移動支援・バリアフリー整備等を一体的に進めるまちづくりが求められます。また、公共交通の充実や買い物支援、地域の見守り等を通じて、安心・安全に加え、心豊かに暮らせる「優しい地域づくり」を実現する取組を強化することも望まれます。

(10) 地域福祉の推進について

■ 調査結果の要約

市が優先的に取り組むべき施策として、「相談しやすい窓口の充実」、「必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり」、「災害時の安心・安全の仕組みづくり」を上位に挙げています。一方で、「わかりやすい福祉情報の提供（字幕、ふりがな、手話、点字）」が前回調査から大きく低下しています。

■ 考察（考えられる取組等）

この結果は、「相談体制の強化」と「誰もが支援につながる仕組み」という福祉分野の基盤（地域福祉）の重要性を改めて示しています。世帯が直面する生活課題の早期発見と早期支援を行うためにも、身近で気軽に相談できる体制と支援につながる仕組みの一層の強化が求められています。

他方、支援制度があっても“どこに相談すればよいか分からない”、“情報が届かない・難しくて理解しづらい”というケースを防ぐため、やさしい日本語・多言語・音声・動画等、多様な情報発信手法の導入により、誰もが情報にアクセスできることを重視する必要もあります。また、制度の周知にとどまらず、“理解・共感・行動”につながる伝え方の工夫も望まれます。

(11) 孤独・孤立について / ひきこもりの状況について

■ 調査結果の要約

孤独感については、14～18 歳・19 歳以上ともに「ほとんどない」が最も多いものの、「時々ある」が3割前後に達し、孤独感を抱える一定の割合もみられます。また、ひきこもりの傾向を示す回答もわずかに存在しています。

■ 考察（考えられる取組等）

「ほとんどない」と答えた人が多い一方で、「時々ある」が3割前後、「常にある」が約8%という結果は、潜在的な孤独・孤立リスクが地域に存在していることを示しています。これは、暮らし方や働き方の変化、コロナ禍や単身世帯の増加による「つながりの希薄化」といった社会構造の変化も影響していると考えられます。

今後は、世代を超えた交流・居場所の多様化（地域、オンライン、仮想空間）、自治会・NPO・学校・企業等が連携した地域ネットワークの整備等を孤独・孤立対策の視点も取り入れて進める必要があります。特に、地域福祉の「つながりづくり」の視点から、孤立に陥る前段階としての早期支援・見守り体制を地域全体で強化することが求められます。

結果分析

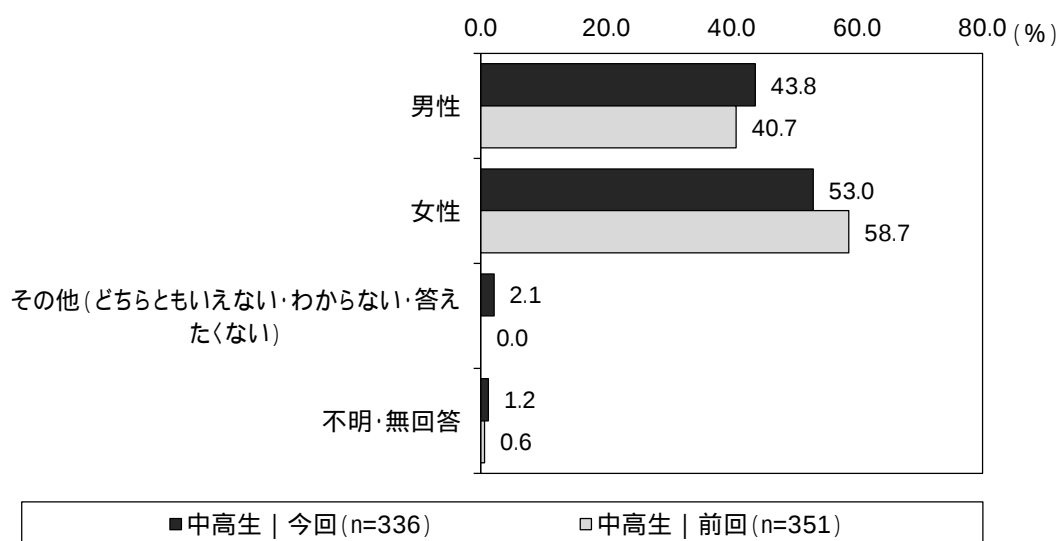
1. 回答者の属性

あなたの性別を教えてください。（○は1つまで）

< 中高生向け調査：問1、一般向け調査：問1 >

- 中高生 回答者の性別については、「女性」が53.0%、「男性」が43.8%、「その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）」が2.1%となっています。前回調査と比較すると、「女性」が5.7ポイント減少しています。

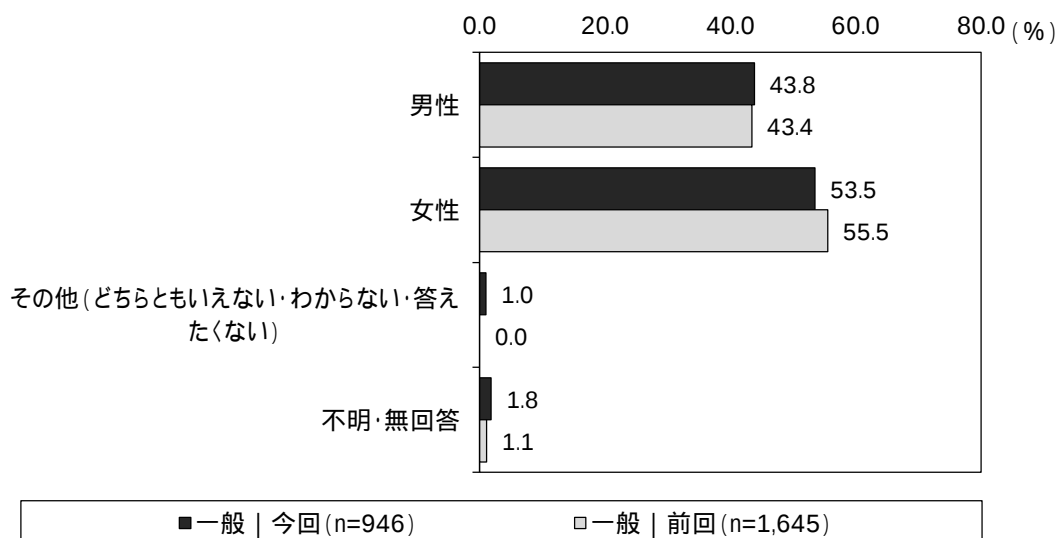
【中高生向け調査】



* 「その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）」は今回調査のみの選択肢。

- 一般 回答者の性別については、「女性」が53.5%で最も高く、次いで「男性」が43.8%、「その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）」が1.0%となっています。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

【一般向け調査】



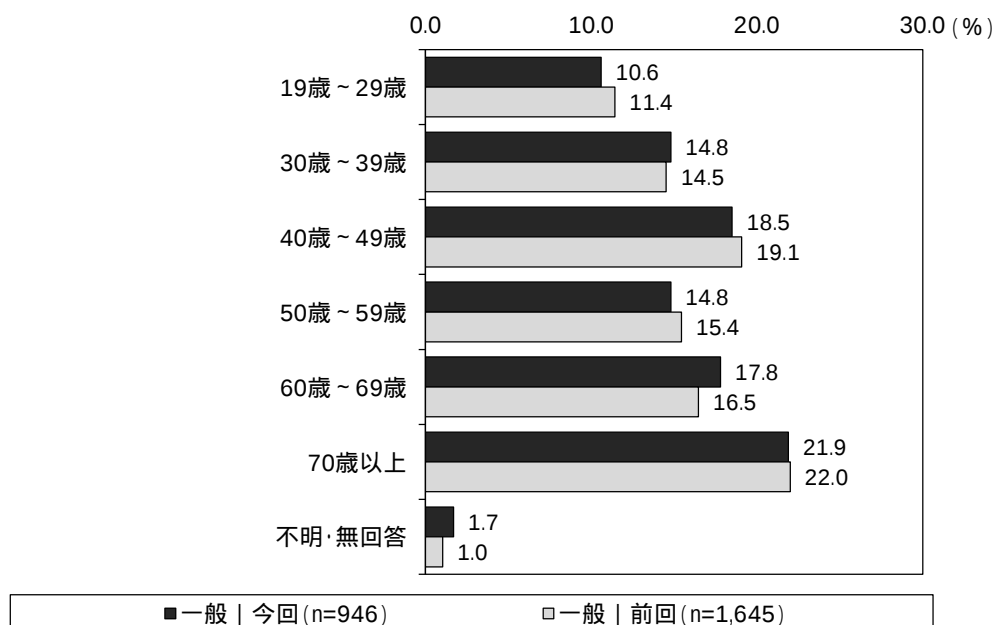
* 「その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）」は今回調査のみの選択肢。

あなたの年代（令和7年9月1日現在）を教えてください。（○は1つまで）

< 一般向け調査・問2 >

- 一般 回答者の年代については、「70 歳以上」が 21.9%で最も高く、次いで「40 歳～49 歳」が 18.5%、「60 歳～69 歳」が 17.8%となっています。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

【一般向け調査】



- 地区別にみると、[所沢]では「30 歳～39 歳」、[小手指]と[山口]で「40 歳～49 歳」、[吾妻] [柳瀬]と[新所沢東]で「60 歳～69 歳」、それ以外の地区で「70 歳以上」がそれぞれ最も多くなっています。

【地区別クロス】

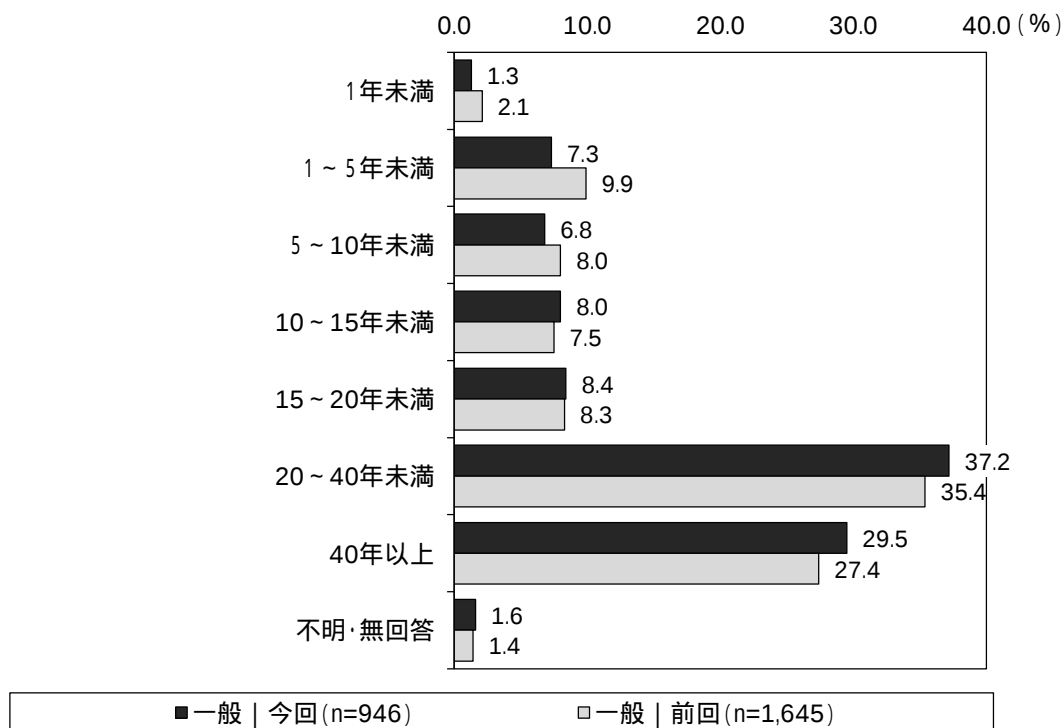
単位：%	19歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	不明・無回答
全体 (n=946)	10.6	14.8	18.5	14.8	17.8	21.9	1.7
松井 (n=62)	11.3	12.9	21.0	14.5	14.5	25.8	0.0
富岡 (n=46)	8.7	15.2	17.4	17.4	8.7	32.6	0.0
小手指 (n=100)	7.0	15.0	25.0	12.0	21.0	20.0	0.0
山口 (n=81)	4.9	14.8	23.5	19.8	18.5	18.5	0.0
吾妻 (n=58)	6.9	5.2	8.6	8.6	37.9	31.0	1.7
柳瀬 (n=74)	8.1	12.2	18.9	14.9	25.7	20.3	0.0
三ヶ島 (n=80)	8.8	12.5	23.8	11.3	13.8	30.0	0.0
新所沢 (n=134)	14.9	13.4	18.7	17.2	13.4	22.4	0.0
新所沢東 (n=55)	12.7	10.9	12.7	12.7	27.3	23.6	0.0
所沢 (n=182)	15.9	23.6	18.7	15.4	14.3	12.1	0.0
並木 (n=56)	8.9	14.3	10.7	19.6	14.3	32.1	0.0

所沢市に住んでどのくらいですか。（○は1つまで）

< 一般向け調査・問3 >

- 一般 回答者の居住年数については、「20～40年未満」が37.2%で最も高く、次いで「40年以上」が29.5%、「15～20年未満」が8.4%となっています。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

【一般向け調査】

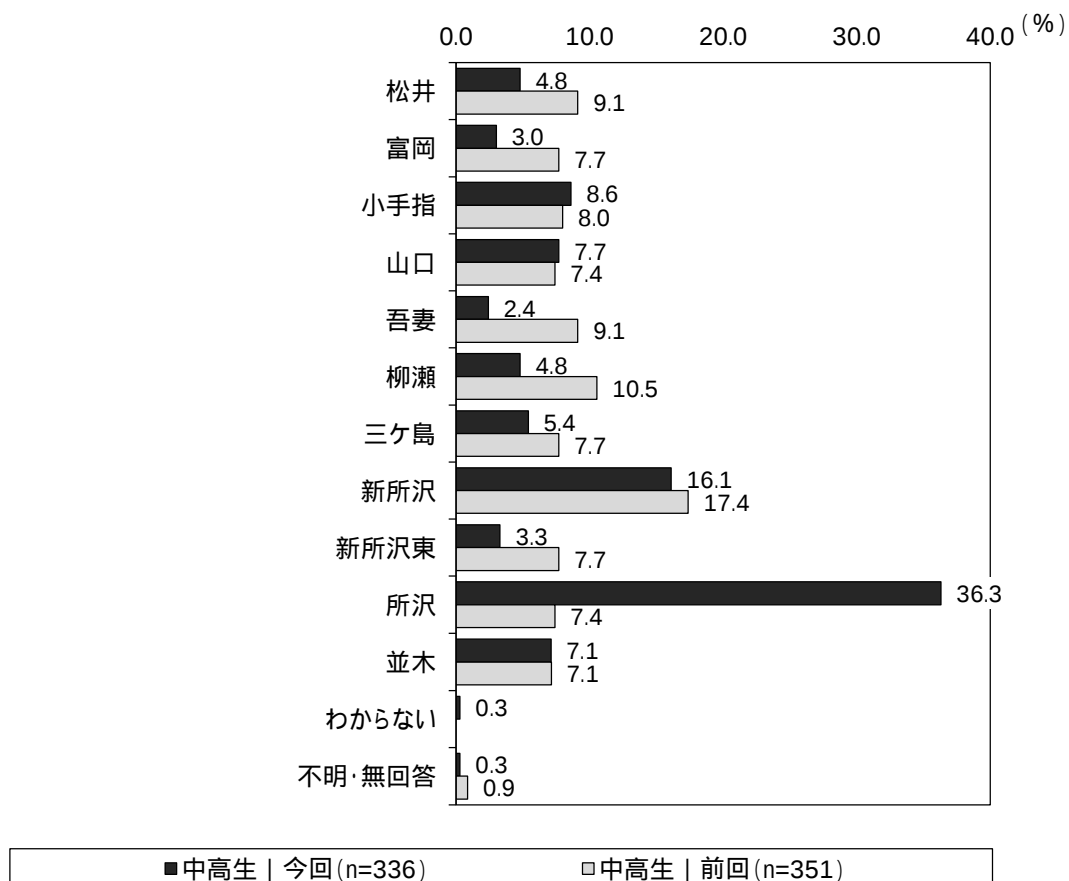


あなたのお住まいの地区を教えてください。（○は1つまで）

< 中高生向け調査：問2、一般向け調査・問4 >

- 中高生 回答者の居住地区については、「所沢」が36.3%で最も高く、次いで「新所沢」が16.1%、「小手指」が8.6%となっています。前回調査と比較すると、「吾妻」が6.7ポイント減少、「柳瀬」が5.7ポイント減少、「所沢」が28.9ポイント増加しています。

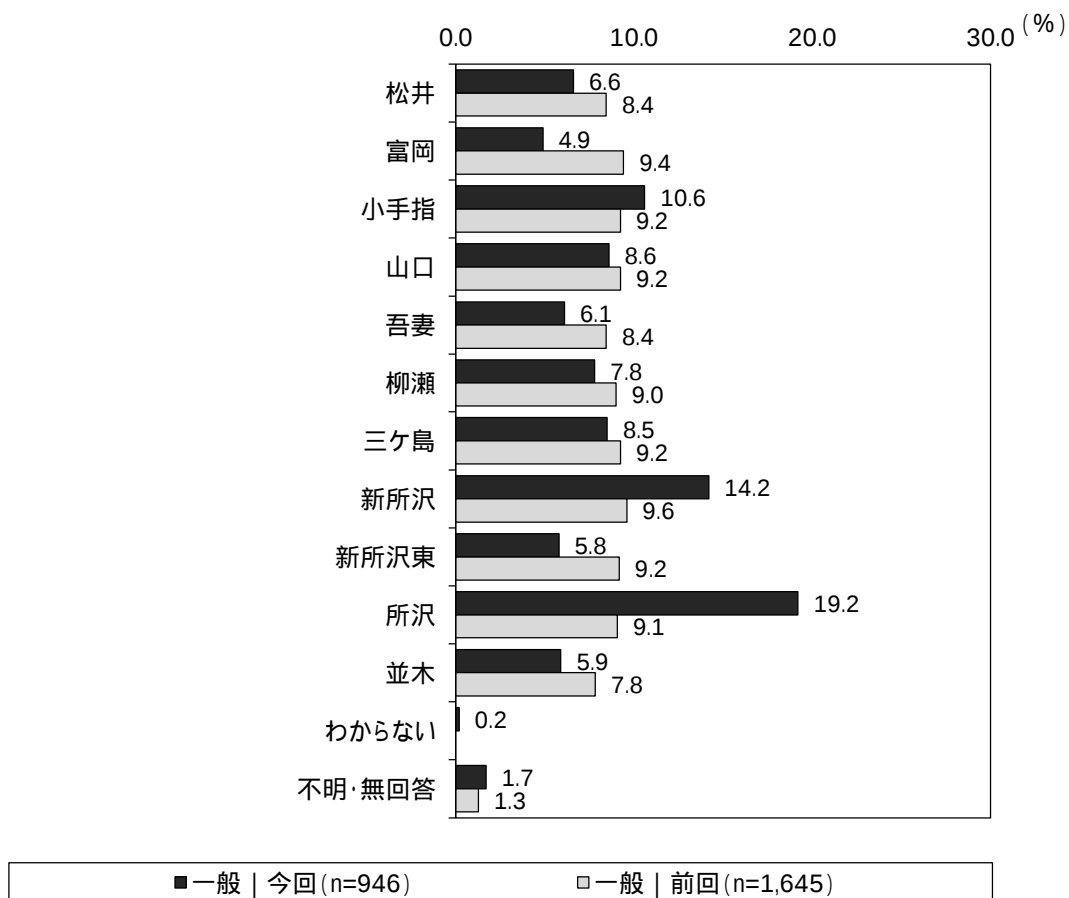
【中高生向け調査】



* 「わからない」は今回調査のみの選択肢。

- 一般 回答者の居住地区については、「所沢」が19.2%で最も高く、次いで「新所沢」が14.2%、「小手指」が10.6%となっています。前回調査と比較すると、「所沢」が10.1ポイント増加しています。

【一般向け調査】



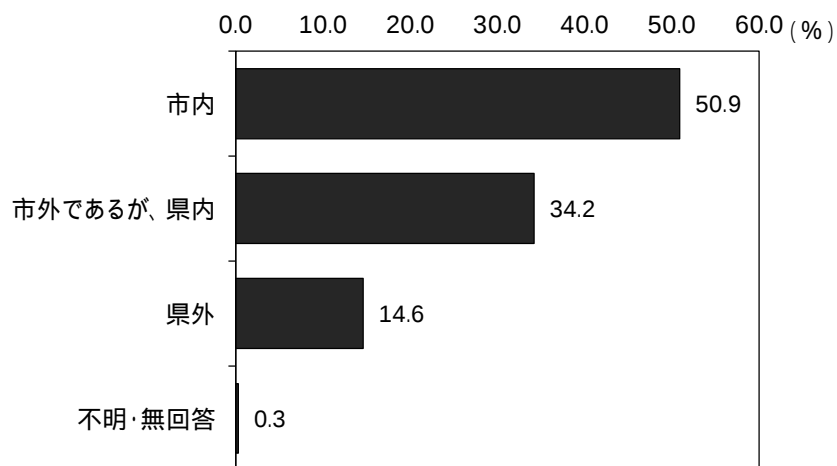
* 「わからない」は今回調査のみの選択肢。

あなたの通勤・通学先はどちらになりますか。（○は1つまで）

< 中高生向け調査：問2-2 >

- 中高生 回答者の通勤・通学先については、「市内」が50.9%で最も多く、次いで「市外であるが、県内」が34.2%、「県外」が14.6%となっています。

【中高生向け調査】



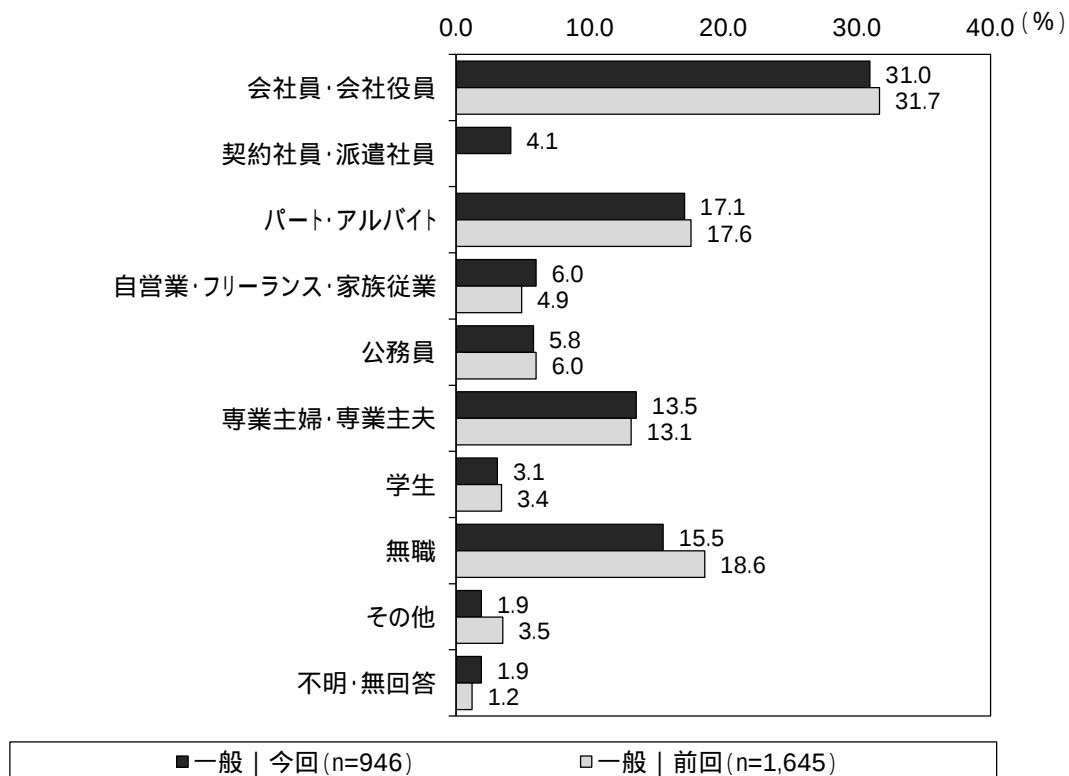
■ 中高生向け調査 (n=336)

ご職業は何ですか。（○は1つまで）

< 一般向け調査・問5 >

- 一般 回答者の職業については、「会社員・会社役員」が31.0%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が17.1%、「無職」が15.5%となっています。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

【一般向け調査】



* 前回調査の選択肢は、「会社員・会社役員（常勤）」「公務員（常勤）」「パート・アルバイト」「自営業・家族従業・内職」「家事専従」「学生」「無職」「その他」。

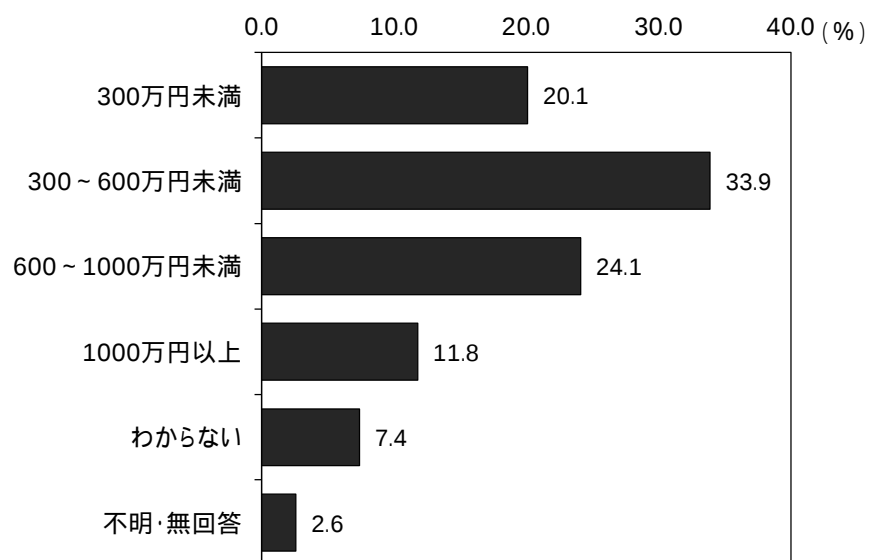
* 「契約社員・派遣社員」は今回調査のみの選択肢。

あなたの世帯全体の令和6年中の収入額はどのくらいでしたか。（○は1つまで）

< 一般向け調査・問6 >

- 一般 回答者の世帯全体の年収については、「300～600万円未満」が33.9%で最も高く、次いで「600～1000万円未満」が24.1%、「300万円未満」が20.1%となっています。

【一般向け調査】



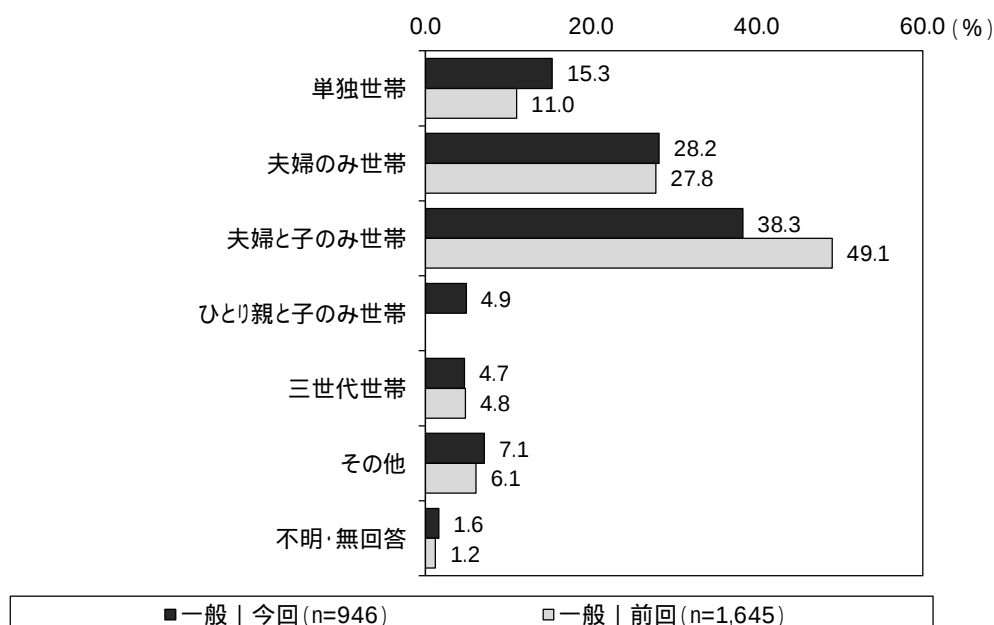
■ 一般向け調査 (n=946)

ご家族の構成について教えてください。（○は1つまで）

< 一般向け調査・問7 >

- 一般 回答者の家族構成については、「夫婦と子のみ世帯」が38.3%で最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が28.2%、「単独世帯」が15.3%となっています。前回調査と比較すると、「夫婦と子のみ世帯」が10.8ポイント減少しています。

【一般向け調査】



* 前回調査の選択肢は、「一人暮らし」「夫婦のみ」「親と子」「親と子と孫」「その他」。

* 「ひとり親と子のみの世帯」は今回調査のみの選択肢。

- 地区別にみると、[吾妻] [新所沢東] と「並木」では「夫婦のみ世帯」、それ以外の地区で「夫婦と子のみ世帯」がそれぞれ最も多くなっています。また、[吾妻] [柳瀬] と [並木] で「単独世帯」が約2割、[富岡] で「三世帯世帯」が1割強と、他の地区に比べて割合が高くなっています。

【地区別クロス】

単位：%	単独世帯	夫婦のみ世帯	夫婦と子のみ世帯	世帯ひとり親と子のみ	三世帯世帯	その他	不明・無回答
全体 (n=946)	15.3	28.2	38.3	4.9	4.7	7.1	1.6
松井 (n=62)	14.5	25.8	40.3	4.8	6.5	8.1	0.0
富岡 (n=46)	4.3	23.9	45.7	2.2	13.0	10.9	0.0
小手指 (n=100)	10.0	26.0	47.0	5.0	5.0	7.0	0.0
山口 (n=81)	16.0	32.1	44.4	2.5	1.2	3.7	0.0
吾妻 (n=58)	19.0	41.4	24.1	3.4	5.2	6.9	0.0
柳瀬 (n=74)	20.3	23.0	39.2	4.1	5.4	8.1	0.0
三ヶ島 (n=80)	17.5	21.3	37.5	3.8	5.0	15.0	0.0
新所沢 (n=134)	14.2	27.6	41.8	4.5	6.0	6.0	0.0
新所沢東 (n=55)	14.5	34.5	30.9	9.1	1.8	9.1	0.0
所沢 (n=182)	17.6	29.7	36.8	6.6	3.8	5.5	0.0
並木 (n=56)	19.6	33.9	33.9	7.1	1.8	3.6	0.0

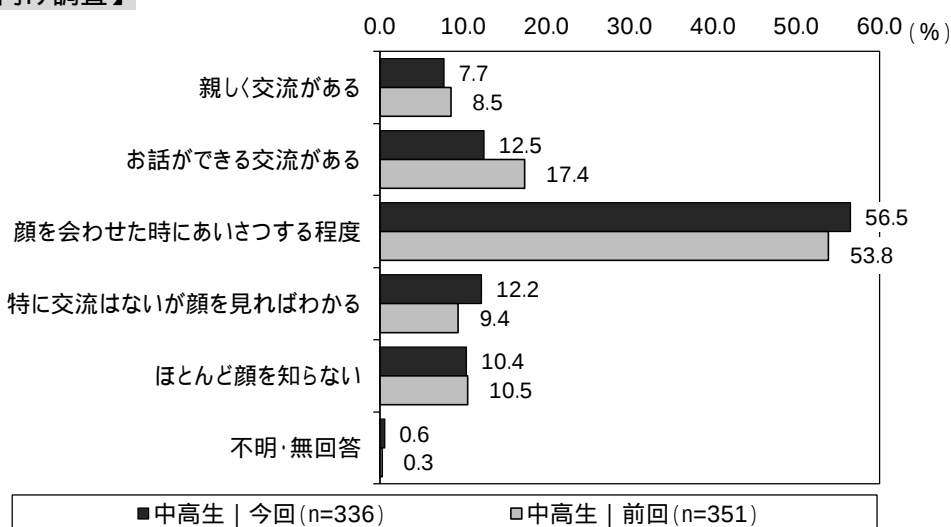
2. お住まいの地域について

現在、近所の方との交流はありますか。（○は1つまで）

< 中高生向け調査：問3、一般向け調査：問8 >

- 中高生 では、「顔を会わせた時にあいさつする程度」が56.5%で最も多く、次いで「お話ができる交流がある」が12.5%、「特に交流はないが顔を見ればわかる」が12.2%となっています。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

【中高生向け調査】



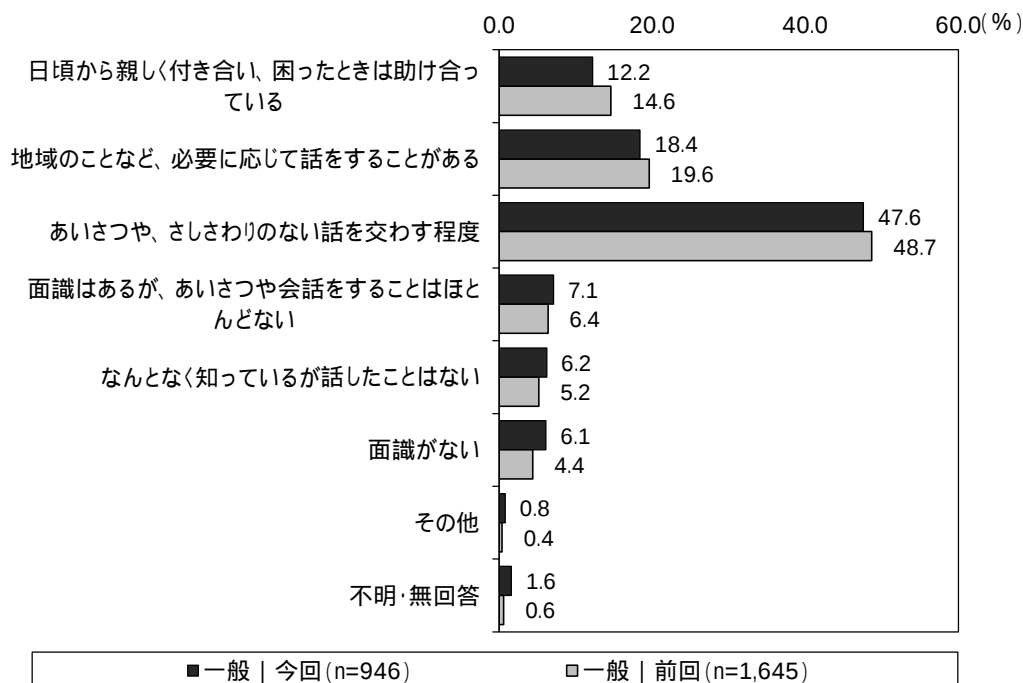
- 通勤・通学先別にみると、すべての属性で「顔を会わせた時にあいさつする程度」が最も多くなっています。また、[市内]では、「親しく交流がある」が12.3%、[県外]では、「ほとんど顔を知らない」が18.4%と、他の属性に比べて5ポイント以上高くなっています。

【通勤・通学先別クロス】

単位：%	親しく交流がある	お話ができる交流がある	顔を会わせた時にあいさつする程度	特に交流はないが顔を見ればわかる	ほとんど顔を知らない	不明・無回答
全体 (n=336)	7.7	12.5	56.5	12.2	10.4	0.6
市内 (n=171)	12.3	11.7	57.3	11.1	7.6	0.0
市外であるが、県内 (n=115)	4.3	12.2	58.3	13.0	11.3	0.9
県外 (n=49)	0.0	16.3	51.0	14.3	18.4	0.0

- 一般 では、「あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度」が47.6%で最も多く、次いで「地域のことなど、必要に応じて話をすることがある」が18.4%、「日頃から親しく付き合い、困ったときは助け合っている」が12.2%となっています。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

【一般向け調査】



- 地区別にみると、すべての地区で「あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度」が最も多くなっています。また、[富岡] [吾妻] と [柳瀬] で「日頃から親しく付き合い、困ったときは助け合っている」が約2割、[所沢] では「面識がない」が1割台半ばと、他の地区に比べて割合が高くなっています。

【地区別クロス】

単位：%	助け合っている	日頃から親しく付き合い	必要に応じて話をする	地域のことで話をする	さしさわりのない話を交わす程度	あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度	面識はあるが、あいさつや会話をすることはほとんどない	なんとなく知っているが話したことはない	面識がない	その他	不明・無回答
全体 (n=946)	12.2	18.4	47.6	7.1	6.2	6.1	0.8	1.6			
松井 (n=62)	16.1	14.5	53.2	3.2	6.5	6.5	0.0	0.0			
富岡 (n=46)	19.6	23.9	47.8	2.2	4.3	2.2	0.0	0.0			
小手指 (n=100)	15.0	19.0	51.0	8.0	3.0	3.0	1.0	0.0			
山口 (n=81)	7.4	25.9	48.1	9.9	4.9	2.5	1.2	0.0			
吾妻 (n=58)	19.0	25.9	41.4	1.7	6.9	1.7	1.7	0.0			
柳瀬 (n=74)	18.9	21.6	44.6	9.5	4.1	1.4	0.0	0.0			
三ヶ島 (n=80)	8.8	23.8	50.0	8.8	5.0	3.8	0.0	1.7			
新所沢 (n=134)	11.2	14.9	53.0	5.2	6.7	8.2	0.7	0.0			
新所沢東 (n=55)	9.1	25.5	47.3	3.6	5.5	9.1	0.0	1.7			
所沢 (n=182)	8.8	11.5	45.1	9.9	9.3	14.3	1.1	0.0			
並木 (n=56)	8.9	16.1	50.0	10.7	10.7	1.8	1.8	0.0			

- 性・年代別にみると、すべての性・年代で「あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度」が最も多くなっています。また、男女ともに[19歳～29歳]では「面識がない」が約2割、[30歳～39歳・男性]で「なんとなく知っているが話したことはない」が約2割と、他の性・年代に比べて高くなっています。さらに、「日頃から親しく付き合い、困ったときは助け合っている」で、30歳代以上では男性に比べて女性の割合が高くなっており、特に70歳以上で10ポイント以上高くなっています。

【性・年代別クロス】

単位：％		助け合い、困ったとき付き合っている	日頃から親しく付き合い、困ったときは助け合っている	地域のことなどを、必要に応じて話す	地域のことがあつたり、話をする	すわり度合いのさつや、話を交わさ	あいさつや、さしさわりのない話を交わさ	さしさわりのない話を交わさ	面識はあるが、あいさつや、さしさわりのない話を交わさ	なんとなく話したことはない	面識がない	その他	不明・無回答
合計（n=929）		12.4	18.6	48.3	7.2	6.2	6.2	0.9	0.1				
男性	小計（n=414）	8.7	16.7	50.7	8.7	8.2	6.3	0.7	0.0				
	19歳～29歳（n=45）	6.7	4.4	44.4	8.9	15.6	17.8	2.2	0.0				
	30歳～39歳（n=63）	4.8	6.3	46.0	11.1	19.0	11.1	1.6	0.0				
	40歳～49歳（n=68）	10.3	16.2	44.1	8.8	11.8	7.4	1.5	0.0				
	50歳～59歳（n=61）	6.6	14.8	54.1	14.8	3.3	6.6	0.0	0.0				
	60歳～69歳（n=67）	9.0	28.4	53.7	3.0	4.5	1.5	0.0	0.0				
	70歳以上（n=110）	11.8	21.8	56.4	7.3	1.8	0.9	0.0	0.0				
女性	小計（n=506）	15.6	20.4	46.0	6.1	4.5	6.1	1.0	0.2				
	19歳～29歳（n=54）	5.6	9.3	42.6	11.1	11.1	20.4	0.0	0.0				
	30歳～39歳（n=75）	18.7	4.0	49.3	6.7	6.7	14.7	0.0	0.0				
	40歳～49歳（n=104）	15.4	21.2	46.2	5.8	5.8	4.8	1.0	0.0				
	50歳～59歳（n=76）	11.8	14.0	36.0	9.0	4.0	3.0	1.0	0.0				
	60歳～69歳（n=101）	13.9	18.4	47.4	11.8	5.3	3.9	1.3	0.0				
	70歳以上（n=96）	24.0	27.0	52.0	4.0	1.0	1.0	2.0	0.0				

- 在住期間別にみると、1年未満で「面識がない」、それ以外の属性で「あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度」が最も多くなっています。

【在住期間別クロス】

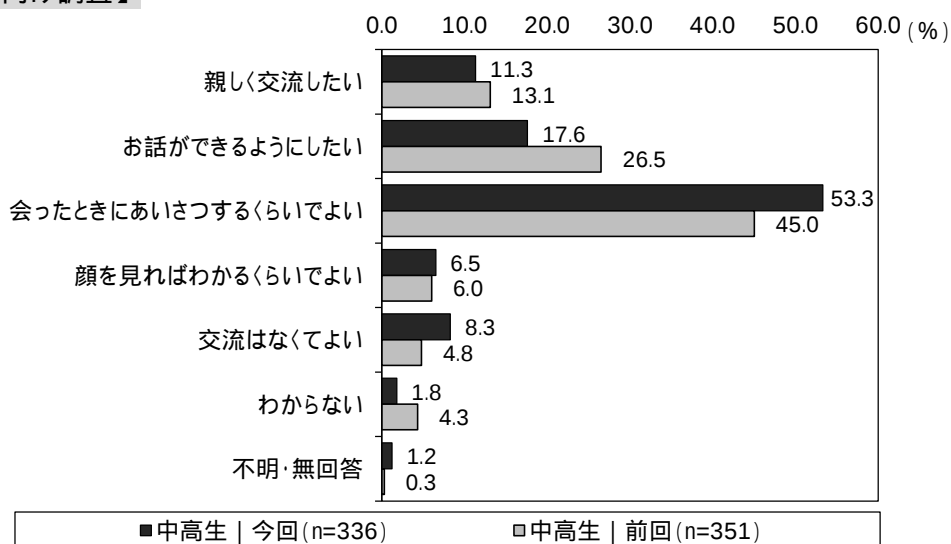
単位：％		助け合い、困ったとき付き合っている	日頃から親しく付き合い、困ったときは助け合っている	地域のことなどを、必要に応じて話す	地域のことがあつたり、話をする	すわり度合いのさつや、話を交わさ	あいさつや、さしさわりのない話を交わさ	さしさわりのない話を交わさ	面識はあるが、あいさつや、さしさわりのない話を交わさ	なんとなく話したことはない	面識がない	その他	不明・無回答
全体（n=946）		12.2	18.4	47.6	7.1	6.2	6.1	0.8	1.6				
1年未満（n=12）		16.7	0.0	25.0	0.0	0.0	58.3	0.0	0.0				
1～5年未満（n=69）		5.8	7.2	37.7	7.2	17.4	21.7	2.9	0.0				
5～10年未満（n=64）		14.1	9.4	45.3	12.5	7.8	7.8	3.1	0.0				
10～15年未満（n=76）		14.5	14.5	48.7	6.6	5.3	7.9	2.6	0.0				
15～20年未満（n=79）		8.9	6.3	57.0	11.4	5.1	11.4	0.0	0.0				
20～40年未満（n=352）		10.5	20.2	51.7	6.3	7.4	3.7	0.3	0.0				
40年以上（n=279）		16.1	27.2	45.5	6.5	2.9	1.1	0.4	0.0				

近所の方との交流について、今後どうしたいと思いますか。（○は1つまで）

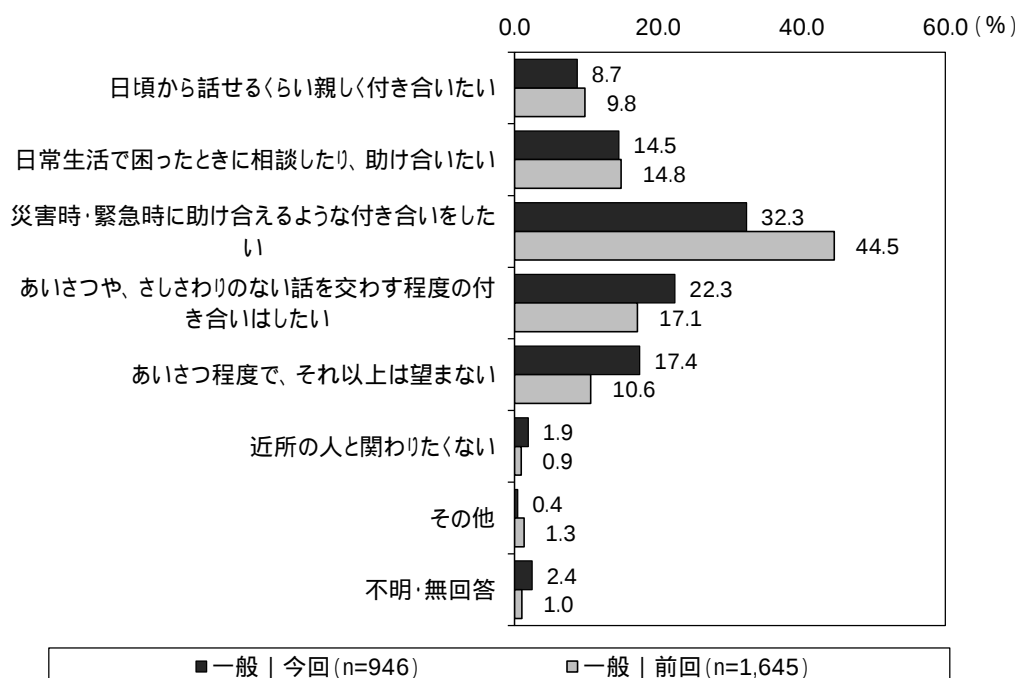
< 中高生向け調査：問4、一般向け調査：問9 >

- 中高生 では、「会ったときにあいさつするくらいでよい」が53.3%で最も多く、次いで「お話ができるようにしたい」が17.6%、「親しく交流したい」が11.3%となっています。前回調査と比較すると、「お話ができるようにしたい」が8.9ポイント減少、「会ったときにあいさつするくらいでよい」が8.3ポイント増加しています。
- 一般 では、「災害時・緊急時に助け合えるような付き合いをしたい」が32.3%で最も多く、次いで「あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度の付き合いはしたい」が22.3%、「あいさつ程度で、それ以上は望まない」が17.4%となっています。前回調査と比較すると、「災害時・緊急時に助け合えるような付き合いをしたい」が12.2ポイント減少、「あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度の付き合いはしたい」が5.2ポイント増加、「あいさつ程度で、それ以上は望まない」が6.8ポイント増加しています。

【中高生向け調査】



【一般向け調査】



- 地区別にみると、[吾妻]で「あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度の付き合いはしたい」、それ以外の地区で「災害時・緊急時に助け合えるような付き合いをしたい」が最も多くなっています。また、[柳瀬]と[所沢]で「あいさつ程度で、それ以上は望まない」が2割強と、他の地区に比べて割合が高くなっています。

【地区別クロス | 一般向け調査】

単位：％	しく頃から話せるくらい親	い相談した活りで、困ったときに	たえ日常しなな付合に助け合	災害時・緊急時に助け合	付けない話や、さしさわりの	のあいさつ程度で、それ以上	上あは望まない程度で、それ以上	い近所の人と関わりたくな	その他	不明・無回答
全体 (n=946)	8.7	14.5	32.3	22.3	17.4	1.9	0.4	2.4		
松井 (n=62)	11.3	16.1	32.3	21.0	14.5	1.6	0.0	3.2		
富岡 (n=46)	13.0	17.4	34.8	21.7	8.7	2.2	0.0	2.2		
小手指 (n=100)	11.0	14.0	37.0	20.0	14.0	0.0	1.0	3.0		
山口 (n=81)	2.5	12.3	38.3	25.9	17.3	2.5	1.2	2.2		
吾妻 (n=58)	15.5	15.5	25.9	29.3	10.3	0.0	0.0	3.0		
柳瀬 (n=74)	8.1	18.9	25.7	18.9	20.3	4.1	0.0	0.0		
三ヶ島 (n=80)	8.8	17.5	27.5	22.5	18.8	2.5	0.0	3.4		
新所沢 (n=134)	8.2	14.2	30.6	25.4	19.4	0.7	0.0	0.0		
新所沢東 (n=55)	5.5	18.2	32.7	21.8	18.2	1.8	0.0	3.4		
所沢 (n=182)	6.6	11.5	32.4	20.3	24.2	3.8	0.5	4.1		
並木 (n=56)	10.7	8.9	41.1	19.6	12.5	0.0	1.8	2.5		

- 家族構成別にみると、[ひとり親と子のみ世帯]で「あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度の付き合いはしたい」、[その他]で「あいさつ程度で、それ以上は望まない」、それ以外の家族構成で「災害時・緊急時に助け合えるような付き合いをしたい」が最も多くなっています。

【家族構成別クロス | 一般向け調査】

単位：％	しく頃から話せるくらい親	い相談した活りで、困ったときに	たえ日常しなな付合に助け合	災害時・緊急時に助け合	付けない話や、さしさわりの	のあいさつ程度で、それ以上	上あは望まない程度で、それ以上	い近所の人と関わりたくな	その他	不明・無回答
全体 (n=946)	8.7	14.5	32.3	22.3	17.4	1.9	0.4	2.4		
単独世帯 (n=145)	4.1	11.0	31.0	20.7	23.4	4.1	1.4	4.1		
夫婦のみ世帯 (n=267)	10.1	16.1	28.8	24.0	14.6	2.2	0.0	4.1		
夫婦と子のみ世帯 (n=362)	10.8	13.5	37.0	21.8	14.4	1.1	0.6	0.8		
ひとり親と子のみ世帯 (n=46)	4.3	21.7	21.7	26.1	23.9	2.2	0.0	4.1		
三世代世帯 (n=44)	6.8	18.2	36.4	22.7	13.6	2.3	0.0	0.8		
その他 (n=67)	6.0	11.9	29.9	17.9	32.8	0.0	0.0	0.0		

- 性・年代別にみると、[19 歳～39 歳・男性] と [19 歳～29 歳・女性] で「あいさつ程度で、それ以上は望まない」、[70 歳以上・男性] で「あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度の付き合いはしたい」、それ以外の性・年代別で「災害時・緊急時に助け合えるような付き合いをしたい」が最も多くなっています。また、[60 歳～69 歳・男性] と [40 歳～49 歳・女性] で「日常生活で困ったときに、相談したり、助け合いたい」が 2 割台と、他の性・年代に比べて割合が高くなっています。

【性・年代別クロス】

単位：％		し日く頃付から話し合いたるくらい親	い相談した活り、困つた合ときたに	た日常生で、助け合いたに	え災害時・緊急時に助け合	付き合ひは交わす程度わ	のあいさつや、さしさわりの	上あは望まない程度で、それ以	い近所の人と関わりたくな	その他	不明・無回答
合計 (n=929)		8.7	14.4	32.4	22.3	17.5	1.9	0.4	2.3		
男性	小計 (n=414)	6.0	15.0	29.2	24.9	19.1	2.7	0.7	2.4		
	19歳～29歳 (n=45)	4.4	17.8	17.8	22.2	33.3	2.2	0.0	2.2		
	30歳～39歳 (n=63)	7.9	11.1	23.8	19.0	30.2	6.3	0.0	1.6		
	40歳～49歳 (n=68)	2.9	19.1	27.9	20.6	26.5	1.5	1.5	0.0		
	50歳～59歳 (n=61)	3.3	8.2	42.6	26.2	13.1	4.9	1.6	0.0		
	60歳～69歳 (n=67)	1.5	23.9	37.3	22.4	10.4	1.5	1.5	1.5		
	70歳以上 (n=110)	11.8	11.8	25.5	32.7	10.9	0.9	0.0	6.4		
女性	小計 (n=506)	10.9	14.2	35.0	20.4	16.0	1.2	0.2	2.2		
	19歳～29歳 (n=54)	7.4	11.1	31.5	11.1	37.0	1.9	0.0	0.0		
	30歳～39歳 (n=75)	13.3	6.7	38.7	20.0	17.3	4.0	0.0	0.0		
	40歳～49歳 (n=104)	6.7	20.2	34.6	14.4	23.1	0.0	1.0	0.0		
	50歳～59歳 (n=76)	11.8	5.0	27.0	18.0	16.0	1.0	0.0	0.0		
	60歳～69歳 (n=101)	8.9	6.6	35.5	23.7	21.1	1.3	0.0	0.0		
	70歳以上 (n=96)	16.7	16.0	38.0	28.0	7.0	0.0	0.0	3.0		

あなたは、身の周りで困っている人に現在「手助けしていること」や困っている人がいる場合に「手助けできること」はありますか。また、現在、あなた自身が地域の人に「手助けしてほしいこと」はありますか。（あてはまるものすべてに○）

< 一般向け調査：問 10 >

- 一般 の「手助けしていること」については、「 いずれも該当しない」が 70.6%で最も多く、次いで「 平常時の安否確認」が 10.8%、「 話し相手または散歩の付き添い」が 9.0%となっています。

【一般向け調査】 「手助けしていること」

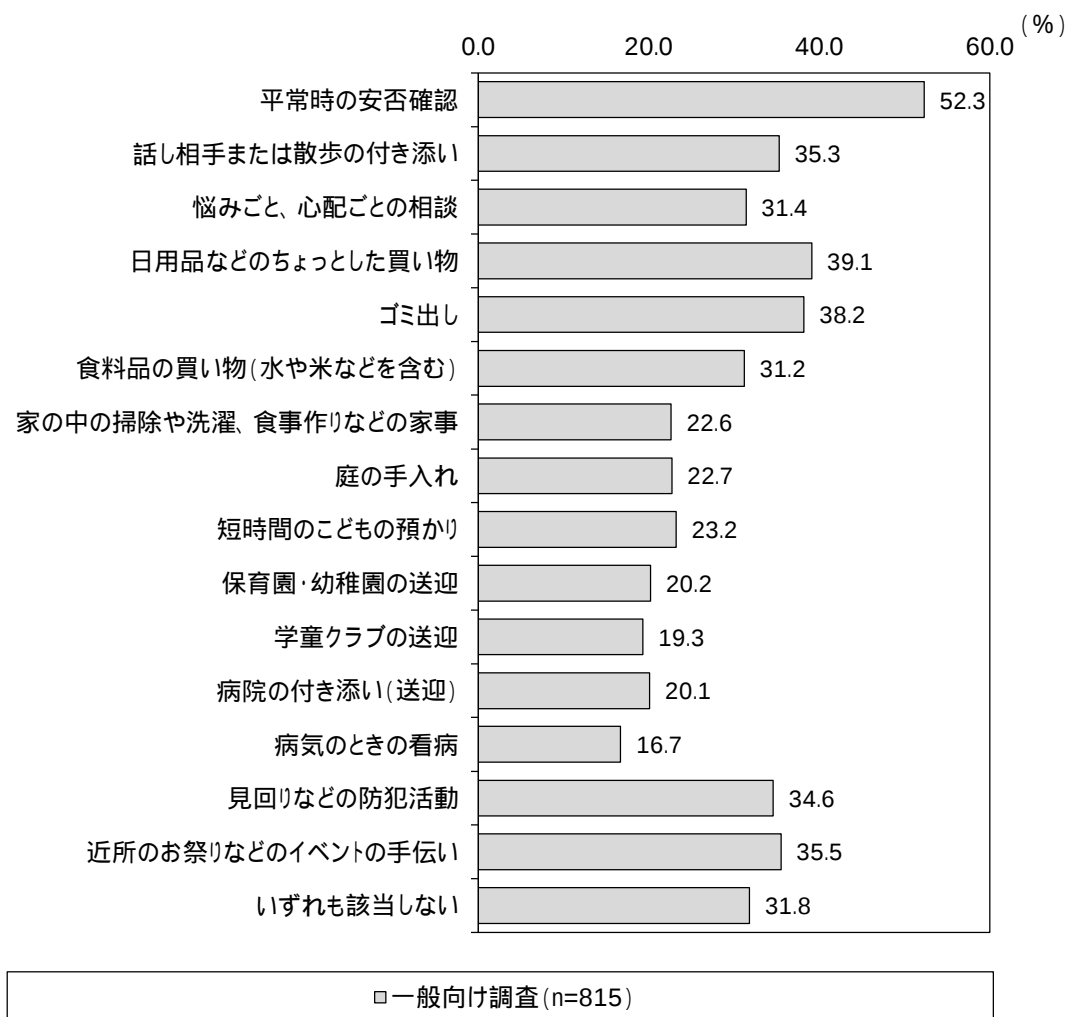


□ 一般向け調査 (n=620)

* 「不明・無回答」の方を除いて割合を算出しているため、n 数が異なる。

- 一般 の「手助けできること」については、「 平常時の安否確認」が 52.3%で最も多く、次いで「 日用品などのちょっとした買い物」が 39.1%、「 ゴミ出し」が 38.2%となっています。

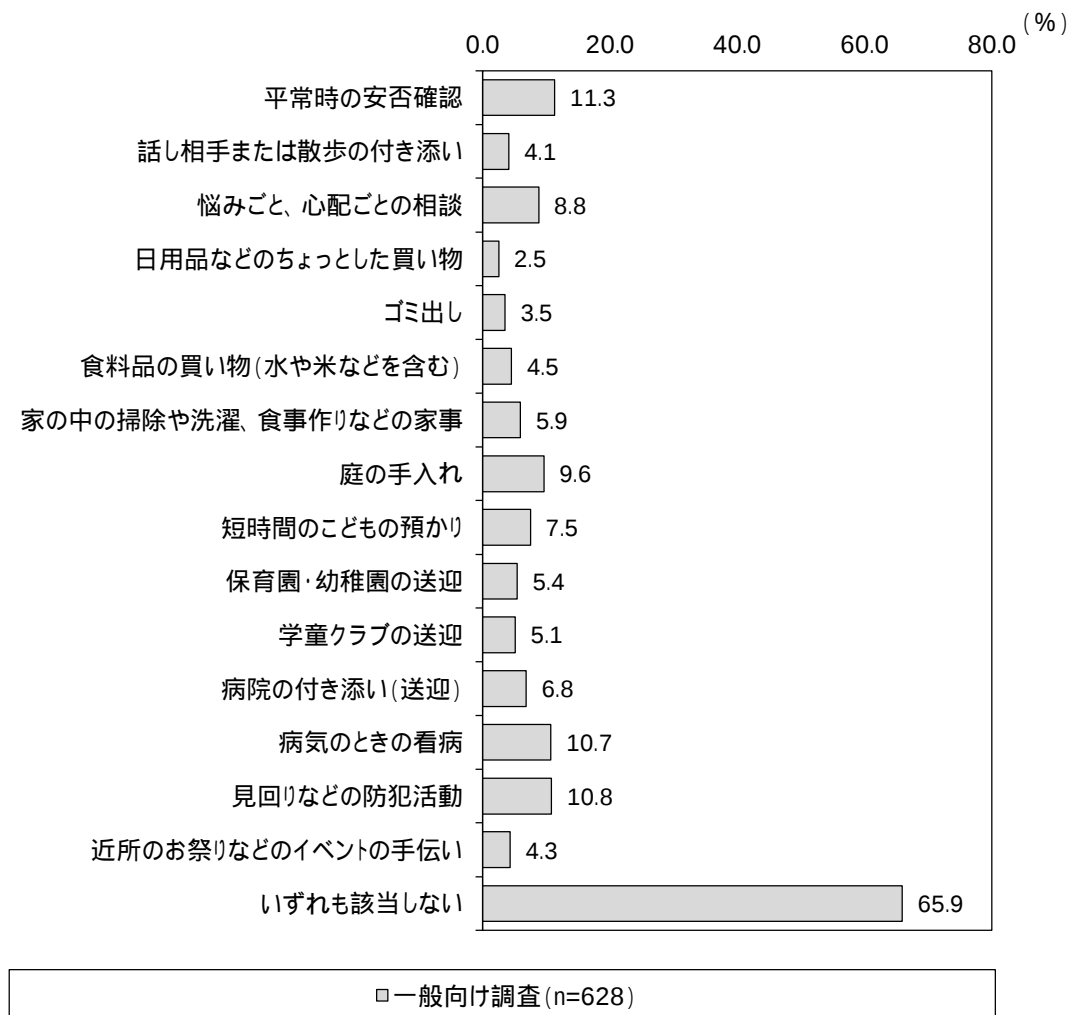
【一般向け調査】 「手助けできること」



* 「不明・無回答」の方を除いて割合を算出しているため、n数が異なる。

- 一般 の「手助けしてほしいこと」については、「 いずれも該当しない」が 65.9%で最も多く、次いで「 平常時の安否確認」が 11.3%、「 見回りなどの防犯活動」が 10.8%となっています。

【一般向け調査】 「手助けしてほしいこと」



* 「不明・無回答」の方を除いて割合を算出しているため、n数が異なる。

3 . 地域での福祉活動について

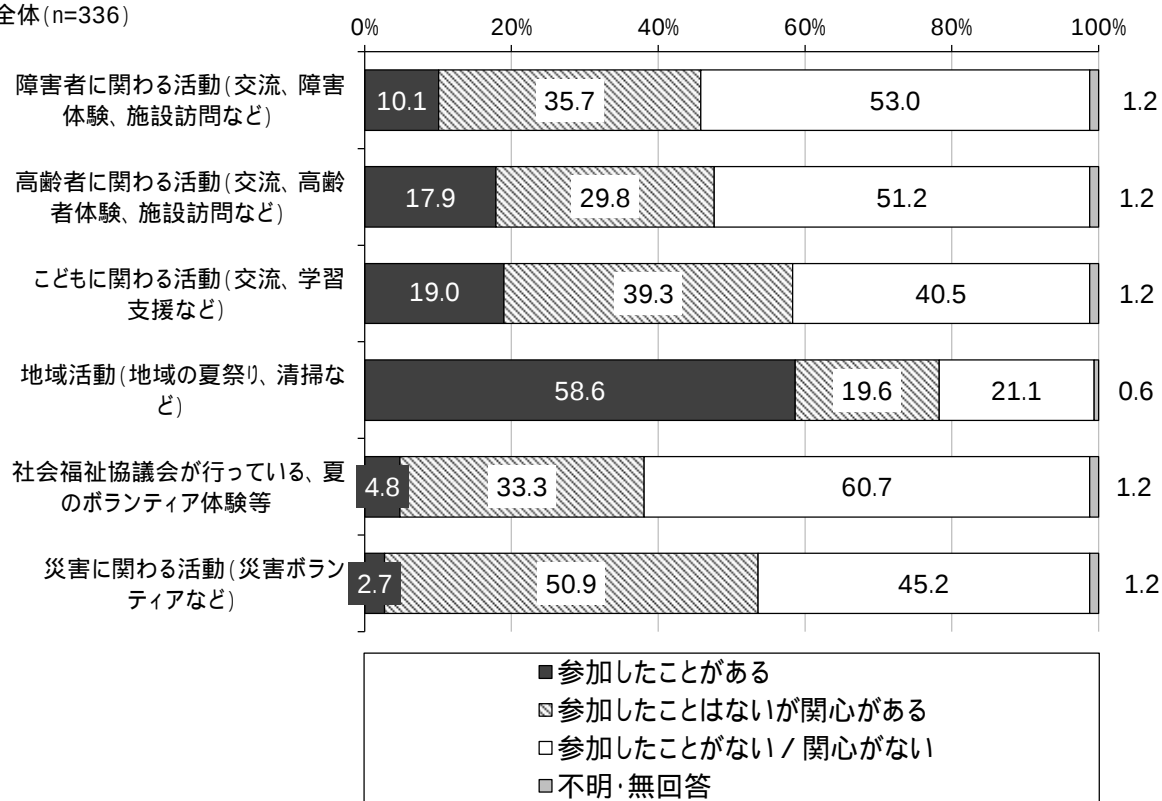
福祉・ボランティア活動について、あなたが参加したことがある活動と関心のある活動に○をつけてください。（それぞれの項目○は1つまで）

< 中高生向け調査：問5 >

- 中高生 の[地域活動(地域の夏祭り、清掃など)]については、「参加したことがある」が58.6%と6割弱の回答が見られるものの、それ以外の項目では2割未満にとどまっています。
- [災害に関わる活動(災害ボランティアなど)]については、「参加したことはないが関心がある」が50.9%と他の項目に比べて高くなっています。

【中高生向け調査】

全体(n=336)

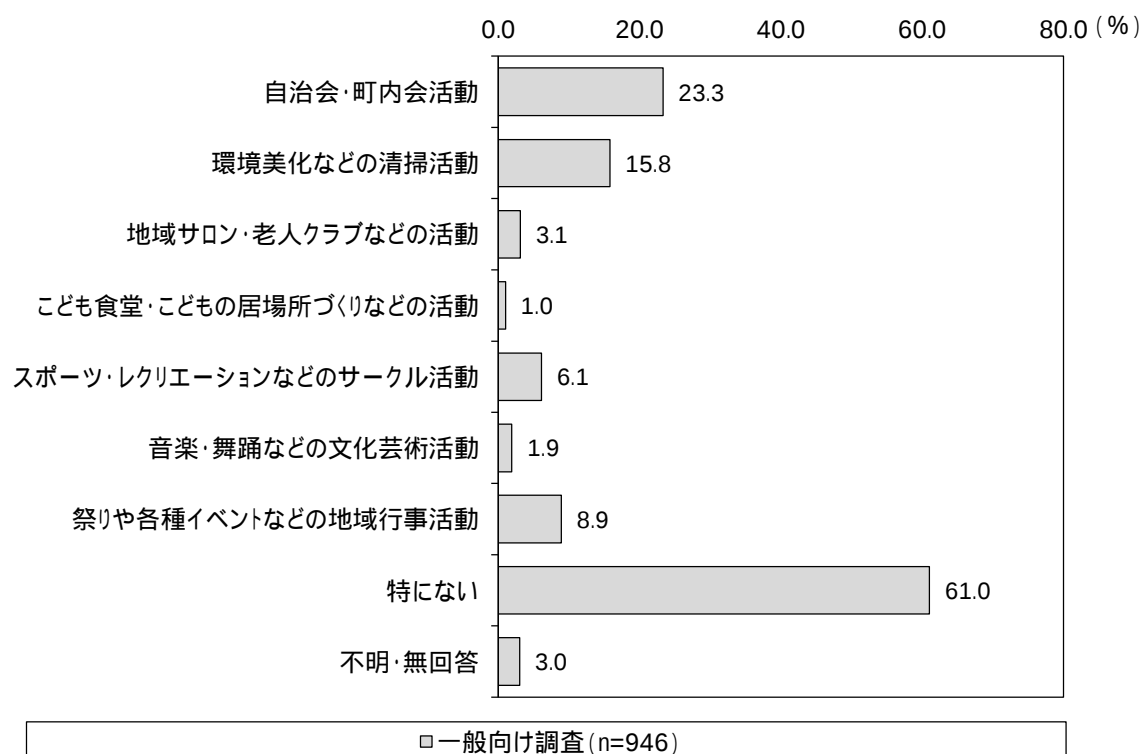


あなたは地域の自治会・町内会やボランティア団体などの活動に参加していますか。（あてはまるものすべてに○）

< 一般向け調査：問 11 >

- 一般 の地域の自治会・町内会やボランティア団体などの活動に参加しているかについては、「特にない」が 61.0%で最も多く、次いで「自治会・町内会活動」が 23.3%、「環境美化などの清掃活動」が 15.8%となっています。

【一般向け調査】



- 地区別にみると、すべての地区で「特にない」が最も多くなっています。また、「自治会・町内会活動」では、地区によって1割台半ばから3割台半ばまで、差が見られます。「環境美化などの清掃活動」は〔富岡〕で3割台半ば、「祭りや各種イベントなどの地域行事活動」で〔松井〕が約2割と、他の地区に比べて割合が高くなっています。

【地区別クロス】

単位：％	自治会・町内会活動	環境美化などの清掃活動	地域サロン・老人クラブなどの活動	場所づくりなどこども食堂などの活動	スポーツ・レクリエーションなどの活動	音楽・舞踊などの文化芸術活動	祭りや各種イベントなどの地域行事活動	特にない	不明・無回答
全体（n=946）	23.3	15.8	3.1	1.0	6.1	1.9	8.9	61.0	3.0
松井（n=62）	30.6	24.2	1.6	1.6	6.5	1.6	19.4	46.8	3.2
富岡（n=46）	34.8	34.8	2.2	4.3	6.5	2.2	15.2	41.3	4.3
小手指（n=100）	21.0	11.0	4.0	1.0	4.0	3.0	7.0	64.0	2.0
山口（n=81）	33.3	22.2	4.9	0.0	8.6	2.5	6.2	41.3	4.3
吾妻（n=58）	32.8	20.7	6.9	1.7	6.9	3.4	12.1	64.0	2.0
柳瀬（n=74）	20.3	20.3	6.8	1.4	9.5	6.8	6.8	56.8	0.0
三ヶ島（n=80）	25.0	13.8	1.3	0.0	10.0	0.0	6.3	53.4	3.4
新所沢（n=134）	14.2	8.2	3.0	0.7	5.2	0.0	7.5	56.8	0.0
新所沢東（n=55）	29.1	14.5	1.8	0.0	5.5	1.8	14.5	53.4	3.4
所沢（n=182）	15.4	9.9	1.6	1.1	3.3	1.6	7.1	60.8	4.1
並木（n=56）	25.0	17.9	1.8	0.0	5.4	0.0	5.4	56.3	3.8

- 年代別にみると、すべての年代で「特にない」が最も多く、特に19歳～29歳で約9割、30歳～39歳、50歳～59歳で7割と高くなっています。また、「自治会・町内会活動」は60歳～69歳で3割台半ば、「環境美化などの清掃活動」は60歳以上で2割台半ばと、他の年代に比べて割合が高くなっています。

【年代別クロス】

単位：％	自治会・町内会活動	環境美化などの清掃活動	地域サロン・老人クラブなどの活動	場所づくりなどこども食堂などの活動	スポーツ・レクリエーションなどの活動	音楽・舞踊などの文化芸術活動	祭りや各種イベントなどの地域行事活動	特にない	不明・無回答
全体（n=946）	23.3	15.8	3.1	1.0	6.1	1.9	8.9	61.0	3.0
19歳～29歳（n=100）	1.0	4.0	0.0	1.0	0.0	0.0	6.0	88.0	2.0
30歳～39歳（n=140）	20.0	5.7	1.4	1.4	1.4	0.7	5.7	70.0	0.7
40歳～49歳（n=175）	24.0	12.6	0.6	1.1	2.9	1.1	15.4	62.3	0.0
50歳～59歳（n=140）	27.1	10.7	1.4	0.0	3.6	2.1	5.7	70.0	0.7
60歳～69歳（n=168）	35.7	25.0	2.4	1.2	9.5	3.6	10.1	62.3	0.0
70歳以上（n=207）	22.2	26.6	9.7	1.0	14.0	2.9	7.7	67.9	0.7

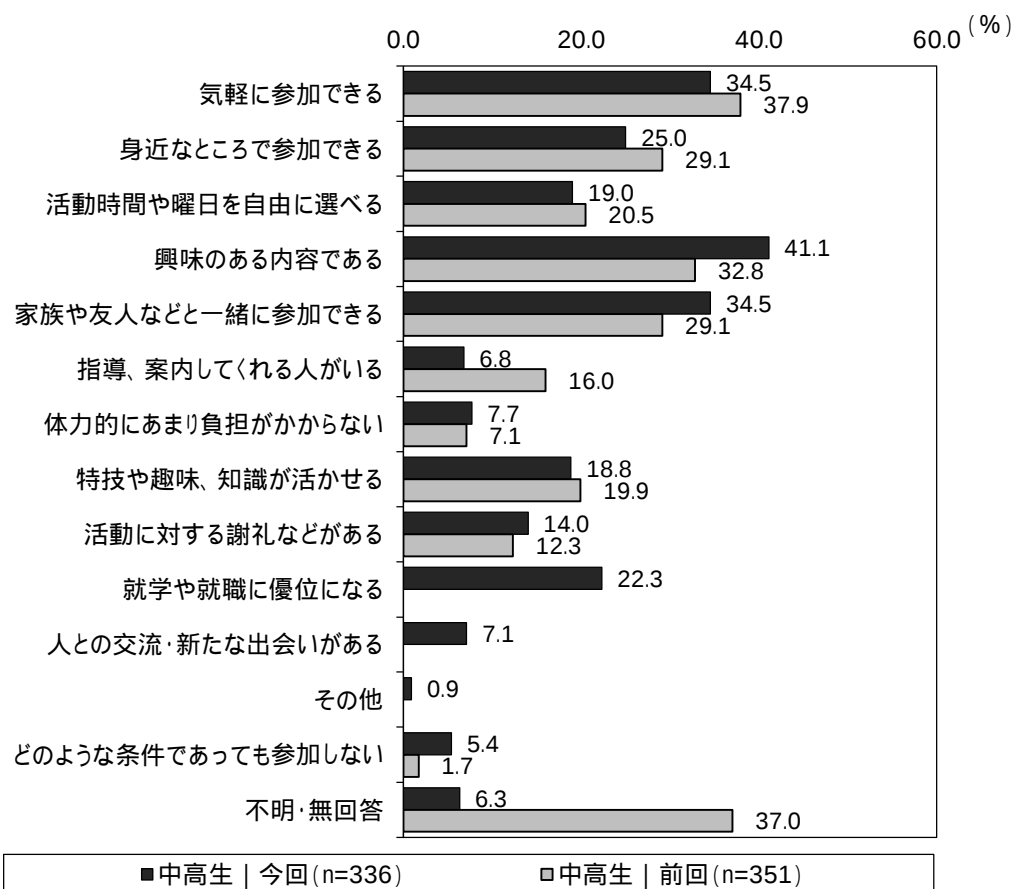
福祉・ボランティアに参加したことのある方は、どのような条件であれば、今後も参加したいと思いますか。また、参加したことのない方は、どのような条件であれば参加したいと思いますか。

(○は3つまで)

< 中高生向け調査：問 6 >

- 中高生 のボランティアへの参加条件について、「興味のある内容である」が 41.1%と最も高く、次いで「気軽に参加できる」と「家族や友人などと一緒に参加できる」が 34.5%となっています。
- 前回調査と比較すると、「興味のある内容である」が 8.3 ポイント増加、「家族や友人などと一緒に参加できる」が 5.4 ポイント増加、「指導、案内してくれる人がある」が 9.2 ポイント減少しています。

【中高生向け調査】



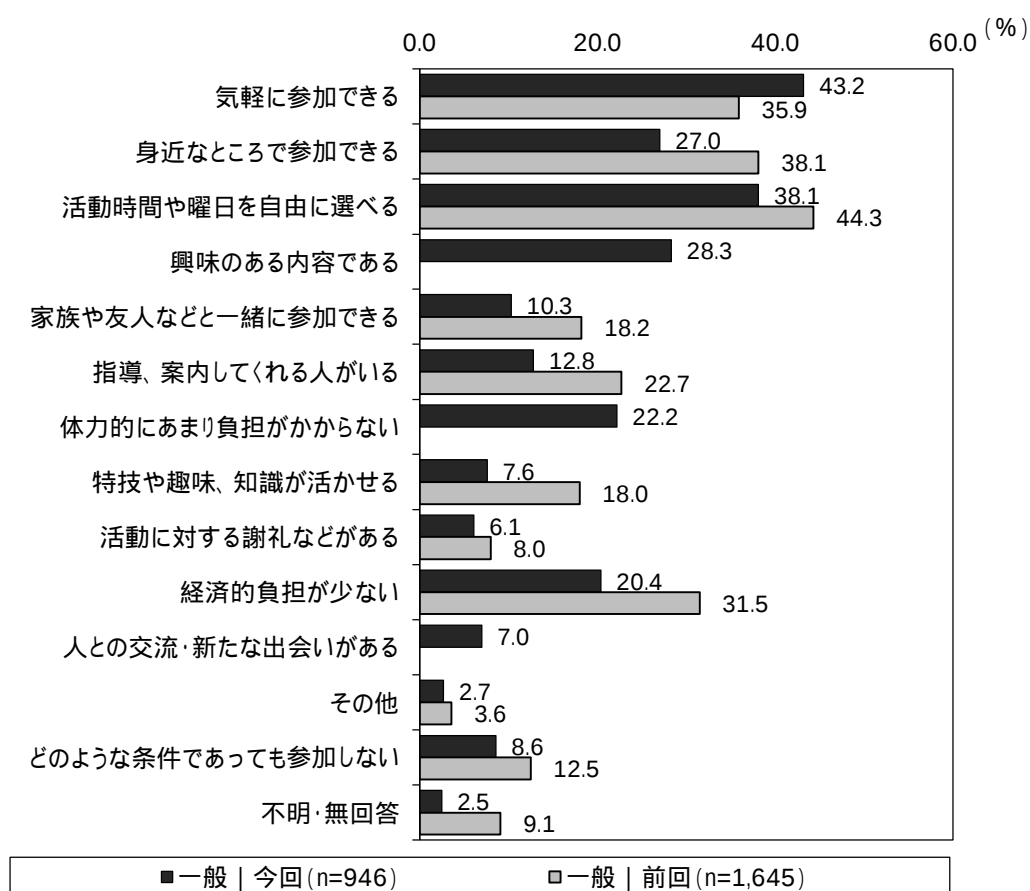
* 「就学や就職に優位になる」、「人との交流・新たな出会いがある」と「その他」は今回調査のみの選択肢。

福祉・ボランティア活動への参加を継続するには、どのような条件が必要だと思いますか。また、参加したことのない方は、どのような条件であれば参加したいと思いますか。（○は3つまで）

< 一般向け調査：問 12 >

- 一般 のボランティアへの参加条件について、「気軽に参加できる」が43.2%で最も高く、次いで「活動時間や曜日を自由を選べる」が38.1%、「興味のある内容である」が28.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、「気軽に参加できる」が7.3ポイント増加、「身近なところで参加できる」が11.1ポイント減少、「活動時間や曜日を自由を選べる」が6.2ポイント減少、「家族や友人などと一緒に参加できる」が7.9ポイント減少、「指導、案内してくれる人がある」が9.9ポイント減少、「特技や趣味、知識が活かせる」が10.4ポイント減少、「経済的負担が少ない」が11.1ポイント減少しています。

【一般向け調査】



* 「興味のある内容である」、「体力的にあまり負担がかからない」と「人との交流・新たな出会いがある」は今回調査のみの選択肢。

* 「指導、案内してくれる人がある」は、前回調査では「適切な指導者やリーダーがいる」。

- 地区別にみると、多くの地区で「気軽に参加できる」が最も多くなっていますが、[松井]と[山口]では「活動時間や曜日を自由に選べる」が最も多くなっています。

【地区別クロス】

単位：％	気軽に参加できる	身近なところで参加できる	活動時間や曜日を自由に選べる	興味のある内容である	家族や友人などと一緒に参加できる	が指導、案内してくれる人がいる	体力的にあまり負担がかからない	特技や趣味、知識が活かせる	活動に対する謝礼などがある	経済的負担が少ない	人との交流・新たな出会いがある	その他	どのような条件であつても参加しない	不明・無回答
全体 (n=946)	43.2	27.0	38.1	28.3	10.3	12.8	22.2	7.6	6.1	20.4	7.0	2.7	8.6	2.5
松井 (n=62)	40.3	38.7	40.3	25.8	12.9	17.7	16.1	4.8	4.8	19.4	6.5	1.6	8.1	4.8
富岡 (n=46)	41.3	23.9	34.8	39.1	6.5	15.2	17.4	8.7	8.7	8.7	6.5	2.2	13.0	2.2
小手指 (n=100)	46.0	30.0	36.0	34.0	13.0	13.0	17.0	8.0	8.0	22.0	6.0	5.0	2.0	2.0
山口 (n=81)	38.3	24.7	51.9	27.2	6.2	8.6	21.0	8.7	8.7	8.7	6.5	2.2	13.0	2.2
吾妻 (n=58)	50.0	24.1	25.9	43.1	10.3	19.0	25.9	8.0	8.0	22.0	6.0	5.0	2.0	2.0
柳瀬 (n=74)	41.9	32.4	35.1	29.7	8.1	12.2	21.6	6.2	8.6	22.2	3.7	4.9	11.1	0.0
三ヶ島 (n=80)	43.8	30.0	41.3	25.0	10.0	13.8	25.0	12.1	5.2	27.6	8.6	3.4	6.9	1.7
新所沢 (n=134)	48.5	20.9	37.3	23.9	12.7	11.9	26.1	6.2	8.6	22.2	3.7	4.9	11.1	0.0
新所沢東 (n=55)	38.2	36.4	36.4	25.5	5.5	14.5	18.2	12.1	5.2	27.6	8.6	3.4	6.9	1.7
所沢 (n=182)	39.0	21.4	36.8	27.5	12.6	11.0	25.8	8.1	5.4	20.3	6.8	1.4	8.1	2.7
並木 (n=56)	48.2	28.6	39.3	19.6	8.9	10.7	16.1	12.5	5.0	16.3	5.0	2.5	10.0	5.0

- 年代別にみると、[30～40 歳代]で「活動時間や曜日を自由に選べる」、それ以外の年代で「気軽に参加できる」が最も多くなっています。また、[19 歳～29 歳]で「興味のある内容である」が4 割台前半、[70 歳以上]で「体力的にあまり負担がかからない」が3 割台前半と他の年代に比べて割合が高くなっています。

【年代別クロス】

単位：％	気軽に参加できる	身近なところで参加できる	活動時間や曜日を自由に選べる	興味のある内容である	家族や友人などと一緒に参加できる	が指導、案内してくれる人がいる	体力的にあまり負担がかからない	特技や趣味、知識が活かせる	活動に対する謝礼などがある	経済的負担が少ない	人との交流・新たな出会いがある	その他	どのような条件であつても参加しない	不明・無回答
全体 (n=946)	43.2	27.0	38.1	28.3	10.3	12.8	22.2	7.6	6.1	20.4	7.0	2.7	8.6	2.5
19歳～29歳 (n=100)	46.0	19.0	27.0	43.0	14.0	10.0	11.0	11.0	13.0	29.0	8.0	1.0	8.0	1.0
30歳～39歳 (n=140)	36.4	20.0	42.1	28.6	19.3	8.6	20.0	5.0	12.9	26.4	2.9	5.7	7.9	0.7
40歳～49歳 (n=175)	37.7	23.4	46.9	28.6	11.4	16.6	18.9	6.3	5.1	21.1	5.7	2.9	11.4	0.0
50歳～59歳 (n=140)	45.0	26.4	42.1	25.7	10.7	12.9	17.1	5.0	12.9	26.4	2.9	5.7	7.9	0.7
60歳～69歳 (n=168)	51.2	38.1	38.7	25.0	7.1	17.3	24.4	6.3	5.1	21.1	5.7	2.9	11.4	0.0
70歳以上 (n=207)	43.0	29.5	30.0	25.6	4.3	10.1	32.9	6.4	6.4	22.9	2.9	1.4	12.9	0.0

- 職業別にみると、[会社員・会社役員] [契約社員・派遣社員] と「自由業・フリーランス・家族従業」で「活動時間や曜日を自由に選べる」、それ以外の職業で「気軽に参加できる」が最も多くなっています。また、[学生] で「興味のある内容である」が4割台後半、[無職] で「体力的にあまり負担がかからない」が3割台半ばと他の職業に比べて割合が高くなっています。
- 一方、[契約社員・派遣社員] と「自由業・フリーランス・家族従業」では「どのような条件であっても参加しない」が約2割と、他の職業に比べて割合が高くなっています。

【職業別クロス】

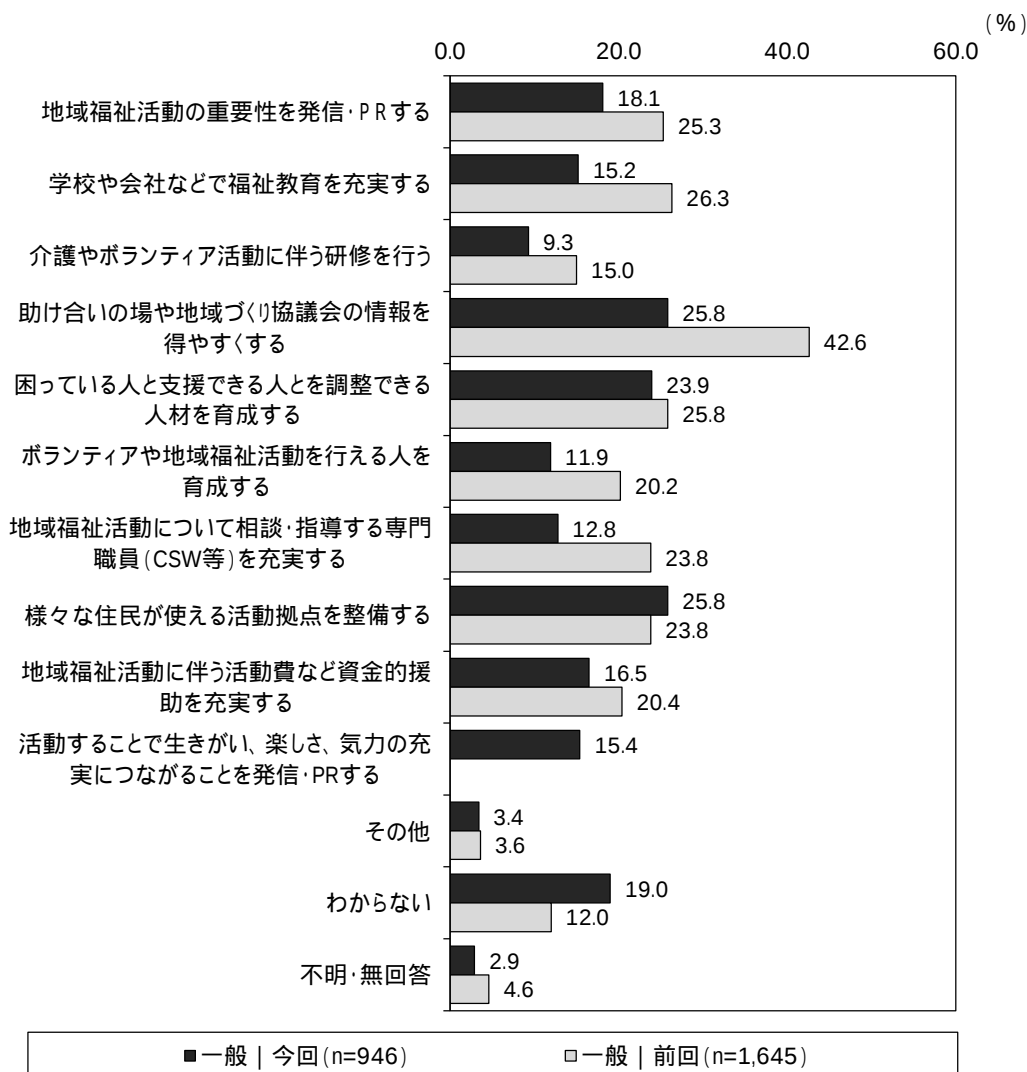
単位：％	気軽に参加できる	身近なところで参加できる	活動時間や曜日を自由に選べる	興味のある内容である	家族や友人などと一緒に参加できる	が指導、案内してくれる人がいる	体力的にあまり負担がかからない	特技や趣味、知識が活かせる	活動に対する謝礼などがある	経済的負担が少ない	人との交流・新たな出会いがある	その他	どのような条件であっても参加しない	不明・無回答
全体 (n=946)	43.2	27.0	38.1	28.3	10.3	12.8	22.2	7.6	6.1	20.4	7.0	2.7	8.6	2.5
会社員・会社役員 (n=293)	43.0	24.2	44.0	28.0	10.2	14.0	17.4	6.5	7.2	21.2	4.1	1.7	9.9	0.3
契約社員・派遣社員 (n=39)	38.5	23.1	41.0	23.1	7.7	5.1	20.5	7.7	10.3	23.1	7.7	2.6	20.5	2.6
パート・アルバイト (n=162)	40.7	26.5	35.8	28.4	11.7	16.7	19.1	8.0	4.3	25.3	5.6	3.1	8.0	2.5
自営業・フリーランス・家族従業 (n=57)	29.8	26.3	47.4	26.3	14.0	14.0	26.3	7.7	10.3	23.1	7.7	2.6	20.5	2.6
公務員 (n=55)	56.4	29.1	38.2	21.8	14.5	7.3	18.2	8.0	4.3	25.3	5.6	3.1	8.0	2.5
専業主婦・専業主夫 (n=128)	43.0	32.0	37.5	35.2	12.5	10.2	27.3	8.8	10.5	24.6	7.0	3.5	3.5	3.5
学生 (n=29)	58.6	31.0	24.1	48.3	17.2	13.8	0.0	3.6	7.3	23.6	7.3	9.1	3.6	0.0
無職 (n=147)	42.2	27.2	26.5	25.9	4.1	13.6	35.4	8.8	10.5	24.6	7.0	3.5	3.5	3.5
その他 (n=18)	61.1	33.3	44.4	16.7	11.1	0.0	11.1	3.6	7.3	23.6	7.3	9.1	3.6	0.0

あなたは、地域における助け合いや支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが大切だと思いますか。（〇は3つまで）

< 一般向け調査：問 13 >

- 一般 の地域における助け合いや支え合い活動を活発にするために大切なことについて、「助け合いの場や地域づくり協議会の情報を得やすくする」と「様々な住民が使える活動拠点を整備する」が25.8%で最も高く、次いで「困っている人と支援できる人とを調整できる人材を育成する」が23.9%となっています。
- 前回調査と比較すると、「地域福祉活動の重要性を発信・PRする」が7.2ポイント減少、「学校や会社などで福祉教育を充実する」が11.1ポイント減少、「介護やボランティア活動に伴う研修を行う」が5.7ポイント減少、「助け合いの場や地域づくり協議会の情報を得やすくする」が16.8ポイント減少、「ボランティアや地域福祉活動を行える人を育成する」が8.3ポイント減少、「地域福祉活動について相談・指導する専門職員（CSW等）を充実する」が11.0ポイント減少、「わからない」が7.0ポイント増加しています。

【一般向け調査】



* 「活動することで生きがい、楽しさ、気力の充実につながることを発信・PRする」は今回調査のみの選択肢。

- 地区別クロス】

性・年代別にみると、

- 【性・年代別クロス】

38

- 職業別にみると、多くの職業で「助け合いの場や地域づくり協議会の情報を得やすくする」、「困っている人と支援できる人とを調整できる人材を育成する」と「様々な住民が使える活動拠点を整備する」が多くなっています。また、[公務員]と[学生]で「学校や会社などで福祉教育を充実する」が2割台後半と、他の職業に比べて割合が高くなっています。

【職業別クロス】

単位：％	地域福祉活動の重要性を発信・PRする	学校や会社などで福祉教育を充実する	介護やボランティア活動に際して研修を行う	助け合いの場や地域づくり協議会の情報を得やすくする	困っている人と支援できる人材を育成する	活動を行っている人や地域福祉を育成する	地域福祉活動について相談・指導する専門職員（CSW等）を充実する	様々な住民が使える活動拠点を整備する	地域福祉活動に伴う活動費など資金的援助を充実する	活動することでの生きがい、楽しさ、気力の充実を発信・PRする	その他	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	18.1	15.2	9.3	25.8	23.9	11.9	12.8	25.8	16.5	15.4	3.4	19.0	2.9
会社員・会社役員（n=293）	16.7	17.1	7.8	22.2	27.0	11.6	13.3	24.9	17.7	9.9	4.1	21.2	0.3
契約社員・派遣社員（n=39）	15.4	15.4	7.7	25.6	28.2	7.7	17.9	23.1	20.5	17.9	5.1	17.9	2.6
パート・アルバイト（n=162）	19.1	14.8	8.6	22.8	24.7	10.5	12.3	27.2	18.5	18.5	3.1	17.3	3.1
自営業・フリーランス・家族従業（n=57）	17.5	7.0	12.3	26.3	31.6	10.5	8.8	23.1	20.5	17.9	5.1	17.9	2.6
公務員（n=55）	21.8	27.3	3.6	21.8	21.8	12.7	5.5	27.2	18.5	18.5	3.1	17.3	3.1
専業主婦・専業主夫（n=128）	13.3	16.4	14.8	30.5	21.1	11.7	15.6	24.6	12.3	17.5	8.8	15.8	1.8
学生（n=29）	17.2	27.6	3.4	34.5	13.8	17.2	6.9	21.8	23.6	18.2	7.3	14.5	0.0
無職（n=147）	23.1	8.8	9.5	31.3	19.7	13.6	13.6	24.6	12.3	17.5	8.8	15.8	1.8
その他（n=18）	22.2	16.7	11.1	33.3	16.7	5.6	16.7	21.8	23.6	18.2	7.3	14.5	0.0

- 家族構成別にみると、[単独世帯]と[三世代世帯]で「助け合いの場や地域づくり協議会の情報を得やすくする」、それ以外の家族構成で「様々な住民が使える活動拠点を整備する」が最も多くなっています。また、[ひとり親と子のみ世帯]で「地域福祉活動の重要性を発信・PRする」が2割台後半と、他の家族構成に比べて割合が高くなっています。

【家族構成別クロス】

単位：％	地域福祉活動の重要性を発信・PRする	学校や会社などで福祉教育を充実する	介護やボランティア活動に際して研修を行う	助け合いの場や地域づくり協議会の情報を得やすくする	困っている人と支援できる人材を育成する	活動を行っている人や地域福祉を育成する	地域福祉活動について相談・指導する専門職員（CSW等）を充実する	様々な住民が使える活動拠点を整備する	地域福祉活動に伴う活動費など資金的援助を充実する	活動することでの生きがい、楽しさ、気力の充実を発信・PRする	その他	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	18.1	15.2	9.3	25.8	23.9	11.9	12.8	25.8	16.5	15.4	3.4	19.0	2.9
単独世帯（n=145）	20.7	13.1	9.0	24.1	22.8	8.3	13.1	17.9	15.2	17.9	6.9	22.1	3.4
夫婦のみ世帯（n=267）	17.6	10.5	13.9	27.0	19.5	15.4	14.6	28.8	15.4	16.1	1.9	16.1	4.9
夫婦と子のみ世帯（n=362）	17.1	21.0	6.4	24.6	26.0	11.6	11.6	26.8	19.6	13.3	3.6	18.0	1.4
ひとり親と子のみ世帯（n=46）	28.3	19.6	6.5	26.1	28.3	4.3	4.3	28.8	15.4	16.1	1.9	16.1	4.9
三世代世帯（n=44）	15.9	18.2	6.8	31.8	25.0	13.6	18.2	26.8	19.6	13.3	3.6	18.0	1.4
その他（n=67）	14.9	6.0	9.0	28.4	29.9	9.0	13.4	19.6	10.9	13.0	2.2	32.6	0.0

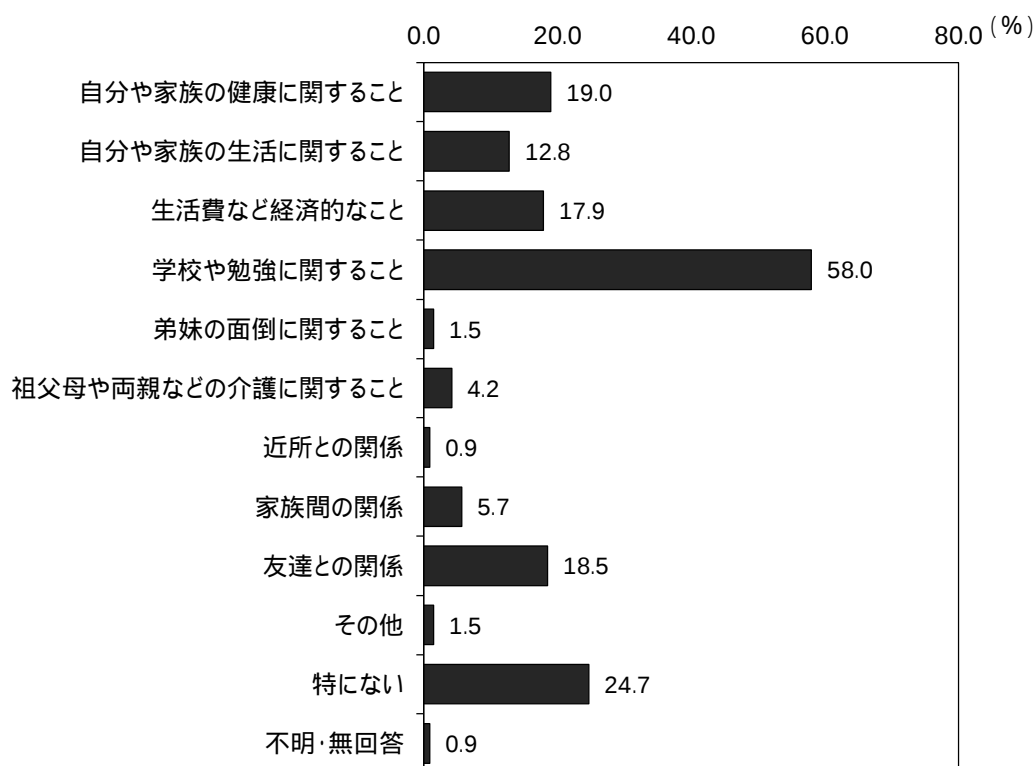
4 . 悩みや不安、相談について

あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか。（〇は3つまで）

< 中高生向け調査：問7、一般向け調査：問14 >

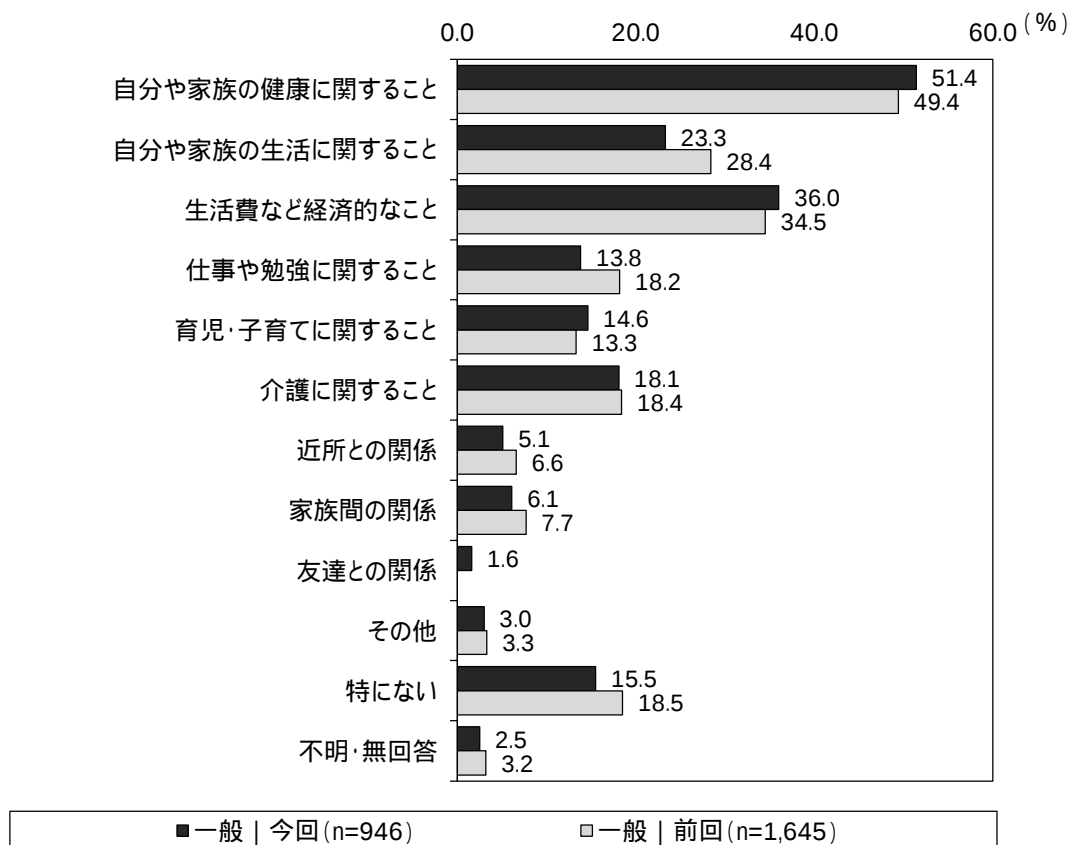
- 中高生 では、「学校や勉強に関すること」が58.0%で最も多く、次いで「特にない」が24.7%、「自分や家族の健康に関すること」が19.0%となっています。
- 一般 では、「自分や家族の健康に関すること」が51.4%で最も多く、次いで「生活費など経済的なこと」が36.0%、「自分や家族の生活に関すること」が23.3%となっています。前回調査と比較すると、「自分や家族の生活に関すること」が5.1ポイント減少しています。

【中高生向け調査】



■ 中高生向け調査 (n=336)

【一般向け調査】



* 「友達との関係」は今回調査のみの選択肢。

- 年代別にみると、[19 歳～39 歳] で「生活費など経済的なこと」、それ以外の年代で「自分や家族の健康に関すること」が最も多くなっています。また、[19 歳～29 歳] で「仕事や勉強に関すること」が3割台後半、[30～40 歳代] で「育児・子育てに関すること」が3～4割台、[50 歳以上] で「介護に関すること」が2割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

【年代別クロス】

単位：%	自分や家族の健康に関すること	自分や家族の生活に関すること	生活費など経済的なこと	仕事や勉強に関すること	育児・子育てに関すること	介護に関すること	近所との関係	家族間の関係	友達との関係	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=946)	51.4	23.3	36.0	13.8	14.6	18.1	5.1	6.1	1.6	3.0	15.5	2.5
19歳～29歳 (n=100)	36.0	30.0	52.0	37.0	12.0	5.0	2.0	4.0	8.0	2.0	9.0	1.0
30歳～39歳 (n=140)	37.9	24.3	45.7	23.6	40.0	7.9	2.9	1.4	0.0	0.0	12.1	2.1
40歳～49歳 (n=175)	45.1	25.1	42.3	20.6	30.9	13.7	5.1	6.3	0.6	1.1	16.0	0.6
50歳～59歳 (n=140)	55.7	25.7	36.4	12.1	9.3	27.9	5.0	1.4	0.0	0.0	12.1	2.1
60歳～69歳 (n=168)	64.9	20.2	30.4	3.6	0.6	25.0	7.1	6.3	0.6	1.1	16.0	0.6
70歳以上 (n=207)	60.9	18.8	20.3	0.5	0.0	23.2	5.3	6.4	2.1	4.3	13.6	1.4

- 年収別にみると、すべての年収で「自分や家族の生活に関すること」が最も多くなっています。また、年収が下がるにつれて、「生活費など経済的なこと」の割合が高くなる傾向があります。[600 万円以上] では、「育児・子育てに関すること」が 2 割台と、他の年収に比べて割合が高くなっています。

【年収別クロス】

単位：%	自分や家族の健康に関すること	自分や家族の生活に関すること	生活費など経済的なこと	仕事や勉強に関すること	育児・子育てに関すること	介護に関すること	近所との関係	家族間の関係	友達との関係	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=946)	51.4	23.3	36.0	13.8	14.6	18.1	5.1	6.1	1.6	3.0	15.5	2.5
300万円未満 (n=190)	52.6	20.0	42.6	8.4	3.7	20.0	4.2	6.8	1.1	1.6	15.3	3.7
300～600万円未満 (n=321)	59.5	27.1	39.9	11.8	11.8	19.3	4.7	5.0	1.9	4.0	14.0	2.8
600～1000万円未満 (n=228)	47.8	20.6	32.5	15.4	24.1	17.1	5.7	7.0	0.9	2.2	16.7	2.2
1000万円以上 (n=112)	37.5	23.2	15.2	21.4	29.5	17.0	4.5	5.0	1.9	4.0	14.0	2.8
わからない (n=70)	51.4	27.1	40.0	21.4	4.3	11.4	4.3	7.0	0.9	2.2	16.7	2.2

- 家族構成別にみると、[ひとり親と子のみ世帯] で「生活費など経済的なこと」、それ以外の家族構成で「自分や家族の健康に関すること」が最も多くなっています。[夫婦と子のみ世帯] では、「育児・子育てに関すること」が 3 割前半と、他の家族構成に比べて割合が高くなっています。

【家族構成別クロス】

単位：%	自分や家族の健康に関すること	自分や家族の生活に関すること	生活費など経済的なこと	仕事や勉強に関すること	育児・子育てに関すること	介護に関すること	近所との関係	家族間の関係	友達との関係	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=946)	51.4	23.3	36.0	13.8	14.6	18.1	5.1	6.1	1.6	3.0	15.5	2.5
単独世帯 (n=145)	54.5	22.1	43.4	15.9	1.4	14.5	3.4	7.6	2.1	4.1	15.2	0.7
夫婦のみ世帯 (n=267)	62.2	20.2	27.7	5.6	4.9	21.0	6.7	6.0	0.4	4.1	16.1	4.1
夫婦と子のみ世帯 (n=362)	43.1	25.1	35.9	18.5	31.2	15.5	5.2	5.2	1.9	2.2	14.9	2.2
ひとり親と子のみ世帯 (n=46)	50.0	34.8	52.2	17.4	2.2	19.6	4.3	6.0	0.4	4.1	16.1	4.1
三世代世帯 (n=44)	40.9	15.9	29.5	20.5	15.9	25.0	0.0	5.2	1.9	2.2	14.9	2.2
その他 (n=67)	58.2	25.4	44.8	11.9	0.0	23.9	1.5	4.3	2.2	2.2	10.9	0.0

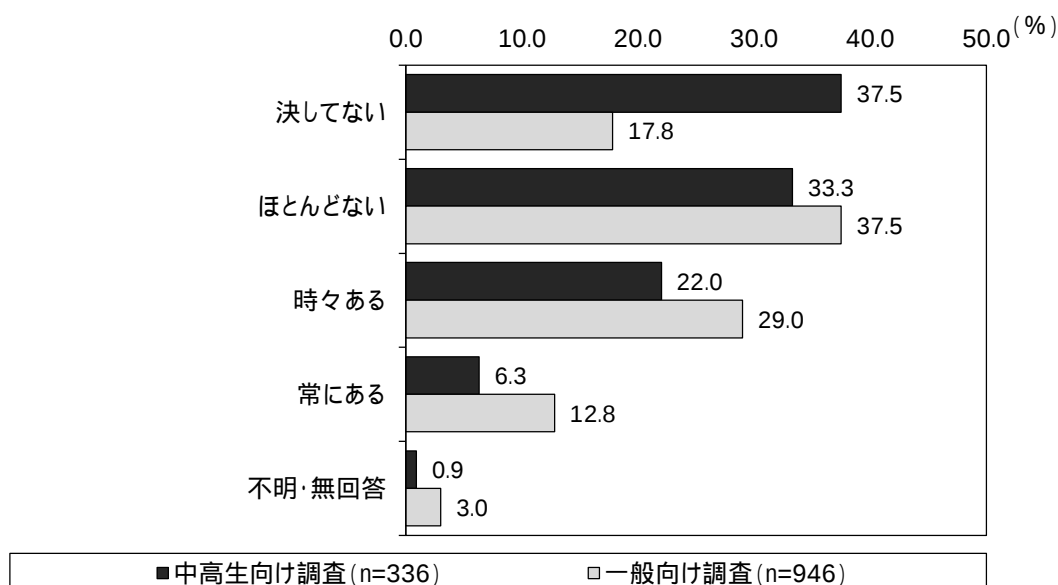
あなたは、次の項目について、どれくらいの頻度で感じていますか。（それぞれ○は1つまで）

< 中学生向け調査：問 8、一般向け調査：問 15 >

- [ア . 自分には人とのつきあいが無いと感じることがある] について、 中学生 では「決してない」が 37.5%で最も多いものの、 一般 では「ほとんどない」が 37.5%と最も多く、「時々ある」が 29.0%、「常にある」が 12.8%と、 中学生 と比較して5ポイント以上高くなっています。

【中学生向け調査】

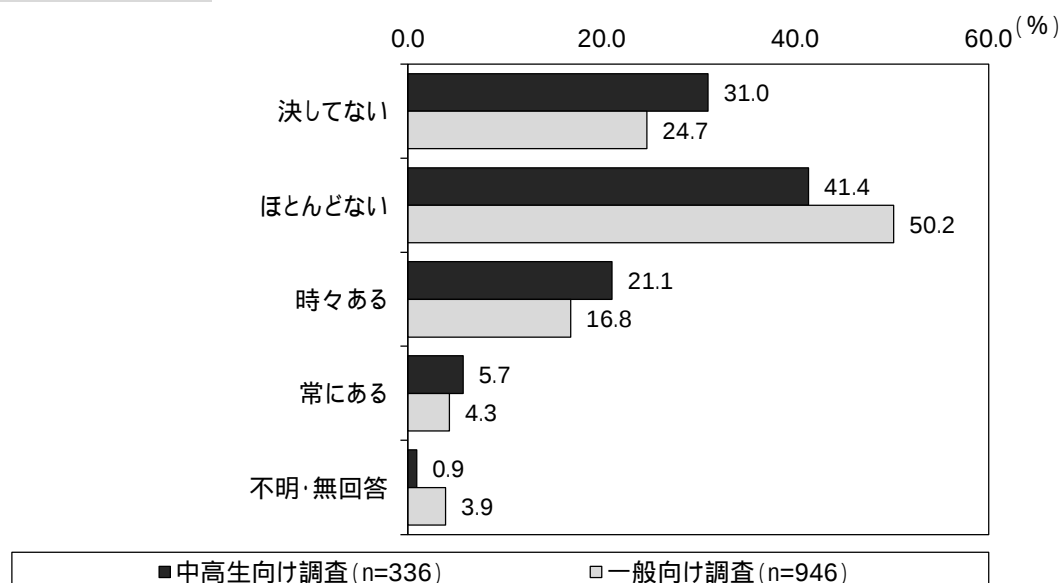
【一般向け調査】



- [イ . 自分は取り残されていると感じることがある] について、 中学生 、 一般 とともに「ほとんどない」が最も多くなっています。

【中学生向け調査】

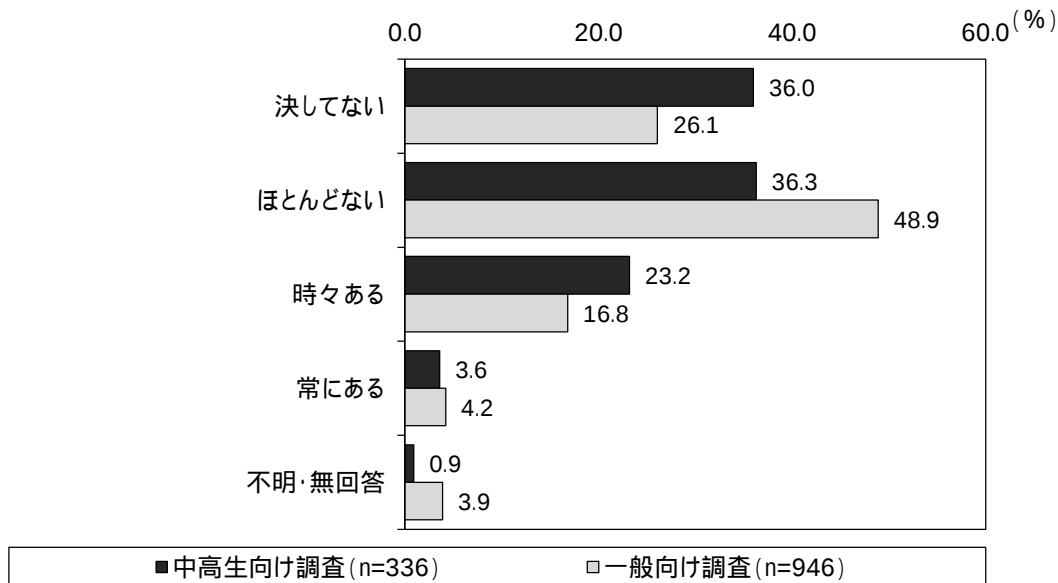
【一般向け調査】



- [ウ．自分は他の人たちから孤立していると感じることがある]について、 中高生 、 一般 ともに「ほとんどない」が最も多くなっています。また、 中高生 では「決してない」が36.0%、「時々ある」が23.2%と、 一般 と比較して5ポイント以上高くなっています。

【中高生向け調査】

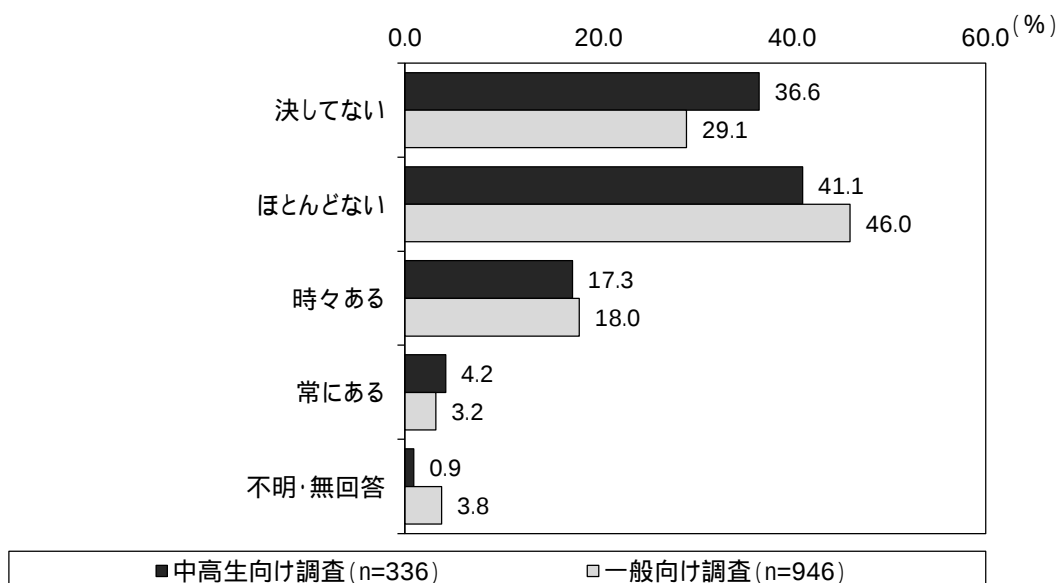
【一般向け調査】



- [エ．自分は孤独であると感じることがある]について、 中高生 、 一般 ともに「ほとんどない」が4割台で最も多くなっています。
- 一方、「時々ある」に2割弱、「常にある」に3～4%程度の回答があり、直接的な孤独感を感じている層が2割程度いることがうかがえます。

【中高生向け調査】

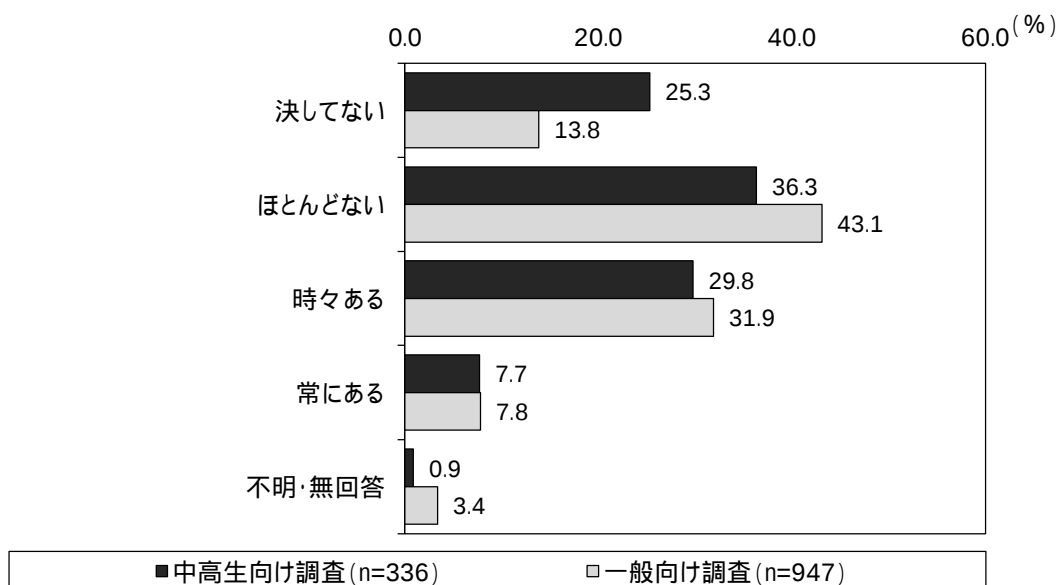
【一般向け調査】



孤独感尺度（ア～ウの合計）

孤独感尺度は、ア～ウ（人とのつきあいがない・取り残されている・孤立している）について、「常にある」を4点、「時々ある」を3点、「ほとんどない」を2点、「決してない」を1点として、合計数値を算出する。合計スコアが高いほど、孤独感が高いとされている。

- [孤独感尺度]について、中高生、一般ともに「ほとんどない」が最も多いものの、次いで「時々ある」が3割前後と高い数値となっています。
- また、「常にある」も8%程度見られます。



* 10～12点を「常にある」、7～9点を「時々ある」、4～6点を「ほとんどない」、3点を「決してない」として算出。

- 在住期間別にみると、すべての在住期間で「ほとんどない」が最も多くなっています。[5～10年未満]は「時々ある」も最多です。また、[1年未満]で「常にある」が1割台半ばと、他の在住期間に比べて割合が高くなっています。

【在住期間別クロス】

単位：%	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある	不明・無回答
全体 (n=946)	13.8	43.1	31.9	7.8	3.3
1年未満 (n=12)	0.0	58.3	25.0	16.7	0.0
1～5年未満 (n=69)	20.3	43.5	29.0	2.9	4.3
5～10年未満 (n=64)	15.6	37.5	37.5	7.8	1.6
10～15年未満 (n=76)	15.8	38.2	34.2	10.5	1.3
15～20年未満 (n=79)	17.7	39.2	26.6	13.9	2.5
20～40年未満 (n=352)	14.2	45.5	30.1	8.5	1.7
40年以上 (n=279)	11.1	43.0	34.8	5.4	5.7

- 性・年代別にみると、多くの性・年代で「ほとんどない」が最も多くなっています。また、[60 歳～69 歳・男性] で「時々ある」が 4 割台前半、[19 歳～29 歳・男性] と [50 歳～59 歳・男性] で「常にある」が 1 割台半ばと、他の性・年代に比べて割合が高くなっています。

【性・年代別クロス】

単位：%		決してない	ほとんどない	時々ある	常にある	不明・無回答
合計 (n=946)		13.8	43.1	31.9	7.8	3.3
男性	小計 (n=414)	12.8	42.8	31.9	9.7	2.9
	19歳～29歳 (n=45)	13.3	42.2	28.9	15.6	0.0
	30歳～39歳 (n=63)	11.1	44.4	31.7	9.5	3.2
	40歳～49歳 (n=68)	19.1	33.8	33.8	11.8	1.5
	50歳～59歳 (n=61)	8.2	47.5	26.2	16.4	1.6
	60歳～69歳 (n=67)	14.9	35.8	41.8	4.5	3.0
	70歳以上 (n=110)	10.9	49.1	29.1	5.5	5.5
女性	小計 (n=506)	15.0	43.5	32.2	5.9	3.4
	19歳～29歳 (n=54)	22.2	37.0	25.9	11.1	3.7
	30歳～39歳 (n=75)	20.0	34.7	37.3	6.7	1.3
	40歳～49歳 (n=104)	13.5	42.3	39.4	4.8	0.0
	50歳～59歳 (n=76)	23.7	26.0	26.0	5.0	1.0
	60歳～69歳 (n=101)	6.9	34.2	34.2	6.6	1.3
	70歳以上 (n=96)	10.4	48.0	33.0	6.0	7.0

- 家族構成別にみると、すべての家族構成で「ほとんどない」が最も多くなっています。[その他] は「時々ある」も最多です。また、[三世代世帯] で「決してない」が 2 割台前半、[単独世帯] [三世代世帯] と [その他] で「常にある」が 1 割台前半と、他の家族構成に比べて割合が高くなっています。

【家族構成別クロス】

単位：%	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある	不明・無回答
全体 (n=946)	13.8	43.1	31.9	7.8	3.3
単独世帯 (n=145)	10.3	40.0	34.5	13.8	1.4
夫婦のみ世帯 (n=267)	11.2	46.8	32.2	5.2	4.5
夫婦と子のみ世帯 (n=362)	16.9	42.0	32.6	5.5	3.0
ひとり親と子のみ世帯 (n=46)	17.4	43.5	30.4	8.7	0.0
三世代世帯 (n=44)	22.7	50.0	11.4	11.4	4.5
その他 (n=67)	10.4	35.8	35.8	14.9	3.0

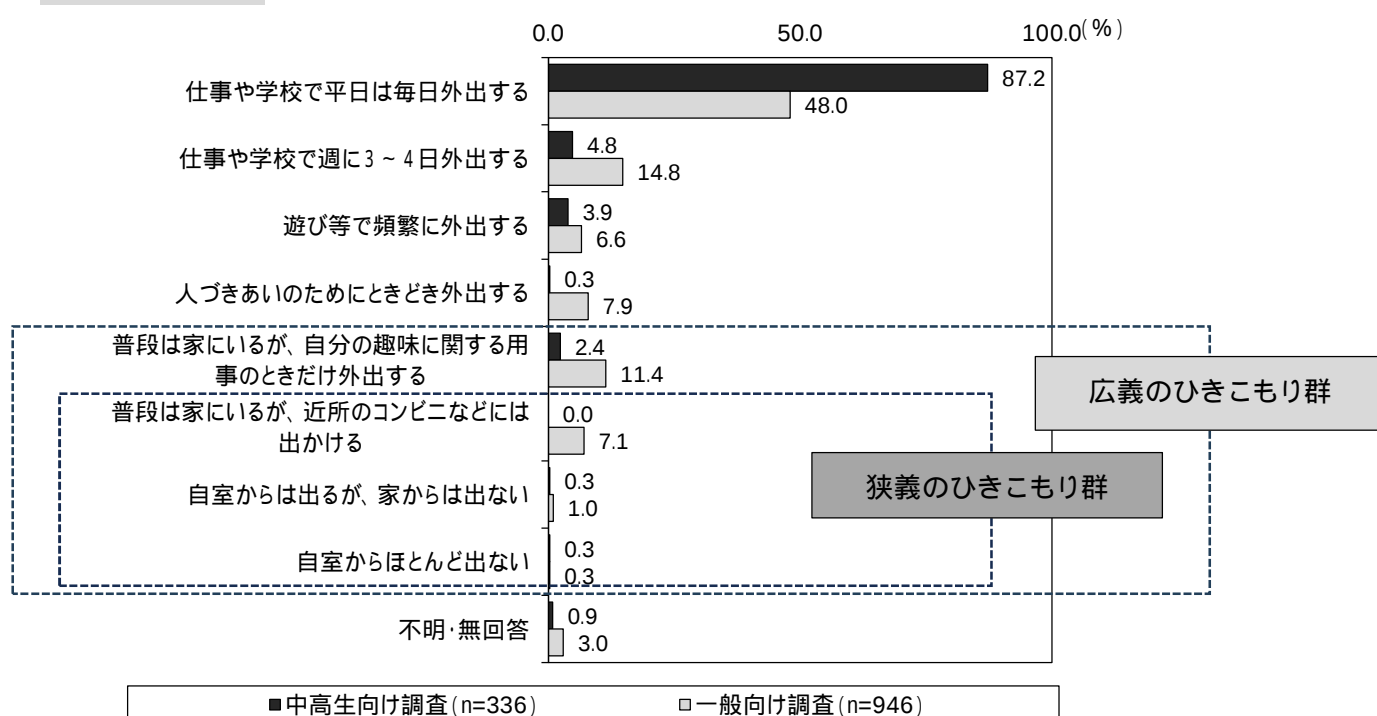
あなたは普段どのくらい外出しますか。ただし、期間が6か月未満の場合か、病気、妊娠、介護・看護が理由の場合を除きます。（○は1つまで）

< 中高生向け調査：問9、一般向け調査：問16 >

- 回答者自身の状況について、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 中高生 では87.2%、一般では48.0%とそれぞれ最も多くなっています。
- 一方、「自室からは出るが、家からは出ない」や「自室からほとんど出ない」との回答もわずかながら見られます。

【中高生向け調査】

【一般向け調査】



「ひきこもりの可能性のある群」について

- 国の「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）（対象10歳～39歳、40歳～69歳）」では「外出頻度が低い」と「低い期間が6か月以上」に加えて、社会的自立条件（「現在の状態になった特定の理由」と「特定の就労状況」）に該当した人を「ひきこもり群」と捉えています。
- 本調査では設問数等を考慮して社会的自立条件を設定していないことから、『6か月以上外出頻度が低い』に該当するケースを「広義のひきこもりの可能性がある群」、そこから「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」を除いたケースを「狭義のひきこもりに該当する群」と捉えます。

■ 本人の状況		狭義のひきこもりの可能性 がある群	広義のひきこもりの可能性 がある群
14～18歳	中高生	0.6%（2人）	3.0%（10人）
19歳以上	一般	8.4%（79人）	19.8%（187人）

- 性・年代別にみると、[70 歳以上・男性] で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」、[70 歳以上・女性] で「仕事や学校で週に 3 ～ 4 日外出する」、それ以外の性・年代で「仕事や学校で平日は毎日外出する」が最も多くなっています。

【性・年代別クロス】

単位：%		仕事や学校で平日は毎日外出する	仕事や学校で週に 3 ～ 4 日外出する	遊び等で頻繁に外出する	人づきあいのためにときどき外出する	趣味に関する用事、自分だけの外出	普段は家にはいるが、近所のコンビニなどには出かける	普段は家にはいるが、近所からは出ない	自室からは出ない	不明・無回答
合計 (n=946)		48.0	14.8	6.6	7.9	11.4	7.1	1.0	0.3	3.0
男性	小計 (n=414)	56.8	11.6	6.5	4.1	10.9	7.0	0.7	0.0	2.4
	19歳～29歳 (n=45)	64.4	15.6	6.7	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0
	30歳～39歳 (n=63)	79.4	9.5	0.0	1.6	1.6	6.3	0.0	0.0	1.6
	40歳～49歳 (n=68)	75.0	11.8	2.9	0.0	5.9	2.9	0.0	0.0	1.5
	50歳～59歳 (n=61)	75.4	16.4	0.0	1.6	4.9	0.0	0.0	0.0	1.6
	60歳～69歳 (n=67)	59.7	10.4	9.0	4.5	9.0	4.5	1.5	0.0	1.5
	70歳以上 (n=110)	17.3	9.1	14.5	10.9	25.5	15.5	1.8	0.0	5.5
女性	小計 (n=506)	41.5	17.4	6.5	11.5	11.3	7.1	1.0	0.4	3.4
	19歳～29歳 (n=54)	68.5	11.1	0.0	3.7	11.1	0.0	1.9	1.9	1.9
	30歳～39歳 (n=75)	61.3	9.3	6.7	10.7	5.3	5.3	0.0	0.0	1.3
	40歳～49歳 (n=104)	55.8	23.1	3.8	5.8	6.7	4.8	0.0	0.0	0.0
	50歳～59歳 (n=76)	46.1	16.0	7.0	4.0	3.0	9.0	1.0	0.0	1.0
	60歳～69歳 (n=101)	23.8	21.1	9.2	5.3	3.9	11.8	1.3	0.0	1.3
	70歳以上 (n=96)	10.4	24.0	5.0	14.0	19.0	6.0	1.0	1.0	7.0

- 家族構成別にみると、すべての家族構成で「仕事や学校で平日は毎日外出する」が最も多くなっています。

【家族構成別クロス】

単位：%	仕事や学校で平日は毎日外出する	仕事や学校で週に 3 ～ 4 日外出する	遊び等で頻繁に外出する	人づきあいのためにときどき外出する	趣味に関する用事、自分だけの外出	普段は家にはいるが、近所のコンビニなどには出かける	普段は家にはいるが、近所からは出ない	自室からは出ない	不明・無回答
全体 (n=946)	48.0	14.8	6.6	7.9	11.4	7.1	1.0	0.3	3.0
単独世帯 (n=145)	51.0	10.3	4.1	6.2	14.5	11.0	1.4	0.0	1.4
夫婦のみ世帯 (n=267)	28.5	13.1	10.1	15.0	17.6	9.7	0.7	0.4	4.9
夫婦と子のみ世帯 (n=362)	58.6	18.2	5.0	5.0	5.5	4.1	0.8	0.3	2.5
ひとり親と子のみ世帯 (n=46)	54.3	15.2	10.9	6.5	4.3	8.7	0.0	0.4	4.9
三世帯世帯 (n=44)	56.8	11.4	6.8	6.8	9.1	4.5	2.3	0.3	2.5
その他 (n=67)	53.7	14.9	1.5	3.0	17.9	4.5	1.5	0.0	0.0

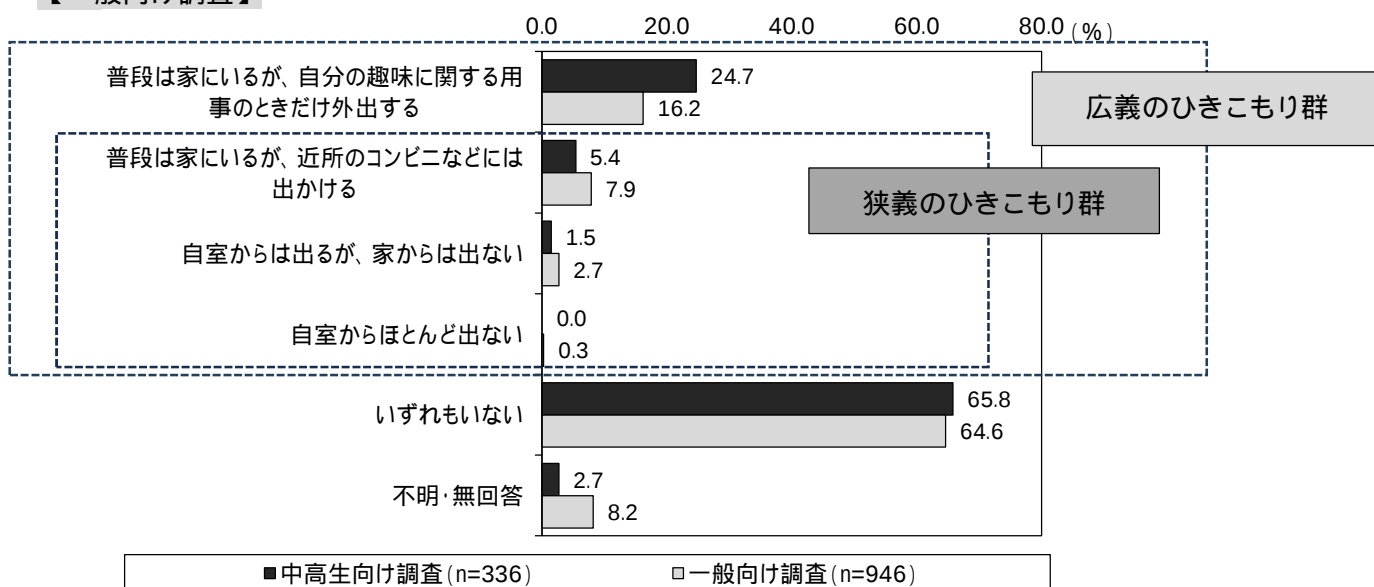
あなた以外で市内にお住まいのご家族（同居・別居問わず）に下記の外出状況が当てはまる人はいますか。ただし、期間が6か月未満の人や、仕事、学校、病気、妊娠、介護・看護が理由の人を除きます。（○は1つまで）

< 中高生向け調査：問 10、一般向け調査：問 17 >

- 回答者以外の家族の状況について、「いずれもない」が 中高生 では 65.8%、一般 では 64.6% とそれぞれ最も多くなっています。
- 一方、「自室からは出るが、家からは出ない」や「自室からほとんど出ない」との回答もわずかながら見られます。

【中高生向け調査】

【一般向け調査】



■ 家族の状況		狭義のひきこもりの可能性 がある群	広義のひきこもりの可能性 がある群
14～18 歳	中高生	6.9%（23 人）	31.6%（106 人）
19 歳以上	一般	10.9%（104 人）	27.1%（257 人）

- 性・年代別にみると、すべての性・年代で「いずれもない」が最も多くなっています。

【性・年代別クロス】

単位：％		きただけ外出する	の趣味は家にいるが、自分の	普段は家にいるが、近所	のコンビニなどには出かける	は室からは出るが、家が	自室からほとんど出ない	いずれもない	不明・無回答
合計（n=946）		16.2	7.9	2.7	0.3	64.6	8.2		
男性	小計（n=414）	15.9	8.7	1.9	0.5	64.5	8.5		
	19歳～29歳（n=45）	17.8	6.7	0.0	0.0	75.6	0.0		
	30歳～39歳（n=63）	19.0	9.5	0.0	1.6	68.3	1.6		
	40歳～49歳（n=68）	13.2	10.3	0.0	1.5	73.5	1.5		
	50歳～59歳（n=61）	16.4	9.8	6.6	0.0	60.7	6.6		
	60歳～69歳（n=67）	16.4	4.5	4.5	0.0	68.7	6.0		
	70歳以上（n=110）	14.5	10.0	0.9	0.0	51.8	22.7		
女性	小計（n=506）	16.4	7.5	3.4	0.2	64.4	8.1		
	19歳～29歳（n=54）	22.2	3.7	1.9	0.0	70.4	1.9		
	30歳～39歳（n=75）	13.3	10.7	0.0	0.0	73.3	2.7		
	40歳～49歳（n=104）	11.5	10.6	3.8	0.0	73.1	1.0		
	50歳～59歳（n=76）	23.7	5.0	5.0	0.0	46.0	2.0		
	60歳～69歳（n=101）	12.9	6.6	6.6	0.0	60.5	2.6		
	70歳以上（n=96）	18.8	5.0	4.0	1.0	63.0	15.0		

- 家族構成別にみると、すべての家族構成で「いずれもない」が最も多くなっています。また、[ひとり親と子のみ世帯]で「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が1割台後半と、他の家族構成に比べて割合が高くなっています

【家族構成別クロス】

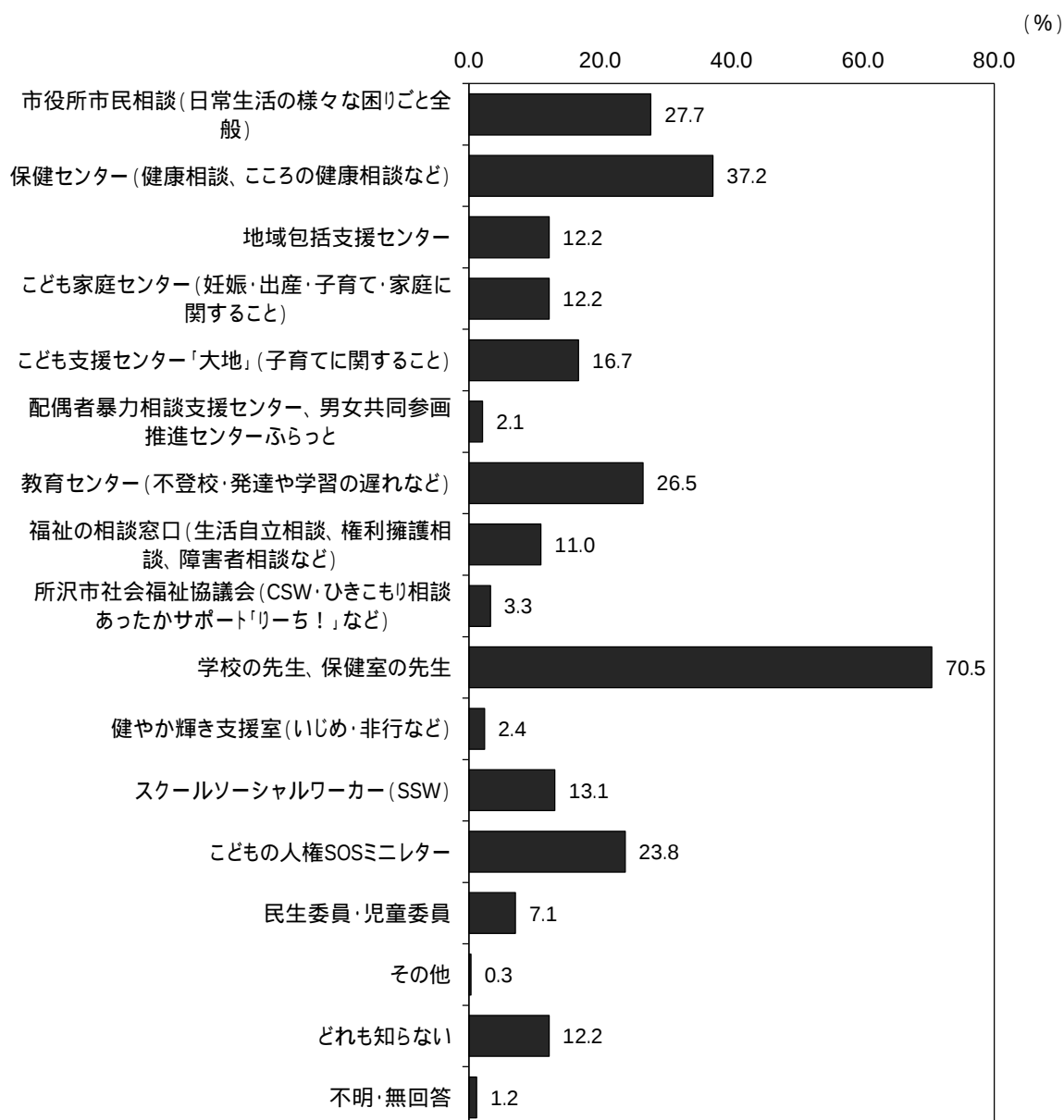
単位：％		きただけ外出する	の趣味は家にいるが、自分の	普段は家にいるが、近所	のコンビニなどには出かける	は室からは出るが、家が	自室からほとんど出ない	いずれもない	不明・無回答
全体（n=946）		16.2	7.9	2.7	0.3	64.6	8.2		
単独世帯（n=145）		13.1	7.6	2.8	0.7	70.3	5.5		
夫婦のみ世帯（n=267）		16.9	7.1	1.9	0.4	60.7	13.1		
夫婦と子のみ世帯（n=362）		13.0	6.6	2.8	0.0	71.8	5.8		
ひとり親と子のみ世帯（n=46）		21.7	17.4	4.3	0.0	47.8	8.7		
三世帯世帯（n=44）		29.5	6.8	4.5	2.3	50.0	6.8		
その他（n=67）		23.9	13.4	4.5	0.0	50.7	7.5		

以下は、市内にある困ったときの相談先です。あなたが知っているものに○をつけてください。
(知っているものすべてに○)

< 中高生向け調査：問 11 >

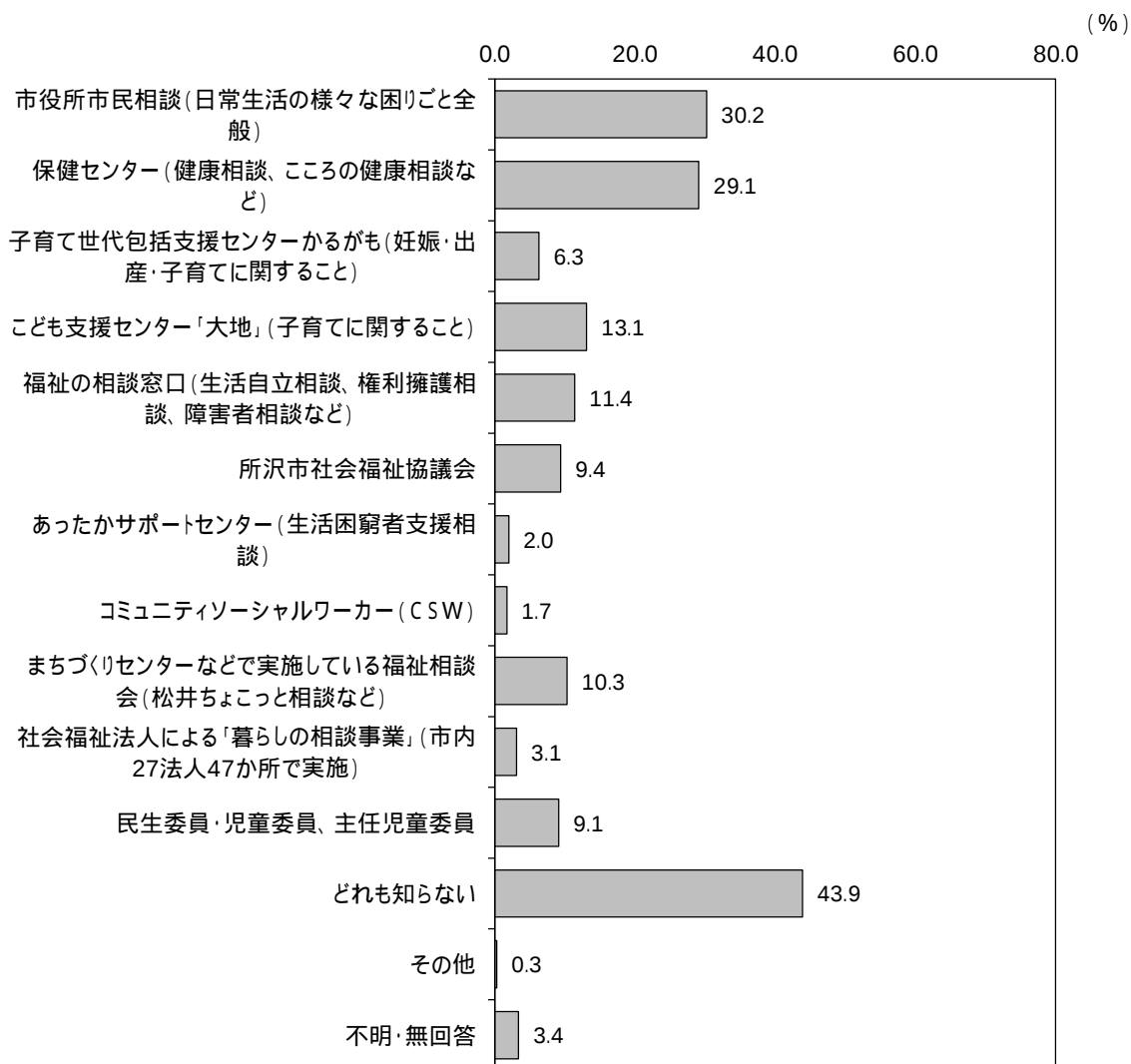
- 中高生 では、「学校の先生、保健室の先生」が 70.5%と最も高く、次いで「保健センター（健康相談、こころの健康相談など）」が 37.2%、「市役所市民相談（日常生活の様々な困りごと全般）」が 27.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、選択肢が異なるため単純な比較は難しいですが、「保健センター」が 8.1 ポイント増加、「所沢市社会福祉協議会」が 6.1 ポイント減少しています。

【中高生向け調査】



■ 中高生向け調査(n=336)

【中高生向け調査 | 前回】



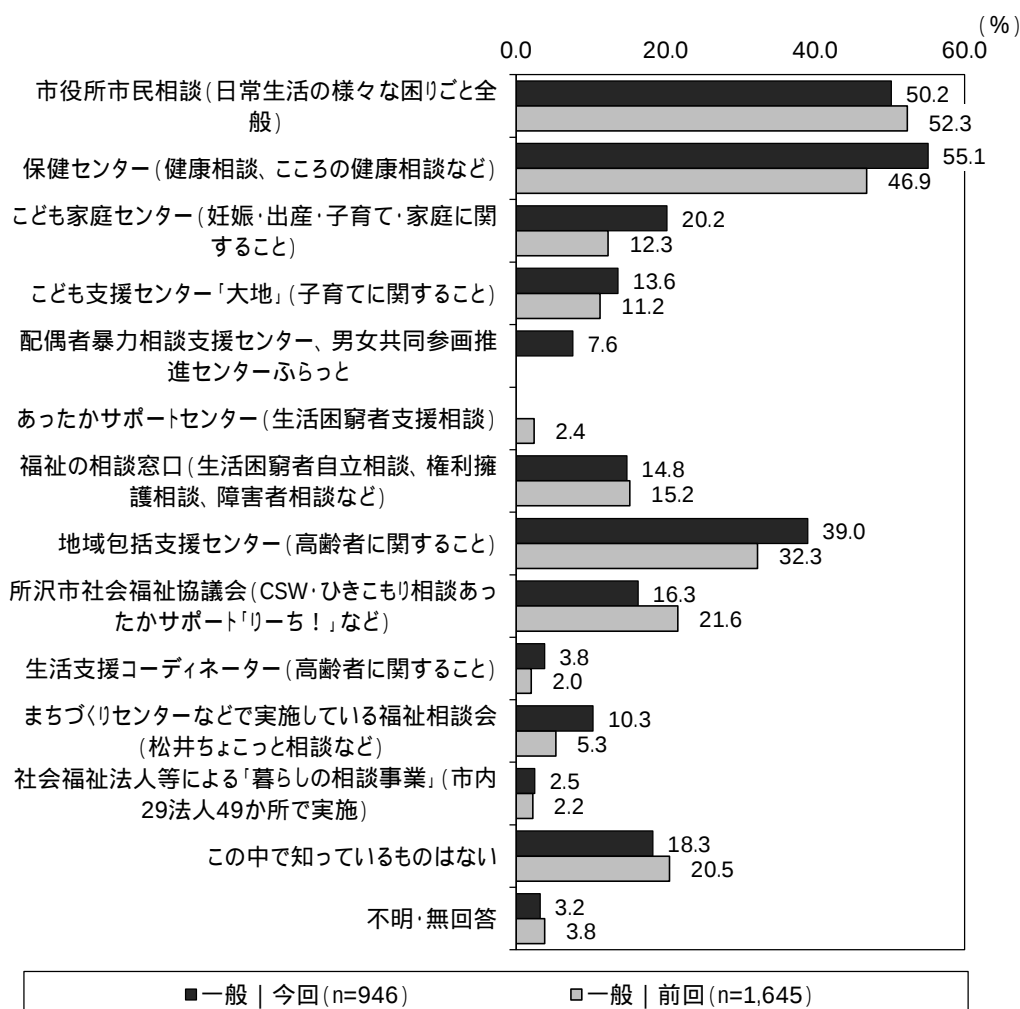
□ 中高生 | 前回 (n=351)

以下は、所沢市内の生活上の困りごとを相談できる相談支援窓口です。あなたが知っているものは次のどれですか。（知っているものすべてに○）

< 一般向け調査：問 18 >

- 一般 では、「保健センター（健康相談、こころの健康相談など）」が 55.1%で最も高く、次いで「市役所市民相談（日常生活の様々な困りごと全般）」が 50.2%、「地域包括支援センター（高齢者に関すること）」が 39.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「保健センター（健康相談、こころの健康相談など）」が 8.2 ポイント増加、「こども家庭センター（妊娠・出産・子育て・家庭に関すること）」が 7.9 ポイント増加、「地域包括支援センター（高齢者に関すること）」が 6.7 ポイント増加、「所沢市社会福祉協議会（CSW・ひきこもり相談あったかサポート「リーチ！」など）」が 5.3 ポイント減少、「まちづくりセンターなどで実施している福祉相談会（松井ちょこっと相談など）」が 5.0 ポイント増加しています。

【一般向け調査】



* 「配偶者暴力相談支援センター、男女共同参画推進センターふらっと」は今回調査のみの選択肢。

* 「あったかサポートセンター（生活困窮者支援相談）」は前回調査のみの選択肢。

* 「こども家庭センター（妊娠・出産・子育て・家庭に関すること）」は、前回調査では「子育て世代包括支援センターかるがも（妊娠・出産・子育てに関すること）」。

* 「福祉の相談窓口（生活困窮者自立相談、権利擁護相談、障害者相談など）」は、前回調査では「福祉の相談窓口（生活自立相談、権利擁護相談、障害者相談など）」。

- * 「所沢市社会福祉協議会（CSW・ひきこもり相談あったかサポート「リーチ！」など）」は、前回調査では「所沢市社会福祉協議会」。
- * 「生活支援コーディネーター（高齢者に関すること）」は、前回調査では「生活支援コーディネーター」。
- * 「社会福祉法人等による「暮らしの相談事業」（市内 29 法人 49 か所実施）」は、前回調査では「社会福祉法人による「暮らしの相談事業」（市内 27 法人 47 か所実施）」。

- 地区別にみると、多くの地区で「市役所市民相談（日常生活の様々な困りごと全般）」と「保健センター（健康相談、こころの健康相談など）」が最も多くなっています。また、[富岡] と [山口] で「所沢市社会福祉協議会（CSW・ひきこもり相談あったかサポート「リーチ！」など）」が 2 割台後半と、他の地区に比べて割合が高くなっています。

【地区別クロス】

単位：％	一般生活の様々な困りごと（日常生活全般）	保健センター（健康相談、こころの健康相談など）	妊娠・出産・子育て・家庭に関すること（こども家庭センター）	地域包括支援センター（子育てに関すること）	配偶者暴力相談支援センター（男女共同参画推進センター）	福祉の相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）	福祉の相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）	地域包括支援センター（高齢者に関すること）	「リーチ！」（ひきこもり相談あったかサポート）	所沢市社会福祉協議会（CSW・ひきこもり相談あったかサポート）	生活支援コーディネーター（高齢者に関すること）	会（松井ちよこ）と相談など	で実施している（市内 29 法人 49 か所）	社会福祉法人等による「暮らしの相談事業」（市内 29 法人 49 か所）	はこの中で知っているもの	不明・無回答
全体（n=946）	50.2	55.1	20.2	13.6	7.6	14.8	39.0	16.3	3.8	10.3	2.5	18.3	3.2	3.2	3.2	3.2
松井（n=62）	50.0	62.9	21.0	12.9	9.7	6.5	43.5	16.1	3.2	4.8	1.6	12.9	3.2	3.2	3.2	3.2
富岡（n=46）	69.6	60.9	19.6	15.2	0.0	15.2	54.3	28.3	4.3	15.2	4.3	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小手指（n=100）	58.0	53.0	26.0	20.0	7.0	14.0	37.0	17.0	5.0	7.0	3.0	16.0	2.0	2.0	2.0	2.0
山口（n=81）	46.9	46.9	18.5	14.8	6.2	14.8	35.8	28.3	4.3	15.2	4.3	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0
吾妻（n=58）	50.0	50.0	13.8	6.9	15.5	8.6	50.0	17.0	5.0	7.0	3.0	16.0	2.0	2.0	2.0	2.0
柳瀬（n=74）	54.1	58.1	14.9	10.8	8.1	24.3	47.3	11.1	2.5	12.3	2.5	19.8	1.2	1.2	1.2	1.2
三ヶ島（n=80）	43.8	56.3	21.3	15.0	7.5	18.8	40.0	24.1	5.2	19.0	1.7	12.1	8.6	8.6	8.6	8.6
新所沢（n=134）	47.8	61.2	22.4	14.9	9.7	14.9	42.5	11.1	2.5	12.3	2.5	19.8	1.2	1.2	1.2	1.2
新所沢東（n=55）	52.7	61.8	27.3	21.8	10.9	12.7	54.5	24.1	5.2	19.0	1.7	12.1	8.6	8.6	8.6	8.6
所沢（n=182）	46.7	48.4	20.9	11.5	4.4	12.1	21.4	20.3	0.0	14.9	2.7	17.6	2.7	2.7	2.7	2.7
並木（n=56）	48.2	58.9	10.7	7.1	10.7	26.8	39.3	15.0	5.0	6.3	5.0	21.3	3.8	3.8	3.8	3.8

- 年代別にみると、[70 歳以上] で「市役所市民相談（日常生活の様々な困りごと全般）」、それ以外の年代で「保健センター（健康相談、こころの健康相談など）」が最も多くなっています。また、[30 歳～39 歳] で「こども家庭センター（妊娠・出産・子育て・家庭に関すること）」が 3 割台半ば、[60 歳以上] で「地域包括支援センター（高齢者に関すること）」が 5 割台後半と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

【年代別クロス】

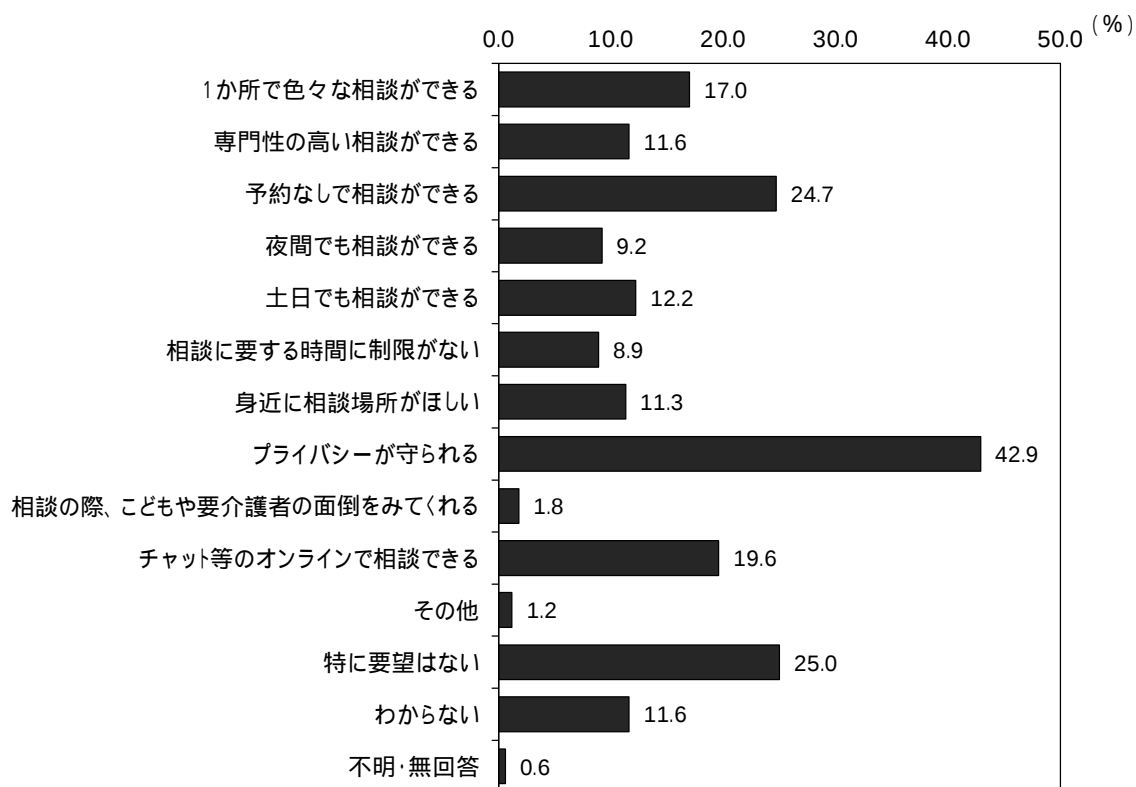
単位：％	一般生活の様々な困りごと（日常生活全般）	保健センター（健康相談、こころの健康相談など）	妊娠・出産・子育て・家庭に関すること（こども家庭センター）	地域包括支援センター（子育てに関すること）	配偶者暴力相談支援センター（男女共同参画推進センター）	福祉の相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）	福祉の相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）	地域包括支援センター（高齢者に関すること）	「リーチ！」（ひきこもり相談あったかサポート）	所沢市社会福祉協議会（CSW・ひきこもり相談あったかサポート）	生活支援コーディネーター（高齢者に関すること）	会（松井ちよこ）と相談など	で実施している（市内 29 法人 49 か所）	社会福祉法人等による「暮らしの相談事業」（市内 29 法人 49 か所）	はこの中で知っているもの	不明・無回答
全体（n=946）	50.2	55.1	20.2	13.6	7.6	14.8	39.0	16.3	3.8	10.3	2.5	18.3	3.2	3.2	3.2	3.2
19歳～29歳（n=100）	36.0	44.0	22.0	15.0	5.0	10.0	16.0	8.0	4.0	11.0	4.0	27.0	1.0	1.0	1.0	1.0
30歳～39歳（n=140）	44.3	55.7	35.7	25.0	8.6	12.9	18.6	11.4	4.3	11.4	4.3	24.3	2.9	2.9	2.9	2.9
40歳～49歳（n=175）	46.9	56.6	27.4	15.4	6.9	13.7	31.4	10.3	1.7	11.4	0.6	18.9	1.1	1.1	1.1	1.1
50歳～59歳（n=140）	49.3	55.7	15.7	11.4	10.0	14.3	37.1	11.4	4.3	11.4	4.3	24.3	2.9	2.9	2.9	2.9
60歳～69歳（n=168）	58.3	60.1	16.1	11.9	10.1	20.2	56.0	10.3	1.7	11.4	0.6	18.9	1.1	1.1	1.1	1.1
70歳以上（n=207）	59.4	55.1	9.2	7.7	5.8	15.9	58.0	14.3	2.1	8.6	2.1	22.9	1.4	1.4	1.4	1.4

**困りごとを相談する窓口（市役所、社会福祉協議会、福祉団体等）に対する要望はありますか。
（○は3つまで）**

< 中高生向け調査：問 12、一般向け調査：問 19 >

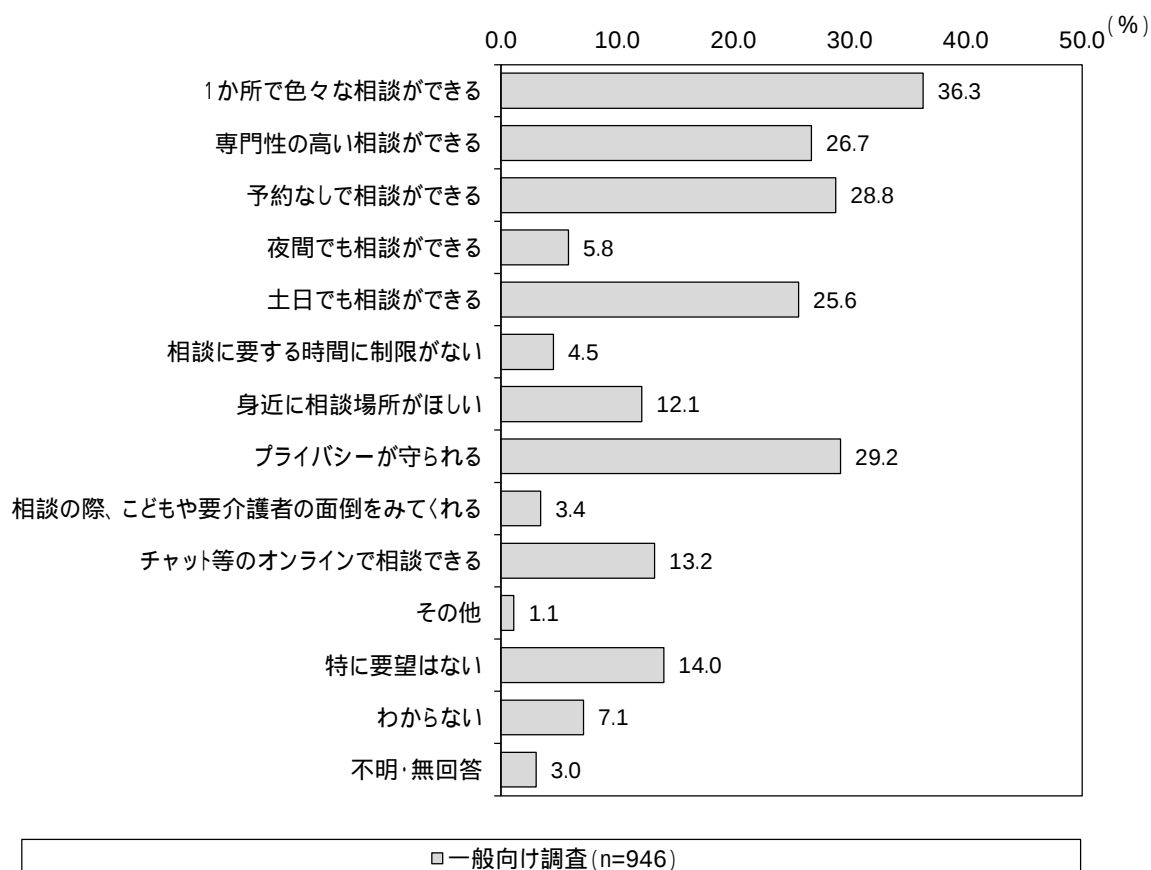
- 中高生 では、「プライバシーが守られる」が 42.9%で最も多く、次いで「特に要望はない」が 25.0%、「予約なしで相談ができる」が 24.7%となっています。
- 一般 では、「1か所で色々な相談ができる」が 36.3%で最も多く、次いで「プライバシーが守られる」が 29.2%、「予約なしで相談ができる」が 28.8%となっています。

【中高生向け調査】



■ 中高生向け調査 (n=336)

【一般向け調査】



- 年代別にみると、[19 歳～29 歳]で「チャット等のオンラインで相談できる」、[30～40 歳代]で「土日でも相談ができる」、[50 歳～59 歳]で「予約なしで相談ができる」、[60 歳以上]で「1 か所で色々な相談ができる」がそれぞれ最も多くなっています。

【年代別クロス】

単位：%	1か所で色々な相談ができる	専門性の高い相談ができる	予約なしで相談ができる	夜間でも相談ができる	土日でも相談ができる	相談に要する時間に制限がない	身近に相談場所がほしい	プライバシーが守られる	相談の際、こどもや要介護者の面倒をみってくれる	チャット等のオンラインで相談できる	その他	特に要望はない	わからない	不明・無回答
全体 (n=946)	36.3	26.7	28.8	5.8	25.6	4.5	12.1	29.2	3.4	13.2	1.1	14.0	7.1	3.0
19歳～29歳 (n=100)	22.0	19.0	20.0	13.0	29.0	5.0	9.0	30.0	3.0	31.0	0.0	17.0	8.0	1.0
30歳～39歳 (n=140)	27.9	24.3	26.4	12.1	31.4	4.3	7.9	22.9	9.3	23.6	1.4	14.3	2.9	1.4
40歳～49歳 (n=175)	29.7	34.9	28.6	8.6	38.3	4.6	12.0	31.4	5.1	16.0	1.7	9.7	4.6	0.6
50歳～59歳 (n=140)	35.0	27.9	37.9	3.6	32.9	2.9	9.3	22.9	9.3	23.6	1.4	14.3	2.9	1.4
60歳～69歳 (n=168)	52.4	31.0	31.5	1.2	23.8	5.4	12.5	31.4	5.1	16.0	1.7	9.7	4.6	0.6
70歳以上 (n=207)	41.1	22.2	26.1	1.4	7.2	5.3	15.9	32.1	0.7	12.1	1.4	12.9	7.1	1.4

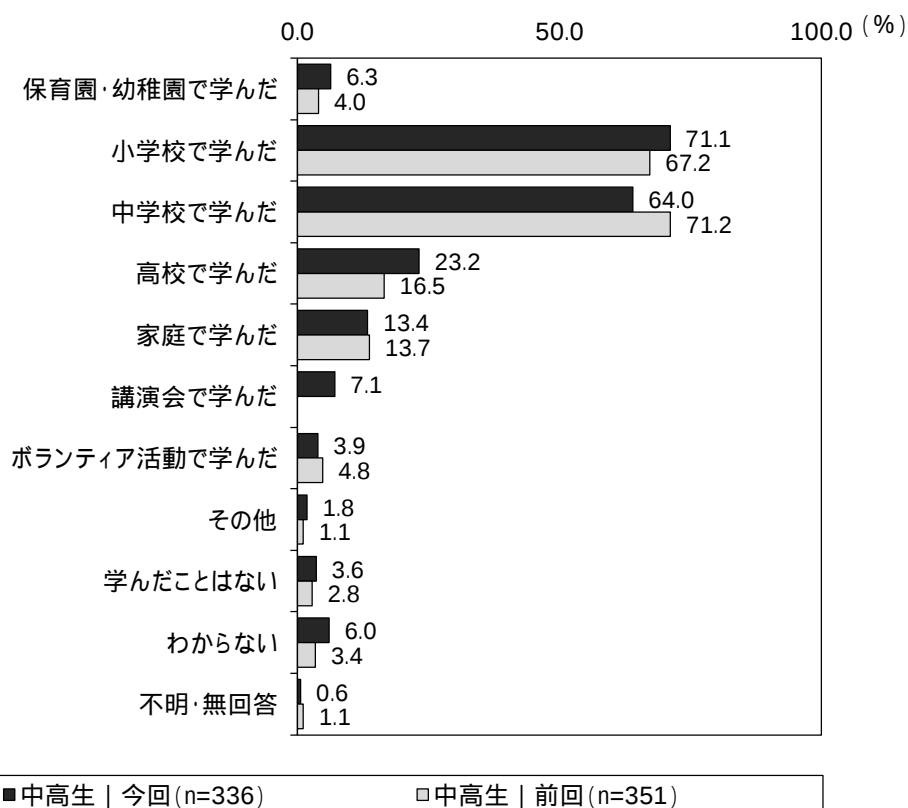
5 . 相互理解・共生について

学校や家庭などで、福祉のことについて、学んだことがありますか。（学ぶ事例：車いすや手話などの体験、障害者による講演会などに参加した、認知症について学んだ、など）（あてはまるものすべてに○）

< 中高生向け調査：問 13 >

- 中高生 の福祉のことについて学んだ経験については、「小学校で学んだ」が 71.1%で最も多く、次いで「中学校で学んだ」が 64.0%、「高校で学んだ」が 23.2%となっています。前回調査と比較すると、「中学校で学んだ」が 7.2 ポイント減少、「高校で学んだ」が 6.7 ポイント増加しています。

【中高生向け調査】



* 「講演会で学んだ」は今回調査のみの選択肢。

* 「ボランティア活動で学んだ」は、前回調査では「参加したボランティア活動で学んだ」。

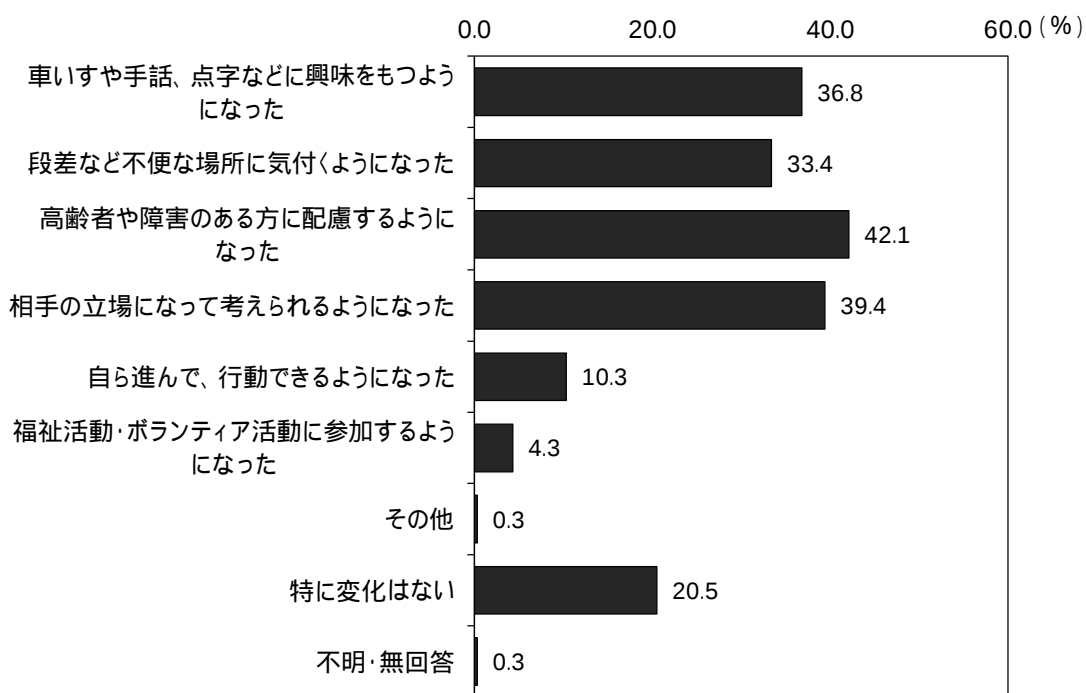
問 13 で 1 ～ 7 を選択した方へ伺います。

学んだあとどのような変化がありましたか。（あてはまるものすべてに○）

< 中高生向け調査：問 13- 2 >

- 中高生 の福祉のことについて学んだあとの変化については、「高齢者や障害のある方に配慮するようになった」が 42.1%で最も多く、次いで「相手の立場になって考えられるようになった」が 39.4%、「車いすや手話、点字などに興味をもつようになった」が 36.8%となっています。

【中高生向け調査】



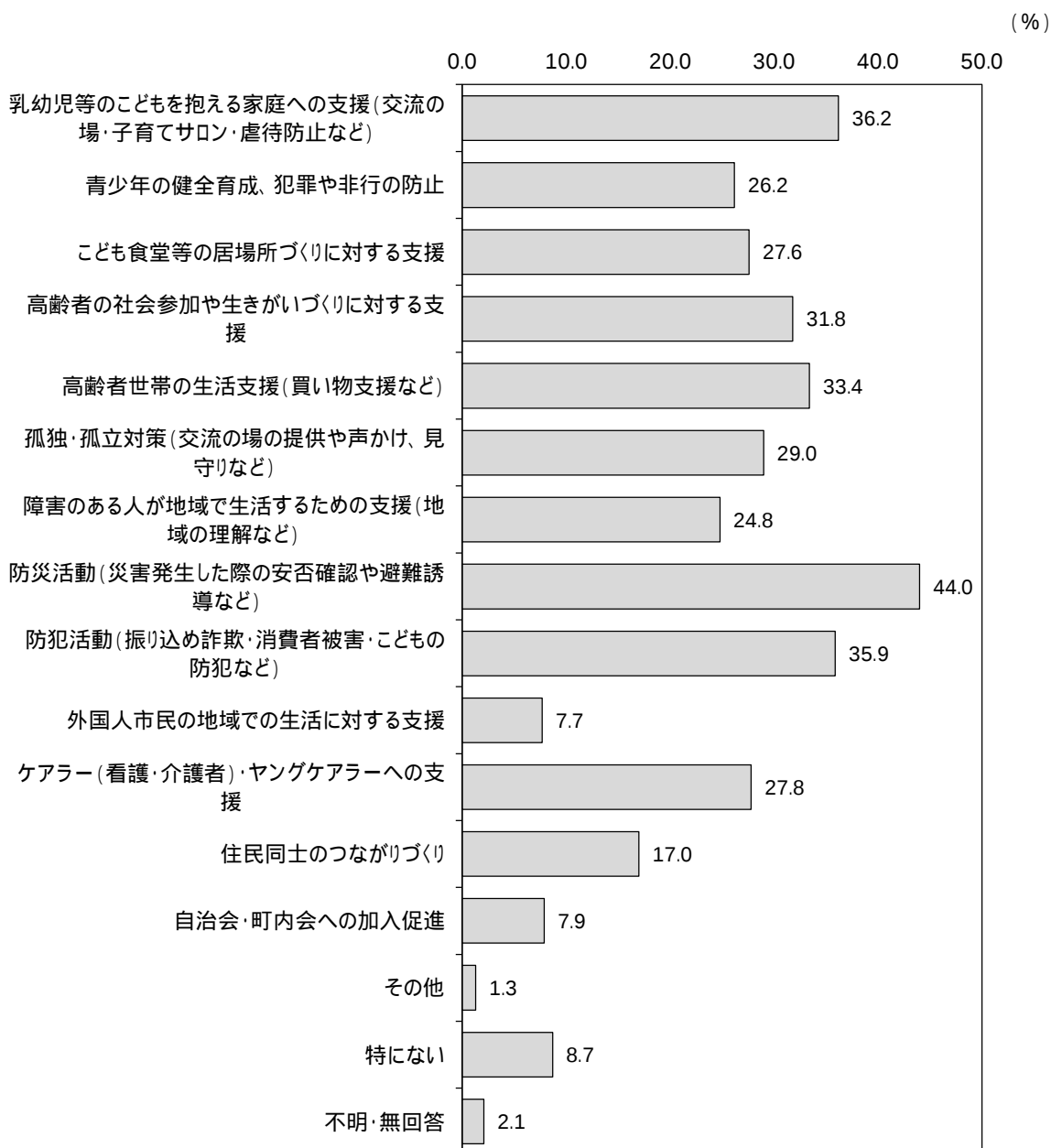
■ 中高生向け調査 (n=302)

あなたが地域主体で進めるべきと感じる取り組みは次のどれですか。（あてはまるものすべてに
○）

< 一般向け調査：問 20 >

- 一般 の地域主体で進めるべきと感じる取り組みについては、「防災活動（災害発生した際の安否確認や避難誘導など）」が44.0%で最も高く、次いで「乳幼児等のこどもを抱える家庭への支援（交流の場・子育てサロン・虐待防止など）」が36.2%、「防犯活動（振り込め詐欺・消費者被害・こどもの防犯など）」が35.9%となっています。

【一般向け調査】



□ 一般向け調査 (n=946)

- 地区別にみると、[並木]で「高齢者世帯の生活支援（買い物支援など）」、[所沢]で「防犯活動（振り込め詐欺・消費者被害・こどもの防犯など）」、それ以外の地区で「防災活動（災害発生した際の安否確認や避難誘導など）」がそれぞれ最も多くなっています。また、[小手指]では「乳幼児等のこどもを抱える家庭への支援（交流の場・子育てサロン・虐待防止など）」も最多です。

【地区別クロス】

単位：％	て庭乳行青にこづ高物孤提ど障安防ど防対外ヤケ住自治その他特に不明・	サ幼幼少のども食くり齢者高者世帯の生活支援（買い物支援など）	ロン児年の健全育成、犯罪や非	ン等のこどもを抱える家庭への支援（交流の場・子育てサロン・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）
全体（n=946）	36.2	26.2	27.6	31.8	33.4	29.0	24.8	44.0	35.9	7.7	27.8	17.0	7.9	1.3	8.7	2.1
松井（n=62）	29.0	25.8	32.3	32.3	37.1	29.0	19.4	41.9	40.3	8.1	22.6	24.2	11.3	0.0	9.7	1.6
富岡（n=46）	32.6	19.6	15.2	34.8	21.7	17.4	19.6	50.0	34.8	8.7	21.7	15.2	8.7	0.0	8.7	4.3
小手指（n=100）	46.0	29.0	28.0	33.0	35.0	35.0	34.0	46.0	39.0	8.0	31.0	16.0	4.0	1.0	7.0	1.0
山口（n=81）	30.9	22.2	24.7	25.9	32.1	27.2	18.5	50.0	34.8	8.7	21.7	15.2	8.7	0.0	8.7	4.3
吾妻（n=58）	43.1	29.3	27.6	37.9	37.9	31.0	19.0	46.0	39.0	8.0	31.0	16.0	4.0	1.0	7.0	1.0
柳瀬（n=74）	23.0	23.0	20.3	39.2	33.8	28.4	24.3	48.1	32.1	8.6	35.8	12.3	8.6	1.2	12.3	0.0
三ヶ島（n=80）	30.0	26.3	35.0	33.8	40.0	26.3	28.7	55.2	44.8	13.8	29.3	17.2	17.2	1.7	10.3	0.0
新所沢（n=134）	43.3	26.9	28.4	23.1	32.1	25.4	23.9	48.1	32.1	8.6	35.8	12.3	8.6	1.2	12.3	0.0
新所沢東（n=55）	34.5	25.5	16.4	34.5	32.7	38.2	23.6	55.2	44.8	13.8	29.3	17.2	17.2	1.7	10.3	0.0
所沢（n=182）	34.6	27.5	28.0	28.6	25.3	28.0	23.1	36.5	39.2	9.5	18.9	18.9	9.5	1.4	10.8	2.7
並木（n=56）	42.9	25.0	42.9	41.1	51.8	33.9	41.1	38.8	31.3	5.0	30.0	13.8	6.3	0.0	6.3	8.8

- 年代別にみると、[19～39 歳]で「乳幼児等のこどもを抱える家庭への支援（交流の場・子育てサロン・虐待防止など）」、[40 歳～49 歳]と[70 歳以上]で「防災活動（災害発生した際の安否確認や避難誘導など）」、[50 歳～59 歳]で「高齢者世帯の生活支援（買い物支援など）」、[60 歳～69 歳]で「高齢者の社会参加や生きがいづくりに対する支援」がそれぞれ最も多くなっています。

【年代別クロス】

単位：％	て庭乳行青にこづ高物孤提ど障安防ど防対外ヤケ住自治その他特に不明・	サ幼幼少のども食くり齢者高者世帯の生活支援（買い物支援など）	ロン児年の健全育成、犯罪や非	ン等のこどもを抱える家庭への支援（交流の場・子育てサロン・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）	・虐待防止など）
全体（n=946）	36.2	26.2	27.6	31.8	33.4	29.0	24.8	44.0	35.9	7.7	27.8	17.0	7.9	1.3	8.7	2.1
19歳～29歳（n=100）	53.0	29.0	29.0	15.0	17.0	22.0	23.0	29.0	29.0	6.0	32.0	14.0	2.0	1.0	11.0	0.0
30歳～39歳（n=140）	50.0	27.1	31.4	16.4	18.6	25.0	20.7	38.6	31.4	4.3	22.1	13.6	5.7	2.9	10.0	0.0
40歳～49歳（n=175）	34.3	29.7	22.9	25.1	30.9	27.4	23.4	45.1	42.3	6.3	29.7	17.7	3.4	2.3	5.1	1.7
50歳～59歳（n=140）	27.9	20.0	26.4	32.9	40.7	24.3	20.7	38.6	31.4	4.3	22.1	13.6	5.7	2.9	10.0	0.0
60歳～69歳（n=168）	34.5	23.8	29.8	50.6	47.6	38.7	32.1	45.1	42.3	6.3	29.7	17.7	3.4	2.3	5.1	1.7
70歳以上（n=207）	26.6	27.1	27.5	39.1	37.2	31.4	27.1	42.9	32.9	10.0	27.1	10.7	7.1	1.4	12.9	3.6

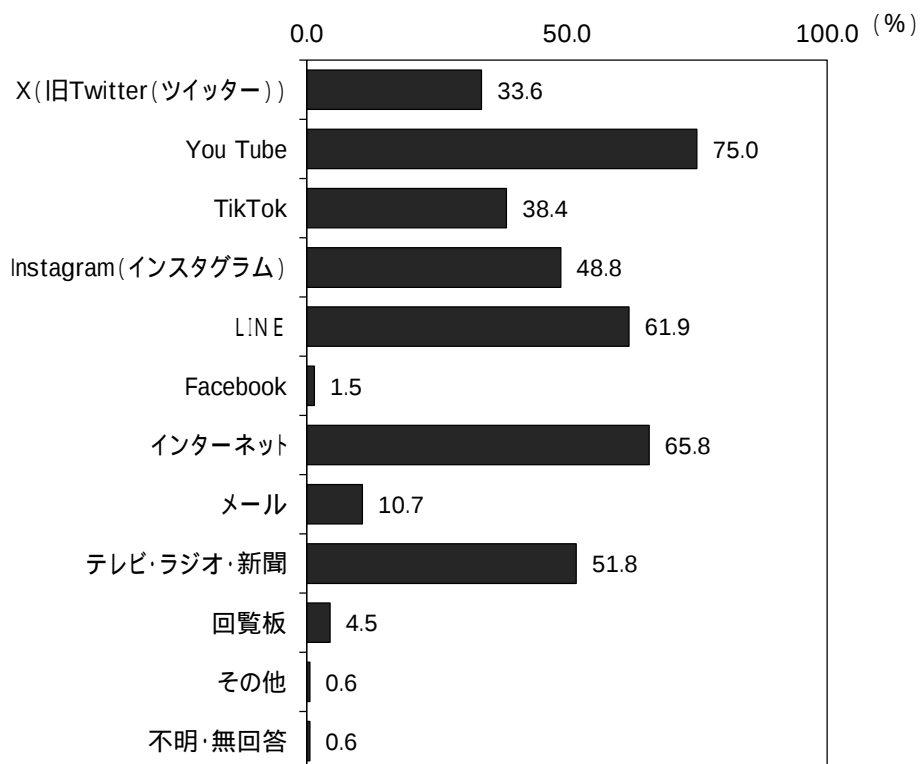
6．福祉情報の入手（情報収集）について

日常的にどのツールを利用して情報を収集していますか。（あてはまるものすべてに○）

< 中高生向け調査：問 14 >

- 中高生 の日常的に情報収集をしているツールについては、「You Tube」が 75.0%で最も多く、次いで「インターネット」が 65.8%、「LINE」が 61.9%となっています。

【中高生向け調査】



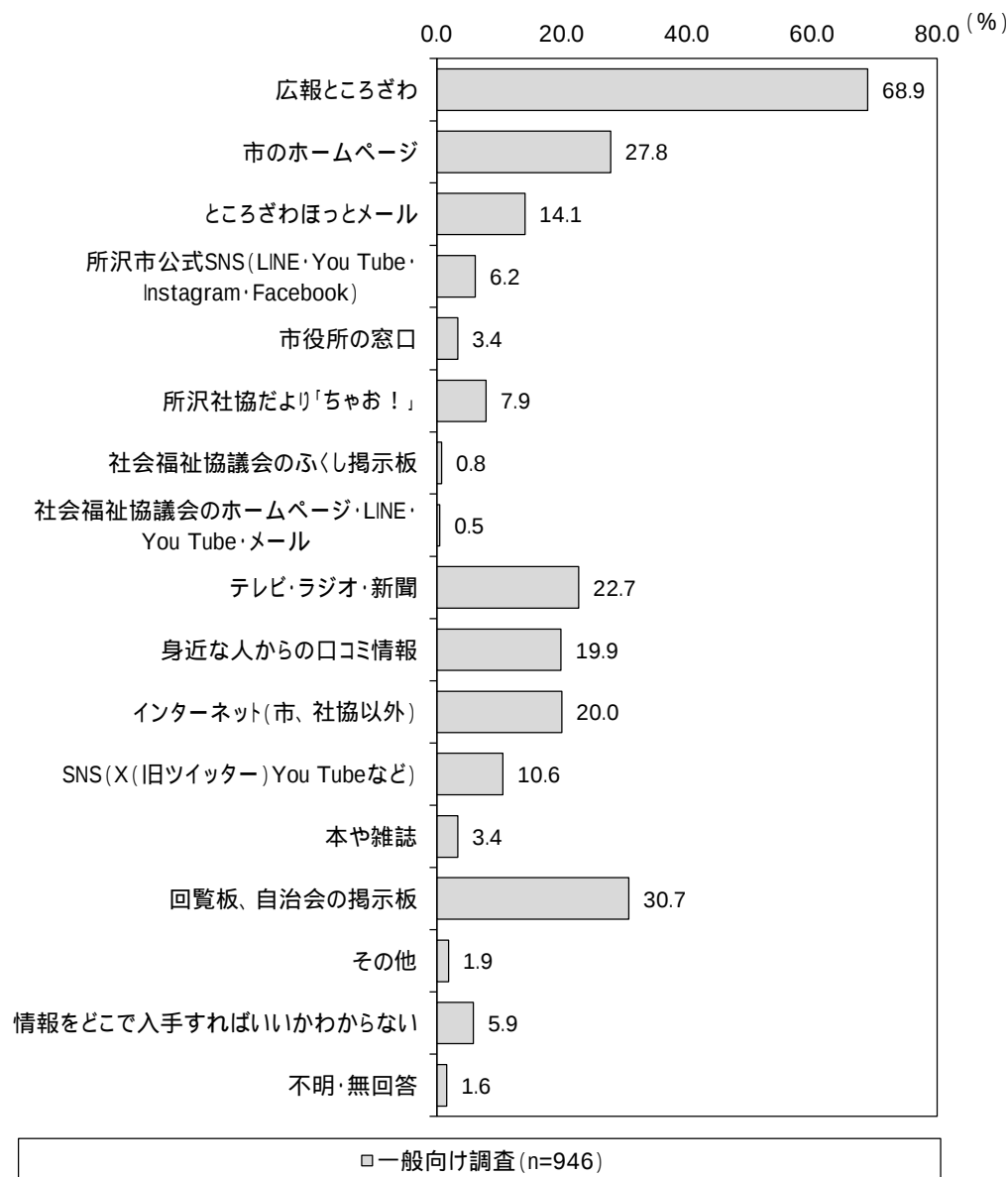
■ 中高生向け調査 (n=336)

あなたは、生活や地域に関する情報はどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

< 一般向け調査：問 21 >

- 一般 の生活や地域に関する情報はどこから得ているかについては、「広報ところざわ」が68.9%で最も多く、次いで「回覧板、自治会の掲示板」が30.7%、「市のホームページ」が27.8%となっています。

【一般向け調査】



- 地区別にみると、すべての地区で「広報ところざわ」が最も多くなっています。また、[三ヶ島]と[新所沢東]で「回覧板、自治会の掲示板」が4割台前半と、他の地区に比べて割合が高くなっています。

【地区別クロス】

単位：％	広報ところざわ	市のホームページ	ところざわほっとメール	LINE・YouTube・Instagram・	市役所の窓口	所沢社協だより「ちゃお！」	社会福祉協議会のふくし掲示板	社会福祉協議会のホームページ・LINE・YouTube・メール	テレビ・ラジオ・新聞	身近な人からの口コミ情報	インターネット（市、社協以外）	SNS（X（旧Twitter）YouTubeなど）	本や雑誌	回覧板、自治会の掲示板	その他	情報をどこで入手すればいいかわからない	不明・無回答
全体（n=946）	68.9	27.8	14.1	6.2	3.4	7.9	0.8	0.5	22.7	19.9	20.0	10.6	3.4	30.7	1.9	5.9	1.6
松井（n=62）	79.0	35.5	27.4	8.1	3.2	9.7	1.6	0.0	19.4	24.2	9.7	9.7	3.2	33.9	3.2	6.5	1.6
富岡（n=46）	69.6	21.7	19.6	2.2	0.0	15.2	0.0	2.2	21.7	19.6	21.7	15.2	4.3	37.0	0.0	0.0	4.3
小手指（n=100）	78.0	34.0	17.0	10.0	4.0	5.0	0.0	0.0	23.0	23.0	15.0	12.0	5.0	29.0	0.0	2.0	1.0
山口（n=81）	64.2	27.2	12.3	3.7	4.9	7.4	0.0	2.2	21.7	19.6	21.7	15.2	4.3	37.0	0.0	0.0	4.3
吾妻（n=58）	75.9	41.4	20.7	6.9	3.4	10.3	0.0	0.0	23.0	23.0	15.0	12.0	5.0	29.0	0.0	2.0	1.0
柳瀬（n=74）	64.9	29.7	9.5	6.8	2.7	10.8	2.7	0.0	19.8	17.3	18.5	4.9	2.5	30.9	4.9	7.4	0.0
三ヶ島（n=80）	66.3	17.5	11.3	3.8	1.3	7.5	1.3	0.0	27.6	22.4	22.4	10.3	1.7	43.1	1.7	6.9	0.0
新所沢（n=134）	69.4	29.1	17.2	8.2	4.5	6.7	0.7	0.0	19.8	17.3	18.5	4.9	2.5	30.9	4.9	7.4	0.0
新所沢東（n=55）	72.7	27.3	12.7	9.1	1.8	10.9	1.8	0.0	27.6	22.4	22.4	10.3	1.7	43.1	1.7	6.9	0.0
所沢（n=182）	59.3	20.9	9.3	6.0	3.8	3.3	0.5	0.0	17.6	18.9	20.3	10.8	0.0	33.8	1.4	5.4	0.0
並木（n=56）	73.2	28.6	8.9	0.0	5.4	14.3	1.8	0.0	20.0	26.3	16.3	6.3	6.3	33.8	1.3	3.8	7.5

- 年代別にみると、[19歳～29歳]で「インターネット（市、社協以外）」、それ以外の年代で「広報ところざわ」がそれぞれ最も多くなっています。また、[19歳～29歳]で「SNS（X（旧Twitter）YouTubeなど）」が3割、[60歳以上]で「所沢社協だより「ちゃお！」」が1割台前半と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

【年代別クロス】

単位：％	広報ところざわ	市のホームページ	ところざわほっとメール	LINE・YouTube・Instagram・	市役所の窓口	所沢社協だより「ちゃお！」	社会福祉協議会のふくし掲示板	社会福祉協議会のホームページ・LINE・YouTube・メール	テレビ・ラジオ・新聞	身近な人からの口コミ情報	インターネット（市、社協以外）	SNS（X（旧Twitter）YouTubeなど）	本や雑誌	回覧板、自治会の掲示板	その他	情報をどこで入手すればいいかわからない	不明・無回答
全体（n=946）	68.9	27.8	14.1	6.2	3.4	7.9	0.8	0.5	22.7	19.9	20.0	10.6	3.4	30.7	1.9	5.9	1.6
19歳～29歳（n=100）	27.0	16.0	1.0	8.0	1.0	3.0	0.0	3.0	14.0	17.0	39.0	30.0	2.0	8.0	1.0	16.0	0.0
30歳～39歳（n=140）	56.4	29.3	20.0	8.6	0.0	0.7	0.7	0.7	13.6	17.9	22.1	15.0	2.9	20.0	4.3	8.6	0.0
40歳～49歳（n=175）	61.1	34.9	22.9	8.0	4.0	5.1	0.6	0.0	10.3	20.6	21.1	10.9	2.9	23.4	2.9	6.3	2.3
50歳～59歳（n=140）	75.0	30.0	20.7	6.4	3.6	7.9	0.0	0.7	13.6	17.9	22.1	15.0	2.9	20.0	4.3	8.6	0.0
60歳～69歳（n=168）	87.5	32.1	14.9	5.4	2.4	12.5	1.8	0.0	10.3	20.6	21.1	10.9	2.9	23.4	2.9	6.3	2.3
70歳以上（n=207）	84.5	21.3	4.8	2.9	7.2	14.0	1.4	0.0	18.6	11.4	19.3	9.3	2.1	22.9	1.4	4.3	1.4

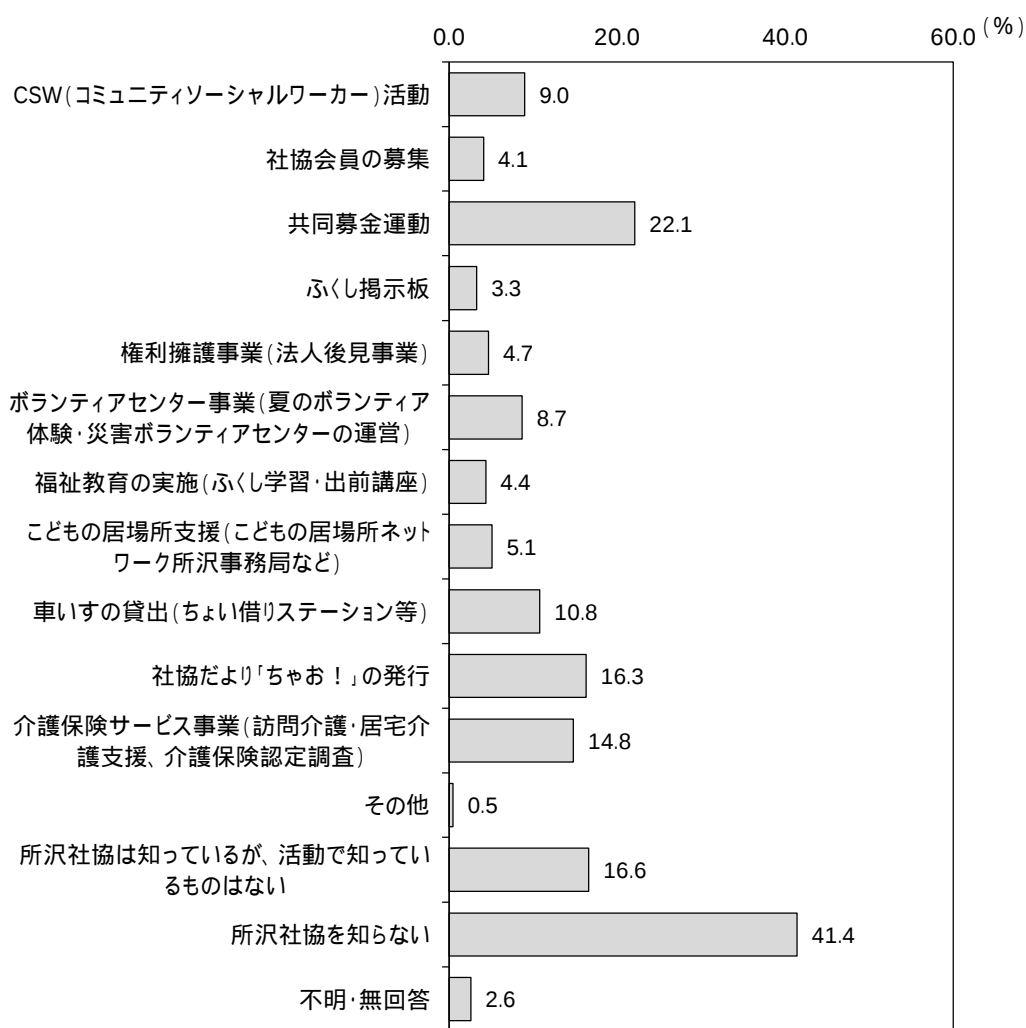
7. 地域福祉を担っている人について

あなたが知っている所沢市社会福祉協議会（所沢社協）の活動は次のどれですか。（知っているものにすべて○）

< 一般向け調査：問 22 >

- 一般 の知っている所沢市社会福祉協議会（所沢社協）の活動については、「所沢社協を知らない」が 41.4%で最も多く、次いで「共同募金運動」が 22.1%、「所沢社協は知っているが、活動で知っているものはない」が 16.6%となっています。

【一般向け調査】



□ 一般向け調査 (n=946)

- 地区別にみると、すべての地区で「所沢社協を知らない」が最も多くなっています。

【地区別クロス】

単位：％	C S W (コミュニティソーシャルワーカー) 活動	社協会員の募集	共同募金運動	ふくし掲示板	権利擁護事業 (法人後見事業)	ボランティアセンター (夏・冬のボランティアセンターの運営)	福祉教育の実施 (ふくし学習・出前講座)	こどもの居場所支援 (こども居場所ネットワーク所沢事務局など)	車いすの貸出 (ちよい借りステーション等)	発行 社協だより「ちやあ！」の	介護保険サービス事業 (訪問介護・居宅介護支援、介護保険認定調査)	その他	活動で知っているものはない	所沢社協を知らない	不明・無回答
全体 (n=946)	9.0	4.1	22.1	3.3	4.7	8.7	4.4	5.1	10.8	16.3	14.8	0.5	16.6	41.4	2.6
松井 (n=62)	4.8	0.0	12.9	1.6	4.8	8.1	3.2	4.8	6.5	12.9	9.7	0.0	30.6	37.1	1.6
富岡 (n=46)	15.2	4.3	30.4	4.3	2.2	8.7	6.5	10.9	15.2	21.7	21.7	4.3	13.0	37.0	4.3
小手指 (n=100)	10.0	7.0	20.0	2.0	7.0	8.0	2.0	5.0	11.0	12.0	18.0	0.0	19.0	40.0	1.0
山口 (n=81)	9.9	1.2	22.2	6.2	2.5	11.1	3.7	10.9	15.2	21.7	21.7	4.3	13.0	37.0	4.3
吾妻 (n=58)	8.6	6.9	32.8	1.7	13.8	12.1	8.6	5.0	11.0	12.0	18.0	0.0	19.0	40.0	1.0
柳瀬 (n=74)	8.1	5.4	27.0	8.1	8.1	9.5	8.1	2.5	3.7	19.8	11.1	1.2	16.0	44.4	0.0
三ヶ島 (n=80)	7.5	3.8	25.0	1.3	2.5	8.8	6.3	10.3	17.2	22.4	19.0	0.0	15.5	31.0	1.7
新所沢 (n=134)	12.7	5.2	25.4	3.7	4.5	10.4	6.0	2.5	3.7	19.8	11.1	1.2	16.0	44.4	0.0
新所沢東 (n=55)	10.9	5.5	30.9	3.6	5.5	14.5	3.6	10.3	17.2	22.4	19.0	0.0	15.5	31.0	1.7
所沢 (n=182)	6.0	1.6	12.6	0.5	1.6	4.4	1.6	2.7	12.2	18.9	23.0	0.0	18.9	35.1	0.0
並木 (n=56)	8.9	3.6	21.4	7.1	5.4	5.4	5.4	6.3	10.0	13.8	13.8	0.0	7.5	46.3	5.0

- 年代別にみると、すべての年代で「所沢社協を知らない」が最も多くなっています。一方、[60 歳以上] で「共同募金運動」が 3 割台と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

【年代別クロス】

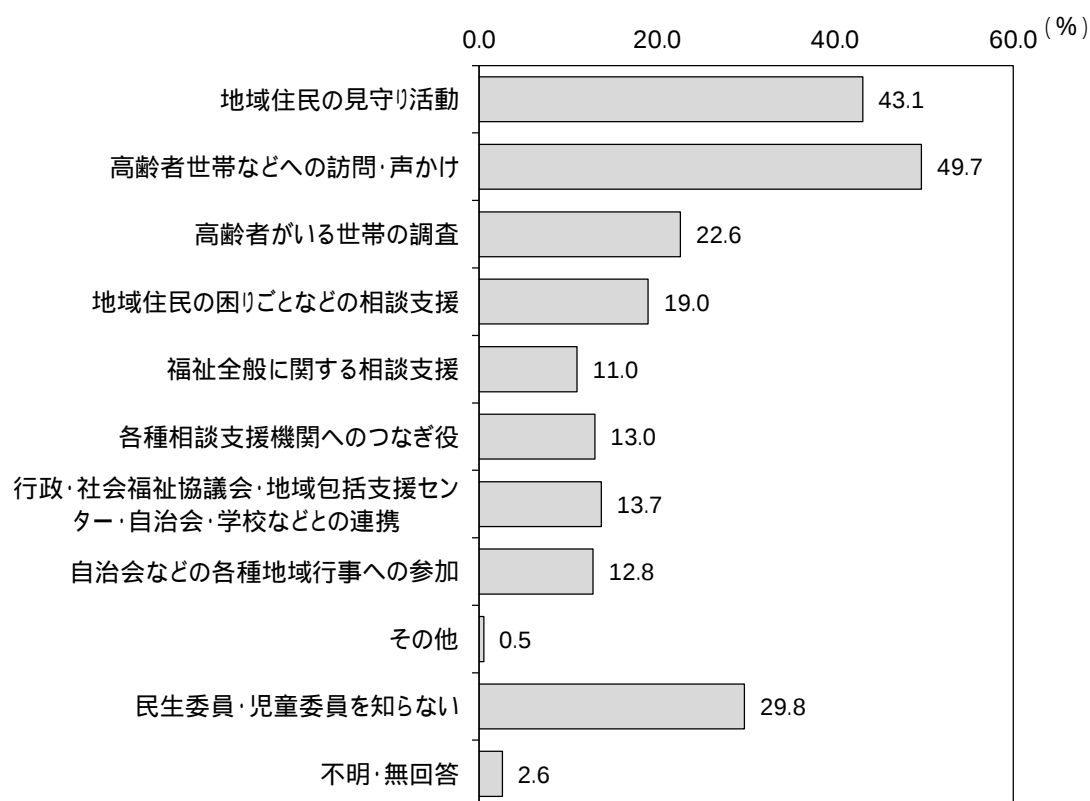
単位：％	C S W (コミュニティソーシャルワーカー) 活動	社協会員の募集	共同募金運動	ふくし掲示板	権利擁護事業 (法人後見事業)	ボランティアセンター (夏・冬のボランティアセンターの運営)	福祉教育の実施 (ふくし学習・出前講座)	こどもの居場所支援 (こども居場所ネットワーク所沢事務局など)	車いすの貸出 (ちよい借りステーション等)	発行 社協だより「ちやあ！」の	介護保険サービス事業 (訪問介護・居宅介護支援、介護保険認定調査)	その他	活動で知っているものはない	所沢社協を知らない	不明・無回答
全体 (n=946)	9.0	4.1	22.1	3.3	4.7	8.7	4.4	5.1	10.8	16.3	14.8	0.5	16.6	41.4	2.6
19歳～29歳 (n=100)	10.0	4.0	6.0	4.0	6.0	11.0	5.0	5.0	5.0	5.0	8.0	1.0	7.0	74.0	0.0
30歳～39歳 (n=140)	8.6	4.3	11.4	3.6	5.7	9.3	7.9	3.6	8.6	9.3	7.1	0.0	16.4	54.3	2.1
40歳～49歳 (n=175)	10.3	1.7	13.7	1.1	4.6	6.9	4.6	5.1	5.1	11.4	7.4	0.0	17.1	46.9	1.1
50歳～59歳 (n=140)	12.9	2.1	18.6	1.4	2.1	6.4	3.6	3.6	8.6	9.3	7.1	0.0	16.4	54.3	2.1
60歳～69歳 (n=168)	7.1	6.0	33.9	4.2	7.1	10.1	4.2	5.1	5.1	11.4	7.4	0.0	17.1	46.9	1.1
70歳以上 (n=207)	6.8	5.3	37.7	4.8	3.4	9.2	2.9	7.1	9.3	17.1	11.4	1.4	16.4	44.3	2.9

あなたが知っている民生委員・児童委員の活動は次のどれですか。（知っているものすべてに○）

< 一般向け調査：問 23 >

- 一般 の知っている民生委員・児童委員の活動については、「高齢者世帯などへの訪問・声かけ」が 49.7%で最も多く、次いで「地域住民の見守り活動」が 43.1%、「民生委員・児童委員を知らない」が 29.8%となっています。

【一般向け調査】



□ 一般向け調査 (n=946)

- 地区別にみると、[小手指] と [所沢] で「地域住民の見守り活動」が、それ以外の地区で「高齢者世帯などへの訪問・声かけ」が最も多くなっています。また、「地域住民の困りごとなどの相談支援」は [並木] で約 4 割と、他の地区に比べて割合が高くなっています。一方、[柳瀬] と [新所沢] では「民生委員・児童委員を知らない」が 37.0% と、他の地区に比べて割合が高くなっています。

【地区別クロス】

単位：%	地域住民の見守り活動	高齢者世帯などへの訪問・声かけ	高齢者がいる世帯の調査	地域住民の困りごとなどの相談支援	福祉全般に関する相談支援	各種相談支援機関へのつなぎ役	会・学校などとの連携	行政・社会福祉協議会・地域包括支援センター・自治会への参加	自治会などの各種地域行事への参加	その他	民生委員・児童委員を知らない	不明・無回答
全体（n=946）	43.1	49.7	22.6	19.0	11.0	13.0	13.7	12.8	0.5	29.8	2.6	
松井（n=62）	45.2	58.1	22.6	16.1	8.1	11.3	22.6	9.7	1.6	24.2	3.2	
富岡（n=46）	47.8	54.3	34.8	19.6	17.4	15.2	19.6	21.7	0.0	17.4	2.2	
小手指（n=100）	52.0	48.0	17.0	19.0	5.0	17.0	8.0	7.0	1.0	34.0	1.0	
山口（n=81）	35.8	48.1	16.0	12.3	11.1	9.9	12.3	21.7	0.0	17.4	2.2	
吾妻（n=58）	44.8	65.5	31.0	29.3	19.0	13.8	24.1	7.0	1.0	34.0	1.0	
柳瀬（n=74）	36.5	52.7	32.4	25.7	10.8	16.2	14.9	11.1	1.2	37.0	1.2	
三ヶ島（n=80）	45.0	51.2	25.0	18.8	16.3	15.0	18.8	20.7	0.0	19.0	5.2	
新所沢（n=134）	46.3	50.0	26.1	18.7	13.4	14.9	14.9	11.1	1.2	37.0	1.2	
新所沢東（n=55）	47.3	69.1	40.0	18.2	12.7	16.4	12.7	20.7	0.0	19.0	5.2	
所沢（n=182）	37.9	34.1	9.3	10.4	6.0	7.1	6.6	12.2	0.0	25.7	2.7	
並木（n=56）	39.3	46.4	21.4	39.3	14.3	14.3	10.7	17.5	0.0	25.0	5.0	

- 年代別にみると、[19 歳～39 歳] と [50 歳～59 歳] で「民生委員を知らない」、それ以外の年代で「高齢者世帯などへの訪問・声かけ」が最も多くなっています。特に [19 歳～29 歳] で民生委員を知らない割合が 6 割を超えて、多くなっています。

【年代別クロス】

単位：％	地域住民の見守り活動	高齢者世帯などへの訪問・声かけ	高齢者がいる世帯の調査	地域住民の困りごとなどの相談支援	福祉全般に関する相談支援	各種相談支援機関へのつなぎ役	会・学校などとの連携	行政・社会福祉協議会・地域包括支援センター・自治会・学校などの連携	自治会などの各種地域行事への参加	その他	民生委員・児童委員を知らない	不明・無回答
全体（n=946）	43.1	49.7	22.6	19.0	11.0	13.0	13.7	12.8	0.5	29.8	2.6	
19歳～29歳（n=100）	28.0	18.0	8.0	10.0	8.0	4.0	7.0	10.0	0.0	61.0	2.0	
30歳～39歳（n=140）	38.6	27.9	11.4	15.7	10.7	11.4	11.4	10.7	0.0	52.1	0.0	
40歳～49歳（n=175）	40.0	42.9	16.0	17.1	8.0	10.3	12.6	13.7	1.1	33.1	2.3	
50歳～59歳（n=140）	49.3	49.3	15.0	18.6	10.0	12.9	11.4	10.7	0.0	52.1	0.0	
60歳～69歳（n=168）	48.2	61.9	35.1	23.2	13.1	15.5	15.5	13.7	1.1	33.1	2.3	
70歳以上（n=207）	48.3	75.8	37.7	23.7	15.0	19.3	19.8	13.6	0.0	27.1	2.1	

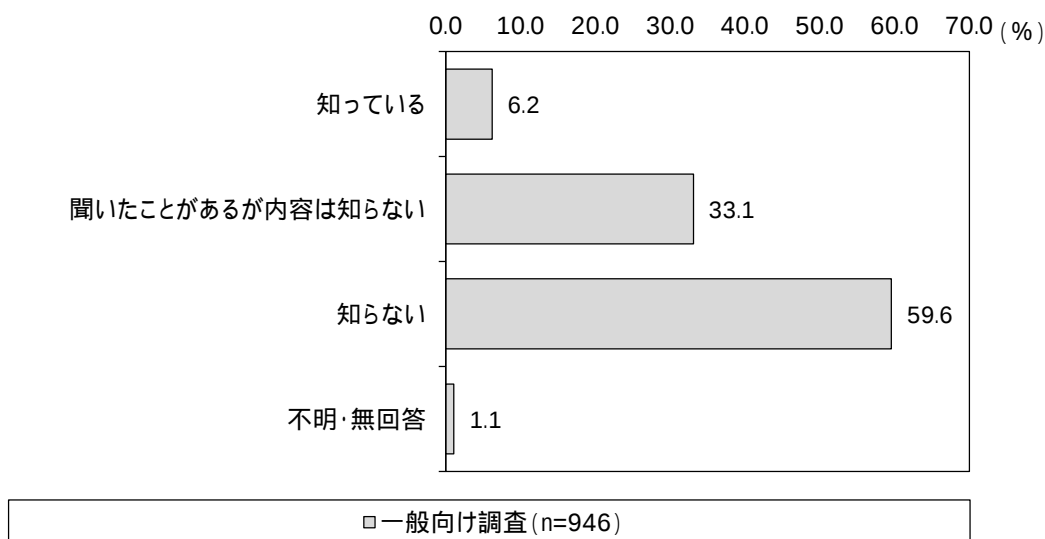
8 . 再犯防止について

平成 28 年 12 月に再犯の防止等に関する施策に関する基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、再犯の防止等に関する施策の基本となる事項を定めた「再犯の防止等の推進に関する法律(再犯防止推進法)」が施行されました。あなたは、国全体で再犯防止を推進していることを知っていますか。(○は1つまで)

< 一般向け調査 : 問 24 >

- 一般 の再犯防止の認知度については、「知らない」が59.6%で最も多く、次いで「聞いたことがあるが内容は知らない」が33.1%、「知っている」が6.2%となっています。

【一般向け調査】



- 年代別にみると、[70 歳以上] で「聞いたことがあるが内容は知らない」、それ以外の年代で「知らない」が最も多くなっています。

【年代別クロス】

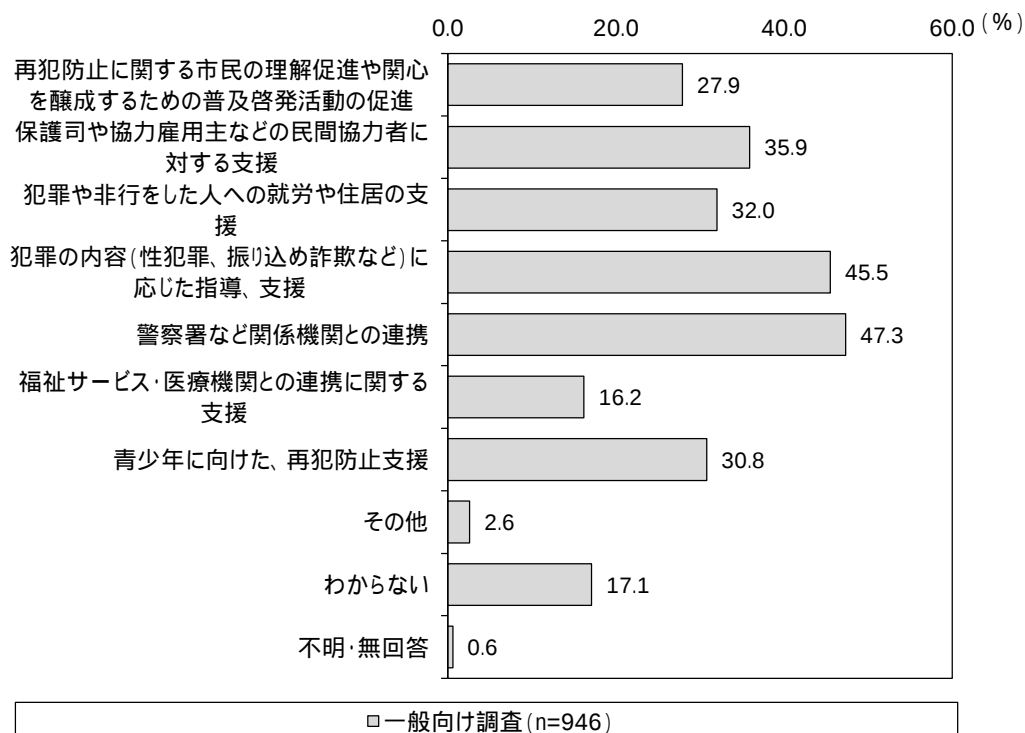
単位 : %	知っている	聞いたことがあるが内容は知らない	知らない	不明・無回答
全体 (n=946)	6.2	33.1	59.6	1.1
19歳～29歳 (n=100)	6.0	23.0	71.0	0.0
30歳～39歳 (n=140)	6.4	25.7	67.9	0.0
40歳～49歳 (n=175)	8.6	26.3	64.6	0.6
50歳～59歳 (n=140)	5.7	31.4	62.1	0.7
60歳～69歳 (n=168)	4.2	38.1	57.1	0.6
70歳以上 (n=207)	6.8	45.9	44.4	2.9

あなたは、再犯防止に関して、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

< 一般向け調査：問 25 >

- 一般 の再犯防止に関して、必要だと思うことについては、「警察署など関係機関との連携」が 47.3%で最も高く、次いで「犯罪の内容(性犯罪、振り込め詐欺など)に応じた指導、支援」が 45.5%、「保護司や協力雇用主などの民間協力者に対する支援」が 35.9%となっています。

【一般向け調査】



- 年代別にみると、[30 歳～39 歳] と [60 歳～69 歳] で「犯罪の内容(性犯罪、振り込め詐欺など)に応じた指導、支援」、[70 歳以上] で「保護司や協力雇用主などの民間協力者に対する支援」、それ以外の年代で「警察署など関係機関との連携」がそれぞれ最も多くなっています。

【年代別クロス】

単位：%	再犯防止に関する市民の理解促進や関心を醸成するための普及啓発活動の促進	保護司や協力雇用主などの民間協力者に対する支援	犯罪や非行をした人への就労や住居の支援	犯罪の内容(性犯罪、振り込め詐欺など)に応じた指導、支援	警察署など関係機関との連携	福祉サービス・医療機関との連携に関する支援	青少年に向けた、再犯防止支援	その他	わからない	不明・無回答
全体 (n=946)	27.9	35.9	32.0	45.5	47.3	16.2	30.8	2.6	17.1	0.6
19歳～29歳 (n=100)	26.0	20.0	22.0	38.0	49.0	16.0	30.0	3.0	21.0	0.0
30歳～39歳 (n=140)	22.9	25.7	27.1	52.1	45.7	10.7	32.1	2.1	17.1	0.0
40歳～49歳 (n=175)	23.4	33.7	30.3	45.7	46.9	15.4	35.4	2.3	15.4	0.6
50歳～59歳 (n=140)	26.4	31.4	37.9	46.4	48.6	12.1	22.9	2.1	17.1	0.0
60歳～69歳 (n=168)	31.0	47.0	36.9	49.4	46.4	20.2	30.4	2.3	15.4	0.6
70歳以上 (n=207)	34.3	47.3	33.8	41.5	47.3	19.8	32.4	3.6	15.7	0.7

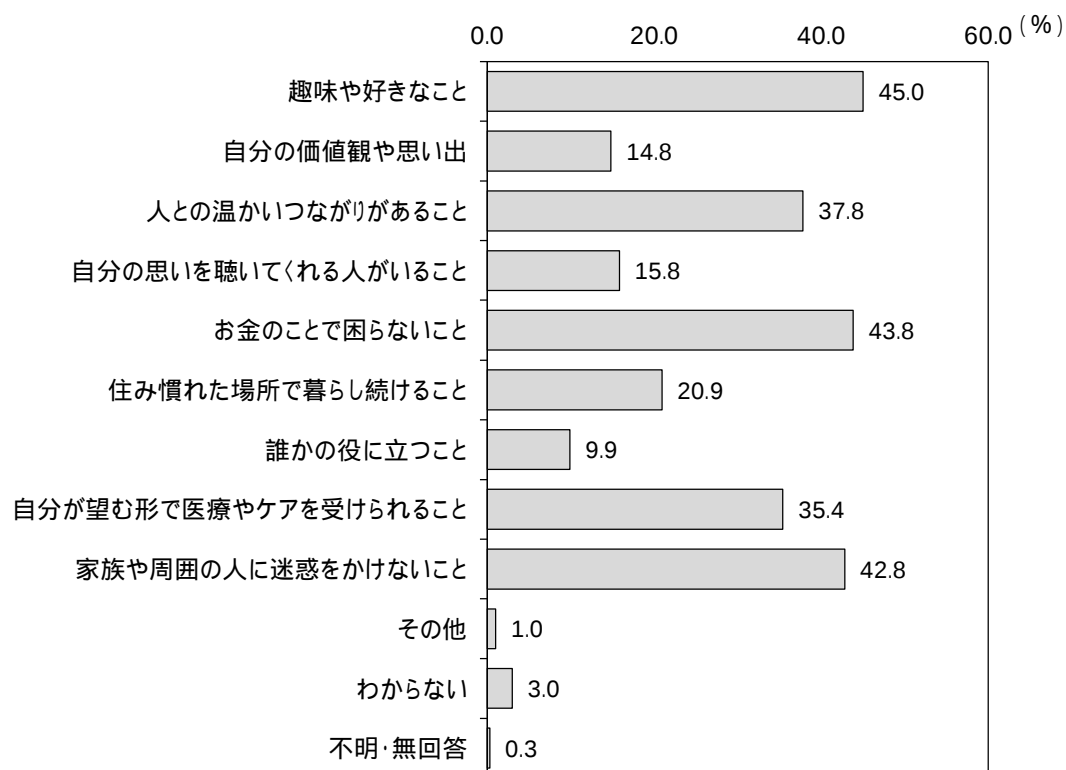
9 . 判断能力が低下した方への支援について

認知症や障害などにより判断能力が低下しても、あなたらしく生きていくために、あなたが最も大事にしたいことはなんですか。（〇は3つまで）

< 一般向け調査：問 26 >

- 一般 の判断能力が低下しても、あなたらしく生きていくために最も大事にしたいことについては、「趣味や好きなこと」が45.0%で最も多く、次いで「お金のことで困らないこと」が43.8%、「家族や周囲の人に迷惑をかけないこと」が42.8%となっています。

【一般向け調査】



□ 一般向け調査 (n=946)

- 年代別にみると、[19 歳～39 歳] で「趣味や好きなこと」、[40 歳～59 歳] で「お金のことで困らないこと」、[60 歳～69 歳] で「家族や周囲の人に迷惑をかけないこと」、[70 歳以上] で「趣味や好きなこと」と「人との温かいつながりがあること」が最も多くなっています。また、[70 歳以上] で「住み慣れた場所で暮らし続けること」が 3 割台半ば、[19 歳～29 歳] で「自分の価値観や思い出」が約 3 割と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

【年代別クロス】

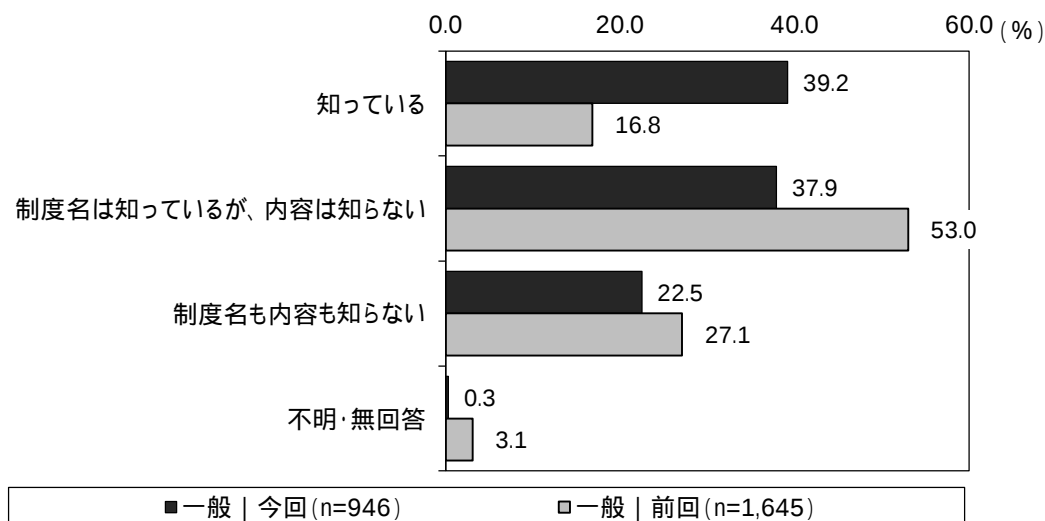
単位：%	趣味や好きなこと	出 自 分 の 価 値 観 や 思 い	り 人 と あ る 温 か い つ な が	く 自 分 の 思 い を 聴 こ い と て	い お 金 の こ と で 困 ら な	ら 住 み 慣 れ た 場 所 で 暮	誰 か の 役 に 立 つ こ と	こ や 自 分 が 望 む 形 で 医 療	惑 を か け な い こ と に 迷	そ の 他	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=946)	45.0	14.8	37.8	15.8	43.8	20.9	9.9	35.4	42.8	1.0	3.0	0.3
19歳～29歳 (n=100)	63.0	29.0	43.0	15.0	42.0	8.0	9.0	22.0	32.0	2.0	3.0	0.0
30歳～39歳 (n=140)	52.1	20.0	36.4	15.0	48.6	13.6	8.6	28.6	35.0	2.1	4.3	0.0
40歳～49歳 (n=175)	47.4	17.1	33.1	16.6	56.6	15.4	9.7	36.0	44.0	1.1	2.3	0.0
50歳～59歳 (n=140)	39.3	12.9	34.3	15.0	55.0	20.0	13.6	28.6	35.0	2.1	4.3	0.0
60歳～69歳 (n=168)	38.1	10.7	42.3	20.2	42.9	22.0	8.9	36.0	44.0	1.1	2.3	0.0
70歳以上 (n=207)	41.5	7.2	41.5	13.5	24.6	36.2	9.7	31.4	40.0	0.7	4.3	0.0

あなたは成年後見制度について知っていますか。（〇は1つまで）

< 一般向け調査：問 27 >

- 一般 の成年後見制度の認知度については、「知っている」が 39.2%で最も高く、次いで「制度名は知っているが、内容は知らない」が 37.9%、「制度名も内容も知らない」が 22.5%となっています。
- 前回調査と比較すると、「知っている」が 22.4 ポイント増加、「制度名は知っているが、内容は知らない」が 15.1 ポイント減少しています。

【一般向け調査】



* 「知っている」は、前回調査では「よく知っている」。

- 年代別にみると、[19 歳～29 歳]で「制度名も内容も知らない」が 4 割を超えて最も多くなっています。また、[30 歳～39 歳]と [60 歳以上]で「知っている」が 4 割を超え、特に [60 歳～69 歳]で 4 割台後半と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

【年代別クロス】

単位：%	知っている	制度名は知っているが、内容は知らない	制度名も内容も知らない	不明・無回答
全体 (n=946)	39.2	37.9	22.5	0.3
19歳～29歳 (n=100)	20.0	34.0	46.0	0.0
30歳～39歳 (n=140)	40.7	32.1	27.1	0.0
40歳～49歳 (n=175)	36.0	37.1	26.9	0.0
50歳～59歳 (n=140)	38.6	38.6	22.9	0.0
60歳～69歳 (n=168)	48.8	38.1	13.1	0.0
70歳以上 (n=207)	43.5	44.0	12.1	0.5

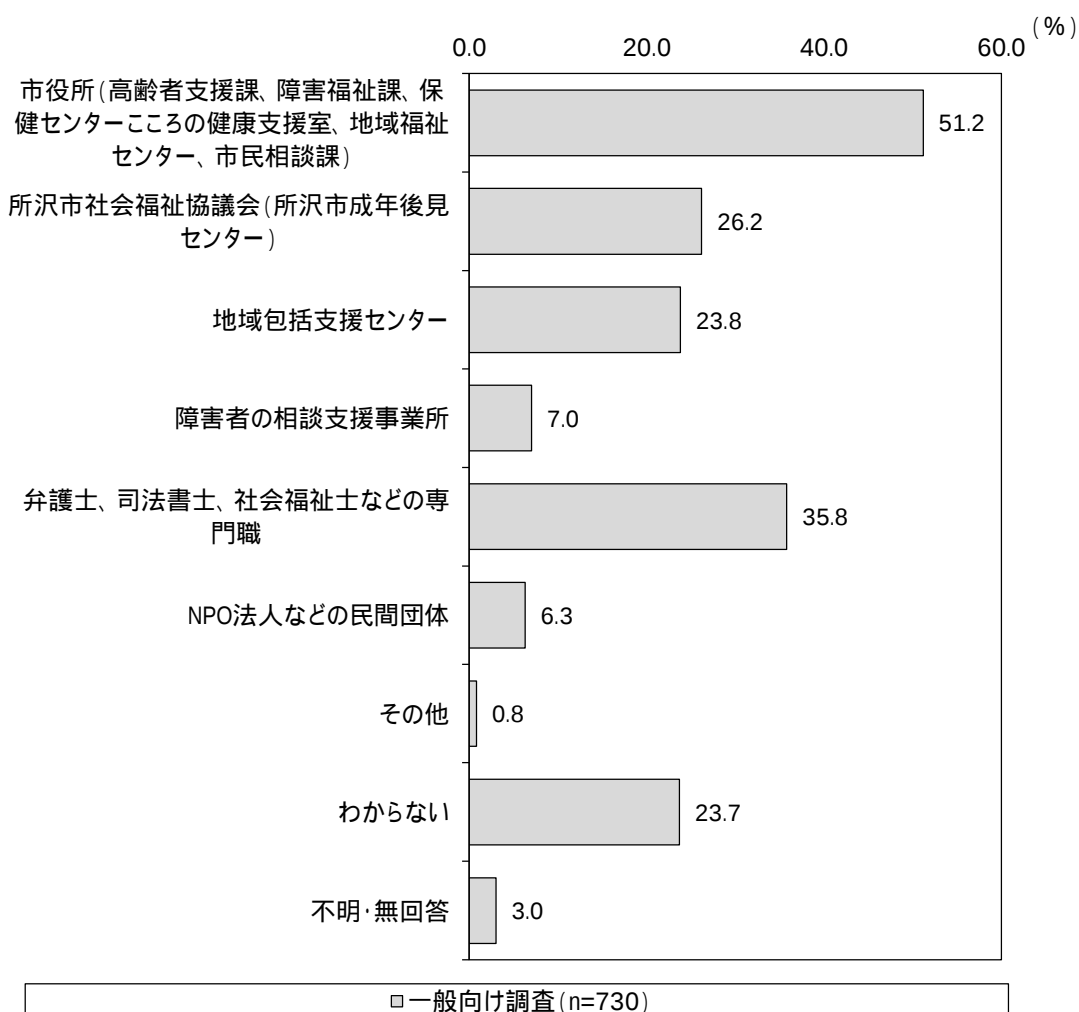
問 27 で「 1 . 知っている」又は「 2 . 制度名は知っているが、内容は知らない」に○をつけた方にお伺いします。

あなたが知っている成年後見制度についての相談先は次のどれですか。（知っているものにすべて○）

< 一般向け調査：問 27- 2 >

- 一般 の知っている成年後見制度についての相談先については、「市役所（高齢者支援課、障害福祉課、保健センターこころの健康支援室、地域福祉センター、市民相談課）」が 51.2%で最も多く、次いで「弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門職」が 35.8%、「所沢市社会福祉協議会（所沢市成年後見センター）」が 26.2%となっています。

【一般向け調査】

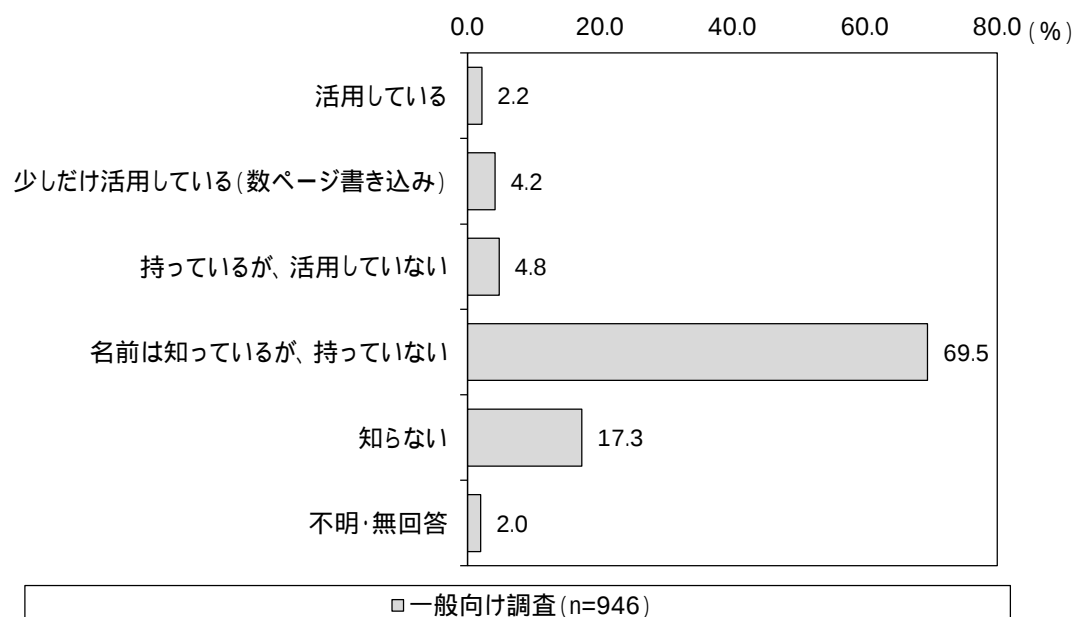


あなたは判断能力の低下に備えて、人生の最期のことや旅立った後のことを書き残し、自分の希望や伝言、連絡先などをまとめておく、「エンディングノート」を活用していますか。（○は1つまで）

< 一般向け調査：問 28 >

- 一般 の「エンディングノート」の活用状況については、「名前は知っているが、持っていない」が 69.5%で最も多く、次いで「知らない」が 17.3%、「持っているが、活用していない」が 4.8%となっています。

【一般向け調査】



- 年代別にみると、すべての年代で「名前は知っているが、持っていない」が最も多くなっています。また、[70 歳以上] で「少しだけ活用している（数ページ書き込み）」と「持っているが、活用していない」が 1 割台前半と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

【年代別クロス】

単位：%	活用している	きい少 達るし 込み(だ み)け ー 数 活 用 し 書 て	用持 して て い い な が、 活	が、名 前は 知 つ 知 て い て な い い る	知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=946)	2.2	4.2	4.8	69.5	17.3	2.0
19歳～29歳 (n=100)	1.0	0.0	0.0	59.0	40.0	0.0
30歳～39歳 (n=140)	0.7	1.4	1.4	73.6	21.4	1.4
40歳～49歳 (n=175)	0.6	1.1	2.3	77.7	16.6	1.7
50歳～59歳 (n=140)	1.4	4.3	1.4	79.3	12.9	0.7
60歳～69歳 (n=168)	3.0	1.8	6.5	74.4	10.1	4.2
70歳以上 (n=207)	5.3	12.6	12.1	54.1	13.5	2.4

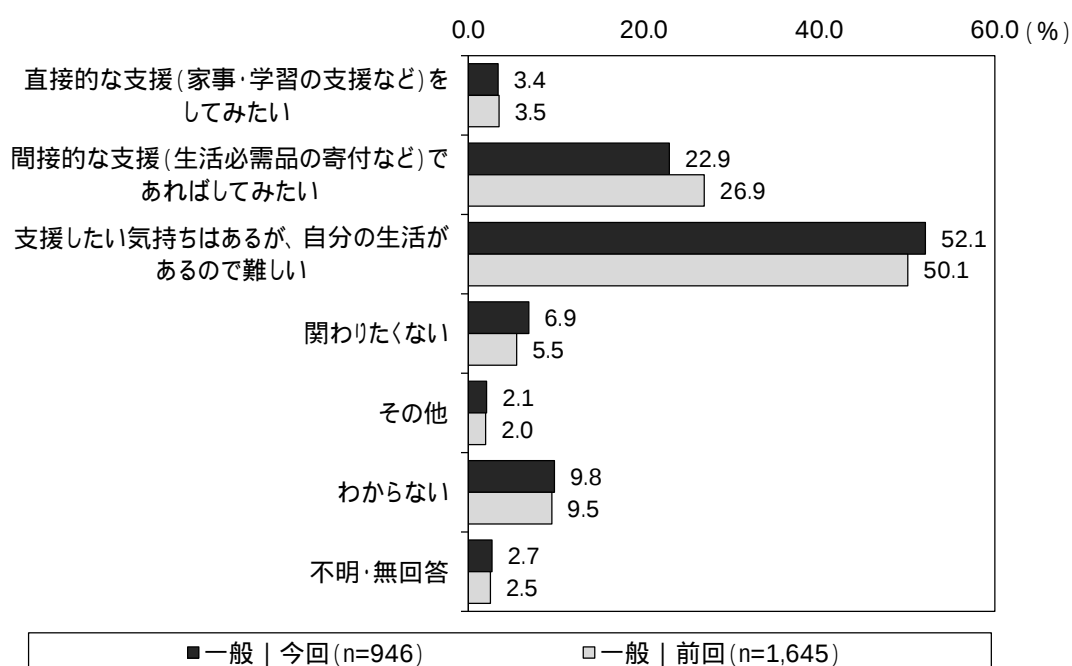
10．生活困窮者などへの支援について

生活に困っている人を地域で支えることについて、あなたはどのように思いますか。（〇は1つまで）

<一般向け調査：問 29>

- 一般 の生活に困っている人を地域で支えることをどう思うかについては、「支援したい気持ちはあるが、自分の生活があるので難しい」が 52.1%で最も多く、次いで「間接的な支援（生活必需品の寄付など）であればしてみたい」が 22.9%、「わからない」が 9.8%となっています。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

【一般向け調査】



- 地区別にみると、すべての地区で「支援したい気持ちはあるが、自分の生活があるので難しい」が最も多くなっています。また、[松井][富岡][柳瀬]で「間接的な支援（生活必需品の寄付など）であればしてみたい」が3割台前半と、他の地区に比べて割合が高くなっています。

【地区別クロス】

単位：％	た 習 直 接 的 な 支 援 な ど 援 （ を 家 し 事 て ・ み 学	し 品 間 接 的 な 支 援 （ で 生 活 に 必 要	で が 支 援 し た い の 生 活 が あ る の で 、 自 分 の 生 活 が あ る の で 難 し い	関 わ り た く な い	そ の 他	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体（n=946）	3.4	22.9	52.1	6.9	2.1	9.8	2.7
松井（n=62）	4.8	32.3	56.5	3.2	0.0	1.6	1.6
富岡（n=46）	4.3	30.4	47.8	2.2	2.2	10.9	2.2
小手指（n=100）	3.0	21.0	55.0	4.0	2.0	13.0	2.0
山口（n=81）	2.5	21.0	53.1	9.9	1.2	7.4	4.9
吾妻（n=58）	3.4	24.1	50.0	6.9	5.2	5.2	5.2
柳瀬（n=74）	2.7	31.1	44.6	8.1	0.0	9.5	4.1
三ヶ島（n=80）	1.3	17.5	53.8	6.3	0.0	18.8	2.5
新所沢（n=134）	2.2	28.4	51.5	6.0	3.0	7.5	1.5
新所沢東（n=55）	1.8	23.6	43.6	9.1	5.5	12.7	3.6
所沢（n=182）	4.9	14.3	58.2	10.4	1.1	9.9	1.1
並木（n=56）	7.1	28.6	39.3	3.6	5.4	10.7	5.4

- 年代別にみると、すべての年代で「支援したい気持ちはあるが、自分の生活があるので難しい」が最も多くなっています。また、年代が上がるにつれて「間接的な支援（生活必需品の寄付など）であればしてみたい」の割合が高くなる傾向にあります。さらに、[19歳～29歳]で「直接的な支援（家事・学習の支援など）をしてみたい」が約1割、[30歳～39歳]で「関わりたくない」が1割台半ばと、他の年代に比べて割合が高くなっています。

【年代別クロス】

単位：％	た 習 直 接 的 な 支 援 な ど 援 （ を 家 し 事 て ・ み 学	し 品 間 接 的 な 支 援 （ で 生 活 に 必 要	で が 支 援 し た い の 生 活 が あ る の で 、 自 分 の 生 活 が あ る の で 難 し い	関 わ り た く な い	そ の 他	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体（n=946）	3.4	22.9	52.1	6.9	2.1	9.8	2.7
19歳～29歳（n=100）	9.0	11.0	63.0	7.0	1.0	9.0	0.0
30歳～39歳（n=140）	4.3	11.4	57.9	15.0	2.9	7.1	1.4
40歳～49歳（n=175）	2.3	22.9	53.1	9.1	1.1	9.7	1.7
50歳～59歳（n=140）	4.3	26.4	48.6	6.4	4.3	8.6	1.4
60歳～69歳（n=168）	2.4	29.8	45.2	3.6	2.4	13.1	3.6
70歳以上（n=207）	1.4	30.0	49.8	2.4	1.0	9.7	5.8

- 今後の近所付き合いの希望別にみると、親しく付き合いたいと考える割合が高いほど、直接的な支援（家事・学習の支援など）をしてみたい」や「間接的な支援（生活必需品の寄付など）であればしてみたい」の割合が高くなる傾向にあります。一方、近所付き合いを望まない層では「関わりたくない」の割合が高くなる傾向にあります。

【今後の近所付き合いの希望別クロス】

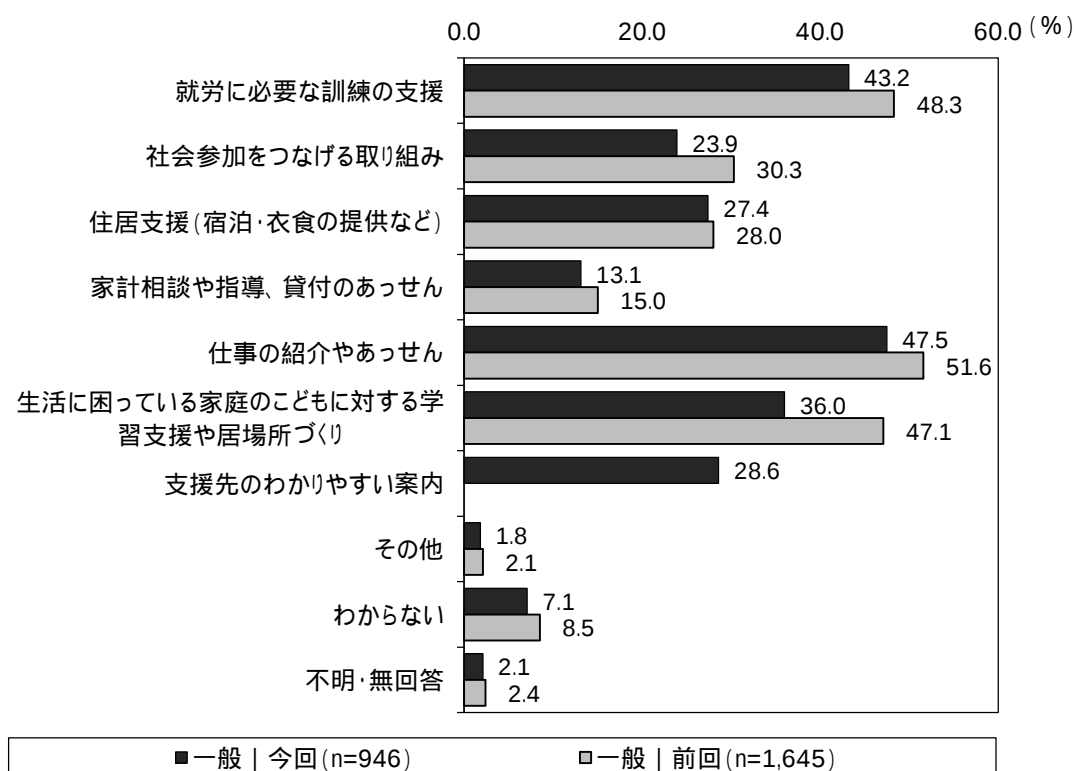
単位：％	直接的な支援（家事・学習の支援など）をしてみたい	間接的な支援（生活必需品の寄付など）をしてみたい	が、支援したい生活持ちである	関わりたくない	その他	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	3.4	22.9	52.1	6.9	2.1	9.8	2.7
日頃から話せるくらい親しく付き合いたい（n=82）	7.3	31.7	41.5	4.9	4.9	7.3	2.4
日常生活で困ったときに相談したり、助け合いたい（n=137）	4.4	27.7	50.4	2.2	0.7	8.8	5.8
災害時・緊急時に助け合えるような付き合いをしたい（n=306）	3.9	28.4	51.3	2.0	2.0	10.8	1.6
あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度の付き合いはしたい（n=211）	2.8	19.9	56.9	6.2	0.5	11.4	2.4
あいさつ程度で、それ以上は望まない（n=165）	0.6	9.1	55.8	21.2	3.0	7.9	2.4
近所の人と関わりたくない（n=18）	0.0	5.6	50.0	16.7	5.6	16.7	5.6
その他（n=4）	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

生活に困っている人を市が支援していくために、どのような取り組みが有効だと思いますか。（〇は3つまで）

< 一般向け調査：問 30 >

- 一般 の生活に困っている人を支援するために有効な取り組みについては、「仕事の紹介やあっせん」が 47.5% で最も高く、次いで「就労に必要な訓練の支援」が 43.2%、「生活に困っている家庭の子どもに対する学習支援や居場所づくり」が 36.0% となっています。
- 前回調査と比較すると、「就労に必要な訓練の支援」が 5.1 ポイント減少、「社会参加をつなげる取り組み」が 6.4 ポイント減少、「生活に困っている家庭の子どもに対する学習支援や居場所づくり」が 11.1 ポイント減少しています。

【一般向け調査】



* 「支援先のわかりやすい案内」は今回調査のみの選択肢。

- 地区別にみると、[富岡] [新所沢] [新所沢東] と [並木] で「就労に必要な訓練の支援」、それ以外の地区で「仕事の紹介やあっせん」が最も多くなっています。また、[柳瀬] では「住宅支援（宿泊・衣食の提供など）」が約４割と、他の地区に比べて割合が高くなっています。

【地区別クロス】

単位：％	就労に必要な訓練の支援	社会参加をつなげる取り組み	住宅支援（宿泊・衣食の提供など）	家計相談や指導、貸付のあっせん	仕事の紹介やあっせん	やど場所づくりに対する学習支援の生活に困っている家庭の支援	内支援先のわかりやすい案	その他	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	43.2	23.9	27.4	13.1	47.5	36.0	28.6	1.8	7.1	2.1
松井（n=62）	37.1	24.2	32.3	17.7	46.8	37.1	32.3	1.6	6.5	1.6
富岡（n=46）	45.7	19.6	26.1	10.9	37.0	37.0	30.4	4.3	4.3	2.2
小手指（n=100）	39.0	30.0	25.0	15.0	47.0	36.0	35.0	2.0	7.0	1.0
山口（n=81）	38.3	17.3	29.6	16.0	44.4	28.4	28.4	4.3	4.3	2.2
吾妻（n=58）	37.9	31.0	32.8	8.6	43.1	41.4	24.1	2.0	7.0	1.0
柳瀬（n=74）	35.1	20.3	40.5	16.2	52.7	29.7	25.7	1.2	3.7	6.2
三ヶ島（n=80）	46.3	25.0	20.0	7.5	61.3	35.0	35.0	5.2	8.6	3.4
新所沢（n=134）	46.3	20.1	32.8	12.7	41.8	41.8	27.6	1.2	3.7	6.2
新所沢東（n=55）	58.2	30.9	23.6	12.7	47.3	40.0	30.9	5.2	8.6	3.4
所沢（n=182）	45.6	21.4	20.9	12.1	50.5	33.5	24.2	2.7	9.5	1.4
並木（n=56）	46.4	28.6	28.6	14.3	41.1	42.9	26.8	0.0	7.5	1.3

- 年代別にみると、[30 歳～39 歳] は「就労に必要な訓練の支援」、それ以外の年代では「仕事の紹介やあっせん」が最も多くなっています。[50 歳～59 歳] は「就労に必要な訓練の支援」と「仕事の紹介やあっせん」がともに最多です。

【年代別クロス】

単位：％	就労に必要な訓練の支援	社会参加をつなげる取り組み	住宅支援（宿泊・衣食の提供など）	家計相談や指導、貸付のあっせん	仕事の紹介やあっせん	やど場所づくりに対する学習支援の生活に困っている家庭の支援	内支援先のわかりやすい案	その他	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	43.2	23.9	27.4	13.1	47.5	36.0	28.6	1.8	7.1	2.1
19歳～29歳（n=100）	42.0	31.0	29.0	12.0	44.0	40.0	23.0	0.0	8.0	0.0
30歳～39歳（n=140）	54.3	18.6	24.3	14.3	48.6	41.4	26.4	1.4	6.4	1.4
40歳～49歳（n=175）	42.3	23.4	24.0	8.0	53.7	30.9	32.6	2.3	4.6	1.7
50歳～59歳（n=140）	42.1	23.6	32.1	17.1	42.1	30.7	24.3	1.4	6.4	1.4
60歳～69歳（n=168）	38.7	24.4	31.0	10.1	48.2	39.3	33.3	2.3	4.6	1.7
70歳以上（n=207）	42.5	24.6	26.6	16.9	45.9	36.7	28.5	2.9	8.6	1.4

- 年収別にみると、[600～1000万円未満]で「就労に必要な訓練の支援」、それ以外の年収で「仕事の紹介やあっせん」が最も多くなっています。

【年収別クロス】

単位：％	就労に必要な訓練の支援	社会参加をつなげる取り組み	住居支援（宿泊・衣食の提供など）	家計相談や指導、貸付のあっせん	仕事の紹介やあっせん	生活に困っている家庭のこどもに対する学習支援の居場所づくり	支援先のわかりやすい案内	その他	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	43.2	23.9	27.4	13.1	47.5	36.0	28.6	1.8	7.1	2.1
300万円未満（n=190）	40.5	24.2	28.9	11.6	47.9	29.5	33.7	2.6	7.9	1.6
300～600万円未満（n=321）	38.6	24.0	29.9	15.0	48.0	41.4	24.9	1.9	5.6	3.1
600～1000万円未満（n=228）	53.9	25.4	26.8	13.6	46.5	37.7	29.4	1.8	5.3	0.9
1000万円以上（n=112）	47.3	21.4	20.5	10.7	50.9	33.0	33.9	1.9	5.6	3.1
わからない（n=70）	31.4	22.9	27.1	11.4	41.4	32.9	20.0	1.8	5.3	0.9

- 家族構成別にみると、[ひとり親と子のみ世帯]で「就労に必要な訓練の支援」、それ以外の家族構成で「仕事の紹介やあっせん」が最も多くなっています。

【家族構成別クロス】

単位：％	就労に必要な訓練の支援	社会参加をつなげる取り組み	住居支援（宿泊・衣食の提供など）	家計相談や指導、貸付のあっせん	仕事の紹介やあっせん	生活に困っている家庭のこどもに対する学習支援の居場所づくり	支援先のわかりやすい案内	その他	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	43.2	23.9	27.4	13.1	47.5	36.0	28.6	1.8	7.1	2.1
単独世帯（n=145）	40.7	21.4	31.0	13.1	46.2	29.0	29.7	5.5	10.3	1.4
夫婦のみ世帯（n=267）	42.3	23.6	28.8	13.5	45.7	36.7	25.5	1.5	7.9	3.0
夫婦と子のみ世帯（n=362）	47.0	26.2	24.9	12.4	47.8	39.0	29.3	1.1	5.8	1.4
ひとり親と子のみ世帯（n=46）	39.1	30.4	32.6	15.2	37.0	28.3	30.4	1.5	7.9	3.0
三世帯世帯（n=44）	36.4	22.7	29.5	13.6	52.3	52.3	31.8	1.1	5.8	1.4
その他（n=67）	41.8	14.9	25.4	13.4	58.2	29.9	31.3	0.0	8.7	2.2

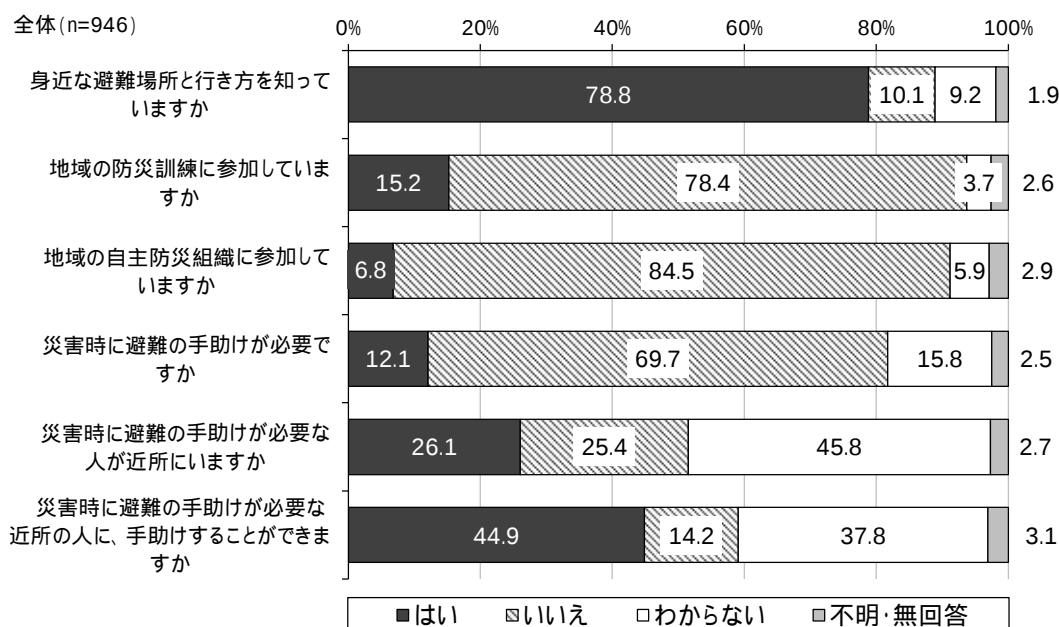
11．災害時の助け合いなどについて

防災に関連する項目について、～ のそれぞれにあてはまるものをお答えください。（それぞれの項目○は1つまで）

<一般向け調査：問 31>

- 一般 の[身近な避難場所と行き方を知っていますか]については、「はい」が78.8%と8割弱の回答が見られるものの、[地域の防災訓練に参加していますか]や[地域の自主防災組織に参加していますか]では、「はい」が15.2%、6.8%と低くなっています。
- 一方、[災害時に避難の手助けが必要な近所の人に、手助けすることができますか]については、「はい」が44.9%となっています。

【一般向け調査】



身近な避難場所と行き方を知っていますか

- 地区別にみると、すべての地区で「はい（知っている）」が最も多くなっています。
- 年代別にみると、すべての年代で「はい（知っている）」が最も多くなっています。[30 歳～39 歳] で「いいえ（知らない）」が1割台後半と、他の年代に比べて割合が高くなっています

【地区別クロス】

単位：％	はい	いいえ	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	78.8	10.1	9.2	1.9
松井（n=62）	77.4	11.3	9.7	1.6
富岡（n=46）	95.7	2.2	0.0	2.2
小手指（n=100）	77.0	11.0	10.0	2.0
山口（n=81）	77.8	8.6	11.1	2.5
吾妻（n=58）	84.5	10.3	3.4	1.7
柳瀬（n=74）	83.8	6.8	8.1	1.4
三ヶ島（n=80）	81.3	11.3	5.0	2.5
新所沢（n=134）	79.9	9.0	9.7	1.5
新所沢東（n=55）	83.6	9.1	5.5	1.8
所沢（n=182）	70.9	13.2	14.8	1.1
並木（n=56）	76.8	12.5	8.9	1.8

【年代別クロス】

単位：％	はい	いいえ	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	78.8	10.1	9.2	1.9
19歳～29歳（n=100）	76.0	10.0	13.0	1.0
30歳～39歳（n=140）	71.4	17.1	10.7	0.7
40歳～49歳（n=175）	80.0	9.7	10.3	0.0
50歳～59歳（n=140）	79.3	11.4	7.9	1.4
60歳～69歳（n=168）	86.9	5.4	7.7	0.0
70歳以上（n=207）	78.3	8.7	7.2	5.8

地域の防災訓練に参加していますか

- 地区別にみると、すべての地区で「いいえ（参加していない）」が最も多くなっています。
- 年代別にみると、すべての年代で「いいえ（参加していない）」が最も多くなっています。年代が上がるにつれて、「はい（参加している）」の割合が高くなる傾向にあります。

【地区別クロス】

単位：％	はい	いいえ	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	15.2	78.4	3.7	2.6
松井（n=62）	11.3	85.5	1.6	1.6
富岡（n=46）	23.9	71.7	2.2	2.2
小手指（n=100）	11.0	81.0	6.0	2.0
山口（n=81）	16.0	77.8	3.7	2.5
吾妻（n=58）	24.1	67.2	3.4	5.2
柳瀬（n=74）	17.6	79.7	0.0	2.7
三ヶ島（n=80）	12.5	78.8	5.0	3.8
新所沢（n=134）	15.7	79.1	3.0	2.2
新所沢東（n=55）	18.2	74.5	5.5	1.8
所沢（n=182）	13.7	80.8	3.8	1.6
並木（n=56）	10.7	83.9	3.6	1.8

【年代別クロス】

単位：％	はい	いいえ	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	15.2	78.4	3.7	2.6
19歳～29歳（n=100）	8.0	87.0	5.0	0.0
30歳～39歳（n=140）	4.3	90.0	5.0	0.7
40歳～49歳（n=175）	13.7	82.3	4.0	0.0
50歳～59歳（n=140）	16.4	80.0	2.1	1.4
60歳～69歳（n=168）	22.6	72.0	4.2	1.2
70歳以上（n=207）	20.8	68.6	2.4	8.2

地域の自主防災組織に参加していますか

- 地区別にみると、すべての地区で「いいえ（参加していない）」が最も多くなっています。
- 年代別にみると、すべての年代で「いいえ（参加していない）」が最も多くなっています。

【地区別クロス】

単位：％	はい	いいえ	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	6.8	84.5	5.9	2.9
松井（n=62）	6.5	87.1	4.8	1.6
富岡（n=46）	8.7	78.3	10.9	2.2
小手指（n=100）	5.0	88.0	5.0	2.0
山口（n=81）	13.6	79.0	4.9	2.5
吾妻（n=58）	12.1	74.1	8.6	5.2
柳瀬（n=74）	5.4	85.1	6.8	2.7
三ヶ島（n=80）	6.3	77.5	10.0	6.3
新所沢（n=134）	4.5	90.3	3.7	1.5
新所沢東（n=55）	12.7	81.8	3.6	1.8
所沢（n=182）	4.4	86.8	6.6	2.2
並木（n=56）	5.4	92.9	0.0	1.8

【年代別クロス】

単位：％	はい	いいえ	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	6.8	84.5	5.9	2.9
19歳～29歳（n=100）	1.0	92.0	7.0	0.0
30歳～39歳（n=140）	2.1	90.7	6.4	0.7
40歳～49歳（n=175）	6.3	87.4	6.3	0.0
50歳～59歳（n=140）	7.9	84.3	6.4	1.4
60歳～69歳（n=168）	11.9	81.0	5.4	1.8
70歳以上（n=207）	8.7	77.8	4.8	8.7

災害時に避難の手助けが必要ですか

- 地区別にみると、すべての地区で「いいえ（必要ない）」が最も多くなっています。
- 年代別にみると、すべての年代で「いいえ（必要ない）」が最も多くなっています。

【地区別クロス】

単位：％	はい	いいえ	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	12.1	69.7	15.8	2.5
松井（n=62）	11.3	79.0	8.1	1.6
富岡（n=46）	4.3	80.4	13.0	2.2
小手指（n=100）	15.0	68.0	15.0	2.0
山口（n=81）	11.1	67.9	18.5	2.5
吾妻（n=58）	15.5	67.2	13.8	3.4
柳瀬（n=74）	6.8	73.0	17.6	2.7
三ヶ島（n=80）	5.0	71.3	20.0	3.8
新所沢（n=134）	15.7	66.4	16.4	1.5
新所沢東（n=55）	9.1	78.2	10.9	1.8
所沢（n=182）	14.3	65.4	18.1	2.2
並木（n=56）	16.1	67.9	14.3	1.8

【年代別クロス】

単位：％	はい	いいえ	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	12.1	69.7	15.8	2.5
19歳～29歳（n=100）	12.0	65.0	23.0	0.0
30歳～39歳（n=140）	11.4	65.7	21.4	1.4
40歳～49歳（n=175）	14.3	65.7	20.0	0.0
50歳～59歳（n=140）	9.3	74.3	15.0	1.4
60歳～69歳（n=168）	13.1	76.2	10.1	0.6
70歳以上（n=207）	11.6	70.5	10.1	7.7

災害時に避難の手助けが必要な人が近所にいますか

- 地区別にみると、すべての地区で「わからない」が最も多くなっています。
- 年代別にみると、すべての年代で「わからない」が最も多くなっています。

【地区別クロス】

単位：％	はい	いいえ	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	26.1	25.4	45.8	2.7
松井（n=62）	27.4	27.4	43.5	1.6
富岡（n=46）	30.4	32.6	34.8	2.2
小手指（n=100）	24.0	24.0	50.0	2.0
山口（n=81）	29.6	23.5	44.4	2.5
吾妻（n=58）	24.1	25.9	46.6	3.4
柳瀬（n=74）	28.4	27.0	41.9	2.7
三ヶ島（n=80）	30.0	22.5	42.5	5.0
新所沢（n=134）	26.1	24.6	47.8	1.5
新所沢東（n=55）	29.1	21.8	47.3	1.8
所沢（n=182）	20.9	28.0	48.4	2.7
並木（n=56）	23.2	23.2	51.8	1.8

【年代別クロス】

単位：％	はい	いいえ	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	26.1	25.4	45.8	2.7
19歳～29歳（n=100）	27.0	21.0	52.0	0.0
30歳～39歳（n=140）	25.0	21.4	52.1	1.4
40歳～49歳（n=175）	23.4	23.4	53.1	0.0
50歳～59歳（n=140）	24.3	30.7	43.6	1.4
60歳～69歳（n=168）	31.5	29.2	38.7	0.6
70歳以上（n=207）	25.1	25.6	40.6	8.7

災害時に避難の手助けが必要な近所の人に、手助けすることができますか

- 地区別にみると、[所沢] で「わからない」、それ以外の地区で「はい（手助けできる）」が最も多くなっています。[新所沢] と [並木] では、「わからない」も最多です。
- 年代別にみると、[19 歳～49 歳] で「わからない」、[50 歳以上] で「はい（手助けできる）」が最も多くなっています。

【地区別クロス】

単位：％	はい	いいえ	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	44.9	14.2	37.8	3.1
松井（n=62）	51.6	12.9	32.3	3.2
富岡（n=46）	47.8	4.3	45.7	2.2
小手指（n=100）	49.0	12.0	37.0	2.0
山口（n=81）	48.1	13.6	33.3	4.9
吾妻（n=58）	51.7	6.9	37.9	3.4
柳瀬（n=74）	50.0	13.5	33.8	2.7
三ヶ島（n=80）	46.3	13.8	35.0	5.0
新所沢（n=134）	38.8	20.9	38.8	1.5
新所沢東（n=55）	47.3	14.5	34.5	3.6
所沢（n=182）	40.7	14.3	42.9	2.2
並木（n=56）	39.3	19.6	39.3	1.8

【年代別クロス】

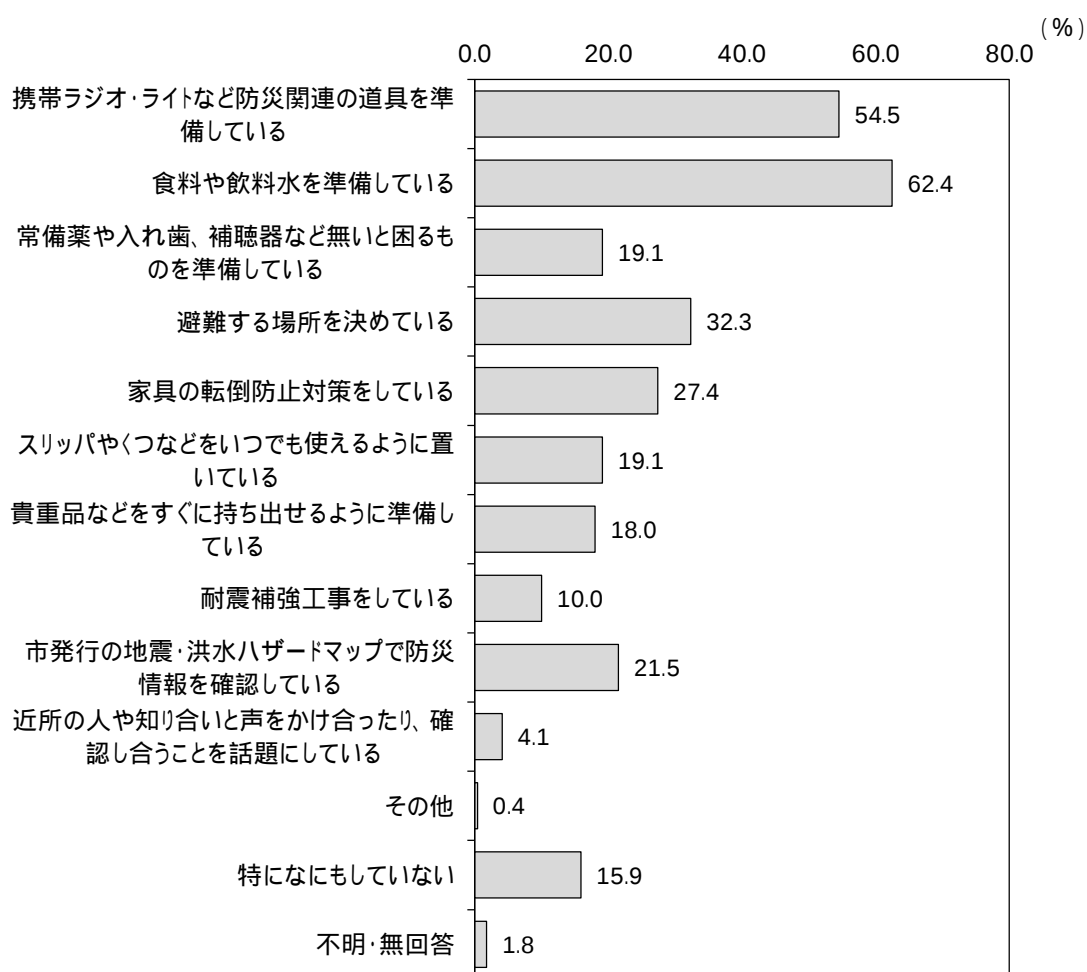
単位：％	はい	いいえ	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	44.9	14.2	37.8	3.1
19歳～29歳（n=100）	42.0	8.0	50.0	0.0
30歳～39歳（n=140）	37.9	22.1	38.6	1.4
40歳～49歳（n=175）	41.7	14.3	44.0	0.0
50歳～59歳（n=140）	47.9	13.6	37.1	1.4
60歳～69歳（n=168）	50.6	11.3	36.3	1.8
70歳以上（n=207）	48.3	14.5	28.0	9.2

あなたは、災害時の備えとして、普段どのようなことをしていますか。（あてはまるものすべてに○）

<一般向け調査：問 32>

- 一般 の災害時の備えとして普段していることについては、「食料や飲料水を準備している」が 62.4%で最も多く、次いで「携帯ラジオ・ライトなど防災関連の道具を準備している」が 54.5%、「避難する場所を決めている」が 32.3%となっています。

【一般向け調査】



□ 一般向け調査 (n=946)

- 地区別にみると、[三ヶ島]と[並木]で「携帯ラジオ・ライトなど防災関連の道具を準備している」、それ以外の地区で「食料や飲料水を準備している」が最も多くなっています。また、[富岡]と[山口]で「市発行の地震・洪水ハザードマップで防災情報を確認している」が3割台後半、[吾妻]で「家具の転倒防止対策をしている」が約4割と、他の地区に比べて割合が高くなっています。

【地区別クロス】

単位：％	防災関連の道具を準備している	食料や飲料水を準備している	常備薬や入れ歯、補聴器などを準備している	避難する場所を決めている	家具の転倒防止対策をしている	スリッパや靴など履きやすいものを置いている	貴重品などを準備している	耐震補強工事をしている	市発行の地震・洪水ハザードマップを確認している	近所の人や知り合い、合コンなどを話している	その他	特になにもしていない	不明・無回答
全体（n=946）	54.5	62.4	19.1	32.3	27.4	19.1	18.0	10.0	21.5	4.1	0.4	15.9	1.8
松井（n=62）	58.1	61.3	22.6	38.7	19.4	22.6	27.4	9.7	27.4	8.1	0.0	16.1	3.2
富岡（n=46）	63.0	67.4	8.7	39.1	30.4	26.1	13.0	10.9	37.0	6.5	0.0	6.5	2.2
小手指（n=100）	53.0	68.0	22.0	35.0	27.0	15.0	21.0	14.0	30.0	1.0	0.0	17.0	2.0
山口（n=81）	53.1	64.2	18.5	28.4	29.6	19.8	11.1	10.9	37.0	6.5	0.0	6.5	2.2
吾妻（n=58）	63.8	67.2	22.4	34.5	39.7	22.4	24.1	14.0	30.0	1.0	0.0	17.0	2.0
柳瀬（n=74）	51.4	66.2	14.9	35.1	29.7	21.6	18.9	17.3	25.9	3.7	1.2	16.0	2.5
三ヶ島（n=80）	55.0	51.2	26.3	30.0	23.8	16.3	22.5	8.6	22.4	12.1	0.0	15.5	1.7
新所沢（n=134）	56.0	63.4	19.4	36.6	29.1	17.2	14.2	17.3	25.9	3.7	1.2	16.0	2.5
新所沢東（n=55）	58.2	60.0	10.9	34.5	32.7	23.6	18.2	8.6	22.4	12.1	0.0	15.5	1.7
所沢（n=182）	50.0	62.6	17.6	24.2	23.1	19.8	13.7	12.2	14.9	5.4	0.0	14.9	1.4
並木（n=56）	57.1	53.6	28.6	33.9	26.8	14.3	28.6	11.3	17.5	3.8	0.0	20.0	2.5

- 年代別にみると、[70 歳以上]で「携帯ラジオ・ライトなど防災関連の道具を準備している」、それ以外の年代で「食料や飲料水を準備している」が最も多くなっています。また、[19 歳～29 歳]で「特になにもしていない」が2割台半ばと、他の年代に比べて割合が高くなっています。

【年代別クロス】

単位：％	防災関連の道具を準備している	食料や飲料水を準備している	常備薬や入れ歯、補聴器などを準備している	避難する場所を決めている	家具の転倒防止対策をしている	スリッパや靴など履きやすいものを置いている	貴重品などを準備している	耐震補強工事をしている	市発行の地震・洪水ハザードマップを確認している	近所の人や知り合い、合コンなどを話している	その他	特になにもしていない	不明・無回答
全体（n=946）	54.5	62.4	19.1	32.3	27.4	19.1	18.0	10.0	21.5	4.1	0.4	15.9	1.8
19歳～29歳（n=100）	33.0	51.0	10.0	34.0	20.0	17.0	15.0	7.0	9.0	3.0	0.0	25.0	0.0
30歳～39歳（n=140）	45.0	63.6	21.4	29.3	24.3	17.9	15.7	11.4	30.7	1.4	1.4	15.0	0.0
40歳～49歳（n=175）	56.6	67.4	21.1	41.7	26.3	13.1	17.1	10.9	21.7	2.9	1.1	12.6	0.0
50歳～59歳（n=140）	55.7	65.0	17.9	27.1	26.4	15.7	15.7	11.4	30.7	1.4	1.4	15.0	0.0
60歳～69歳（n=168）	58.9	67.9	15.5	29.8	31.0	26.8	17.3	10.9	21.7	2.9	1.1	12.6	0.0
70歳以上（n=207）	66.7	56.5	24.6	31.4	31.9	22.2	24.6	7.1	21.4	4.3	0.0	16.4	1.4

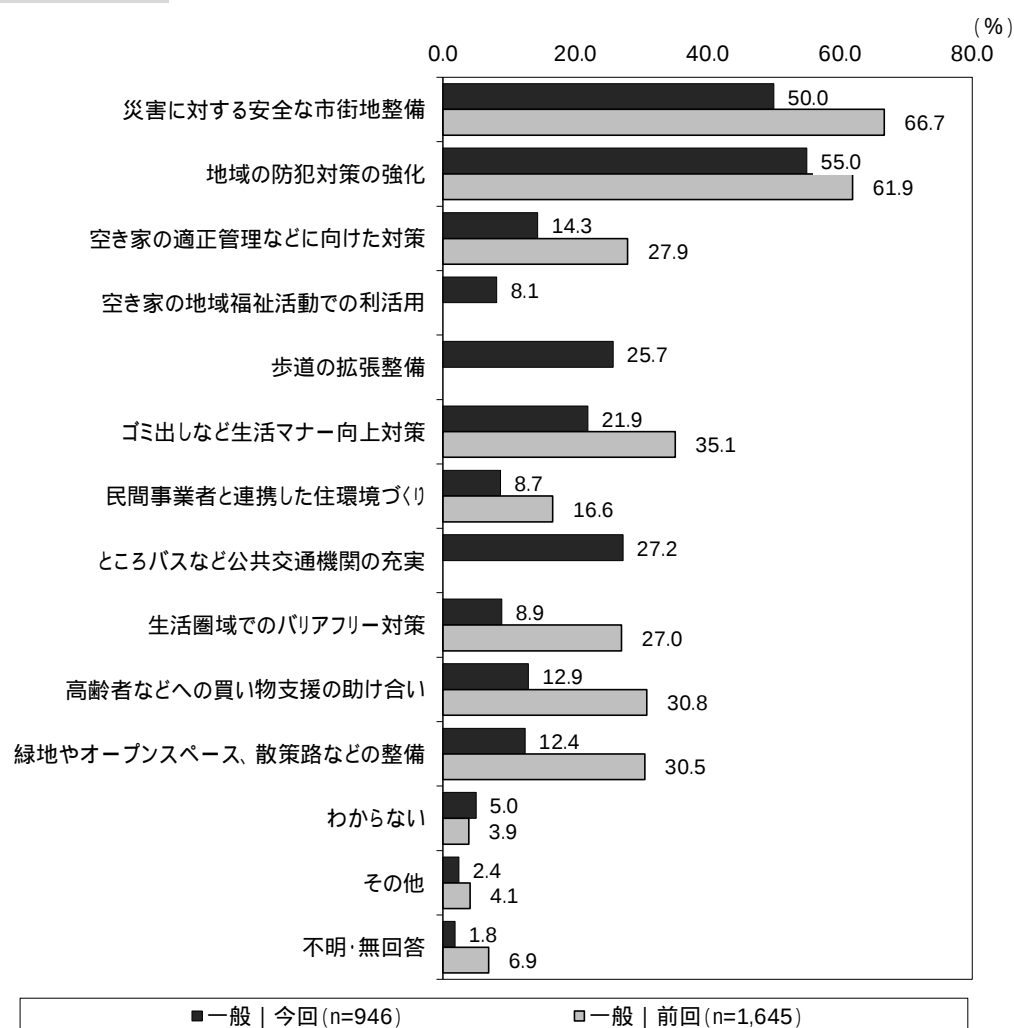
12. 優しいまちづくりについて

あなたは、地域で安心して長く住み続けるために、住環境や生活で重要だと思う取り組みは何ですか。（〇は3つまで）

< 一般向け調査：問 33 >

- 一般 の住環境や生活で重要だと思う取り組みについては、「地域の防犯対策の強化」が 55.0%で最も高く、次いで「災害に対する安全な市街地整備」が 50.0%、「ところバスなど公共交通機関の充実」が 27.2%となっています。
- 前回調査と比較すると、「災害に対する安全な市街地整備」が 16.7 ポイント減少、「地域の防犯対策の強化」が 6.9 ポイント減少、「空き家の適正管理などに向けた対策」が 13.6 ポイント減少、「ゴミ出しなど生活マナー向上対策」が 13.2 ポイント減少、「民間事業者と連携した住環境づくり」が 7.9 ポイント減少、「生活圏域でのバリアフリー対策」が 18.1 ポイント減少、「高齢者などへの買い物支援の助け合い」が 17.9 ポイント減少、「緑地やオープンスペース、散策路などの整備」が 18.1 ポイント減少しています。

【一般向け調査】



* 「空き家の地域福祉活動での利活用」、「歩道の拡張整備」と「ところバスなど公共交通機関の充実」は今回調査のみの選択肢。

- 地区別にみると、[小手指] [山口] と [吾妻] で「災害に対する安全な市街地整備」、[並木] で「災害に対する安全な市街地整備」と「地域の防犯対策の強化」、それ以外の地区で「地域の防犯対策の強化」が最も多くなっています。また、[小手指] で「歩道の拡張」が4割、[新所沢東] で「ゴミ出しなど生活マナーの向上対策」が3割台前半と、他の地区に比べて割合が高くなっています。

【地区別クロス】

単位：％	災害に対する安全な市街地整備	地域の防犯対策の強化	空き家の適正管理などに向けた対策	空き家の地域福祉活動での利活用	歩道の拡張整備	ゴミ出しなど生活マナー向上対策	環境づくり 民間事業者と連携した住環境づくり	機関の充実 ところバスなど公共交通	生活圏域でのバリアフリー対策	高齢者などへの買い物支援	緑地やオープンスペース、散策路などの整備	わからない	その他	不明・無回答
全体 (n=946)	50.0	55.0	14.3	8.1	25.7	21.9	8.7	27.2	8.9	12.9	12.4	5.0	2.4	1.8
松井 (n=62)	46.8	51.6	8.1	1.6	25.8	27.4	11.3	33.9	3.2	16.1	14.5	4.8	3.2	1.6
富岡 (n=46)	47.8	56.5	8.7	6.5	26.1	15.2	8.7	30.4	6.5	15.2	10.9	0.0	4.3	2.2
小手指 (n=100)	50.0	49.0	16.0	9.0	40.0	14.0	10.0	26.0	10.0	9.0	18.0	3.0	3.0	2.0
山口 (n=81)	54.3	49.4	11.1	9.9	38.3	19.8	9.9	30.4	6.5	15.2	10.9	0.0	4.3	2.2
吾妻 (n=58)	65.5	51.7	19.0	10.3	25.9	13.8	3.4	26.0	10.0	9.0	18.0	3.0	3.0	2.0
柳瀬 (n=74)	54.1	58.1	12.2	5.4	17.6	20.3	12.2	29.6	8.6	14.8	9.9	3.7	1.2	2.5
三ヶ島 (n=80)	46.3	60.0	15.0	5.0	31.3	26.3	3.8	25.9	6.9	15.5	20.7	5.2	5.2	1.7
新所沢 (n=134)	49.3	64.9	18.7	9.0	15.7	22.4	10.4	29.6	8.6	14.8	9.9	3.7	1.2	2.5
新所沢東 (n=55)	49.1	63.6	20.0	7.3	16.4	32.7	1.8	25.9	6.9	15.5	20.7	5.2	5.2	1.7
所沢 (n=182)	49.5	52.7	13.7	7.7	25.3	26.4	9.3	31.1	10.8	10.8	10.8	5.4	1.4	1.4
並木 (n=56)	46.4	46.4	10.7	17.9	21.4	19.6	7.1	32.5	7.5	13.8	5.0	3.8	1.3	3.8

- 性・年代別にみると、すべての性・年代で「災害に対する安全な市街地整備」と「地域の防犯対策の強化」が上位を占めています。また、[30歳～39歳・女性] で「歩道の拡張」が4割台前半と、他の性・年代に比べて割合が高くなっています。

【性・年代別クロス】

単位：％	災害に対する安全な市街地整備	地域の防犯対策の強化	空き家の適正管理などに向けた対策	空き家の地域福祉活動での利活用	歩道の拡張整備	ゴミ出しなど生活マナー向上対策	環境づくり 民間事業者と連携した住環境づくり	機関の充実 ところバスなど公共交通	生活圏域でのバリアフリー対策	高齢者などへの買い物支援	緑地やオープンスペース、散策路などの整備	わからない	その他	不明・無回答
合計 (n=929)	50.6	55.2	14.4	8.2	25.8	22.0	8.6	27.0	8.9	13.0	12.5	4.6	2.5	1.6
男性	小計 (n=414)	49.5	52.4	14.5	8.5	26.1	22.5	10.1	23.2	7.0	8.0	12.1	7.0	2.2
	19歳～29歳 (n=45)	55.6	53.3	11.1	11.1	13.3	17.8	15.6	11.1	13.3	6.7	8.9	6.7	0.0
	30歳～39歳 (n=63)	36.5	44.4	11.1	7.9	25.4	19.0	15.9	27.0	7.9	15.9	14.3	1.6	0.0
	40歳～49歳 (n=68)	45.6	54.4	17.6	5.9	32.4	23.5	10.3	16.2	5.9	4.4	8.8	5.9	0.0
	50歳～59歳 (n=61)	54.1	50.8	13.1	11.5	34.4	32.8	8.2	19.7	1.6	3.3	13.1	6.6	1.6
	60歳～69歳 (n=67)	55.2	53.7	17.9	6.0	25.4	23.9	6.0	23.9	10.4	9.0	13.4	6.0	0.0
	70歳以上 (n=110)	50.9	55.5	14.5	9.1	23.6	19.1	8.2	31.8	5.5	11.8	11.8	2.7	7.3
女性	小計 (n=506)	51.0	57.3	14.2	8.1	26.1	21.5	7.5	30.2	10.7	17.4	13.0	2.6	1.2
	19歳～29歳 (n=54)	50.0	57.4	11.1	9.3	24.1	24.1	13.0	22.2	14.8	18.5	13.0	3.7	0.0
	30歳～39歳 (n=75)	49.3	66.7	21.3	1.3	41.3	18.7	5.3	32.0	12.0	9.3	17.3	0.0	0.0
	40歳～49歳 (n=104)	57.7	61.5	14.4	9.6	26.0	27.9	7.7	31.7	7.7	15.4	13.5	2.9	0.0
	50歳～59歳 (n=76)	47.4	39.0	10.0	6.0	15.0	15.0	8.0	16.0	9.0	19.0	11.0	3.0	1.0
	60歳～69歳 (n=101)	54.5	51.3	13.2	7.9	19.7	19.7	10.5	21.1	11.8	25.0	14.5	3.9	1.3
	70歳以上 (n=96)	44.8	50.0	14.0	11.0	21.0	19.0	5.0	39.0	10.0	16.0	14.0	2.0	0.0

- 在住期間別にみると、[1 年未満] で「災害に対する安全な市街地整備」、[10 ～ 15 年未満] で「災害に対する安全な市街地整備」と「地域の防犯対策の強化」、それ以外の在住期間で「地域の防犯対策の強化」が最も多くなっています。また、[1 年未満] で「生活圏域でのバリアフリー対策」が 2 割台半ばと、他の在住期間に比べて割合が高くなっています。

【在住期間別クロス】

単位：％	市街地整備 災害に対する安全な	地域の防犯対策の強化	空き家の適正管理などに向けた対策	空き家の地域福祉活用	歩道の拡張整備	ゴミ出しなど生活マナー向上対策	民間事業者と連携した住環境づくり	交通機関の充実など公共	生活圏域でのバリアフリー対策	高齢者などへの買い物支援の助け合い	緑地やオープンスペース、散策路などの整備	わからない	その他	不明・無回答
全体 (n=946)	50.0	55.0	14.3	8.1	25.7	21.9	8.7	27.2	8.9	12.9	12.4	5.0	2.4	1.8
1 年未満 (n=12)	66.7	33.3	25.0	16.7	16.7	8.3	8.3	8.3	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0
1 ～ 5 年未満 (n=69)	46.4	68.1	18.8	8.7	36.2	20.3	10.1	21.7	4.3	7.2	18.8	4.3	2.9	0.0
5 ～ 10 年未満 (n=64)	43.8	51.6	21.9	6.3	34.4	23.4	9.4	31.3	9.4	17.2	6.3	6.3	7.8	1.6
10 ～ 15 年未満 (n=76)	48.7	48.7	13.2	5.3	26.3	19.7	11.8	21.7	4.3	7.2	18.8	4.3	2.9	0.0
15 ～ 20 年未満 (n=79)	54.4	62.0	11.4	10.1	26.6	20.3	11.4	31.3	9.4	17.2	6.3	6.3	7.8	1.6
20 ～ 40 年未満 (n=352)	51.4	52.6	15.9	8.5	24.1	23.0	7.4	19.7	6.6	11.8	11.8	10.5	1.3	0.0
40 年以上 (n=279)	50.5	57.0	10.4	7.9	23.3	22.6	7.9	13.9	8.9	8.9	15.2	2.5	3.8	2.5

- 家族構成別にみると、すべての家族構成で「地域の防犯対策の強化」が最も多くなっています。

【家族構成別クロス】

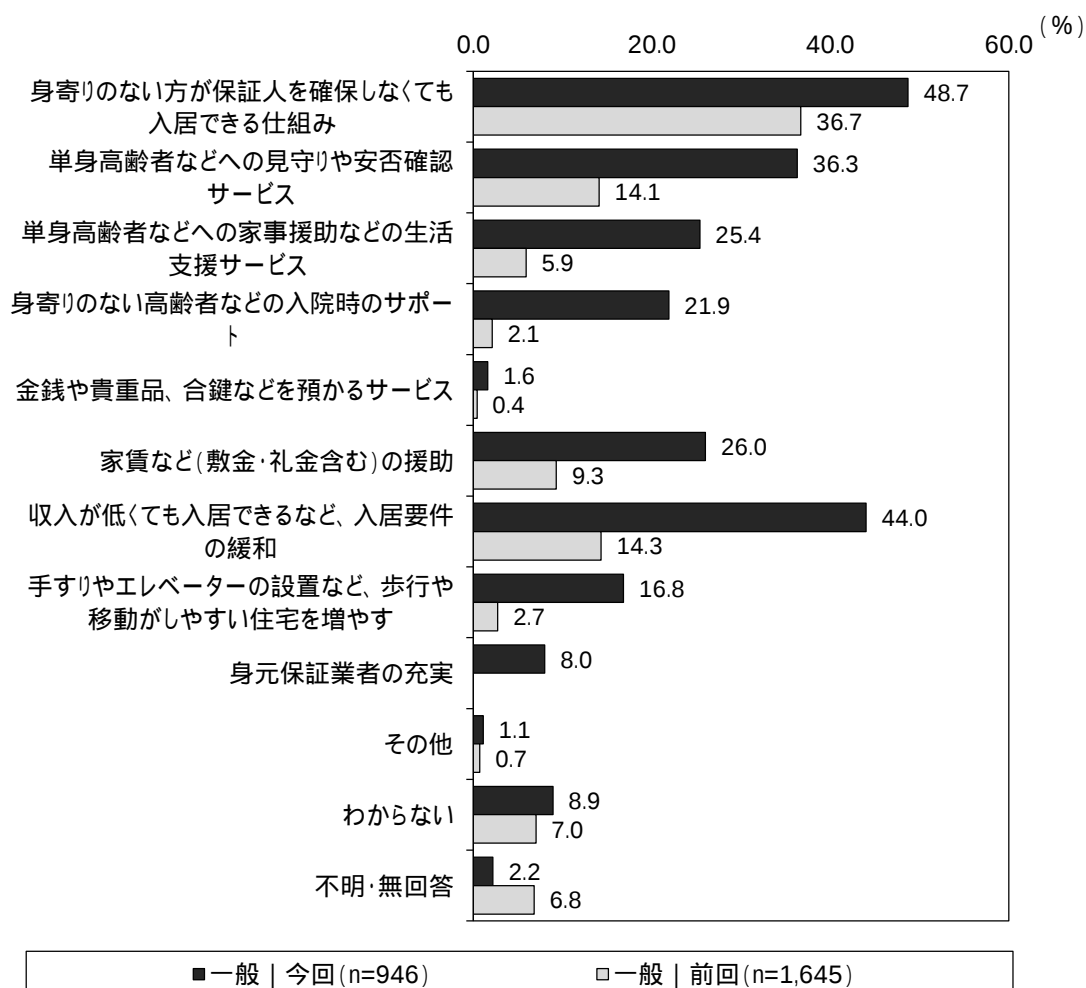
単位：％	市街地整備 災害に対する安全な	地域の防犯対策の強化	空き家の適正管理などに向けた対策	空き家の地域福祉活用	歩道の拡張整備	ゴミ出しなど生活マナー向上対策	民間事業者と連携した住環境づくり	交通機関の充実など公共	生活圏域でのバリアフリー対策	高齢者などへの買い物支援の助け合い	緑地やオープンスペース、散策路などの整備	わからない	その他	不明・無回答
全体 (n=946)	50.0	55.0	14.3	8.1	25.7	21.9	8.7	27.2	8.9	12.9	12.4	5.0	2.4	1.8
単独世帯 (n=145)	48.3	55.2	9.0	7.6	19.3	21.4	13.1	22.8	9.0	12.4	11.0	9.0	1.4	1.4
夫婦のみ世帯 (n=267)	51.7	55.4	15.0	8.6	22.1	22.5	6.4	30.3	6.4	15.0	16.1	3.0	2.2	3.0
夫婦と子のみ世帯 (n=362)	53.3	56.4	16.9	8.0	30.9	18.8	9.1	24.6	11.0	10.5	10.5	4.4	3.0	1.1
ひとり親と子のみ世帯 (n=46)	39.1	41.3	8.7	8.7	28.3	23.9	2.2	30.3	6.4	15.0	16.1	3.0	2.2	3.0
三世帯世帯 (n=44)	50.0	59.1	13.6	2.3	27.3	25.0	11.4	24.6	11.0	10.5	10.5	4.4	3.0	1.1
その他 (n=67)	43.3	55.2	14.9	11.9	23.9	35.8	7.5	30.4	6.5	26.1	19.6	4.3	2.2	0.0

高齢者や低所得者、子育て世代などの住宅確保要配慮者が、民間の賃貸住宅に入居する場合に、どのような仕組みやサービスがあれば、入居しやすくなると思いますか。（〇は3つまで）

< 一般向け調査：問 34 >

- 一般 の住宅確保要配慮者が民間の賃貸住宅に入居する場合に必要な仕組みやサービスについては、「身寄りのない方が保証人を確保しなくても入居できる仕組み」が 48.7%で最も多く、次いで「収入が低くても入居できるなど、入居要件の緩和」が 44.0%、「単身高齢者などへの見守りや安否確認サービス」が 36.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、「身寄りのない方が保証人を確保しなくても入居できる仕組み」が 12.0 ポイント増加、「単身高齢者などへの見守りや安否確認サービス」が 22.2 ポイント増加、「単身高齢者などへの家事援助などの生活支援サービス」が 19.5 ポイント増加、「身寄りのない高齢者などの入院時のサポート」が 19.8 ポイント増加、「家賃など（敷金・礼金含む）の援助」が 16.7 ポイント増加、「収入が低くても入居できるなど、入居要件の緩和」が 29.7 ポイント増加、「手すりやエレベーターの設置など、歩行や移動がしやすい住宅を増やす」が 14.1 ポイント増加しています。

【一般向け調査】



- 年代別にみると、[19 歳～49 歳] で「収入が低くても入居できるなど、入居要件の緩和」、[50 歳以上] で「身寄りのない方が保証人を確保しなくても入居できる仕組み」が最も多くなっています。また、[60 歳～69 歳] で「単身高齢者などへの見守りや安否確認サービス」が4割台後半、[19 歳～39 歳] で「家賃など（敷金・礼金含む）の援助」が3割台と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

【年代別クロス】

【付加調査】																
単位：％	仕組 み	身寄 りの ない 方が 保証 人を 確保 しな くも 入居 でき る	単身 高 齢 者 な ど の 見 守 り や 安 否 確 認 サ ー ビ ス	単身 高 齢 者 な ど の 家 事 援 助 な ど の 生 活 支 援 サ ー ビ ス	身寄 りの ない 高 齢 者 な ど の 入 院 時 の サ ポ ー ト	金 銭 や 貴 重 品 、 合 鍵 な ど を 預 か る サ ー ビ ス	家 賃 な ど （ 敷 金 ・ 礼 金 含 む ） の 援 助	入 居 が 低 く も 入 居 で き る な ど 、 入 居 要 件 の 緩 和	す い 住 宅 を 増 や す	置 な ど 、 歩 行 や 移 動 が し や の 設	手 す り や エ レ ベ ー タ ー の 設	身 元 保 証 業 者 の 充 実	そ の 他	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	
全体（n=946）	48.7	36.3	25.4	21.9	1.6	26.0	44.0	16.8	8.0	1.1	8.9	2.2				
19歳～29歳（n=100）	33.0	29.0	24.0	13.0	3.0	39.0	49.0	26.0	7.0	1.0	9.0	0.0				
30歳～39歳（n=140）	37.1	26.4	24.3	16.4	2.1	34.3	41.4	25.0	10.0	0.7	10.0	0.0				
40歳～49歳（n=175）	47.4	38.3	21.1	24.0	1.7	25.1	49.7	14.3	9.1	1.1	9.7	0.0				
50歳～59歳（n=140）	57.1	31.4	21.4	25.0	1.4	24.3	43.6	25.0	10.0	0.7	10.0	0.0				
60歳～69歳（n=168）	59.5	47.6	26.8	28.0	1.2	28.0	42.3	14.3	9.1	1.1	9.7	0.0				
70歳以上（n=207）	51.2	39.1	32.4	21.7	1.0	15.5	40.1	14.3	7.9	2.1	8.6	1.4				

- 年収別にみると、すべての年収で「身寄りのない方が保証人を確保しなくても入居できる仕組み」が最も多くなっています。また、[1000 万円以上] で「家賃など（敷金・礼金含む）の援助」が3割台前半と、他の年収に比べて割合が高くなっています。

【年収別クロス】

単位：％	仕組 み	身寄りのない方が保証人 を確保しなくても入居できる	単身高齢者などへの見守り や安否確認サービス	単身高齢者などへの家事援 助などの生活支援サービス	単身時のサポート	身寄りのない高齢者などの 入院時のサポート	預かるサービス	金銭や貴重品、合鍵などを 預かるサービス	家賃など（敷金・礼金含 む）の援助	収入が低くても入居できる など、入居要件の緩和	すい住宅を増やす	置など、歩行や移動がしや の設置など、歩行や移動がし やすい住宅を増やす	手すりやエレベーターの設 置など、歩行や移動がしや の設置など、歩行や移動がし やすい住宅を増やす	身元保証業者の充実	その他	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	48.7	36.3	25.4	21.9	1.6	26.0	44.0	16.8	8.0	1.1	8.9	2.2					
300万円未満（n=190）	54.2	32.6	27.9	25.8	1.6	21.1	45.8	15.3	4.7	1.1	6.8	4.7					
300～600万円未満（n=321）	48.6	37.1	28.0	19.0	0.9	28.0	47.7	16.8	7.5	0.3	9.3	2.2					
600～1000万円未満（n=228）	48.7	36.8	21.5	24.1	1.8	26.8	43.0	17.5	10.1	1.8	7.5	0.0					
1000万円以上（n=112）	42.0	39.3	23.2	23.2	3.6	33.9	34.8	16.8	7.5	0.3	9.3	2.2					
わからない（n=70）	44.3	35.7	22.9	18.6	1.4	17.1	40.0	17.5	10.1	1.8	7.5	0.0					

- 生活支援サービス」が3割台半ばと、他の家族構成に比べて割合が高くなっています。

【家族構成別クロス】

単位：％	身寄りのない方が保証人 を確保しなくても入居できる 仕組み	単身高齢者などへの見守り や安否確認サービス	単身高齢者などへの家事援 助などの生活支援サービス	身寄りのない高齢者などの 入院時のサポート	金銭や貴重品、合鍵などを 預かるサービス	家賃など（敷金・礼金含 む）の援助	収入が低くても入居できる など、入居要件の緩和	住まいを増やす 置など、歩行や移動がしやす い住宅を増やす	身元保証業者の充実	その他	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	48.7	36.3	25.4	21.9	1.6	26.0	44.0	16.8	8.0	1.1	8.9	2.2
単独世帯（n=145）	52.4	29.0	19.3	24.1	1.4	26.2	40.7	18.6	6.9	0.0	13.8	2.1
夫婦のみ世帯（n=267）	55.4	40.8	27.0	20.6	1.1	22.8	43.4	13.9	8.6	1.1	6.7	4.1
夫婦と子のみ世帯（n=362）	42.8	36.5	26.5	22.1	1.9	27.9	44.2	18.2	8.3	0.8	8.8	1.1
ひとり親と子のみ世帯（n=46）	45.7	32.6	34.8	21.7	4.3	28.3	43.5	13.9	8.6	1.1	6.7	4.1
三世帯世帯（n=44）	47.7	36.4	13.6	20.5	0.0	29.5	45.5	18.2	8.3	0.8	8.8	1.1
その他（n=67）	49.3	35.8	28.4	23.9	1.5	26.9	50.7	10.9	4.3	0.0	6.5	0.0

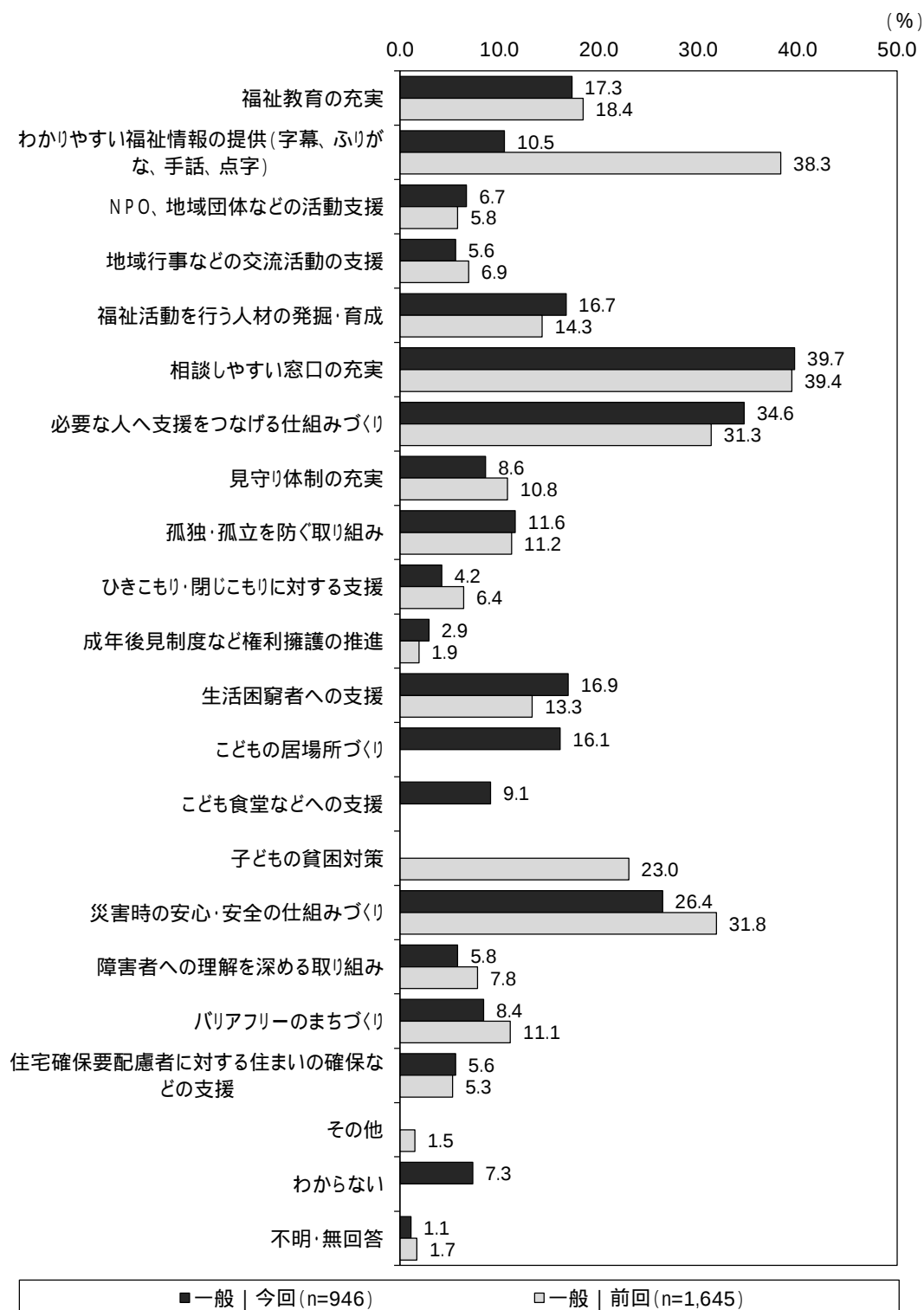
13．地域福祉の推進について

地域福祉を進めていくために、市が優先的に取り組むべき施策は、どのようなことだと思いますか。（〇は3つまで）

< 一般向け調査：問 35 >

- 一般 の市が優先的に取り組むべき施策については、「相談しやすい窓口の充実」が 39.7%で最も高く、次いで「必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり」が 34.6%、「災害時の安心・安全の仕組みづくり」が 26.4%となっています。
- 前回調査と比較すると、「わかりやすい福祉情報の提供（字幕、ふりがな、手話、点字）」が 27.8 ポイント減少、「災害時の安心・安全の仕組みづくり」が 5.4 ポイント減少しています。

【一般向け調査】



* 「こどもの居場所づくり」、「こども食堂などへの支援」と「わからない」は今回調査のみの選択肢。

* 「子どもの貧困対策」と「その他」は前回調査のみの選択肢。

* 「わかりやすい福祉情報の提供(字幕、ふりがな、手話、点字)」は、前回調査では「わかりやすい福祉情報の提供」。

- 地区別にみると、[山口] [新所沢] と [新所沢東] で「必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり」、それ以外の地区で「相談しやすい窓口の充実」が最も多くなっています。「相談しやすい窓口の充実」は、[松井] で約 6 割と特に高くなっています。また、[富岡] [小手指] と [新所沢東] で「福祉活動を行う人材の発掘・育成」が 2 割台と、他の地区に比べて割合が高くなっています。

【地区別クロス】

単位：％	福祉教育の充実	話（点字） わかりやすい福祉情報の提供（字幕、ふりがな）	NPO、地域団体などの活動支援	支援行事などの交流活動の支援	福祉活動を行う人材の発掘・育成	相談しやすい窓口の充実	必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり	見守り体制の充実	孤独・孤立を防ぐ取り組み	ひきこもり・閉じこもりに対する支援	成年後見制度など権利擁護の推進	生活困窮者への支援	こどもの居場所づくり	こども食堂などへの支援	災害時の安心・安全の仕組みづくり	障害者への理解を深める取り組み	住まいの確保要配慮者に対する住まいの確保などの支援	わからない	不明・無回答	
全体（n=946）	17.3	10.5	6.7	5.6	16.7	39.7	34.6	8.6	11.6	4.2	2.9	16.9	16.1	9.1	26.4	5.8	8.4	5.6	7.3	1.1
松井（n=62）	19.4	4.8	6.5	9.7	19.4	59.7	27.4	9.7	17.7	6.5	3.2	14.5	16.1	4.8	30.6	1.6	4.8	6.5	6.5	0.0
富岡（n=46）	19.6	6.5	10.9	13.0	23.9	37.0	34.8	8.7	10.9	0.0	4.3	8.7	17.4	13.0	8.7	10.9	8.7	2.2	6.5	0.0
小手指（n=100）	18.0	10.0	10.0	7.0	22.0	46.0	39.0	5.0	11.0	1.0	2.0	18.0	17.0	8.0	22.0	8.0	11.0	4.0	6.0	4.0
山口（n=81）	16.0	11.1	6.2	2.5	17.3	32.1	40.7	8.7	10.9	0.0	4.3	8.7	17.4	13.0	8.7	10.9	8.7	2.2	6.5	0.0
吾妻（n=58）	20.7	8.6	5.2	6.9	12.1	32.8	29.3	5.0	11.0	1.0	2.0	18.0	17.0	8.0	22.0	8.0	11.0	4.0	6.0	4.0
柳瀬（n=74）	13.5	12.2	4.1	8.1	10.8	45.9	28.4	12.3	8.6	4.9	0.0	18.5	21.0	12.3	32.1	7.4	2.5	8.6	9.9	2.5
三ヶ島（n=80）	20.0	7.5	10.0	3.8	13.8	42.5	35.0	8.6	17.2	6.9	3.4	13.8	6.9	5.2	36.2	1.7	13.8	3.4	12.1	0.0
新所沢（n=134）	20.9	11.2	4.5	3.7	19.4	32.8	36.6	12.3	8.6	4.9	0.0	18.5	21.0	12.3	32.1	7.4	2.5	8.6	9.9	2.5
新所沢東（n=55）	10.9	10.9	5.5	5.5	20.0	41.8	41.8	8.6	17.2	6.9	3.4	13.8	6.9	5.2	36.2	1.7	13.8	3.4	12.1	0.0
所沢（n=182）	16.5	10.4	6.6	5.5	13.7	34.1	33.0	8.1	10.8	9.5	1.4	20.3	5.4	8.1	23.0	6.8	14.9	9.5	9.5	0.0
並木（n=56）	12.5	19.6	7.1	0.0	16.1	48.2	30.4	6.3	10.0	3.8	2.5	18.8	15.0	5.0	28.7	6.3	11.3	7.5	5.0	0.0

- 年代別にみると、[19 歳～29 歳] と [60 歳～69 歳] で「必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり」、[30 歳～39 歳] で「こどもの居場所づくり」、それ以外の年代で「相談しやすい窓口の充実」が最も多くなっています。また、[19 歳～29 歳] で「福祉教育の充実」が 2 割台半ばと、他の年代に比べて割合が高くなっています。

【年代別クロス】

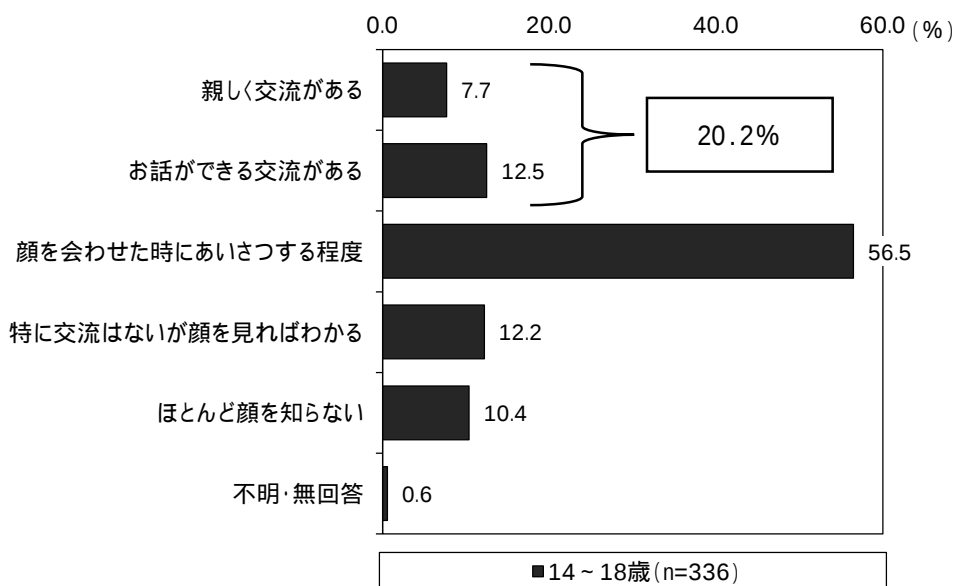
単位：％	福祉教育の充実	話（点字） わかりやすい福祉情報の提供（字幕） ふりがなが、手話	NPO、地域団体などの活動支援	地域行事などの交流活動の支援	福祉活動を行う人材の発掘・育成	相談しやすい窓口の充実	必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり	見守り体制の充実	孤独・孤立を防ぐ取り組み	ひきこもり・閉じこもりに対する支援	成年後見制度など権利擁護の推進	生活困窮者への支援	こどもの居場所づくり	こども食堂などへの支援	災害時の安心・安全の仕組みづくり	障害者への理解を深める取り組み	バリアフリーのまちづくり	住宅確保要配慮者に対する住まいの確保などの支援	わからない	不明・無回答
全体（n=946）	17.3	10.5	6.7	5.6	16.7	39.7	34.6	8.6	11.6	4.2	2.9	16.9	16.1	9.1	26.4	5.8	8.4	5.6	7.3	1.1
19歳～29歳（n=100）	26.0	14.0	6.0	6.0	16.0	21.0	38.0	4.0	9.0	7.0	1.0	23.0	20.0	9.0	25.0	7.0	7.0	7.0	8.0	1.0
30歳～39歳（n=140）	22.1	6.4	5.0	6.4	10.7	27.9	27.9	8.6	10.0	4.3	2.1	11.4	35.7	16.4	24.3	6.4	11.4	2.1	9.3	0.7
40歳～49歳（n=175）	17.1	10.9	6.9	7.4	16.6	38.9	37.1	6.9	12.0	8.0	4.6	10.3	21.7	4.6	25.7	3.4	5.1	5.1	8.0	0.6
50歳～59歳（n=140）	12.1	7.1	4.3	2.1	19.3	40.0	36.4	8.6	10.0	4.3	2.1	11.4	35.7	16.4	24.3	6.4	11.4	2.1	9.3	0.7
60歳～69歳（n=168）	14.9	13.1	6.5	6.5	16.1	41.7	44.0	6.9	12.0	8.0	4.6	10.3	21.7	4.6	25.7	3.4	5.1	5.1	8.0	0.6
70歳以上（n=207）	15.9	11.1	10.1	4.8	21.3	55.6	26.1	11.4	12.1	1.4	2.1	18.6	8.6	10.7	27.1	5.7	8.6	5.0	10.7	0.7

調査間の比較

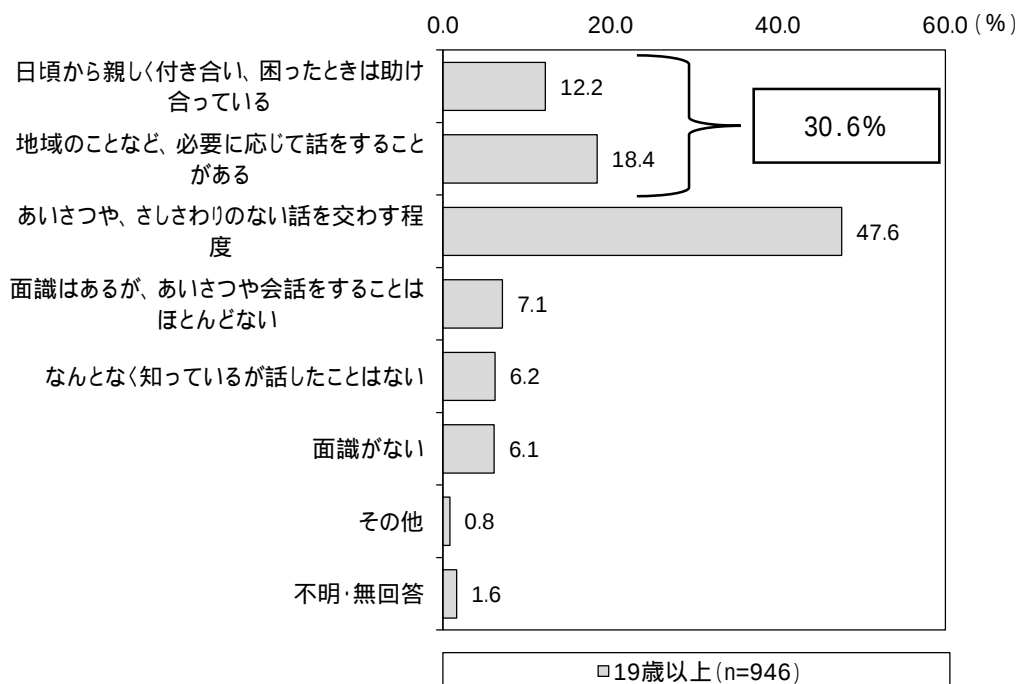
1. 近所の方との交流について

- 中高生、一般ともに、現在“あいさつ程度の付き合い”をしている割合が最も高くなっています。
- 中高生と比較して、一般の方が、近所の方と親しい交流をしている割合が高い傾向にあります。

【中高生向け調査】問3. 現在、近所の方との交流はありますか。(SA)

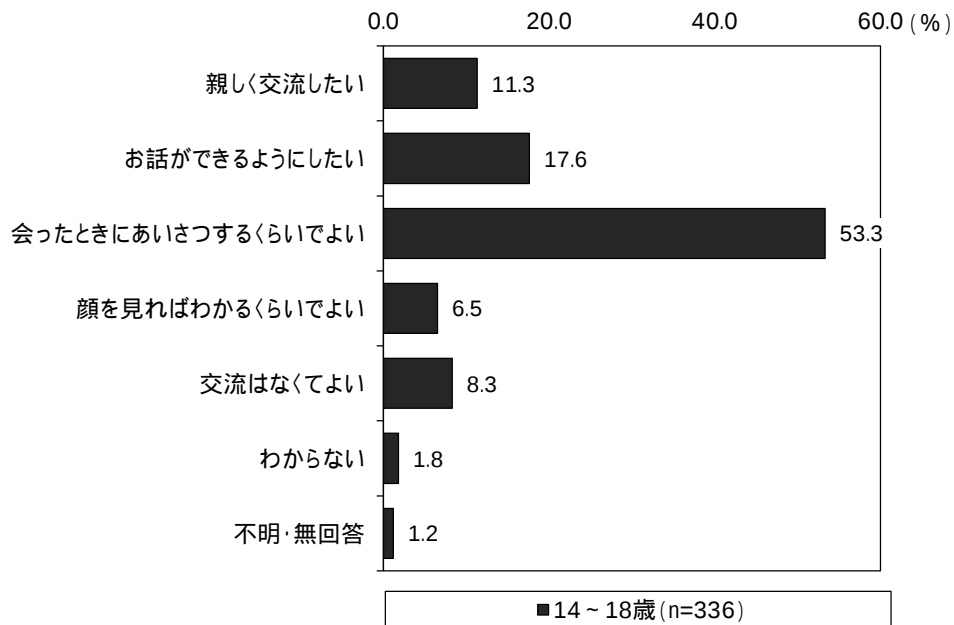


【一般向け調査】問8. 現在、近所の方との交流はありますか。(SA)

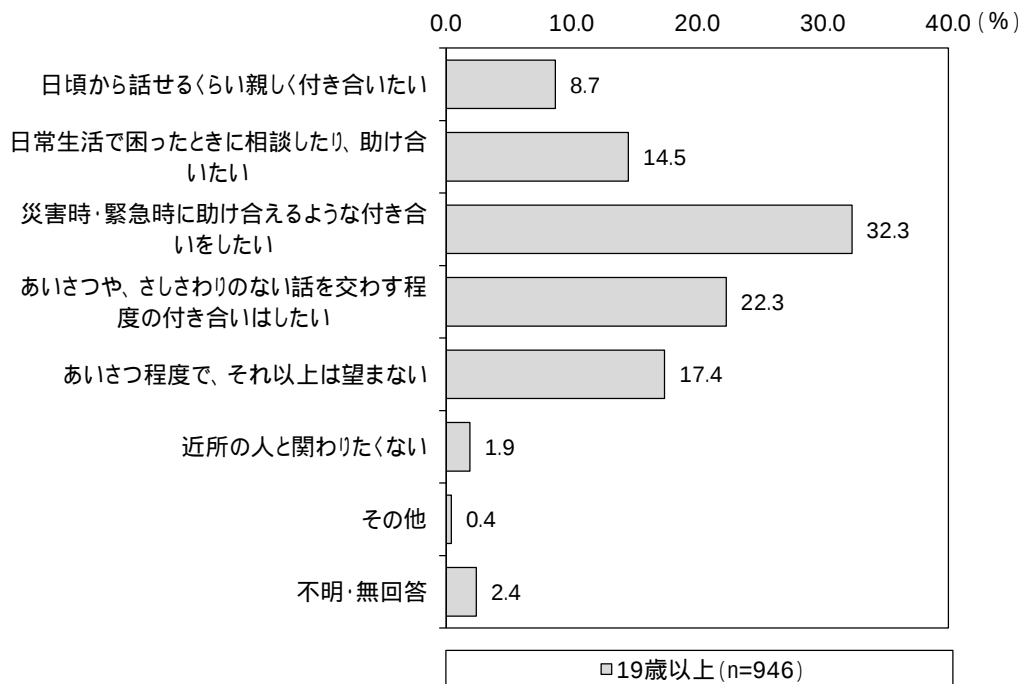


- 今後の希望について、 中高生 では今後も“ あいさつ程度の付き合い ”を希望する割合が最も高くなっています。
- 一般 では“ 災害時や緊急時に助け合えるような付き合い ”を希望する割合が 32.3%と最も高くなっています。

【中高生向け調査】問4．近所の方との交流について、今後どうしたいと思いますか。(SA)



【一般向け調査】問9．近所の方との交流について、今後どうしたいと思いますか。(SA)

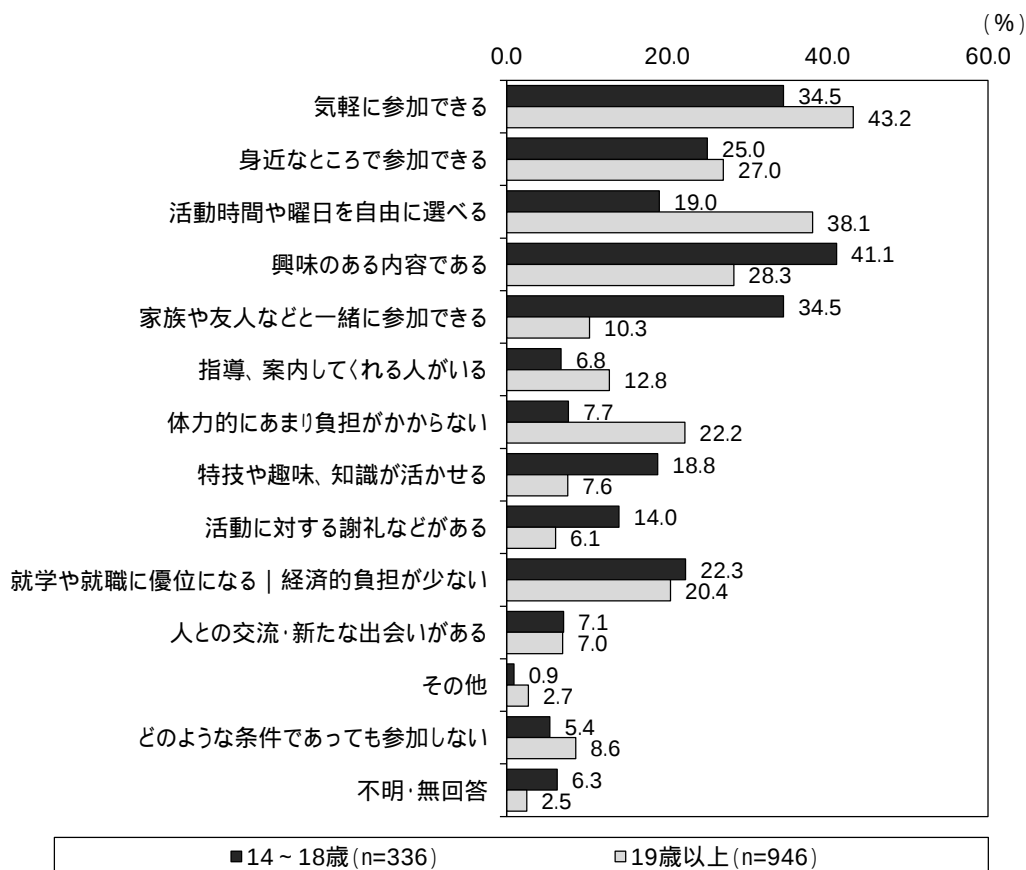


2. ボランティア活動について

- 両調査を比較すると、一般では中高生に比べて「活動時間や曜日を自由に選べる」が19.1ポイント、「体力的にあまり負担がかからない」が14.5ポイント、「気軽に参加できる」が8.7ポイント、「指導、案内してくれる人がいる」が6.0ポイント高くなっています。
- 中高生では一般に比べて、「家族や友人などと一緒に参加できる」が24.2ポイント、「興味のある内容である」が12.8ポイント、「特技や趣味、知識が活かせる」が11.2ポイント、「活動に対する謝礼などがある」が7.9ポイント高くなっています。

【中高生向け調査】問6. 福祉・ボランティアに参加したことのある方は、どのような条件であれば、今後も参加したいと思いますか。また、参加したことのない方は、どのような条件であれば参加したいと思いますか。(MA)

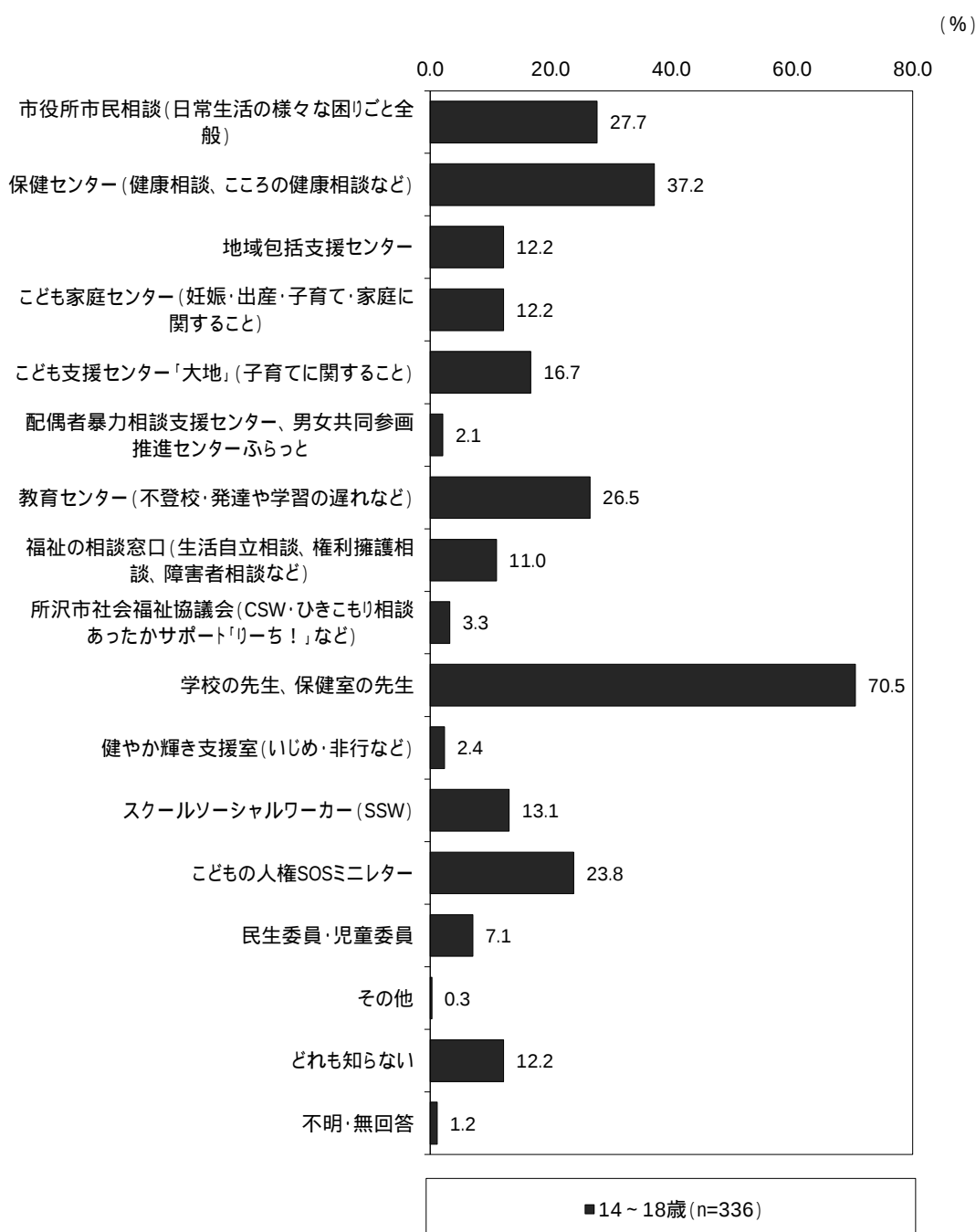
【一般向け調査】問12. 福祉・ボランティア活動への参加を継続するには、どのような条件が必要だと思いますか。また、参加したことのない方は、どのような条件であれば参加したいと思いますか。(MA)



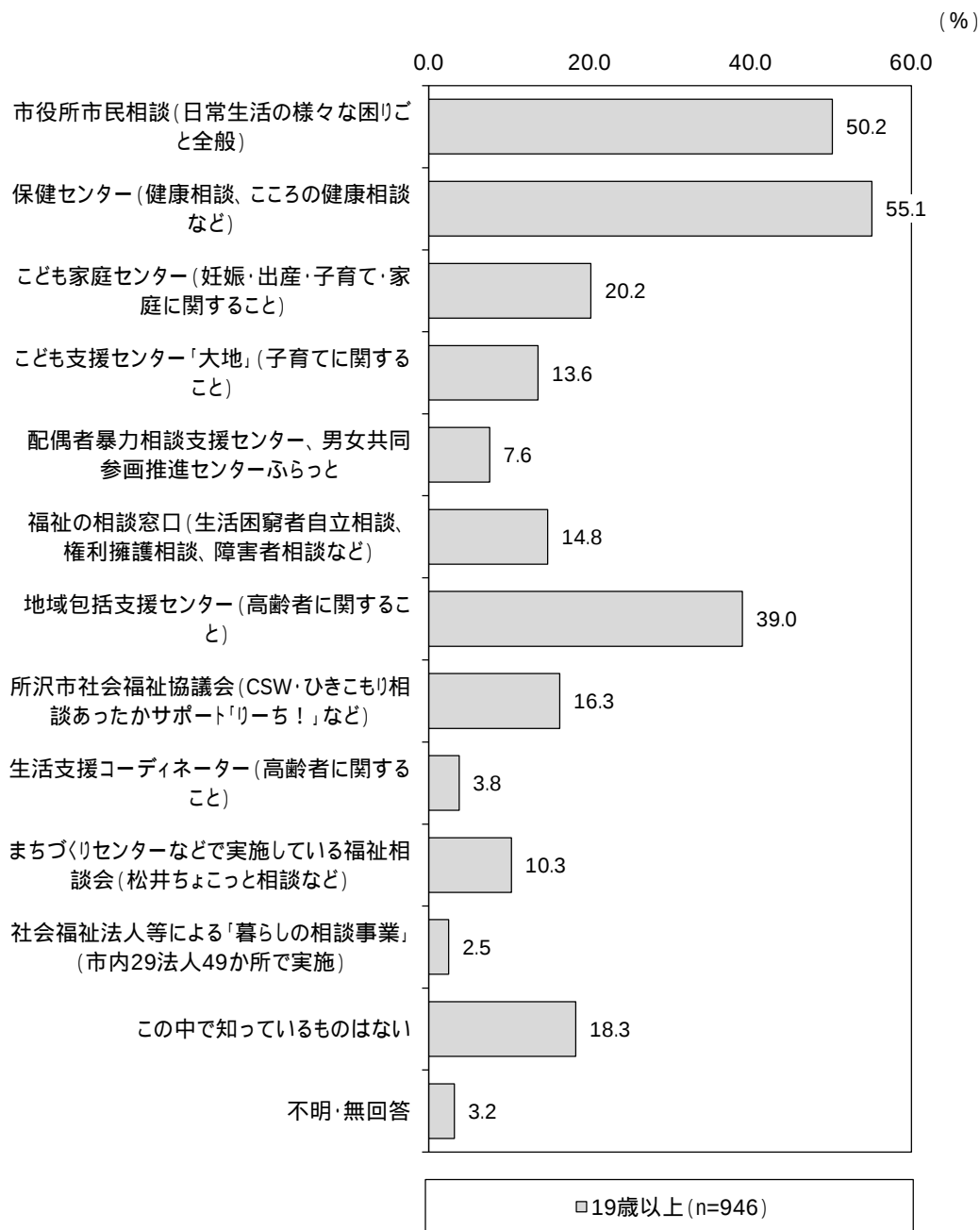
3. 相談先の認知度について

- 中高生 では、「学校の先生、保健室の先生」が70.5%と最も高く、次いで「保健センター（健康相談、こころの健康相談など）」が37.2%、「市役所市民相談（日常生活の様々な困りごと全般）」が27.7%となっています。一般 では、「保健センター（健康相談、こころの健康相談など）」と「市役所市民相談（日常生活の様々な困りごと全般）」で5割を超えています。
- 両調査を比較すると、中高生 では一般 に比べて公的な相談窓口の認知度が低い傾向にあります。

【中高生向け調査】問 11. 以下は、市内にある困ったときの相談先です。あなたが知っているものに○をつけてください。(MA)



【一般向け調査】問 18. 以下は、所沢市内の生活上の困りごとを相談できる相談支援窓口です。あなたが知っているものは次のどれですか。(MA)



自由記述

* 個人のプライバシーに関わるもの、不適切な表現、明らかに誤字・脱字と考えられる箇所等については、修正を加えていますが、基本的に記載いただいたとおりに掲載しています。

1. 中高生向け調査

あなたの地域、所沢市をより良くするためにはどうしたら良いかなど、地域の福祉、地域の暮らしについて、アイデアや意見があればお書きください。

< 中高生向け調査：問 15 >

- 自由回答では、日常の生活環境に関する具体的な改善要望が多く寄せられていました。特に、「学校の体育館へのエアコン設置をはじめとした暑さ対策」や、「公園・遊び場・自習スペースの充実」など、若い世代が安心して過ごせる場所を求める声が目立っています。また、「道路の狭さ」や「見通しの悪さ」、「夜道の暗さ」といった安全面の改善、「駅や交通の利便性向上」を望む意見も多く、日々の生活の中で感じている不便さが率直に表れていました。
- さらに、「相談しやすい場所や SNS を活用した相談窓口の整備」、「いじめ対応」、「福祉について学ぶ機会の拡充」、「障害への理解を深める取り組み」など、「相談」「つながり」「理解」を強める仕組みづくりを求める意見も複数寄せられていました。また、「子ども食堂、多世代交流、地域行事の再開や活性化」など、地域とのつながりを大切にしたいという思いもうかがえます。
- そのほか、「ボランティア活動への支援」、「街の魅力発信」、「商業施設や娯楽施設の充実」、「文化・スポーツ施設の拡充」など、地域をよりよくしたいという前向きな提案も多く寄せられており、地域の未来に関心を持っている中高生が多いことが特徴として見られました。

松井地区

内 容
小中学生が楽しめる公園を増やしてほしい。水遊びができるような公園がほしい
地域の運動会や美化などは参加しています。今後なるべく参加したいと思います
曲がり角の高い塀で見通しが悪く自転車などがぶつかる事故が多い
夜道が暗く怖いので明るくしてほしい
東所沢駅に大江戸線を延伸して、角川武蔵野ミュージアムを中心とした誰もが来てみたいと思える街づくりをしてほしいです
学校の体育館にエアコンを設置してほしい。体育や学校のイベントでの使用する場合ももちろん必要だが、災害時の避難場所になっているのにエアコンがないのはおかしいと思う。夏の場合は特に熱中症などの二次災害を起こしかねない

富岡地区

内 容
市内の小・中学校の体育館に空調を設置して欲しいです。地域の避難所にもなるので、あればいいと思います
ところバスの移動範囲を広げる。市民税を下げる

内 容
特にないです！私の地域というか近くは特に高齢の方が多い気がするのでこれからも全ての人が暮らしやすい所になれば良いなと思います

小手指地区

内 容
西武球場の周りをもっと栄えさせてほしい
もう少し相談しやすい場所が増えれば良いなと思いました
道路が狭いこと
各種障害についての啓発活動をする。障害児者が楽しく参加できるようなイベントを企画する
屋内の市民プールでの高齢者や子ども達の水泳教室があると良い。テニスコートの予約が取れないので学生の優先時間が欲しい
バリアフリーを増やす
私は富岡シニアスマホ教室のボランティアによく参加しています。スマホ教室に参加する高齢者の方はどの地区にも多くいて、対応していない時間がない程です。それほどスマホの操作に不安を持つ人がいますから、スマホ教室の回数を増やし、様々な場所(まちづくりセンターの他にも、費用的な問題はあるが、くすのきホールなどのアクセスの良い場所)で開催すると良いのではないかと思います
自習できるところがもっと欲しい
ないです
よく夏になると下水から虫が出てきて道路を歩いているのを見る。不衛生のため下水に消毒をしたほうがいい。タバコやゴミのポイ捨てがあるのでどうしたら無くなるか考えて欲しい
市民が市の魅力に気づいておらず魅力を活かしきれてない→市内での交流活発化、市内のことを発信（ネット広告等）所沢一極集中、娯楽施設増加
特にない

山口地区

内 容
経済で困っている人にお金を支給してほしい
子ども食堂が家の近くにあると有難いです。食事、子供の見守り、高齢者も一緒に過ごせる空間が身近に欲しい。子育てがもっと頑張れそうな気がします
町の所々にごみ箱などを少しずつ設置してポイ捨てをなるべく減らす。サッカーグラウンドを航空公園近くにもう1つ作って欲しい。(料金はそんなに取らない。)(人工芝)
高齢者や障害者など普段関わりがないような人達との交流の場を増やして欲しいです。また、交わる機会があることを手軽に知れるようにして欲しいです
西武球場の周りあたりに公共の施設がほとんどなくて不便です。出来たら体育館にクーラーを入れて欲しい

内 容
西武線の運賃を安くしてください 市の運営する建物や公園などにスプリンクラーを設置し、夏でも快適に過ごせるようにしましょう 西所沢駅の改札をもう一つ早く作ってください。西所沢駅のトイレを綺麗にしてください。西所沢駅の西武球場行きの混みを解消してください。所沢らーめん賞を作り、ラーメン文化を発展させてください。所沢の生物や環境について学べる講習会みたいなやつをやしましょう。所沢にジョイポリス的な遊べるところを作りましょう。坂道が多いので大きい歩道がある坂道にはノルウェーにある自転車で楽に登れるリフトを作りましょう。物珍しさで人も集まります。美味しいご飯屋さんを紹介する SNS アカウントを作りましょう
運動部に所属している時に、夏は暑くて部活ができないことが多かったので、暑くても部活ができる環境を整えてほしかった。体育館にエアコンが欲しい
所沢市は良い地域だと思う。一人一人が良い暮らしにしたいって気持ちを持つ

吾妻地区

内 容
車いすの人でも学校内の階の移動がしやすいように、市内の学校にエレベーターをつけるべきだと思います
いじめを無くせ徹底的に
少なくとも今すぐ生活福祉課の問題を解決するべきだし、市長も交代するべきだ

柳瀬地区

内 容
体育館にも設置する
グラウンドピアノやアップライトピアノを弾ける施設を増やして欲しい。(練習として使う為無料がいい。)
都心へのアクセスもよく便利かつ自然豊かな場所なので、その魅力をキープし続けてほしいです！
道路が混んでいたり、車通りが多くなかなか横断歩道を渡れないことがあるので、信号の設置や道路を増やすことを検討して欲しいです

三ヶ島地区

内 容
相談先がこんなにも多くある事を初めて知りました。もっと若い世代に困った時の相談先がある事を伝える活動をして頂きたいです!!いつもありがとうございます!
近くに子供が遊べる場所が欲しい
街の活性化をより活発にしていきたいです、例エミテラス等。また、活性化に伴い治安の低下が見られないようにしていただけると少し遅い時間帯でも安心して歩ける地域になると思います!!いつも地域のためにありがとうございます!!暑い日が続くので気を付けてください!!!

内 容
学校のエアコン導入。校舎内に限らず、避難所にもなり得るのに体育館にエアコンがない等々、まだ導入人数が足りてない

新所沢地区

内 容
しずくちゃんグッズを作って欲しい
今回初めて上記の所沢市のインスタを見てみました。若い人達が相談しやすい、福祉に特化した所沢市のインスタがあると良いと思いました。実際に足を運ぶという事は、とてもハードルが高いのでインスタのDMで辛い時にすぐに助けを求められたら良いと思います。友達みたいなかわいいキャラクターとかがいて気軽におしゃべりする様な感じが理想です
所沢駅に商業施設等の一極集中はやめて欲しいです。不便です。特に老人(車に乗れない人、自転車にも)は大変だと思います
プラスチックと燃えるゴミの分別は必要なのですか？他の市は分別していません。新所に住んでいますが、パルコが無く(なったので) もっと遊び場が欲しいです。自転車で通る道がせまくて危ないので広くして欲しい
ボランティアをしている人への支援をもっとして欲しい。公園にゴミ箱やポイ捨て禁止のポスターを貼ってポイ捨てしないようにして欲しい
福祉に優しい街づくり
ところんが朝、週に何回か駅にいて欲しい
子育てや教育の支援拡充 教育の質の向上(市立の中高一貫校を増やすなど)
公園で、小さい子たちの安全ばかりが重視されて、小学校高学年や中学生が思いっきり遊べる場所が少なくなっていると感じます。例えば、花園西公園は、広い敷地があり、小さい子と遊ぶ場所が分かれていて、さらに近くに小さい子向けの公園があるのに、野球ができなくなってしまいました。もっと大きい子が球技なども思いっきりできる場所や常識の範囲内であれば、大人に怒られることを恐れず、のびのびと遊べる環境があったらいいなと感じます
私は不登校で時々学校へ部活に行っています！ですが、体調の問題で学校に行けない時の方が多いです。その時市内に気軽に顔を出せる不登校の居場所等あるのがものすごく助かっています、隠れているだけで不登校は思ったよりいると思うので、不登校の居場所を少しで良いので増やしてくれるとうれしいです！
特にないです。いい所です
体育館にクーラーをつけて欲しいです 扇風機だけでは賄いきれないほどの暑さになっているので、ぜひお願いします
地域の人との交流が少ない地域があると思うので、少しでも地域の人全員が集まれる交流をした方が良いと思います。(祭り、ボランティア活動)
特にありません
水質を良くする
パルコのような施設が欲しい

新所沢東地区

内 容
コロナ前のように、地域で行う行事が増えればよりみんなが行事に参加しやすくなると思う

所沢地区

内 容
税金をなくして介護に力を入れるべき
道がデコボコになって歩きづらいから直してほしい
自転車専用通行帯の整備されてる道が、駅周辺だけだと感じているので自転車がより走りやすくなるよう、専用帯の整備をお願いします
移民の制限をする
サッカーゴールのある公園を作ると良い
LRT の整備、CO2 の削減、高齢者への配慮、渋滞の緩和
学校の体育館にクーラーを設置して欲しいです。所沢市内の学校に通っている身内の学校のクーラーが壊れているそうです。なおして欲しいと言っていたのを聞いた事があります
勉強出来るスペースを増やして欲しい
支部会費を取るだけでなく、高齢者に寄り添う活動も必要だと思います
地元出身の有名人を増やす
所沢祭など地域交流の場を積極的に増やして欲しい
障害のある人が大人になって、将来親がいなくなっても安心して生活できる場所が増えたらいいと思います
学校で福祉や実技の授業を取り入れるといいと思います
相談窓口などの知名度があまりないので、ポスターを増やす、学校に相談窓口一覧表などを配るといいと思います
年齢に関わらず全世代が楽しめるような行事があるといいと思います。しかし、今ある地域の運動会や展示会などの行事は私たち学生からみたら高齢者向けのものが多いと感じ参加しづらい雰囲気がある気がします。私は全世代が楽しめるものとしてお祭りが良いと思います。所沢祭りよりも小規模で良いので屋台がおおいお祭りを開催していただけるとより地域の交流が増え高齢者につながるきっかけにもなると思います
学校にいじめなどの理由で行きたくない人がいても親の影響で無理やり行かされることのないようにしてほしい
税金安くしてほしい
ボランティアや市民清掃などを積極的に開催していけば市民同士の関係を深くして行けると思う
特になし
地域交流のイベントを広く周知することで、より多くの人が集まり充実したものになると思います
公立高校にもエアコンを導入したらいいと思います

内 容
外国人がとにかく増えて不安です。自分は女性なので何をされるか分からない事が怖いです。でも所沢はとっても素敵な街なので大好きですいつもありがとうございます
特になし
もっと障害のある方のことを知る機会があったら良いと思う
もっとゴミ箱を配置して欲しい。街灯をおしゃれに
まだわからない
最近、私や私たちの近所を見ると高齢の方々が住まわれているのが多く見受けられます。所沢は比較的人口が多く、発展した市と認識していますが私の幼い頃は今より多く若い人たちが所沢に移り住んできていた記憶があります。私が世間知らずなだけかもしれませんが近頃はそんな印象があります。定住者が多いのはいいことですが、もっと地域を元気にしてくれる若い人たちを誘致してはどうでしょうか？市内でも夏祭り等が行われていたのは記憶に新しいですが、所々では祭りの運営に携わる人たちが不足していると聞きます。私はこれを聞いて地域に元気がなくなってしまう危機感を感じました。所沢は観光地のような突出した有名な場所はありませんが住むのには間違いなく不便が出ない地域だと思っています。この長所を活かして若い人向けの福祉を今より好印象に映るよう改めて見て欲しいと思います
高齢者に関する福祉はかなり充実していると思います。しかし立つのは老人ホームではなく保育園がもっと立つような子供の未来を優先的に考えた市であってほしいです
悩み事をもっと気軽に相談できるように、相談所を増やし、いつでも入れるようにしてほしいです。また、最近道端で車椅子の方をよく見かけるので、バリアフリー化や道路の整備を行い、障がいを持つ方が安心安全で外に出かけられるようにしてほしいです。よろしくお願いします
気軽に相談できる
高齢者が使いやすい施設を作る
もっと子供が住みやすい環境をつくるべきだと思った
特になし
特になし

並木地区

内 容
所沢は大好きです。暮らしやすい
食堂が欲しいです
税金の支出を全面的に公開求む
みんなが参加しやすいボランティア活動や、地域との交流を増やす
小中学校の先生の強化(いじめの対処法)いじめを受けている子を見過ごすのではなく、その子がより傷つかないように対処法を考えてほしい
税金を無くしてほしい。市民が使えるプールが欲しい

2 . 一般向け調査

地域での支え合いを広げていくためのアイデアや、所沢市の地域福祉についてのご意見などございましたら、ご自由にお書きください。

< 一般向け調査・問 36 >

- 自由回答では、情報アクセスと周知の不足に対する不安が目立ち、「何をどこに相談すべきかが分かるワンストップの相談窓口」や、「冊子・LINE・SNS 等を活用したやさしい周知」を求める声が多く寄せられました。また、支援が「本当に必要な人に確実に届く仕組み」や、行政窓口の親切で丁寧な対応への期待も強く示されています。
- 生活環境面では、「道路の狭さ・冠水・歩道や街路樹の管理・夜間の暗さ・公共施設の整備」など、安全・快適性の改善と交通利便性（バスの本数・路線、渋滞対策）への要望が継続して確認されました。同時に、「子育ての預かり・学童、学び直し」や「就労継続、移動支援」、「ベンチや小公園の整備」といった、全世代を見据えた日常の基盤づくりが重視されています。
- 地域との関わり方については、「強制や同調圧力のない参加」、「短時間・スポット・登録制・有償等のインセンティブを備えた“関わりやすい仕組み”」が求められています。さらに、「子ども食堂や学童×高齢の交流など多世代・多文化の共生」を進めつつ、「個人情報への配慮や公平性の担保を両立させること」が、制度への信頼回復に資するとの示唆が得られました。

松井地区

内 容	年 代
情報を持っている人持っていない人の差が、とても大きいと思う。情報の収集格差があまりない社会になればいいと思う	30 歳代
こども家庭センターに一度相談した事がある。他の問い合わせ等の対応が良かったので親切的なイメージだったが、その時は少し雑な対応だった。一度そういう事があると、次の相談をためらってしまう。毎日とても大変だと思うが、1つ1つの小さな相談も、話し方だけでも優しく対応して欲しいと思った	40 歳代
本当に必要とする人々へ（のみ）届く支援を望みます	40 歳代
私も両親を亡くして1人っ子な為、自分が最後を迎える時に自分の家やその他事務手続き、心配なことが沢山あります。段々と1人で住んでいる人も多くなってくると思うので、自分が元気な内に今後のことなど相談して、自分に何かあった時に対応してもらえようなどところがあるといいな、と思います	40 歳代
自治会の活動が画一的かつ会が閉鎖的で、新規転入者にとって地域活動の主体として機能していない。それなのにゴミ収集場所の設置は自治会に運営を任せており、転入者はゴミを回収してもらえない事態が起きている。ボランティアな地域活動とゴミ捨てという生活必需公共サービスの前提がごっちゃになっていることが問題ではないか。自治会がもっとオープンな組織として活動していけるよう、自治会任せではない地域活動の推進を強化するか、自治会ではない形で地域のネットワーク作りを市として支援しなければ、必要な公共サービスの享受すらままならない自治体になってしまうと感じる	40 歳代

内 容	年 代
身近に困った人、話を聞いたことがないと、何が必要か分からない。自分の体験したことなら、素直に答えられます	60 歳代
多くの人が気軽に支援に参加できるような仕組みを構築する	60 歳代
「一人暮らし高齢者」や「シングルファーザー」が増えている。プライバシーの問題はあるが、市としてどの程度把握されておられるのか？「空き家」が増えつつある。市として、どの程度実態を把握されておられるのか？	70 歳以上
自分自身も高齢であり、先々を考えるに...現在車を運転して買い物等をやっているも、80 才を目処に免許返納後の体制として、乗り合いタクシー等が充実してくれば少しは助かるかなと思います。タクシーの補助費等があれば、タクシーでの病院の通院も助かると思います	70 歳以上
地域福祉に従事する人は、ボランティアでなく高報酬であるべき。それは専門職以上の知識・活動が必要であるから。ボランティアでは長期的に継続はできない。専門職として、どの事業よりも高収入であるべきものです	70 歳以上
自分ではできていないが、地域コミュニティの充実が大事。自治会や隣組の関係を充実するために、皆が集まる行事に気軽に参加できること	70 歳以上
気軽に相談できる窓口を自治会の中にも設ける必要がある	70 歳以上

富岡地区

内 容	年 代
全体的に高齢者への支援の項目が多いように感じた。このアンケートも回答する人は高齢者ばかりだと思う。せっかく所沢市は子育て世帯が多いのにわざわざ狙って高齢者の意見を取りやすいような手段を選ぶのは勿体無いように思う。子育て世帯が増えてる今だからこそ若い人たちの手を搾取するのではなく、市の人口増加につながるような子育てしやすい街にしていけるのはどうだろうか。せっかく市長が変わったのに体制があまり変わってないように見受けられる。市長に票を入れたのは子育て世帯が多いはずなのだから	30 歳代
日大芸術学部の跡地の企業誘致！ 東所沢駅への地下鉄延伸（大江戸線）	30 歳代
市内の(特に行政道路)慢性的な交通渋滞をどうにかして欲しい	40 歳代
必要な人への支援、その方が本当に何に困っていてその原因が何でなぜそうなっているのか、それを解決していく方法、解決策を専門性の高い支援者が解決するまでサポートできるシステム作り。困ってる人がまず相談できる、プライバシーに配慮して相談できる環境。元気な高齢者への就労支援の更なる充実。未就職(身体に特に問題がなく働ける状態にある)若者など働かずパチンコ店など毎日通ってるような人達の実態調査	50 歳代
生活保護の不正受給などの話を聞くと、人を信用できない。犯罪に関しても教師の盗撮など、誰も信じられない。信じてないのだから支え合いは無理、自力で生きていく家族を守っていく力を身に付けるしかない。地域社会はおろか、日本国政府すら信用できない	50 歳代

内 容	年 代
このアンケートによって、所沢の福祉行政がより良いものへと改善されることを期待したいと思います	60 歳代

小手指地区

内 容	年 代
医療、福祉に関わる方々のプライベートな時間とお金を増やすべきと考えます	19・20 歳代
近年共働き世帯が増えており、出産・育児をきっかけに職住近接のために都内へ転出するケースが増えているので、仕事と育児を両立しやすい町づくりが重要だと思います。具体的には、登校前の子供の預かり事業、送迎に便利な駅近で安心して子供を預けられる民間学童の増設。(個人的には西友小手指店の跡地か、5 年ほど前に閉店したガスト小手指駅前店の跡地に、英語のシャワーはいらないので学校の宿題を見てくれるような民間学童がテナントに入るととても助かります。) 以上、ぜひご検討ください	30 歳代
少子化なので高齢者支援より、子どもを育てやすい町にしてほしい。 公園をキレイに、子育て世帯にオムツやミルクの支援。宜しくお願いします	30 歳代
高齢者はバスの割引があるが、子育て世帯は子供は無料だったり割引であっても、親は通常の料金がかかり、子どもを連れて遊びに行くにもお金がかかり、ルピナス等施設が充実していても、なかなか利用出来ない。子育て世帯が多い市でもあると思うし、それだけ子育てがしたい街だと期待されているので、もっと子育て世帯に対する支援に重きを置いて欲しい	30 歳代
自治会がもっとオープンな組織であるなら、地域活動の中心として活躍できると思います	40 歳代
西所沢駅付近の上新井地区に住んでいます。1 年前まで同じく西所沢駅付近の山口地区に住んでいました。西所沢駅周辺は狭い範囲に上新井、山口、西所沢、久米とエリアが集約されていますが、小学校の学区もそれぞれ異なります。以前、山口に住んでいる時に地区のセンターに行こうとしたら椿峰の方まで案内されたり、今の上新井のところで何かある際は小手指まで行かないとなります。幼稚園もバスに乗らないと行けない所にしか無いように児童館も久米や新所沢まで行かないと無いし、人口の多さの割りに近所の子供のことが分かるところが全くありません。市長の政策でも所沢エリアについてとか吾妻エリアについてと言っていますが、西所沢駅周辺というエリアで考えてみるといまいちピンと来ないことが多いです。西所沢駅周辺というエリアでもっと考えて欲しいです	40 歳代
特にございません	40 歳代
福祉の社会に常日頃お世話になっているので、受け身にならずに積極的に地域社会と関われますように、これからも活動が出来れば良いなと思っている	50 歳代
年金も 65 才になり、更に上がるかもしれず、60 才過ぎても働く人が増えていくのに、助け合いをしてあげたくても時間がない。有償ボランティアなら行ってくれる人も増えるのではないかな。ただ今度は所得税などに関わると難しくなるので、工夫が必要	50 歳代

内 容	年 代
子供のボランティア(小手指公民館分館)をしていました。メールで募集の案内が来る様になり気づかずにいたら電話がきました。やりたいですと言ったのにお金がありませんので人数が足りない時に電話しますと言われました。お金などいらないです。ボランティアやりたかったです。メールは普段見ない所に入るのので前の様に電話して欲しかったです	60 歳代
町内会活動に参加できる人の負担を減らす仕組みが必要だと思います。地域で働いていなくても、地域の学校に行かせてなくても、地域住民としてここにずっと住みたい住みやすい場所にしてほしい。自分が高齢になった時、ここに住み続けたいとは思えない	60 歳代
60 歳代の雇用支援の拡大と充実を切にお願いしたい。当方 65 歳前に職場の異動(深夜勤務が早朝勤務に変更の打診され、体力的に無理なので辞めざるをえず退職。新たな仕事を探すも年齢的に断られるケースがほとんど。生活困窮者です。助けて下さい。若い世代だけでなく昔若かった世代も手厚くお願いします	60 歳代
近所の子の草取り程度は、お手伝い出来ると思いますが受け入れにくいようです。地域で声をかけあえるといいなと思っています。身近な所からの繋がりが必要とは思っています	70 歳以上
1. 一人よがりの偽善にならないこと。パフォーマンスは NG!! (特に政治家) 2. つきあいは適当な距離を取る。ウワサ発信源にならぬよう。 3. 最終的には自分自身が決める事	70 歳以上
夫婦共に 65 才以上になりましたが、どんな公共サービスがあるのか全く分かりません。(老人憩いの家など使い方も分かりません。何をやっているのかな...?) トコロバスやトコロワゴンもサービスがあるようですが...公共サービスについて、もっと分かりやすく周知してほしいです	70 歳以上
地域福祉のあり方について、認識を深めないといけないと思いました	70 歳以上

山口地区

内 容	年 代
道路が狭すぎて災害などの緊急時にスムーズに身動きがとれない。狭い道に両側渋滞したり車一台分の道もかなりあるので改善した方がいい。更に狭い道であちこち渋滞が起きるせいで自分勝手な運転をする方が多すぎる。結果、危険運転も誘発させているので子どもが危険。 そもそも他人に手を掛ける様な余裕のある人は昨今は少ないのでは	19・20 歳代
道路の危ない場所や気になることを気軽に画像などを添えて報告できるような、LINE アカウントやアプリなどをつくってほしい。例えば、道路に穴が開いているから直してほしいとか、曲がり角が危険だからミラーを付けてほしいなど。山口地区の開発を進めてほしいです。ライオンの試合を観に来る人が多いのに、駅周辺に飲食店などがなく、経済的に機会損失が生じていると思います	30 歳代

内 容	年 代
もっと人を増やして動ける人材を確保。部屋にいただけじゃなく現場に足を運ぶ。市民が楽しいと思う行事を増やす。若者が積極的に興味がわく事をしたら良い。若者が老害を支える地域にしたい。運転を辞めた方がいい老人が多いが、バスも少ないし車を使うしかない環境なんだったら、その環境を変えられないのか。(老人の手伝いの仕事とか、話し相手になるとか)若者がもっと何かできる地域になるべき。地元で若者に仕事があれば地元離れないし、老人を支えられる老人喜ぶ。WIN-WINになる	30 歳代
特になし	30 歳代
山口地区は道路状況が悪いです。近年のゲリラ豪雨に排水が追いついておらず、冠水が頻繁に発生しています。インフラの整備を優先するとともに、市民の憩いの場(主に公園など)を一新してはいかがでしょうか。子供の遊ぶ場所がありません。自治会館などに補助金を出し、整備してはどうでしょうか。 ご検討をよろしくお願いいたします	30 歳代
本当に福祉サービスを必要としている方々の中には情報にアクセス出来ない、探す意欲もわいてこない状態にある人たちもいると思うので、一目見て分かりやすいチラシなどで手広く情報発信をしてもらえたらいいと思います。所沢を元気な市にしてください。よろしくお願いします	40 歳代
犬の散歩を通じてご近所に沢山知り合いができ、会話も増えました。マナーをしっかり守り、楽しく散歩ができるようなマップを作り、案内・イベントなど交流の場があると良いです	40 歳代
夏でも子供たちが遊べる室内公園があると嬉しい。真夏のすべり台や鉄棒は危険。通学路の歩道を広げてほしい。ガードレールがない場所が多い	40 歳代
子供達の安全配慮に対する取り組み。学費等教育に対する支援の充実を図る	40 歳代
ここまで色々書きましたが、別に意見として真剣に考えてくれるのでしょうか。公共団体として全体的に見て考えることが必要ですが、アンケートの「○」を集計するだけあれば、こんな予算は不要です。今回のアンケートは、何か市としてやりたいというミッションやビジョンが見えない。もう少し勉強して市のお金を作ってください	50 歳代
相談に来られた方に親切、丁寧に対応していただきたいです。役所の方は、高圧的に感じる人が多いので。会社もそうですが、部署ばかり増やして中身無しにならないようにして頂きたいです	50 歳代
年寄りについては、月 1 回は個別訪問（確認）をした方が良くと思います	70 歳以上
地域福祉についてもう高齢の為、自身の健康増進しか考えてませんでした。考え直しの必要を感じた	70 歳以上
近くの公民館で相談できる窓口があると、嬉しいです	70 歳以上
1. 所沢市予算・決算に占める地域福祉関係歳出額・シェアなど現状及び展望方針について、本アンケートを含めて、広報ところざわや市 HP に開示・公表することを実施して頂けると幸甚です。2. 生活保護受給・住民税非課税所帯数字・人数・税金・社会保険料・上下水道費用などの未納・徴収状況などデータの開示・公表も必須と思います	70 歳以上
人間は果敢ない、老いれば分かる。老いたら終る	70 歳以上

吾妻地区

内 容	年 代
将来、結婚や子供を持つということを考えると不安でしかない。自分のことで手一杯なのに、子供のことで考えられる余裕・経済状況にないという漠然とした不安。そういった、若い成人世代への支援も欲しい・あるならもっと情報を発信して欲しい	19・20 歳代
スタンプラリー形式での行事の参加、開催。廃用予防に行動を促す。地域との交流、繋がりを増やし健康増進、維持、安否確認の機会とする	30 歳代
行政でしかできないことを見極め、それ以外をできる人材に振り分ける一步を、有識者の介入によってなるべくスピーディーに動くことが大事かと思っています。問題を多方面から見るのが大事だと思うからです。時代が変化し新しい経験値を、市により多く積んでいただきたいです	40 歳代
若い世代が積極的かつ自然に地域での支え合いに加わるような、新しい仕組みが必要と感じる。コロナ禍を経験し、地域の繋がりの重要性を感じた感覚がまだ新しいうちに、近所の顔が見える暮らしを推進できたらいいと思う	40 歳代
独身＋仕事の都合で引越してきた場合、情報が入りにくいのと、参加しにくいです。アパート暮らしだとアパートと職場の往復で近所で何をしているのかもわからないです	40 歳代
ご近所にはお子さんがいらっしゃるご家庭が多く独居である私にはご近所付き合いに抵抗があります。お子さんがいないと欠落した人生を送っているような気さえます。ご近所さんはゴミ出しを終えて数名集まって路上で談笑していることに違和感があります。個人的な趣味のフィットネスジムに通い地域交流しています。同市でも程よい距離を保ち交流を続けることが私には丁度よいと感じています	50 歳代
市民がいる町内会に出向き、現在困っている事等アセスメントを行う。そして市として協力出来る又は、出来そうなアドバイスをを行う事も大切だと思う。子育て世帯が多く引っ越してくる様に所沢独自の重厚な政策を設ける。又、箱物ではなく公園を多く作る	60 歳代
何でも値上がりする現代。税金の使い方、福祉活動の充実に期待します	60 歳代
お母さんと一緒の小さなお子さんやお年寄りが憩える、ベンチのある小さな公園があるといいです	60 歳代
駅前にタワーマンションが建ち並んでいますが、私の地域では高齢化が進んでいるのを実感します。都内に近い所沢では格差も大きいのだろうと推測しますが、まずは一人親世帯がどの位いて子ども食堂を利用しなければならない家庭がどの位いるのか。学校に通えない子がどの位いるのか。働きに出られない成人が何人位いるのか。実態が知りたい。生活支援、交通手段の確保、学習、就労支援、援助は多岐に渡るでしょう。お金も人材も必要になります。他の自治体の成功例もよく見て改善につなげて欲しい	60 歳代
歩道の狭い所が危険と思う事が多い。近くに老人や子供が過ごせる場所がない。ソコラの自転車置き場が不便。もっと手前にも作って欲しい。(二か所にしてほしい)	60 歳代
設備の整った介護施設やショートステイがもっとあっても良いのではと思います。ところバスの運行本数が少ないので、増やして欲しい	60 歳代
旧市役所あとに他に福祉施設を整備して下さい。大字地域の町名を計画的に新住所表示の町名に改正して下さい。例、北秋津地区、山口地区、上下安松地区	70 歳以上

内 容	年 代
どのようなことをしているのか分かりませんので、もっと広く PR してほしいです	70 歳以上
子供支援の充実、子供を育てやすく安心して住みやすい街作り	70 歳以上
アンケート結果をまとめて、広報とかに載せていただけると良いなと思います。重要な問題とか多いし、書いていても分からないこと、たくさんありましたので。よろしくお願いします	70 歳以上

柳瀬地区

内 容	年 代
子供や障がい者・高齢者へのケアはもちろん大切ですが、その間の 20～50 代のケアもしてください。バスもないような所じゃ、子供産む気にもなりません。これからも所沢市で生きていきたいと思える場所にしてください	30 歳代
埼玉西武ライオンズから多くの選手が FA する要因に、立地の悪さ、交通の悪さ、不便であることが挙がっているようです。車移動ですら市外へのアクセスの悪さ、市内の移動に時間がかかること、輸送力は国力に直結するともよく言われ、野球選手でない私も不満を感じます。それならいっそのこと、移動しなくても良い魅力的な街づくりを目指して欲しいです。福祉を支えるのは、それを支える税収、産業があるからだと思います。所沢にしかない産業作りは、だいぶ難しいと思いますが、13 年住み、西武ライオンズに一度しか行ったことがありません。コンテンツとしても勿体無いと感じておりますが、ライオンズ抜きでも生きていけます	30 歳代
仕事が忙しく地域のイベント等に参加できない人が孤立しないようなシステムがあると嬉しい。また、ご近所とのつながりが必要なのはわかるのですが、宗教勧誘が激しくあまり関わりたくない場合もあるので、強制的ではなくうまくやっていけたらいいなと思います	30 歳代
学童と高齢者施設を融合する。(学童が足りないので...)小学生と高齢者で見守り助け合う。それをスタッフが見守る。子供も年配の方を大切にする気持ちが芽生え、高齢者は認知症予防	40 歳代
ここ最近、外国人の多さをすごく感じています。近所のマナーの悪さがすごく目立ちます。ゴミ置き場のものを持って行ったり、自分が住んでいる所のゴミ置き場に出さず、こちらのゴミ置き場に出したり、子供がいる道路にものすごいスピードで車を走らせたりと、とても不安な事が多いです。何か改善出来る事があればお願いしたいです	40 歳代
所沢市営住宅をたくさん建設する	50 歳代
市民がもっと頑張してほしい	60 歳代
新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行する前に感染しましたが、所沢市からは何の対応もなく、高熱で動けない中で取り残された気持ちを味わいました。(狭山保健所からの安否電話に泣きました。)所沢市が抱える課題は山積していると思いますが「誰一人取り残さない所沢市」を最優先に考えていただきたいです	60 歳代
ゴミ出しルールブックのように高齢者サービス、相談窓口を簡単にまとめた冊子を 60 歳以上に配る	60 歳代

内 容	年 代
ご近所で息子さん（20代から60代まで）の引きこもりが多いです。ご両親があまり気にもされてないように私にはみえますが...不安でなりません。ご両親に何かあった時にどうなさるおつもりなのかと、急に他人の援助が入るのでは当事者も不安でしょうに。公表するだけではなく、市政運営に生かして下さいよ！	70 歳以上
地域福祉と直接的な関係は無いかもしれないが、緑の管理をもっとやって頂きたい。具体的には、道路沿いの草刈りや緑の豊かさを感じる整備	70 歳以上
地域防災充実と地域防犯強化をすすめるとともに、昨令の高齢者増加等に対しては、将来を見据えた地域福祉政策をよりキメ細かくすすめる事が必要だと思います	70 歳以上
地域福祉を成果あるものにするには。まずは市民の健康 UP させることが大切。特に高齢者。医療費に関する市の負担が少なくなる。また関連する人材不足も少なくなる。現状は高齢者人口が増々多くなるが、外出は少なくなっている。まず高齢者を外出させることが健康の増進につながる。結論、高齢者の市内バス料金を無償化まではいかなくても半額になれば外出の回数が増えると思うが、どうだろう	70 歳以上
町内に班などあれば会員になってもらい回覧板などで連絡、見回りが出来ると思います。思い大事です	70 歳以上

三ヶ島地区

内 容	年 代
フリーライダーが得するのではなく、本当に困ってる人を助ける仕組みを作ってほしい。働かない人が働いている人より優遇される社会では生産性が下がりがえって社会保障に充てる余力がなくなってしまう。（生活保護世帯のペット可はいかがなものか）ぜひ公平感を	30 歳代
コミュニティーセンターを利用して、相談しやすい窓口の充実をお願いしたいです。一か所で色々な相談ができるようになると利用しやすいです。今回のアンケートを読んで、あったかサポートセンターなどの相談出来るサービスがあった事が何よりうれしかったです。ありがとうございます	30 歳代
本当に必要としている人に、支援が行き渡る世の中になってほしいと思います。生活保護受給者も生活環境に合わせて、車の保有を許可してもいいと思います。車種を限定するなど、工夫できるはずです	30 歳代
赤ちゃんが産まれて、いろいろなサポートのありがたさを感じています。保健センターやコミュニティーセンター、そして近くの保育園のサポートがとてもありがたいです。子どもを連れての移動がとても大変でところバスを利用したいのですが、前よりも本数が減ってしまい困っています。（新所沢・狭山ヶ丘）新所沢の方まで行くバスが少なくなってしまうので、ルピナスや市役所等行きづらくなってしまいました。全ての時間帯で狭山ヶ丘から航空公園まで行けるととてもありがたく、利用したいです	30 歳代
子ども向けの政策を充実させてほしい	30 歳代
自分が参加できる支援が分からない（きっかけが分からない）もう少し情報がほしい	40 歳代
特になし	50 歳代

内 容	年 代
先ずは、普段のご近所さんとの交流が必要だと思います。公園掃除で顔を合wash話すくらいです。お茶(コーヒー)を飲みながらのサロン(ありますがもっと行きやすく)の充実を望みます	60 歳代
できることは自分ですという生活を、できるだけ続けたい。市民バスやタクシーをもっと利用できるといいと思います	60 歳代
ボランティア活動に参加しやすくするための情報提供の方法を検討する。広報誌だけでなく看板などを利用して情報提供場所をわかりやすくし、気軽に入れる環境づくりをする	60 歳代
今まで有り考える事をしなかったものですから、いい機会になりました	70 歳以上

新所沢地区

内 容	年 代
ボランティア活動など、興味はあります。しかし、どこでどんな活動をしているのかわからず、何も出来ていません。所沢市のホームページや SNS など、わかりやすく知ることができる場所があると嬉しいです	19・20 歳代
地域福祉の重要性は理解できるが、民生委員等ボランティアありきでの制度設計には疑問がある。国民/市民の生活は、国や行政が保障すべきものであり、地域住民に過度な責任を押し付けるのは不適切であると感じる。地域住民同士の支え合いはあくまで補助的なものとして位置付け、福祉の根幹は国や行政が担うべきであると思う	19・20 歳代
関心のある一部の人々しか興味を持っていない現状を変えられるような、気軽な気持ちで協力しよう！という市民を増やす施策を、行政にはお願いしたいと思います	30 歳代
各地域の自治会等の連絡先が分かるようにしてほしい	30 歳代
転勤が多いので様々なところで生活した経験がありますが所沢は、植物アレルギー（花粉や草類や土ほこり）で苦労しています。もう少し草木の手入れをお願いしたいです。ブタ草、キク科、イネ科、外出できないです。小児科のアレルギーの外来が少ないです	40 歳代
安楽死施設の設置	40 歳代
新所沢地区けやき台に住んでいます。車道より歩道が高く整備された道路があります。その道路沿いの住宅などから車が出入りするために、歩道が斜めに削られた箇所が沢山あります。雪が降ると歩行者は車道に降りないと、滑ってしまいます。ベビーカーや車椅子、カートを引く高齢者の方々は、常に車道を通行しています。さらに車道に電柱が沢山あるため、乗用車が沢山通行していても、車道を更に膨らんで通る必要があります。歩道と車道の高低差をなくし、段差を車が通行するための坂は各住宅・施設の敷地内に設置してほしいです	40 歳代
不妊治療の年齢制限をなくして欲しい。金銭的にも援助して欲しいです	40 歳代
こういう困り事の時は、ここに相談という内容がリスト化されてると分かりやすい。また、あらゆる相談窓口に繋いでくれるハブ役の窓口が存在して欲しい。確実に適切な支援に辿りつけるルートを作って欲しい	40 歳代

内 容	年 代
子供にばかりお金使いすぎ	40 歳代
40 歳～50 歳代の子育てに手がからなくなった世代がお手伝いをしやすい内容があればいいと思う。少しでも謝礼があった方が次回もやる気がわくとおもう（ペットボトル一本、花の種一袋でもいいので）	40 歳代
時間などに余裕があれば又、支援する側として必要な知識があれば...と考えます。どんな支援方法があるのか具体的に教えて頂きたい。そして登録制にして時間の都合のあう方に参加しやすくしてはどうでしょう？	50 歳代
「地域での支え合い」という響きは良いが、責任の所在と訴訟のリスクを考えると「専門職による公的福祉の充実」の促進の方が、より安心だと思います。良かれと思ってお世話をしたとしても、アレルギーや誤嚥や転倒や徘徊や認知症への対応など、不測のリスクにより大変なことになりかねません	50 歳代
赤ちゃんの夜泣きの声や子供の出す生活音や声に対する苦情で子育て世代が非常に暮らしにくくなっています。これらは「騒音」ではないと市をあげて周知してほしいです。冷たく威圧的なご近所さんだと助け合いや支え合いなんて絵に描いた餅です	50 歳代
所沢市の外国人の受け入れは慎重にしてほしい	60 歳代
ネットを使う。希望者には前もって登録をしておく。頑張ってください	60 歳代
自治会への入会のすすめが大切だと思う。今は個人情報で隣の家の名前も判らない事もある	70 歳以上
所沢市の福祉に対する制度はかなり充実しており、安心して暮らす事が出来るとありがたいと思っています。困っている方々へのサービスをこのまま続けていって下さい	70 歳以上
地域福祉に関して知識も情報もなかったので、これを機にいろいろ調べてみたいです	70 歳以上
地域福祉は重要です。子供が地域福祉を学校で学び、活動を実践する。人間として、支え合い・助け合うことが当たり前のことになったら良い	70 歳以上
私は後期高齢者ですが、今のところ元気です。何かお役に立てることはないかと社会福祉協議会のボランティア申込も10年前にしましたが、お声がかかりませんでした。公的機関は自ら行動をしなければ公助を受けにくいのではないかと感じています。「困った時は市の窓口へ」などキャッチフレーズが徹底すれば高齢者、貧困その他の問題をかかえてる方々には心強いメッセージになると思います。窓口から適切に振り分けて頂く事です。市民の力の育成も大事ですね。老人は時間があります。元気な老人にもお手伝いができる喜びが健康長寿の源になると考えます。公的にも、人材はのべつに増やすわけにはいきません。広報など(ホームページ)も皆が目を通してとは限りません。自助共助、公助がうまくバランスして生きやすい世の中になり生きやすい	70 歳以上
もっと節約しなくても買い物ができる事。特に米が高いので手が出ません。できるようにしてほしいです	70 歳以上

新所沢東地区

内 容	年 代
お年寄りに目が行きがちだが、これからの将来のためには子どもが重要。子どもに対しての支援を増やして、子育て世代が増えると、必然的に外出する（散歩など）ことが増えるので、地域での挨拶が増えるのではないかな。また、お年寄りと子どもが交流することは双方にとってプラスのことが多いと思う	19・20 歳代
親の介護と子育てと仕事の両立に不安があります。使いやすいサービスをお願いしたい。介護と医療の間でいつも彷徨います。介護医療院の増設を早くお願いしたい。事情のある世帯の子供達があたたかい食事と応援してくれる大人に出会えるサービスを身近に作って欲しい	50 歳代
こんなことをやってる等、積極的な PR が必要だと思います	50 歳代
この様なアンケートは良いと思う。結果をきちんと整理し、早急な対応をお願いしたい	60 歳代
個人情報、プライバシー、～ハラスメント等気軽に近所にいても声をかけづらい事が多く、難しい事が多い様に感じます。どこまで気軽に声をかけていいのかという問題を考えてみて下さい	60 歳代
仕事をリタイアした後にできるボランティア活動などを（高齢者でもできる）紹介していただく仕組みが、分かりやすくあると良いと思います	60 歳代
市民が安心して参加できる情報交換場所を市役所が提供する	60 歳代
アンケートも大切と思いますが、行政が困っている人の話を直接聞いてその内容を取りこぼさず解消していくことが一番重要だと思います。そのような取り組みを要望します	60 歳代
申し訳ないですが、地域福祉の活動実態が分かっていません	70 歳以上

所沢地区

内 容	年 代
市で解決出来るものではないかもしれませんが、民間企業が有志で地域に貢献出来る活動をする。（無理のない範囲で）	19・20 歳代
出産手当をもう少し下さい	19・20 歳代
ゴミ袋を無料にしていただけるとに日々感謝しております。有料の地域も増えてる中、「ゴミ袋」一つとっても出費となれば家計の負担となります。分担は毎日、一生懸命にやっておりますので、引き続き無料だとありがたいです	19・20 歳代
1, 駅や役所の周辺のみ発展しているだけで、例えば国道 463 号線などを利用する場合、歩道の舗装状況や草木などの荒れ具合がすごいので整備をするべき。2, プロペ商店街の治安を守ろうとしている取り組みはありますが、実際には深夜の治安や客引きはまだ全然あるので、もっと徹底的に取り組むべき	19・20 歳代

内 容	年 代
所沢市の中でも人気のエリア(駅)にかたよりがあるように感じる。税収を増やす為にも、大手企業の誘致が必要に思います。子育て世代の手当を手厚くしより多くの若者を呼べるような市になれば、住みやすい人気のある場所として全国に認識してもらえと思う	30 歳代
私達夫婦はともに障害者なのですが、私達が住んでいる場所は、歩道のところに草がひどかったり、歩道の狭いところが多いです。なので、綺麗にして欲しいです	30 歳代
このアンケートを取るという事は、意見を集めるという事。意見を集めたならば、しっかりと実現して下さい。でなければ、このアンケートの意味なし。あたり前の事をあたり前にできる市に行きます	30 歳代
所沢市で福祉施設(作業所 A または B 等)での出店イベント、福祉団体での出し物等、興味を持ってもらうのはどうでしょうか? 思いつくままに記入してすいません	30 歳代
地域のつながりの希薄化が進んでいるが、若年層はそれを望んでいるように感じる	30 歳代
・学童保育の充実が必要・子供達が野球やサッカーを自由にできる場を増やしてほしい。(昔と違って公園や道路は制限が多すぎる)	40 歳代
アンケート内容が高齢者に偏りすぎ。これから社会を動かす世代へもっと目を向けるべき	40 歳代
誰も助けてはくれない、という経験の積み重ねは人をうつや自死、悪事に追い込みます。逆にたった一言の救いでふんばれることもあります。誰かは助けてくれる、私の話をちゃんと聴いて信じてくれる、この経験が幼いうちから誰にでも当たり前に持てる環境になる支援や行動が増えていく仕組みを、時間をかけて構築していくのが大事だと思います。この国は自己責任論で人を追い詰め過ぎました。真面目で優しい心を持っている人々の人生・命を食い物にし過ぎました。食い物にされ病んだ人々が家庭・子をなし、機能不全という負のサイクルにはまり込んでいる家庭もあるでしょう。食い物にできる人々にとって都合の良い価値基準が、国構造・仕組みに入り込み過ぎてしまいました。福祉で働く人の賃金が低いままなのも、その程度の仕事と見ている状態であり、それはそこで助けを必要とする人々の価値を低く見ているからです。従事側にとっては人の人生・命を扱い責任も労働内容も重い、その中で質を上げろというのは奴隷根性求めているのと同じ。外国人就労者や職にあぶれた人間やボランティアで賄う施策しか考えつかないのも、根本の福祉、「人」に対する価値基準が低いと言えます。地域福祉の質を本気で上げるならば、そもそもどこまでの質になりたいか、市民の状態や支援の情景を具体的イメージで描き、そこから逆算で現状とのギャップを明確にし、その姿になる為に必要な手段を洗い出し、財源と段階論で優先順位付けしロードマップと施策策定して計画的に着実に進めていただけたら幸いです。過去に、国政が未来へつなぐことをしなかった行動の結果が今です。所沢市政はどうか、そしてどうするか。大変なことです、一つ一つ種を蒔き育て未来の所沢市民のよりよい生活・笑顔につながることを祈っております。それは、結果的に社会の豊かさにつながると信じてます	40 歳代

内 容	年 代
地域というものが、高齢者、困窮者、障がい者、子育て世代、普遍家庭、どこに焦点を当てるか整理したほうが良いのでは無いでしょうか。各自治体をみていればわかりますが、外国人に手厚くすれば、外国人が、困窮者に手厚くすれば困窮者が、高齢者に手厚くすれば高齢者が集まり続け、その他のプレイヤーは、相対的に不公平感を感じます。少子高齢化と経済低下により、綺麗事は通らなくなり始めています。厳しい現実を見つめた上で、最も重要なことを設定してみてください。ある意味ビジネスライクに物事を進め、軌道に乗れば余裕が生まれ、綺麗事を実現できます。私個人が考えるのは、30代以下の世代へのアピールを行って欲しいです。私の田舎は四国ですが、消滅危機にあります。若い方がいないと消えるんです。文化も伝統もなにもかも。乱文、かつ、非礼を承知で回答申し上げます	40 歳代
外国の方が増えたと感じるので、外国の方々にもしっかりと生活についてのマナー(ポイ捨てするところを見かけるので)や地域の事に参加出来るような。外国の方々も孤立させないようにすることで、地域の安全や支え合いなどにも繋がるのではと思います。また、街灯が街路樹の影に隠れていたり、車道にしか向いていないため歩道が暗くて足元が見えない程のところもあります。街路樹回りや畑の雑草などで歩道が半分程に狭まってしまいうところもあり、少し明るい車道を歩く人も見かけます。そういったところも徹底して整備していただきたいです。綺麗に整備されていればポイ捨てや不法投棄なども減るのではと考えます	40 歳代
本当に生活に困った人と、働きたくないから生活保護を受けているヤツを明確にして、納税者が馬鹿を見るようなことがないようにするべき	50 歳代
出生数の減少は、将来の地方自治にも税収の低下、街の活性など不安を感じる。賛否はあるが、外国人へのフォローは、彼らの雇用定住からの納税を生み、将来 Win-Win になると思っている。もちろん出生数減少も食い止めなければならないが、それは自治体だけでは解決出来ない大問題である	50 歳代
認知症ボランティアや育成のメールは、ありますが、日にちや時間が合わず行ってみたいと思っても行けないことがあるので、増やして欲しい	50 歳代
空家問題お願いします。所沢は土地、住居が高くて住めない	60 歳代
支援を必要としている方々、ひとりひとりに合った取り組みを行っていくのは大変と思いますが、その事が一番大切な事なのかと考えております。アンケート調査、手続、お疲れ様でございます	60 歳代
気軽に話せる所。土日いつでも活動してほしい	70 歳以上
市役所一階のトイレ、和式 3 で洋式少なくて並びました。(市長選の時)市民体育館二階のトイレ、女子使えるのは 1 つだけ、あとは不備。これが何ヶ月 1~2 年も続く事があります。子供達が大会で使います。予算がないので窓口の方は優先順位の一番にして欲しい	70 歳以上
質問 10 が不具合ありそうで NET でエラーになり進めませんでした。どこがどう悪いのか教えてもらわないと時間のムダになります	70 歳以上
回覧板の有効的な使い方(内容の充実など)	70 歳以上

並木地区

内 容	年 代
所沢市は、ほかの市に比べて福祉が充実してるように思います。特に LINE での案内がわかりやすく、私もよく使ってます。ノンストップの相談支援体制を充実し、社会福祉の広報に力を入れる。インフォーマル支援についての案内があれば地域福祉が充実するのではないかと思います	19・20 歳代
困っている人への手助けは必要だが、単なる地域の人同士の交流支援などは不要。やりたい人がやるのはいいが、誰もが必要としているという前提のような話はしないでほしい。もうそのような時代ではないので優先度を下げてほしい。また、やりたい人が勝手にやる分には構わないが、実質的な労働を強制するような地域活動が無償で行わせるみたいなものは、すべて廃止しても問題ない体制に変えなければならない(幸い自分はほぼ巻き込まれていないが、そのような話は聞く)	30 歳代
若い世帯が核家族化しており、独居高齢者の単独行動による救急車の無駄な使用、医療費未払い、社会へ負担がかかる行動が多い。高齢者の独居世帯の禁止、病院などへの単独受診を禁止してほしい。高齢者よりも子供世帯への金銭的援助が現状必要。今後の少子化が進まないために、予算の見直しをお願いします	30 歳代
フルタイムで働いていると参加したくても難しいと思いました。選択肢に「出来ない」が有ると良かったです。インターネットによる回答が出来なかった(問 10)名前は知っていても内容がわからないものが沢山でできました	40 歳代
困った時に頼れる相談できる窓口をひろく知らせる事が必要だと感じます。全てをネットで知らせる事が増えた現在、この先歳をとって情報弱者となることを恐れています	40 歳代
崖の上のポニョに出てくるような、お年寄りと子供達が日常的に触れ合える場所(老人ホームと保育園が同じ敷地にある等)があるといいなと思います	50 歳代
地域の民生委員がおられますが、個人情報ダダ漏れで全く信用ならない方です。高齢の方は今更教育したところでどうにもならないんだろうと諦めて近づかないようにしていますが、民生委員というシステムが私には謎だらけです。また、私の自治会はそこに長く住む高齢者が多すぎ、よく聞く田舎のような感じで新参者は関わらないのが吉だと思わざるを得ません。すみませんが、あまりに高齢者が多くて辟易しております。高齢者以外が地域で繋がる場があれば良いと思っております。高齢者でもなく、子育て終了後に転居したため地域で関わる場がありません。まちづくりセンター等での市のイベントは高齢者か子育て世代対象のものが殆どかと。そもそも、自分の生活に余裕がないため、気持ちはあっても実際に他人を支援するところまではいかないというのが実情です。地域福祉は自分も将来必要になることは頭では分かっているのですが。有償ボランティアであれば考慮の余地あります	50 歳代
知人がデスカフェによる地域住民の死への備えについての活動をしている。所沢市も地域福祉活動の一つとして注目されると良いと思います	50 歳代
実際社会福祉協議会に相談へ行った事がありましたが、現況困っているのに仕事を増やせだの融資は出来ないだので、少しも役に立たなかった。今困窮している人に対しもっと親身に具体的に考えて欲しいです	50 歳代

内 容	年 代
民生委員は、どのように選任されるのでしょうか？「私には守秘義務がありますから」と玄関先で話されますが、年をとっている人なので守秘義務の内容が声が大きく近所に丸聞こえなのが嫌でした。年齢制限を設けて欲しいと思います。近所の人だと、色々な情報が知られてとても嫌です。人間関係が上手くいってるとは限りません。年齢が上の人は耳が聞こえないので声が大きかったり、仲間で話している時も声が大きく丸聞こえです	60 歳代
市民の負担を減らす事。メガソーラーパネルの廃止（減税と同じ）ヒートアイランド対策としてエアコンを減らす事。（特に学校）自動車を「走る温室」にならないように空気穴を義務付け	60 歳代
1.日常生活における支援や助け合い(強制ではなく)。2.法律や条例などの施行にもっと柔軟性を持たせる。3.御作りよりも、人作りを優先すべき。4.市政に拘る職員の増員として議員の消滅。5.不法労働者(外国人を含む)の管理の徹底。6.子供食堂等の増設(大人食堂も含む)	70 歳以上
高齢者が気軽に集える場所とアイデア、システム作りをしてほしい。「ホットサロン」などあるが...なかなか気軽に行けていない。楽しいと思うところに人は集まるのではないか。お茶飲み交流とちょっとしたイベントなど、近いところにあるといい。散歩ウォーキング、体力維持のためと思うが、疲れて時々座りたい時がある。ベンチがせめて200mくらいの間隔であれば、散歩が高齢者もしやすいし、座っている人がちょっとした「座りばなし」「コミュニケーション」もできて、出歩く人も増える？分かりやすい福祉の冊子を作ってほしい。今回知らない情報がたくさんあったので	70 歳以上
まずは気軽に相談できる窓口が欲しい。どこに行ったら良いのか、わかり易く知らせて欲しい。対面でなくても電話で相談できれば	70 歳以上

調査票

1. 中高生向け調査

所沢市地域福祉計画策定に関する市民意識調査 【14 歳から 18 歳の方】

～暮らしやすいまちにするためにアンケートにご協力をお願いします～

みなさん、こんにちは。

この調査は、所沢市にお住まいの中学2年生以上の方から無作為に選んだ1,000人に送付しています。

調査は、みなさんの暮らしの現状や地域に対する考えをお聞きすることで、すべての世代がつながり、誰もが地域の中で安心して暮らしていくための道しるべとなる「第4次所沢市地域福祉計画」に役立てることを目的としています。

無記名での回答となりますので、個人情報が特定される心配はありません。そして、アンケートにご回答いただくことで、市政に参加することにもつながります。お忙しいとは思いますが、ぜひともご回答いただきますよう、お願いいたします。

この調査を通じて、地域や福祉活動について考えるきっかけとなりましたら幸いです。



所沢市
イメージマスコット
トコロん

令和7年9月 所沢市長 小野塚 勝俊

【回答方法】インターネット または 調査票の郵送 ※どちらかの方法でご回答ください

【回答時間】20分程度(目安)

【回答期限】令和7年9月26日(金)

インターネットによる回答方法	調査票の郵送による回答方法
①URLもしくは二次元コードから、専用ウェブサイトアクセスしてください。 【URL】 https://questant.jp/q/tokoro_chiiki_14shimin 【二次元コード】 	①封筒の宛名のご本人がお答えください。 ご本人が回答することが難しい場合、ご本人の意見を聞いて、ご家族や代理の人が記入しても差し支えありません。 ②回答は当てはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、()に具体的な内容を記入してください。 ③質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。 ④回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封を閉じ、回答期限までにポストに投函してください。

【調査に係るお問い合わせ先】

所沢市役所 福祉部 地域福祉センター（所沢市こどもと福祉の未来館内）

Tel 04-2922-2115（直通） Fax 04-2922-2195

E-Mail b29222115@city.tokorozawa.lg.jp

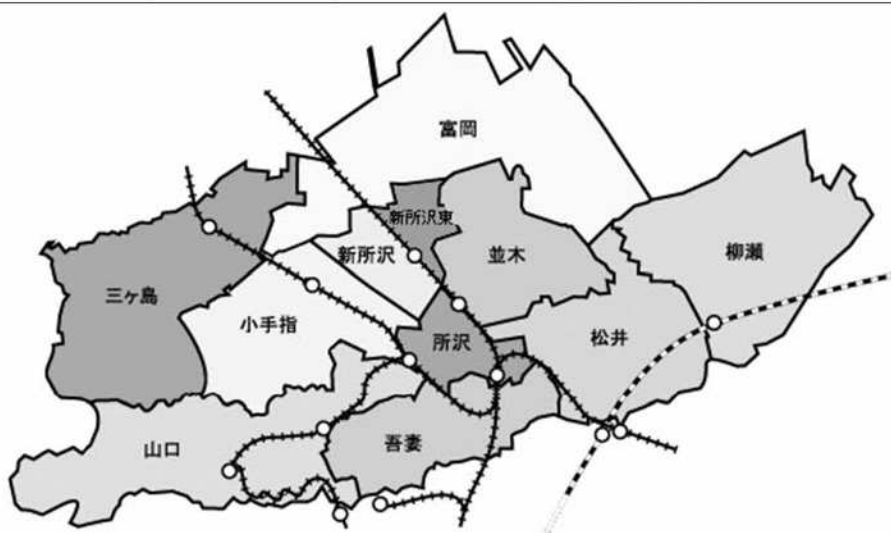
1. 回答者ご本人について

問1. あなたの性別を教えてください。(〇は1つまで)

- | | | |
|--------------------------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
| (どちらともいえない・わからない・答えたくない) | | |

問2. あなたのお住まいの地区を教えてください。(〇は1つまで)

- | | | | |
|--------|-------|---------|------------------------------------|
| 1. 松井 | 4. 山口 | 7. 三ヶ島 | 10. 所沢 |
| 2. 富岡 | 5. 吾妻 | 8. 新所沢 | 11. 並木 |
| 3. 小手指 | 6. 柳瀬 | 9. 新所沢東 | 12. わからない () |
- ※お住まいの町名を記載。



問2-2. あなたの通勤・通学先はどちらになりますか。(〇は1つまで)

- | | | |
|-------|--------------|-------|
| 1. 市内 | 2. 市外であるが、県内 | 3. 県外 |
|-------|--------------|-------|

2. お住まいの地域について

問3. 現在、近所の方との交流はありますか。(〇は1つまで)

- | |
|---------------------|
| 1. 親しく交流がある |
| 2. お話ができる交流がある |
| 3. 顔を会わせた時にあいさつする程度 |
| 4. 特に交流はないが顔を見ればわかる |
| 5. ほとんど顔を知らない |

問4. 近所の方との交流について、今後どうしたいと思いますか。（○は1つまで）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 親しく交流したい | 4. 顔を見ればわかるくらいでよい |
| 2. お話ができるようにしたい | 5. 交流はなくてよい |
| 3. 会ったときにあいさつするくらいでよい | 6. わからない |

3. 地域での福祉活動について

問5. 福祉・ボランティア活動について、あなたが参加したことがある活動と関心がある活動に○をつけてください。（それぞれの項目○は1つまで）

	参加したことがある	参加したことはないが関心がある	参加したことがない／関心がない
①障害者に関わる活動（交流、障害体験、施設訪問など）	1	2	3
②高齢者に関わる活動（交流、高齢者体験、施設訪問など）	1	2	3
③こどもに関わる活動（交流、学習支援など）	1	2	3
④地域活動（地域の夏祭り、清掃など）	1	2	3
⑤社会福祉協議会が行っている、夏のボランティア体験等	1	2	3
⑥災害に関わる活動（災害ボランティアなど）	1	2	3

●気軽にボランティア体験ができます！

所沢市社会福祉協議会では、「夏のボランティア体験」として、手話体験、老人ホームでの手伝いなどの体験プログラムを行い、福祉学習を進めています。

あなたも
ボランティア活動に
参加してみませんか？
お待ちしております！



問6. 福祉・ボランティアに参加したことのある方は、どのような条件であれば、今後も参加したいと思いますか。また、参加したことのない方は、どのような条件であれば参加したいと思いますか。（〇は3つまで）

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 気軽に参加できる | 8. 特技や趣味、知識が活かせる |
| 2. 身近なところで参加できる | 9. 活動に対する謝礼などがある |
| 3. 活動時間や曜日を自由に選べる | 10. 就学や就職に優位になる |
| 4. 興味のある内容である | 11. 人との交流・新たな出会いがある |
| 5. 家族や友人などと一緒に参加できる | 12. その他（ ） |
| 6. 指導、案内してくれる人がいる | 13. どのような条件であっても参加しない |
| 7. 体力的にあまり負担がかからない | |

4. 悩みや不安、相談について

問7. あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか。（〇は3つまで）

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 自分や家族の健康に関する事 | 7. 近所との関係 |
| 2. 自分や家族の生活に関する事 | 8. 家族間の関係 |
| 3. 生活費など経済的な事 | 9. 友達との関係 |
| 4. 学校や勉強に関する事 | 10. その他（ ） |
| 5. 弟妹の面倒に関する事 | 11. 特になし |
| 6. 祖父母や両親などの介護に関する事 | |

問8. あなたは、次の項目について、どれくらいの頻度で感じていますか。（それぞれ〇は1つまで）

	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある
ア. 自分には人とのつきあいがないと感じることがある	1	2	3	4
イ. 自分は取り残されていると感じることがある	1	2	3	4
ウ. 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	1	2	3	4
エ. 自分は孤独であると感じることがある	1	2	3	4

問9. あなたは普段どのくらい外出しますか。ただし、期間が6か月未満の場合か、病気、妊娠、介護・看護が理由の場合を除きます。(○は1つまで)

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する
2. 仕事や学校で週に3～4日外出する
3. 遊び等で頻繁に外出する
4. 人づきあいのためにときどき外出する
5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
7. 自室からは出るが、家からは出ない
8. 自室からほとんど出ない

問10. あなた以外で市内にお住まいのご家族(同居・別居問わず)に下記の外出状況が当てはまる人はいますか。ただし、期間が6か月未満の人や、仕事、学校、病気、妊娠、介護・看護が理由の人を除きます。(○は1つまで)

1. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
2. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
3. 自室からは出るが、家からは出ない
4. 自室からほとんど出ない
5. いずれもない

●ひきこもりや閉じこもり

様々なことが原因で社会的な参加の場面がせばまり、自宅以外での生活の場(学校や職場など)が長期にわたって失われている状態のことです。

ひきこもりは、誰にでも起こりえます。ご本人でも、ご家族でも「お悩み」「気になっていること」など、あったかサポート「リーチ！」までお気軽にご相談ください。

所在地：〒359-1111 所沢市緑町2-3-8 鷗ビル1階

電話：04-2968-3773

E-mail：3773a@toko-shakyo.or.jp

HPは
こちらから
アクセス
▶▶



問11. 以下は、市内にある困ったときの相談先です。あなたが知っているものに○をつけてください。（知っているものすべてに○）

1. 市役所市民相談（日常生活の様々な困りごと全般）
2. 保健センター（健康相談、こころの健康相談など）
3. 地域包括支援センター
4. こども家庭センター（妊娠・出産・子育て・家庭に関すること）
5. こども支援センター「大地」（子育てに関すること）
6. 配偶者暴力相談支援センター、男女共同参画推進センターふらっと
7. 教育センター（不登校・発達や学習の遅れなど）
8. 福祉の相談窓口（生活自立相談、権利擁護相談、障害者相談など）
9. 所沢市社会福祉協議会（CSW・ひきこもり相談あったかサポート「リーチ！」など）
10. 学校の先生、保健室の先生
11. 健やか輝き支援室（いじめ・非行など）
12. スクールソーシャルワーカー（SSW）
13. こどもの人権 SOS ミニレター
14. 民生委員・児童委員
15. その他（）
16. どれも知らない

問12. 困りごとを相談する窓口（市役所、社会福祉協議会、福祉団体等）に対する要望はありますか。（○は3つまで）

1. 1 か所で色々な相談ができる
2. 専門性の高い相談ができる
3. 予約なしで相談ができる
4. 夜間でも相談ができる
5. 土日でも相談ができる
6. 相談に要する時間に制限がない
7. 身近に相談場所がほしい
8. プライバシーが守られる
9. 相談の際、こどもや要介護者の面倒をみてくれる
10. チャット等のオンラインで相談できる
11. その他（）
12. 特に要望はない
13. わからない

5. 相互理解・共生について

問13. 学校や家庭などで、福祉のことについて、学んだことがありますか。（学ぶ事例：車いすや手話などの体験、障害者による講演会などに参加した、認知症について学んだ、など）（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 保育園・幼稚園で学んだ | 6. 講演会で学んだ |
| 2. 小学校で学んだ | 7. ボランティア活動で学んだ |
| 3. 中学校で学んだ | 8. その他（ ） |
| 4. 高校で学んだ | 9. 学んだことはない |
| 5. 家庭で学んだ | 10. わからない |

問13-2. 問13で1～7を選択した方へ伺います。

学んだあとどのような変化がありましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--------------------------------|
| 1. 車いすや手話、点字などに興味をもつようになった |
| 2. 段差など不便な場所に気付くようになった |
| 3. 高齢者や障害のある方に配慮するようになった |
| 4. 相手の立場になって考えられるようになった |
| 5. 自ら進んで、行動できるようになった |
| 6. 福祉活動・ボランティア活動に参加するようになった |
| 7. その他（ ） |
| 8. 特に変化はない |

6. 情報収集について

問14. 日常的にどのツールを利用して情報を収集していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. X (旧 Twitter (ツイッター)) | ※市のアカウントに限りません |
| 2. You Tube | ※市のアカウントに限りません |
| 3. TikTok | |
| 4. Instagram (インスタグラム) | ※市のアカウントに限りません |
| 5. L I N E | |
| 6. Facebook | ※市のアカウントに限りません |
| 7. インターネット | |
| 8. メール | |
| 9. テレビ・ラジオ・新聞 | |
| 10. 回覧板 | |
| 11. その他 (|) |

●所沢市のLINE、X、Facebook、Instagram

所沢市では、広報メディアとして、LINE (ライン)、X (旧ツイッター)、Facebook (フェイスブック)、Instagram (インスタグラム) を利用して情報発信しています。
ぜひ、アクセスしてください。

それぞれの
アカウントは
こちらから
アクセス▶▶



7. 所沢市のまちづくりについて

問15. あなたの地域、所沢市をより良くするためにはどうしたら良いかなど、地域の福祉、地域の暮らしについて、アイデアや意見があればお書きください。

アンケートは以上になります。

たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。

調査結果は市ホームページで公表いたします。(令和8年4月頃予定)



2. 一般向け調査

所沢市地域福祉計画策定に関する市民意識調査 【19歳以上の方】

～暮らしやすいまちにするためにアンケートにご協力をお願いします～

日頃から市政にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。
この調査は、市内にお住まいの19歳以上の方から無作為に選んだ2,500人に送付しています。

調査は、みなさんの暮らしの現状や地域に対する考えをお聞きすることで、すべての世代がつながり、誰もが地域の中で安心して暮らしていくための道しるべとなる「第4次所沢市地域福祉計画」に役立てることを目的としています。

無記名での回答となりますので、個人情報特定される心配はありません。また、アンケートにご回答いただくことで、市政に参加することにもつながります。お忙しいとは思いますが、ぜひともご回答いただきますよう、お願いいたします。

この調査を通じて、地域や福祉活動について考えるきっかけとなりましたら幸いです。



所沢市
イメージマスコット
トコロん

令和7年9月 所沢市長 小野塚 勝俊

【回答方法】インターネット または 調査票の郵送 ※どちらかの方法でご回答ください

【回答時間】30分程度(目安)

【回答期限】令和7年9月26日(金)

インターネットによる回答方法	調査票の郵送による回答方法
①URLもしくは二次元コードから、専用ウェブサイトアクセスしてください。 【URL】 https://questant.jp/q/tokoro_chiiki_19shimin 【二次元コード】 	①封筒の宛名のご本人がお答えください。 ご本人が回答することが難しい場合、ご本人の意見を聞いて、ご家族や代理の人が記入しても差し支えありません。 ②回答は当てはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、()に具体的な内容を記入してください。 ③質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。 ④回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください。

【調査に係るお問い合わせ先】

所沢市役所 福祉部 地域福祉センター（所沢市こどもと福祉の未来館内）

Tel 04-2922-2115（直通） Fax 04-2922-2195

E-Mail b29222115@city.tokorozawa.lg.jp

1. 回答者ご本人について

問1. あなたの性別を教えてください。(〇は1つまで)

- | | | |
|--------------------------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
| (どちらともいえない・わからない・答えたくない) | | |

問2. あなたの年代(令和7年9月1日現在)を教えてください。(〇は1つまで)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 19歳～29歳 | 4. 50歳～59歳 |
| 2. 30歳～39歳 | 5. 60歳～69歳 |
| 3. 40歳～49歳 | 6. 70歳以上 |

問3. 所沢市に住んでどのくらいですか。(〇は1つまで)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 5. 15～20年未満 |
| 2. 1～5年未満 | 6. 20～40年未満 |
| 3. 5～10年未満 | 7. 40年以上 |
| 4. 10～15年未満 | |

問4. あなたのお住まいの地区を教えてください。(〇は1つまで)

- | | | | |
|--------------|-------|---------|--------------|
| 1. 松井 | 4. 山口 | 7. 三ヶ島 | 10. 所沢 |
| 2. 富岡 | 5. 吾妻 | 8. 新所沢 | 11. 並木 |
| 3. 小手指 | 6. 柳瀬 | 9. 新所沢東 | 12. わからない() |
| ※お住まいの町名を記載。 | | | |



問5. ご職業は何ですか。(〇は1つまで)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 会社員・会社役員 | 6. 専業主婦・専業主夫 |
| 2. 契約社員・派遣社員 | 7. 学生 |
| 3. パート・アルバイト | 8. 無職 |
| 4. 自営業・フリーランス・家族従業 | 9. その他 |
| 5. 公務員 | |

問6. あなたの世帯全体の令和6年中の収入額はどのくらいでしたか。(〇は1つまで)

※収入には年金や財産収入等を含め、世帯で同居されている方全体の収入(税金を引かれる前の金額)でお答えください。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 300万円未満 | 4. 1000万円以上 |
| 2. 300～600万円未満 | 5. わからない |
| 3. 600～1000万円未満 | |

問7. ご家族の構成について教えてください。(〇は1つまで)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 単独世帯 | 4. ひとり親と子のみ世帯 |
| 2. 夫婦のみ世帯 | 5. 三世代世帯 |
| 3. 夫婦と子のみ世帯 | 6. その他 |

2. お住まいの地域について

問8. 現在、近所の方との交流はありますか。(〇は1つまで)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 日頃から親しく付き合い、困ったときは助け合っている |
| 2. 地域のことなど、必要に応じて話をすることがある |
| 3. あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度 |
| 4. 面識はあるが、あいさつや会話をすることはほとんどない |
| 5. なんとなく知っているが話したことはない |
| 6. 面識がない |
| 7. その他 () |



問9. 近所の方との交流について、今後どうしたいと思いますか。(〇は1つまで)

1. 日頃から話せるくらい親しく付き合いたい
2. 日常生活で困ったときに相談したり、助け合いたい
3. 災害時・緊急時に助け合えるような付き合いをしたい
4. あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度の付き合いはしたい
5. あいさつ程度で、それ以上は望まない
6. 近所の人と関わりたくない
7. その他（ ）

問10. あなたは、身の周りで困っている人に現在「手助けしていること」や困っている人がいる場合に「手助けできること」はありますか。また、現在、あなた自身が地域の人に「手助けしてほしいこと」はありますか。（あてはまるものすべてに○）

	手助けして いること	手助けでき ること	手助けして ほしいこと
①平常時の安否確認	1	1	1
②話し相手または散歩の付き添い	2	2	2
③悩みごと、心配ごとの相談	3	3	3
④日用品などのちょっとした買い物	4	4	4
⑤ゴミ出し	5	5	5
⑥食料品の買い物（水や米などを含む）	6	6	6
⑦家の中の掃除や洗濯、食事作りなどの家事	7	7	7
⑧庭の手入れ	8	8	8
⑨短時間のこどもの預かり	9	9	9
⑩保育園・幼稚園の送迎	10	10	10
⑪学童クラブの送迎	11	11	11
⑫病院の付き添い（送迎）	12	12	12
⑬病気のときの看病	13	13	13
⑭見回りなどの防犯活動	14	14	14
⑮近所のお祭りなどのイベントの手伝い	15	15	15
⑯いずれも該当しない	16	16	16

3. 地域での福祉活動について

問11. あなたは地域の自治会・町内会やボランティア団体などの活動に参加していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 自治会・町内会活動 | 5. スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動 |
| 2. 環境美化などの清掃活動 | 6. 音楽・舞踊などの文化芸術活動 |
| 3. 地域サロン・老人クラブなどの活動 | 7. 祭りや各種イベントなどの地域行事活動 |
| 4. こども食堂・こどもの居場所づくりなどの活動 | 8. 特になし |

問12. 福祉・ボランティア活動への参加を継続するには、どのような条件が必要だと思いますか。また、参加したことのない方は、どのような条件であれば参加したいと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 気軽に参加できる | 8. 特技や趣味、知識が活かせる |
| 2. 身近なところで参加できる | 9. 活動に対する謝礼などがある |
| 3. 活動時間や曜日を自由に選べる | 10. 経済的負担が少ない |
| 4. 興味のある内容である | 11. 人との交流・新たな出会いがある |
| 5. 家族や友人などと一緒に参加できる | 12. その他 () |
| 6. 指導、案内してくれる人がいる | 13. どのような条件であっても参加しない |
| 7. 体力的にあまり負担がかからない | |

問13. あなたは、地域における助け合いや支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが大切だと思いますか。(○は3つまで)

- | |
|--|
| 1. 地域福祉活動の重要性を発信・PRする |
| 2. 学校や会社などで福祉教育を充実する |
| 3. 介護やボランティア活動に伴う研修を行う |
| 4. 助け合いの場や地域づくり協議会の情報を得やすくする |
| 5. 困っている人と支援できる人々とを調整できる人材を育成する |
| 6. ボランティアや地域福祉活動を行える人を育成する |
| 7. 地域福祉活動について相談・指導する専門職員(CSW等)を充実する |
| 8. 様々な住民が使える活動拠点を整備する |
| 9. 地域福祉活動に伴う活動費など資金的援助を充実する |
| 10. 活動することで生きがい、楽しさ、気力の充実につながることを発信・PRする |
| 11. その他 () |
| 12. わからない |

4. 悩みや不安、相談について

問14. あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか。（○は3つまで）

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 自分や家族の健康に関すること | 7. 近所との関係 |
| 2. 自分や家族の生活に関すること | 8. 家族間の関係 |
| 3. 生活費など経済的なこと | 9. 友達との関係 |
| 4. 仕事や勉強に関すること | 10. その他 () |
| 5. 育児・子育てに関すること | 11. 特になし |
| 6. 介護に関すること | |

問 15. あなたは、次の項目について、どれくらいの頻度で感じていますか。(それぞれ〇は1つまで)

	決して ない	ほとんど ない	時々ある	常にある
ア. 自分には人とのつきあいがない と感ずることがある	1	2	3	4
イ. 自分は取り残されていると感ず ることがある	1	2	3	4
ウ. 自分は他の人たちから孤立して いると感ずることがある	1	2	3	4
エ. 自分は孤独であると感ずること がある	1	2	3	4

問 16. あなたは普段どのくらい外出しますか。ただし、期間が6か月未満の場合か、病気、妊娠、介護・看護が理由の場合を除きます。(○は1つまで)

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する
2. 仕事や学校で週に3～4日外出する
3. 遊び等で頻繁に外出する
4. 人づきあいのためにときどき外出する
5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
7. 自室からは出るが、家からは出ない
8. 自室からほとんど出ない

1. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
2. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
3. 自室からは出るが、家からは出ない
4. 自室からほとんど出ない
5. いずれもない

1. 市役所市民相談（日常生活の様々な困りごと全般）
2. 保健センター（健康相談、こころの健康相談など）
3. こども家庭センター（妊娠・出産・子育て・家庭に関すること）
4. こども支援センター「大地」（子育てに関すること）
5. 配偶者暴力相談支援センター、男女共同参画推進センターふらっと
6. 福祉の相談窓口（生活困窮者自立相談、権利擁護相談、障害者相談など）
7. 地域包括支援センター（高齢者に関すること）
8. 所沢市社会福祉協議会（CSW・ひきこもり相談あったかサポート「リーチ！」など）
9. 生活支援コーディネーター（高齢者に関すること）
10. まちづくりセンターなどで実施している福祉相談会（松井ちょこっと相談など）
11. 社会福祉法人等による「暮らしの相談事業」（市内 29 法人 49 か所で実施）
12. この中で知っているものはない

1. 1 か所で色々な相談ができる	8. プライバシーが守られる
2. 専門性の高い相談ができる	9. 相談の際、こどもや要介護者の面倒をみてくれる
3. 予約なしで相談ができる	10. チャット等のオンラインで相談できる
4. 夜間でも相談ができる	11. その他（ ）
5. 土日でも相談ができる	12. 特に要望はない
6. 相談に要する時間に制限がない	13. わからない
7. 身近に相談場所がほしい	

5. 相互理解・共生について

問20. あなたが地域主体で進めるべきと感じる取組みは次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 乳幼児等のこどもを抱える家庭への支援（交流の場・子育てサロン・虐待防止など）
2. 青少年の健全育成、犯罪や非行の防止
3. こども食堂等の居場所づくりに対する支援
4. 高齢者の社会参加や生きがいづくりに対する支援
5. 高齢者世帯の生活支援（買い物支援など）
6. 孤独・孤立対策（交流の場の提供や声かけ、見守りなど）
7. 障害のある人が地域で生活するための支援（地域の理解など）
8. 防災活動（災害発生した際の安否確認や避難誘導など）
9. 防犯活動（振り込め詐欺・消費者被害・こどもの防犯など）
10. 外国人市民の地域での生活に対する支援
11. ケアラー（看護・介護者）・ヤングケアラーへの支援
12. 住民同士のつながりづくり
13. 自治会・町内会への加入促進
14. その他（）
15. 特にない

6. 福祉情報の入手について

問21. あなたは、生活や地域に関する情報はどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|---|
| 1. 広報ところざわ | 9. テレビ・ラジオ・新聞 |
| 2. 市のホームページ | 10. 身近な人からの口コミ情報 |
| 3. ところざわほっとメール | 11. インターネット（市・社協以外） |
| 4. 所沢市公式 SNS（LINE・You Tube・Instagram・Facebook） | 12. SNS（X（旧ツイッター）You Tube など） |
| 5. 市役所の窓口 | 13. 本や雑誌 |
| 6. 所沢社協だより「ちゃお！」 | 14. 回覧板、自治会の掲示板 |
| 7. 社会福祉協議会のふくし掲示板 | 15. その他（ ） |
| 8. 社会福祉協議会のホームページ・LINE・You Tube・メール | 16. 情報をどこで入手すればいいかわからない |

7. 地域福祉を担っている人について

問22. あなたが知っている所沢市社会福祉協議会（所沢社協）の活動は次のどれですか。（知っているものにすべて○）

1. CSW（コミュニティソーシャルワーカー）活動
2. 社協会員の募集
3. 共同募金運動
4. ふくし掲示板
5. 権利擁護事業（法人後見事業）
6. ボランティアセンター事業（夏のボランティア体験・災害ボランティアセンターの運営）
7. 福祉教育の実施（ふくし学習・出前講座）
8. こどもの居場所支援（こどもの居場所ネットワーク所沢事務局など）
9. 車いすの貸出（ちょい借りステーション等）
10. 社協だより「ちゃお！」の発行
11. 介護保険サービス事業（訪問介護・居宅介護支援、介護保険認定調査）
12. その他（ ）
13. 所沢社協は知っているが、活動で知っているものはない
14. 所沢社協を知らない

●所沢市社会福祉協議会（所沢社協）

地域福祉の推進を図ることを目的に、様々な活動をしている民間の団体です。

高齢者、障害者、子育て家庭、低所得者など支援を必要とする方を支える活動やボランティア・地域活動への支援、市民の方の相談受付などを行っています。



問23. あなたが知っている民生委員・児童委員の活動は次のどれですか。（知っているものすべてに○）

- | | |
|---------------------|---------------------------------------|
| 1. 地域住民の見守り活動 | 7. 行政・社会福祉協議会・地域包括支援センター・自治会・学校などとの連携 |
| 2. 高齢者世帯などへの訪問・声かけ | 8. 自治会などの各種地域行事への参加 |
| 3. 高齢者がいる世帯の調査 | 9. その他（ ） |
| 4. 地域住民の困りごとなどの相談支援 | 10. 民生委員・児童委員を知らない |
| 5. 福祉全般に関する相談支援 | |
| 6. 各種相談支援機関へのつなぎ役 | |

8. 再犯防止について

●再犯防止と地域福祉の関係

生きづらさに直面する人の中には、貧困や困難な成育環境などから犯罪や非行をした人たちもいます。そうした人たちが立ち直り、社会復帰を果たすことを地域で支援することが地域共生社会の実現に大きく寄与します。

●再犯防止と地域福祉の関係

生きづらさに直面する人の中には、貧困や困難な成育環境などから犯罪や非行をした人たちもいます。そうした人たちが立ち直り、社会復帰を果たすことを地域で支援することが地域共生社会の実現に大きく寄与します。

問 24. 平成 28 年 12 月に再犯の防止等に関する施策に関する基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、再犯の防止等に関する施策の基本となる事項を定めた「再犯の防止等の推進に関する法律(再犯防止推進法)」が施行されました。あなたは、国全体で再犯防止を推進していることを知っていますか。(○は 1 つまで)

1. 知っている 2. 聞いたことがあるが内容は知らない 3. 知らない

問 25. あなたは、再犯防止に関して、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 再犯防止に関する市民の理解促進や関心を醸成するための普及啓発活動の促進
2. 保護司や協力雇用主などの民間協力者に対する支援
3. 犯罪や非行をした人への就労や住居の支援
4. 犯罪の内容（性犯罪、振り込め詐欺など）に応じた指導、支援
5. 警察署など関係機関との連携
6. 福祉サービス・医療機関との連携に関する支援
7. 青少年に向けた、再犯防止支援
8. その他（ ）
9. わからない



9. 判断能力が低下した方への支援について

問26. 認知症や障害などにより判断能力が低下しても、あなたらしく生きていくために、あなたが最も大事にしたいことはなんですか。（〇は3つまで）

- [illegible]

問27. あなたは成年後見制度について知っていますか。(〇は1つまで)

1. 知っている
2. 制度名は知っているが、内容は知らない
3. 制度名も内容も知らない

●成年後見に関する様々な制度やサービス

【法定後見制度】
高齢者や知的障害・精神障害などにより、すでに判断能力が十分でない方が財産の管理・福祉サービスの契約などを受けたい場合の制度。

【任意後見制度】
判断能力の衰えた場合に備えて、あらかじめ自分の後見人を選んでおき、将来の生活支援・看護・財産の管理などを頼んでおける制度。

【権利擁護相談】
認知症高齢者などが不当な扱いを受けないよう、生活、法律、年金などの相談を行うサービス。

【日常生活自立支援事業】
判断能力が十分でない高齢者や知的障害・精神障害のある方などが、日常的な金銭の管理、通帳や土地の権利証などの大切な書類を預かってもらい、安心して自立した生活が送れるようにする支援サービス。
社会福祉協議会が「あんしんサポートねっと」という名前で実施しています。

【法定後見制度】

高齢者や知的障害・精神障害などにより、すでに判断能力が十分でない方が財産の管理・福祉サービスの契約などを受けたい場合の制度。

【任意後見制度】

判断能力の衰えた場合に備えて、あらかじめ自分の後見人を選んでおき、将来の生活支援・看護・財産の管理などを頼んでおける制度。

【権利擁護相談】

認知症高齢者などが不当な扱いを受けないよう、生活、法律、年金などの相談を行うサービス。

【日常生活自立支援事業】

判断能力が十分でない高齢者や知的障害・精神障害のある方などが、日常的な金銭の管理、通帳や土地の権利証などの大切な書類を預かってもらい、安心して自立した生活が送れるようにする支援サービス。

社会福祉協議会が「あんしんサポートねっと」という名前で実施しています。

あなたが知っている成年後見制度についての相談先は次のどれですか。（知っているものにすべて○）

1. 市役所（高齢者支援課、障害福祉課、保健センターこころの健康支援室、地域福祉センター、市民相談課）
2. 所沢市社会福祉協議会（所沢市成年後見センター）
3. 地域包括支援センター
4. 障害者の相談支援事業所
5. 弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門職
6. NPO 法人などの民間団体
7. その他（ ）
8. わからない

1. 活用している
2. 少しだけ活用している（数ページ書き込み）
3. 持っているが、活用していない
4. 名前は知っているが、持っていない
5. 知らない

高齢者等の権利擁護に関する普及啓発事業の一環で「老後に自ら備える」ことを目的として、エンディングノート『『わたし』の整理帳』を作成しました。ご希望の方は配布先に直接お越しいただくか、ホームページからダウンロードをお願いします。



10. 生活困窮者などへの支援について

問29. 生活に困っている人を地域で支えることについて、あなたはどのように思いますか。
(〇は1つまで)

1. 直接的な支援（家事・学習の支援など）をしたい
2. 間接的な支援（生活必需品の寄付など）であればしたい
3. 支援したい気持ちはあるが、自分の生活があるので難しい
4. 関わりたくない
5. その他（
6. わからない

問30. 生活に困っている人を市が支援していくために、どのような取り組みが有効だと思いますか。（〇は3つまで）

1. 就労に必要な訓練の支援
2. 社会参加をつなげる取り組み
3. 住居支援（宿泊・衣食の提供など）
4. 家計相談や指導、貸付のあっせん
5. 仕事の紹介やあっせん
6. 生活に困っている家庭の子どもに対する学習支援や居場所づくり
7. 支援先のわかりやすい案内
8. その他（
9. わからない

●所沢市あったかサポートセンター

所沢市あったかサポートセンターでは、経済的な問題や日常生活などで困っていることをお聞きし、専門の支援員が寄り添いながら解決に向けた継続的な支援を実施しています。お気軽に、ご相談ください。

場所：所沢市こどもと福祉の未来館 1 階
電話：04-2968-3960



11. 災害時の助け合いなどについて

問31. 防災に関連する項目について、①～⑥のそれぞれにあてはまるものをお答えください。（それぞれの項目〇は1つまで）

	はい	いいえ	わからない
①身近な避難場所と行き方を知っていますか	1	2	3
②地域の防災訓練に参加していますか	1	2	3
③地域の自主防災組織に参加していますか	1	2	3
④災害時に避難の手助けが必要ですか	1	2	3
⑤災害時に避難の手助けが必要な人が近所にいますか	1	2	3
⑥災害時に避難の手助けが必要な近所の人に、手助けすることができますか	1	2	3

問32. あなたは、災害時の備えとして、普段どのようなことをしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 携帯ラジオ・ライトなど防災関連の道具を準備している
2. 食料や飲料水を準備している
3. 常備薬や入れ歯、補聴器など無いと困るものを準備している
4. 避難する場所を決めている
5. 家具の転倒防止対策をしている
6. スリッパやくつなどをいつでも使えるように置いている
7. 貴重品などをすぐに持ち出せるように準備している
8. 耐震補強工事をしている
9. 市発行の地震・洪水ハザードマップで防災情報を確認している
10. 近所の人や知り合いと声をかけ合ったり、確認し合うことを話題にしている
11. その他（ ）
12. 特になにもしていない



12. 優しいまちづくりについて

問33. あなたは、地域で安心して長く住み続けるために、住環境や生活で重要だと思う取り組みは何ですか。（〇は3つまで）

1. 災害に対する安全な市街地整備
2. 地域の防犯対策の強化
3. 空き家の適正管理などに向けた対策
4. 空き家の地域福祉活動での利活用
5. 歩道の拡張整備
6. ゴミ出しなど生活マナー向上対策
7. 民間事業者と連携した住環境づくり
8. ところバスなど公共交通機関の充実
9. 生活圏域でのバリアフリー対策
10. 高齢者などへの買い物支援の助け合い
11. 緑地やオープンスペース、散策路などの整備
12. わからない
13. その他（ ）

問34. 高齢者や低所得者、子育て世代などの住宅確保要配慮者が、民間の賃貸住宅に入居する場合に、どのような仕組みやサービスがあれば、入居しやすくなると思いますか。（〇は3つまで）

- １．身寄りのない方が保証人を確保しなくても入居できる仕組み
- ２．単身高齢者などへの見守りや安否確認サービス
- ３．単身高齢者などへの家事援助などの生活支援サービス
- ４．身寄りのない高齢者などの入院時のサポート
- ５．金銭や貴重品、合鍵などを預かるサービス
- ６．家賃など（敷金・礼金含む）の援助
- ７．収入が低くても入居するなど、入居要件の緩和
- ８．手すりやエレベーターの設置など、歩行や移動しやすい住宅を増やす
- ９．身元保証業者の充実
- １０．その他（ ）
- １１．わからない



13. 地域福祉の推進について

問35. 地域福祉を進めていくために、市が優先的に取り組むべき施策は、どのようなことだと思いますか。（〇は3つまで）

1. 福祉教育の充実
2. わかりやすい福祉情報の提供（字幕、ふりがな、手話、点字）
3. NPO、地域団体などの活動支援
4. 地域行事などの交流活動の支援
5. 福祉活動を行う人材の発掘・育成
6. 相談しやすい窓口の充実
7. 必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり
8. 見守り体制の充実
9. 孤独・孤立を防ぐ取り組み
10. ひきこもり・閉じこもりに対する支援
11. 成年後見制度など権利擁護の推進
12. 生活困窮者への支援
13. こどもの居場所づくり
14. こども食堂などへの支援
15. 災害時の安心・安全の仕組みづくり
16. 障害者への理解を深める取り組み
17. バリアフリーのまちづくり
18. 住宅確保要配慮者に対する住まいの確保などの支援
19. わからない

問36. 地域での支え合いを広げていくためのアイデアや、所沢市の地域福祉についてのご意見などございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上になります。

たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。

調査結果は市ホームページで公表いたします。（令和8年4月頃予定）



第4次所沢市地域福祉計画等
策定に関する市民意識調査報告書

令和8年3月発行

編集：所沢市 福祉部 地域福祉センター
〒359-1112 埼玉県所沢市泉町 1861 番地の1 所沢市こどもと福祉の未来館内
Tel：04-2922-2115 Fax：04-2922-2195
Eメール：b29222115@city.tokorozawa.lg.jp
